

松 戸 市

総合計画第3次実施計画づくりのための市民ニーズ調査

— 報 告 書 —

平成18年10月

松 戸 市



## 目 次

I 調査の概要	1
II 質問と回答（単純集計結果）	9
III 調査結果の分析	29
1. 今後のまちづくりへの希望	31
2. 今後のまちのイメージづくりへの希望	36
3. 行政サービスの提供のあり方として相応しい方法	41
4. 地域活動やボランティアへの参加状況と参加意向	47
5. 現状評価と重要度	57
6. 都市基盤について重点的に投資すべき施設・設備	87
7. 教育の役割分担	91
8. 定住年数	106
9. 通勤・通学以外の活動範囲	108
10. 主な交通手段	109
11. 情報入手媒体	111
12. 住みやすさ	113
13. 定住意向	114
14. 定住理由	115
15. 転居理由	117
IV 自由記入	119
付録 調査票	



# I 調査の概要



## ■調査趣旨

平成20～22年度を期間とする松戸市総合計画「第3次実施計画」については、選択と集中を明確にした戦略的な計画として策定することとしている。本調査は、「まちづくりの方向性」等の市民ニーズを取得し、上記の戦略的な計画を策定するために必要となる基礎データを取得するために実施したものである。

## ■調査対象者

平成18年6月30日現在の住民基本台帳から無作為抽出した3,000人

## ■調査方法

郵送配布－郵送回収（お礼兼督促はがき1回）

## ■調査期間

平成18年8月4日（金）～8月21日（月）の18日間

## ■調査の枠組み

<b>説明変数群</b>	
<b>A 属性</b> F 性別 F 年齢 F 職業（勤務地・通学地） F 居住年数 F 家族構成 S F 高齢者の有無 S F 子どもの有無 ※ 地区別	<b>B ライフスタイル</b> L 日常のお出かけ範囲 L 交通手段 L 地域情報の入手方法 L 住みごころ L 永住指向 S L 永住の理由 S L 転出の理由
<b>被説明変数群</b>	
<b>政策の優先順位</b> <b>C 政策の重要度・現状評価</b> Q 地域の目指す姿の現状評価 Q 地域の目指す姿の今後の重要度 ※ 23政策ごとの目指す地域の姿 ＋都市基盤のメンテナンス	<b>ビジョンの検証</b> <b>D ビジョンの検証</b> Q まちづくりの方向性 Q 松戸のブランドイメージ Q 協働意欲 Q 行政サービスの提供のあり方 <b>E その他</b> Q 重点投資すべき都市基盤 Q 教育における学校・家庭 ・地域の役割

## ■回収状況

母 数	サンプル	有効回収数	有効回収率
377,675	3,000	1,374	45.8%

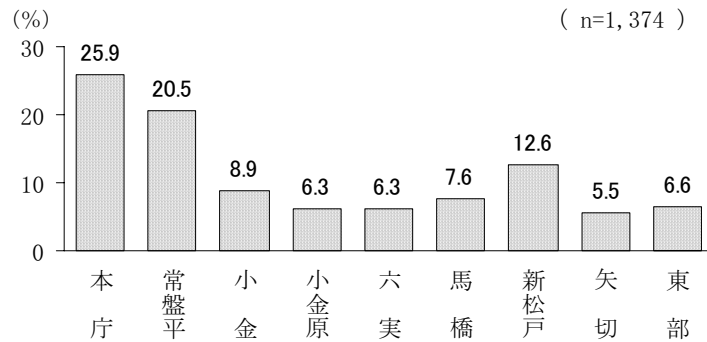
回収欄の上段は有効回収数、下段は有効回収率（％）

本庁地区・常盤平地区・六実地区に各1名の年齢不明者あり

		本 庁	常盤平	小 金	小金原	六 実	馬 橋	新松戸	矢 切	東 部	計
24歳	男	30	19	10	6	7	10	17	7	6	112
	女	28	18	9	6	7	9	16	5	6	104
	計	58	37	19	12	14	19	33	12	12	216
	回収	13 22.4	9 24.3	7 36.8	0 0.0	7 50.0	4 21.1	3 9.1	4 33.3	5 41.7	52 <b>24.1</b>
25～29歳	男	40	25	12	8	7	13	20	7	8	140
	女	37	22	11	7	7	11	18	6	8	127
	計	77	47	23	15	14	24	38	13	16	267
	回収	21 27.3	18 38.3	3 13.0	2 13.3	3 21.4	5 20.8	16 42.1	6 46.2	2 12.5	76 <b>28.5</b>
30～34歳	男	54	32	16	9	9	16	22	9	11	178
	女	46	30	14	9	9	15	20	9	11	163
	計	100	62	30	18	18	31	42	18	22	341
	回収	39 39.0	23 37.1	12 40.0	6 33.3	8 44.4	10 32.3	13 31.0	8 44.4	12 54.5	131 <b>38.4</b>
35～39歳	男	52	32	15	10	10	14	20	10	12	175
	女	45	29	14	9	9	12	18	9	10	155
	計	97	61	29	19	19	26	38	19	22	330
	回収	35 36.1	24 39.3	12 41.4	3 15.8	6 31.6	10 38.5	15 39.5	8 42.1	10 45.5	123 <b>37.3</b>
40～44歳	男	40	26	13	8	9	12	15	8	9	140
	女	33	23	11	7	10	10	14	7	7	122
	計	73	49	24	15	19	22	29	15	16	262
	回収	29 39.7	23 46.9	14 58.3	8 53.3	6 31.6	10 45.5	15 51.7	4 26.7	8 50.0	117 <b>44.7</b>
45～49歳	男	31	21	10	6	8	9	14	7	6	112
	女	28	18	9	6	7	8	14	6	5	101
	計	59	39	19	12	15	17	28	13	11	213
	回収	25 42.4	19 48.7	9 47.4	8 66.7	7 46.7	8 47.1	12 42.9	5 38.5	4 36.4	97 <b>45.5</b>
50～54歳	男	31	21	10	6	8	10	15	6	7	114
	女	29	21	10	7	8	9	16	6	6	112
	計	60	42	20	13	16	19	31	12	13	226
	回収	27 45.0	18 42.9	12 60.0	8 61.5	5 31.3	13 68.4	17 54.8	6 50.0	11 84.6	117 <b>51.8</b>
55～59歳	男	40	29	13	9	10	11	22	8	9	151
	女	40	31	14	10	10	12	24	8	9	158
	計	80	60	27	19	20	23	46	16	18	309
	回収	38 47.5	34 56.7	11 40.7	10 52.6	15 75.0	15 65.2	26 56.5	5 31.3	7 38.9	161 <b>52.1</b>
60～64歳	男	32	25	11	8	8	10	17	7	7	125
	女	36	27	11	10	8	10	16	7	8	133
	計	68	52	22	18	16	20	33	14	15	258
	回収	36 52.9	31 59.6	15 68.2	9 50.0	10 62.5	9 45.0	20 60.6	8 57.1	9 60.0	147 <b>57.0</b>
65歳	男	70	59	23	23	14	20	29	16	16	270
	女	81	67	26	25	17	23	32	19	18	308
	計	151	126	49	48	31	43	61	35	34	578
	回収	92 60.9	81 64.3	27 55.1	33 68.8	18 58.1	20 46.5	36 59.0	21 60.0	22 64.7	350 <b>60.6</b>
計	男	420	289	133	93	90	125	191	85	91	1,517
	女	403	286	129	96	92	119	188	82	88	1,483
	計	823	575	262	189	182	244	379	167	179	3,000
	回収	356 <b>43.3</b>	281 <b>48.9</b>	122 <b>46.6</b>	87 <b>46.0</b>	86 <b>47.3</b>	104 <b>42.6</b>	173 <b>45.6</b>	75 <b>44.9</b>	90 <b>50.3</b>	1,374 <b>45.8</b>



## ■回答者の地区別構成



## ■報告書を見る際の留意点

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、比率の合計は100%を上下することがある。
- (2) 1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問（複数回答）では、比率の合計が100%を上回ることがある。
- (3) Nは、比率算出の基数であり（Number of Cases の略）、100%が何人の回答に相当するかを示す。
- (4) クロス集計の結果うち、調査回答者の少ないものは分析ではふれていない。図表の数字は参考としてみる必要がある。
- (5) クロス集計を図示したものについて、( ) 内の数字はNを示す。

## ■標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$N$  = 母集団数（松戸市の20歳以上人口）  
 $n$  = 比率算出の基数（回答者数）  
 $p$  = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率 (p) \ n	90%または10%程度	80%または20%程度	70%または30%程度	60%または40%程度	50%程度
1,374	± 1.6	± 2.2	± 2.5	± 2.6	± 2.7
1,000	± 1.9	± 2.5	± 2.9	± 3.1	± 3.2
800	± 2.1	± 2.8	± 3.2	± 3.5	± 3.5
600	± 2.4	± 3.3	± 3.7	± 4.0	± 4.1
400	± 3.0	± 4.0	± 4.6	± 4.9	± 5.0
200	± 4.2	± 5.7	± 6.5	± 6.9	± 7.1
100	± 6.0	± 8.0	± 9.2	± 9.8	± 10.0

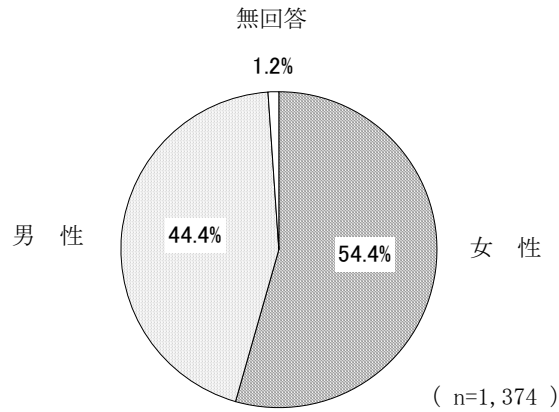
※上表は  $\frac{N-n}{N-1} = 1$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

### ●この表の見方

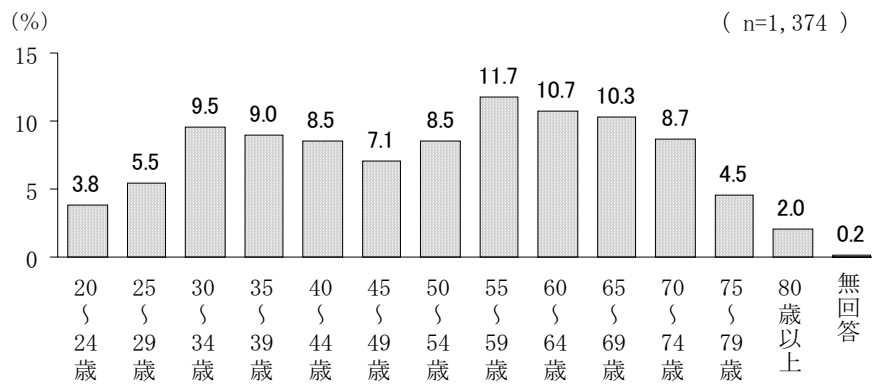
『ある設問の回答数が1,374人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%である場合』その回答比率の誤差範囲は、最高でも±2.6%以内（57.4～62.6%）である」とみることができる。

■回答者の属性

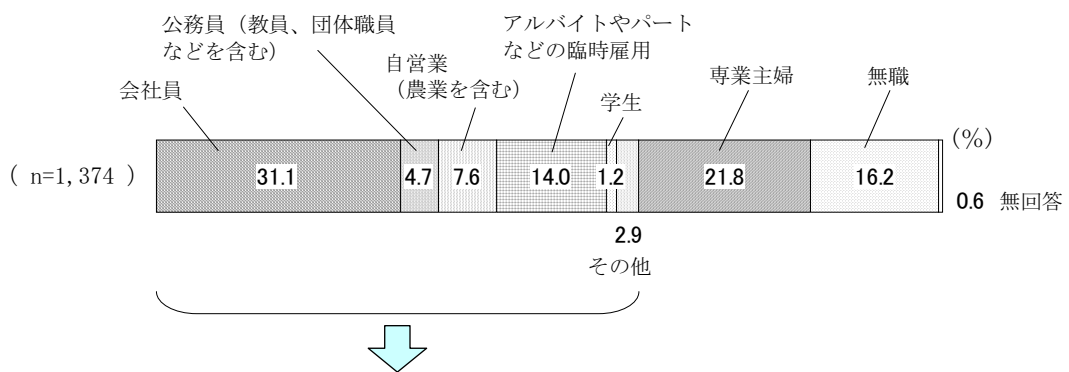
1. 性別 (F 1)



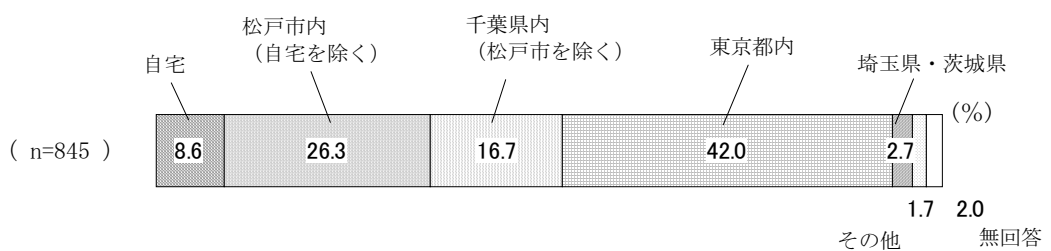
2. 年齢 (F 2)



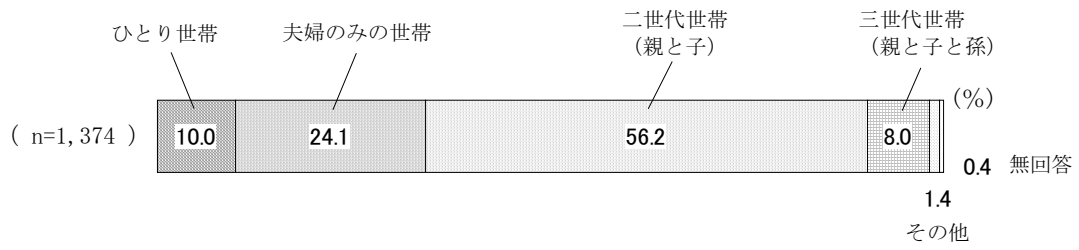
3. 職業 (F 3)



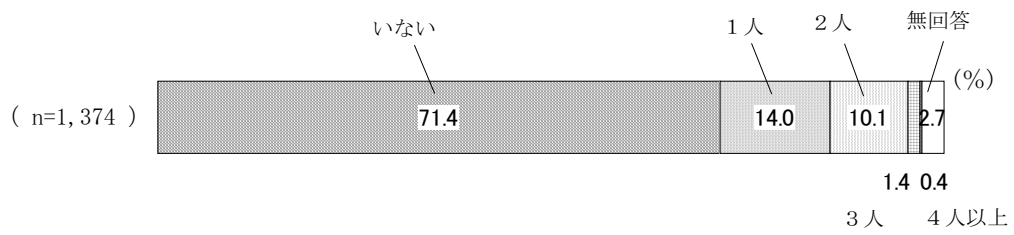
4. 勤務地・通学先 (F 3-1)



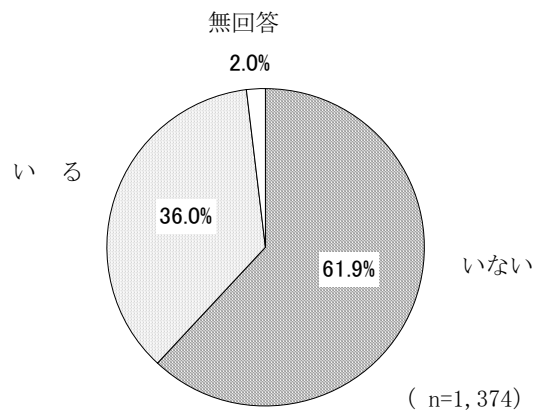
5. 家族構成 (F 5)



6. 中学生以下の子ども的人数 (F 6)



7. 65才以上の高齢者の有無 (F 7)





## Ⅱ 質問と回答（単純集計結果）



問1 松戸市は、水戸街道の宿場町として、また舟運交通の要衝として栄えてきました。市制を施行した昭和18年の人口は4万人程度であり、昭和30年代の半ばまでは農業主体のまちとして緩やかな人口の増加傾向をたどってきました。

その後、平成の初めまでは、首都東京の住宅需要の受け皿として、新しい市民が全国各地から移り住み、激しい人口移動と増加を繰り返してきました。今日では、人口の増加も落ち着き、人口約47万人を擁し、市内にJR、私鉄併せて23の駅を持つ全国でも有数の生活都市として成熟期を迎えつつあります。

このような松戸市において、あなたが生活する上で、どのようなまちづくりを望みますか。  
(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. 松戸駅を中心とした一帯に新たな投資を行い、自宅近くでの利便性の向上は望めないが、松戸駅周辺まで行けば、高級品の買い物、専門的な医療や特色ある教育まで大抵のサービスは受けられるような一極集中型のまちづくり	163	11.9
2. 市内の数箇所（たとえば、複数の路線が交差する松戸駅、新松戸駅、八柱駅など）を拠点として、新たな投資を行い、自宅近くでの利便性の向上は望めないが、市内のどこかで、高級品の買い物、専門的な医療や特色ある教育まで大抵のサービスは受けられるような拠点分散型のまちづくり	407	29.6
3. 東京への交通の便が良いという立地条件を生かし、高級品の買い物、専門的な医療機関や特色ある教育機関などは都心に行けば済むので、日用品の買い物や介護や育児などの日常生活に必要なサービスが、最寄り駅の近隣や通勤・通学経路などのなるべく自宅から近いところにおいて入手できるように市内各所に分散して投資するまちづくり	691	50.3
4. その他	56	4.1
無回答	57	4.1
全 体	1,374	100.0

問2 松戸市は、都心から約20kmの位置にあり、本市の西部は江戸川を境に、東京都葛飾区などと接しています。三鷹市や川崎市とほぼ同じ距離にあり、町田市や横浜市よりは、約10km、横須賀市よりは、約30km都心に近い距離にあります。

首都圏における立地条件は大変良いわけですが、松戸市に暮らすというブランドイメージとして、どのようなまちのイメージづくりを望みますか。(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. ITなどの最先端技術を極力利用し、東京のベッドタウンとして利便性をあくまで追求し、外出しなくても、情報や物が簡単に手に入るITコミュニケーション都市	33	2.4
2. 市内にある4つの大学（千葉大園芸学部、日大歯学部、聖徳大学、流通経済大学）との連携を深め、若者文化を発信していく学園都市	66	4.8
3. 大手百貨店や高級ブランド店が並び、ショッピングなどが楽しめる優雅で知的な感性を感じる都市	110	8.0
4. 新たな開発よりも、自然や緑、歴史や文化など松戸がそもそも持っている良さを活かした緑花清流都市	585	42.6
5. 近隣に住んでいる人の顔がわかり、知らない人や子どもにも気軽に声かけられる安全で安心な地域コミュニティ都市	539	39.2
無回答	41	3.0
全 体	1,374	100.0

問3 平成17(2005)年は、出生数が死亡数を下回り、日本全体の人口が減少していく人口減少社会が想定より早く到来しました。これからの社会では、「税や公的保険料を負担する人が少なくなるが、税などでまかなわれる市役所のサービスを必要とする人が増える」ことが予想され、その結果、「一人一人が市役所から受けられるサービスが減る」ことが考えられます。

また、助け合いや支え合いができる地域社会が維持できなくなったり、経済活動を支える年齢層が希薄になり、平均的に生活水準が低下することも考えられます。

このような社会情勢の下での市役所など行政サービスの提供のあり方として、どのような方法が相応しいと考えますか。

なお、市役所などが行う行政サービスは、十分効率的に行われているものとしてお考えください。(〇は1つだけ)

	回答数	構成比
1. 高齢者などが増えることによりニーズが増えるのだから、市役所などが提供する行政サービスは拡大すべきであり、税や公的保険料の市民負担は大きく増やしても仕方がない	59	4.3
2. 市役所などが提供する行政サービスは現状を維持すべきであり、人口減少社会において労働人口は減るのだから、一人あたりの市民負担がその分だけ増えることは仕方がない	243	17.7
3. 税や公的保険料の市民負担は現状水準を維持すべきであり、労働人口が減ることによる市役所などの減収は仕方がない。市役所などが提供する行政サービスは減少させ、減少分は、市民の助け合いや、別にお金を払って、NPO・企業などの提供するサービスを購入するようにすればよい	347	25.3
4. 市役所などが提供する行政サービスは必要最低限とし、税や公的保険料の市民負担はできるだけ軽減すべきである。必要最低限を超える部分は、市民の助け合いや、別にお金を払って、NPO・企業などの提供するサービスを購入するようにすればよい	562	40.9
5. その他	96	7.0
無回答	67	4.9
全 体	1,374	100.0



問4 1998年のNPO法（特定非営利活動促進法）の施行後、NPO法人は急増し、全国で19,000を超える団体が設立されています（2004年12月現在）。人口減少社会における市民の多様化するニーズに対応するためには、市役所などの行政がサービスを全てまかなうのではなく、市民の助け合いやNPOなどの活動によってニーズを充足させていくことが期待されています。

あなたは、普段の仕事や家事、育児のほかに、町会などの地域活動やNPOなどのボランティア活動に、どの程度、参加していますか。また、今後参加してみたいと考えていますか。

（○は、現在・今後とも、アとイ、それぞれ1つずつ）

■現在

		よく参加している	参加したことがある	参加したことはない	無回答	全 体
(ア)町会やPTA役員などの地域活動	回答数	147	574	626	27	1,374
	構成比	10.7	41.8	45.6	2.0	100.0
(イ)NPOなどのボランティア活動	回答数	42	140	1,118	74	1,374
	構成比	3.1	10.2	81.4	5.4	100.0

■今後

		ぜひ参加したい	条件が合えば参加したい	参加する予定はない	無回答	全 体
(ア)町会やPTA役員などの地域活動	回答数	109	802	418	45	1,374
	構成比	7.9	58.4	30.4	3.3	100.0
(イ)NPOなどのボランティア活動	回答数	85	772	455	62	1,374
	構成比	6.2	56.2	33.1	4.5	100.0

問5 松戸市が今後も発展し続けていくためには、社会・経済環境などの様々な「環境の変化」に的確に対応し、市民の皆さまのニーズが増えているところに重点的に資源配分していくことが重要と考えられます。そこで、松戸市がこうなっているとよいと思われる状態を次のように整理しました。

あなたは、それぞれの項目について、現状をどのように評価し（現状評価）、今後取り組むことがどのくらい重要（今後の重要度）だとお考えですか。松戸市に税金を納める立場として、どのようなことに税金が使われるべきかという観点でお答えください。

項目ごとに現状評価と重要度について、あなたのお考えに一番近い番号を「1～4」の中から、それぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

選 択 項 目			現状評価					
			十分な状態である	まあまあ の状態である	やや不十分な 状態である	不十分な 状態である	無 回 答	全 体
(ア)	市民と行政の協働のルールが確立されている	回答数	10	530	523	203	108	1,374
		構成比	0.7	38.6	38.1	14.8	7.9	100.0
(イ)	一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会になっている	回答数	20	531	574	169	80	1,374
		構成比	1.5	38.6	41.8	12.3	5.8	100.0
(ウ)	自らの健康に関心を持ちながら行動できる市民が多数いる	回答数	41	688	455	113	77	1,374
		構成比	3.0	50.1	33.1	8.2	5.6	100.0
(エ)	高齢者や障害を持つ人など生活支援が必要な市民が、地域の支え合いの中で自立した生活を送れるようになっている	回答数	13	362	619	311	69	1,374
		構成比	0.9	26.3	45.1	22.6	5.0	100.0
(オ)	次の世代を担う子どもたちが、地域の支え合いの中で健やかに生まれ育っている	回答数	34	507	516	253	64	1,374
		構成比	2.5	36.9	37.6	18.4	4.7	100.0
(カ)	地域の医療機関と役割分担し、市立病院が救命救急医療や小児医療などの充実を図っている	回答数	59	607	451	185	72	1,374
		構成比	4.3	44.2	32.8	13.5	5.2	100.0
(キ)	家庭、地域、学校の連携により、子どもたちが将来の目標を持てるように、一人ひとりにあった学習環境が用意されている	回答数	15	377	609	271	102	1,374
		構成比	1.1	27.4	44.3	19.7	7.4	100.0
(ク)	生涯学習やスポーツが、手軽に始められるようになっている	回答数	55	507	535	201	76	1,374
		構成比	4.0	36.9	38.9	14.6	5.5	100.0
(ケ)	市内の身近なところで、松戸の歴史や文化が感じられるようになっている	回答数	85	631	428	168	62	1,374
		構成比	6.2	45.9	31.1	12.2	4.5	100.0
(コ)	市民一人ひとりが、災害発生時における自らの役割を自覚し、被害の軽減や復旧に向けての行動がとれるようになっている	回答数	10	191	625	488	60	1,374
		構成比	0.7	13.9	45.5	35.5	4.4	100.0

選 択 項 目		現状評価						
		十分な状態である	まあまあ の状態である	やや 不十分な 状態である	不十分な 状態である	無回答	全 体	
(サ)	地域社会の連携と協働により、火災等の災害による被害が軽減されている	回答数	12	425	607	249	81	1,374
		構成比	0.9	30.9	44.2	18.1	5.9	100.0
(シ)	より適切な救急救命処置ができるようになっている	回答数	54	567	486	180	87	1,374
		構成比	3.9	41.3	35.4	13.1	6.3	100.0
(ス)	もったいない精神が浸透し、自分のできる範囲で、環境にやさしい取り組みをしている	回答数	50	505	533	217	69	1,374
		構成比	3.6	36.8	38.8	15.8	5.0	100.0
(セ)	「自分のまちは自分たちで守る」という意識のもと、安全で快適なまちにするための助け合いをしている	回答数	27	334	681	262	70	1,374
		構成比	2.0	24.3	49.6	19.1	5.1	100.0
(ソ)	緑が保全され、身近な緑と花が増えている	回答数	122	626	411	166	49	1,374
		構成比	8.9	45.6	29.9	12.1	3.6	100.0
(タ)	地域産業が活性化し、市内で働く人が増えている	回答数	12	308	638	327	89	1,374
		構成比	0.9	22.4	46.4	23.8	6.5	100.0
(チ)	多様な職場が用意され、働きたい人が、働けるようになっている	回答数	10	198	617	463	86	1,374
		構成比	0.7	14.4	44.9	33.7	6.3	100.0
(ツ)	安全でゆとりのある住宅に住んでいる人が多数いる	回答数	31	481	530	256	76	1,374
		構成比	2.3	35.0	38.6	18.6	5.5	100.0
(テ)	公共交通機関と道路のバリアフリー化が進み、誰もが気軽に外出できる街並みが増えている	回答数	24	268	559	468	55	1,374
		構成比	1.7	19.5	40.7	34.1	4.0	100.0
(ト)	身近に水と触れあえるきれいな河川が増えている	回答数	25	283	540	458	68	1,374
		構成比	1.8	20.6	39.3	33.3	4.9	100.0
(ナ)	いつでも安心して水道水が使えるようにする	回答数	209	676	277	152	60	1,374
		構成比	15.2	49.2	20.2	11.1	4.4	100.0
(ニ)	既存の都市基盤の維持管理や緑地や水辺など環境の保全が行われている	回答数	53	573	523	151	74	1,374
		構成比	3.9	41.7	38.1	11.0	5.4	100.0
(ヌ)	行政は市民ニーズを把握し、わかりやすい目標をたて、効率的でより良いサービスを提供している	回答数	15	341	628	316	74	1,374
		構成比	1.1	24.8	45.7	23.0	5.4	100.0
(ネ)	中・長期的な展望に立った健全財政が維持されている	回答数	16	309	609	344	96	1,374
		構成比	1.2	22.5	44.3	25.0	7.0	100.0

以上の項目のほか、追加すべき「松戸市がこうなっているとよいと思われる状態」があれば、以下の追加記入欄に直接記入し、同じように番号に○印をつけてください。

選 択 項 目		現状評価						
		十分な状態である	まあまあ の状態である	やや 不十分な 状態である	不十分な 状態である	無 回 答	全 体	
(迫)	道路整備	回答数	1	1	22	68	1,282	1,374
		構成比	0.1	0.1	1.6	4.9	93.3	100.0
(迫)	公共整備、充実	回答数	-	-	13	19	1,342	1,374
		構成比	-	-	0.9	1.4	97.7	100.0
(迫)	安全な街づくり（治安、防犯、防災）	回答数	-	1	20	37	1,316	1,374
		構成比	-	0.1	1.5	2.7	95.8	100.0
(迫)	地域、環境の整備、水害対策	回答数	3	1	10	38	1,322	1,374
		構成比	0.2	0.1	0.7	2.8	96.2	100.0
(迫)	駅周辺の整備	回答数	1	1	12	36	1,324	1,374
		構成比	0.1	0.1	0.9	2.6	96.4	100.0
(迫)	環境対策（緑化、清掃、川の浄化）	回答数	1	-	9	7	1,357	1,374
		構成比	0.1	-	0.7	0.5	98.8	100.0
(迫)	バス事業、交通環境の整備	回答数	-	1	5	17	1,351	1,374
		構成比	-	0.1	0.4	1.2	98.3	100.0
(迫)	出産、子育て環境の充実	回答数	-	-	13	29	1,332	1,374
		構成比	-	-	0.9	2.1	96.9	100.0
(迫)	保育施設、公園の整備	回答数	-	-	4	44	1,326	1,374
		構成比	-	-	0.3	3.2	96.5	100.0
(迫)	学校教育の充実、学校の増設・格差解消	回答数	-	-	9	16	1,349	1,374
		構成比	-	-	0.7	1.2	98.2	100.0
(迫)	医療の充実	回答数	-	-	10	27	1,337	1,374
		構成比	-	-	0.7	2.0	97.3	100.0
(迫)	行政サービスの充実	回答数	-	1	8	21	1,344	1,374
		構成比	-	0.1	0.6	1.5	97.8	100.0
(迫)	市の財政状況の改善、節税、補助金の充実	回答数	1	1	3	17	1,352	1,374
		構成比	0.1	0.1	0.2	1.2	98.4	100.0
(迫)	高齢者や障害者、弱者への施策、施設の充実	回答数	1	2	9	30	1,332	1,374
		構成比	0.1	0.1	0.7	2.2	96.9	100.0
(迫)	ゴミの回収・分別について、ゴミ対策	回答数	2	-	4	6	1,362	1,374
		構成比	0.1	-	0.3	0.4	99.1	100.0
(迫)	在日外国人の管理、収税、援助打ち切り	回答数	-	-	-	2	1,372	1,374
		構成比	-	-	-	0.1	99.9	100.0
(迫)	市組織の再編成	回答数	-	-	1	1	1,372	1,374
		構成比	-	-	0.1	0.1	99.9	100.0
(迫)	松戸のイメージ、景観の改善	回答数	-	-	7	14	1,353	1,374
		構成比	-	-	0.5	1.0	98.5	100.0

選 択 項 目			現状評価					
			十分な状態である	まあまあ の状態である	やや不十分な 状態である	不十分な 状態である	無回答	全 体
(追)	若者の活動・交流の場	回答数	-	-	1	3	1,370	1,374
		構成比	-	-	0.1	0.2	99.7	100.0
(追)	歩きタバコの規制、マナー向上のための条例	回答数	-	-	1	6	1,367	1,374
		構成比	-	-	0.1	0.4	99.5	100.0
(追)	行政と市民の対話の場	回答数	-	-	4	6	1,364	1,374
		構成比	-	-	0.3	0.4	99.3	100.0
(追)	サークル、文化的活動、市民交流の場	回答数	1	1	3	4	1,365	1,374
		構成比	0.1	0.1	0.2	0.3	99.3	100.0
(追)	その他	回答数	-	-	4	22	1,348	1,374
		構成比	-	-	0.3	1.6	98.1	100.0

選 択 項 目		今後の重要度						
		重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	全体	
(ア)	市民と行政の協働のルールが確立されている	回答数	375	748	125	9	117	1,374
		構成比	27.3	54.4	9.1	0.7	8.5	100.0
(イ)	一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会になっている	回答数	401	734	129	9	101	1,374
		構成比	29.2	53.4	9.4	0.7	7.4	100.0
(ウ)	自らの健康に関心を持ちながら行動できる市民が多数いる	回答数	473	679	119	9	94	1,374
		構成比	34.4	49.4	8.7	0.7	6.8	100.0
(エ)	高齢者や障害を持つ人など生活支援が必要な市民が、地域の支え合いの中で自立した生活を送れるようになっている	回答数	772	498	26	5	73	1,374
		構成比	56.2	36.2	1.9	0.4	5.3	100.0
(オ)	次の世代を担う子どもたちが、地域の支え合いの中で健やかに生まれ育っている	回答数	895	381	25	4	69	1,374
		構成比	65.1	27.7	1.8	0.3	5.0	100.0
(カ)	地域の医療機関と役割分担し、市立病院が救命救急医療や小児医療などの充実を図っている	回答数	945	338	16	7	68	1,374
		構成比	68.8	24.6	1.2	0.5	4.9	100.0
(キ)	家庭、地域、学校の連携により、子どもたちが将来の目標を持てるように、一人ひとりにあった学習環境が用意されている	回答数	639	564	64	15	92	1,374
		構成比	46.5	41.0	4.7	1.1	6.7	100.0
(ク)	生涯学習やスポーツが、手軽に始められるようになっている	回答数	258	748	260	24	84	1,374
		構成比	18.8	54.4	18.9	1.7	6.1	100.0
(ケ)	市内の身近なところで、松戸の歴史や文化が感じられるようになっている	回答数	169	701	382	49	73	1,374
		構成比	12.3	51.0	27.8	3.6	5.3	100.0
(コ)	市民一人ひとりが、災害発生時における自らの役割を自覚し、被害の軽減や復旧に向けての行動がとれるようになっている	回答数	792	472	37	3	70	1,374
		構成比	57.6	34.4	2.7	0.2	5.1	100.0

選 択 項 目			今後の重要度					
			重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	全体
(サ)	地域社会の連携と協働により、火災等の災害による被害が軽減されている	回答数	690	560	42	2	80	1,374
		構成比	50.2	40.8	3.1	0.1	5.8	100.0
(シ)	より適切な救急救命処置ができるようになっている	回答数	787	482	22	5	78	1,374
		構成比	57.3	35.1	1.6	0.4	5.7	100.0
(ス)	もったいない精神が浸透し、自分のできる範囲で、環境にやさしい取り組みをしている	回答数	505	690	97	11	71	1,374
		構成比	36.8	50.2	7.1	0.8	5.2	100.0
(セ)	「自分のまちは自分たちで守る」という意識のもと、安全で快適なまちにするための助け合いをしている	回答数	558	671	68	6	71	1,374
		構成比	40.6	48.8	4.9	0.4	5.2	100.0
(ソ)	緑が保全され、身近な緑と花が増えている	回答数	455	755	89	15	60	1,374
		構成比	33.1	54.9	6.5	1.1	4.4	100.0
(タ)	地域産業が活性化し、市内で働く人が増えている	回答数	354	706	203	27	84	1,374
		構成比	25.8	51.4	14.8	2.0	6.1	100.0
(チ)	多様な職場が用意され、働きたい人が、働けるようになっている	回答数	505	639	131	18	81	1,374
		構成比	36.8	46.5	9.5	1.3	5.9	100.0
(ツ)	安全でゆとりのある住宅に住んでいる人が多数いる	回答数	383	742	149	20	80	1,374
		構成比	27.9	54.0	10.8	1.5	5.8	100.0
(テ)	公共交通機関と道路のバリアフリー化が進み、誰もが気軽に外出できる街並みが増えている	回答数	704	562	42	6	60	1,374
		構成比	51.2	40.9	3.1	0.4	4.4	100.0
(ト)	身近に水と触れあえるきれいな河川が増えている	回答数	438	690	149	20	77	1,374
		構成比	31.9	50.2	10.8	1.5	5.6	100.0
(ナ)	いつでも安心して水道水が使えるようにする	回答数	886	391	29	7	61	1,374
		構成比	64.5	28.5	2.1	0.5	4.4	100.0
(ニ)	既存の都市基盤の維持管理や緑地や水辺など環境の保全が行われている	回答数	468	749	72	8	77	1,374
		構成比	34.1	54.5	5.2	0.6	5.6	100.0
(ヌ)	行政は市民ニーズを把握し、わかりやすい目標をたて、効率的でより良いサービスを提供している	回答数	627	617	50	7	73	1,374
		構成比	45.6	44.9	3.6	0.5	5.3	100.0
(ネ)	中・長期的な展望に立った健全財政が維持されている	回答数	772	473	34	9	86	1,374
		構成比	56.2	34.4	2.5	0.7	6.3	100.0

選 択 項 目		今後の重要度						
		重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	全体	
(迫)	道路整備	回答数	75	14	-	2	1,283	1,374
		構成比	5.5	1.0	-	0.1	93.4	100.0
(迫)	公共整備、充実	回答数	20	12	-	-	1,342	1,374
		構成比	1.5	0.9	-	-	97.9	100.0
(迫)	安全な街づくり（治安、防犯、防災）	回答数	58	1	-	-	1,315	1,374
		構成比	4.2	0.1	-	-	95.7	100.0
(迫)	地域、環境の整備、水害対策	回答数	39	10	-	3	1,322	1,374
		構成比	2.8	0.7	-	0.2	96.2	100.0
(迫)	駅周辺の整備	回答数	43	8	-	-	1,323	1,374
		構成比	3.1	0.6	-	-	96.3	100.0
(迫)	環境対策（緑化、清掃、川の浄化）	回答数	15	1	-	1	1,357	1,374
		構成比	1.1	0.1	-	0.1	98.8	100.0
(迫)	バス事業、交通環境の整備	回答数	18	4	-	1	1,351	1,374
		構成比	1.3	0.3	-	0.1	98.3	100.0
(迫)	出産、子育て環境の充実	回答数	40	2	-	-	1,332	1,374
		構成比	2.9	0.1	-	-	96.9	100.0
(迫)	保育施設、公園の整備	回答数	43	5	-	-	1,326	1,374
		構成比	3.1	0.4	-	-	96.5	100.0
(迫)	学校教育の充実、学校の増設・格差解消	回答数	23	2	-	-	1,349	1,374
		構成比	1.7	0.1	-	-	98.2	100.0
(迫)	医療の充実	回答数	32	4	-	-	1,338	1,374
		構成比	2.3	0.3	-	-	97.4	100.0
(迫)	行政サービスの充実	回答数	22	7	-	-	1,345	1,374
		構成比	1.6	0.5	-	-	97.9	100.0
(迫)	市の財政状況の改善、節税、補助金の充実	回答数	22	-	-	-	1,352	1,374
		構成比	1.6	-	-	-	98.4	100.0
(迫)	高齢者や障害者、弱者への施策、施設の充実	回答数	37	3	-	-	1,334	1,374
		構成比	2.7	0.2	-	-	97.1	100.0
(迫)	ゴミの回収・分別について、ゴミ対策	回答数	10	2	-	-	1,362	1,374
		構成比	0.7	0.1	-	-	99.1	100.0
(迫)	在日外国人の管理、収税、援助打ち切り	回答数	2	-	-	-	1,372	843
		構成比	0.1	-	-	-	99.9	100.0
(迫)	市組織の再編成	回答数	2	-	-	-	1,372	1,374
		構成比	0.1	-	-	-	99.9	100.0
(迫)	松戸のイメージ、景観の改善	回答数	18	4	-	-	1,352	1,374
		構成比	1.3	0.3	-	-	98.4	100.0



選 択 項 目			今後の重要度					
			重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	全体
(迫)	若者の活動・交流の場	回答数	3	1	-	-	1,370	1,374
		構成比	0.2	0.1	-	-	99.7	100.0
(迫)	歩きタバコの規制、マナー向上のための条例	回答数	7	-	-	-	1,367	1,374
		構成比	0.5	-	-	-	99.5	100.0
(迫)	行政と市民の対話の場	回答数	7	3	-	-	1,364	1,374
		構成比	0.5	0.2	-	-	99.3	100.0
(迫)	サークル、文化的活動、市民交流の場	回答数	3	5	1	-	1,365	1,374
		構成比	0.2	0.4	0.1	-	99.3	100.0
(迫)	その他	回答数	21	5	-	1	1,347	1,374
		構成比	1.5	0.4	-	0.1	98.0	100.0

問6 少子高齢化が進み、社会保障関係に必要となる経費が年々増えており、それ以外に活用できる経費は、限られてきています。

今後の松戸市の都市基盤について、限られた財源の中で、どのようなところに重点的に投資すべきだと思いますか。(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. 学校、市民センター、図書館等の公共施設の耐震などを含めたメンテナンス	298	21.7
2. 新たな公共施設の建設(例：生涯学習会館、音楽ホールなど)	57	4.1
3. 日常、通勤・通学・買い物などに行くときに利用する生活道路の整備	407	29.6
4. 車でスムーズに移動するための幹線道路の整備	76	5.5
5. 水と親しめる河川環境の整備や、街路樹や公園などの整備	238	17.3
6. 既存の樹林地など緑地の保全	152	11.1
7. その他	103	7.5
無回答	43	3.1
全体	1,374	100.0

問7 子どもを取り巻く環境が複雑化、多様化している現在、子どもの教育は、学校・家庭・地域が、それぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携して行われることが重要であると言われていています。子どもの成長に必要なと思われる項目を次のように整理しました。

全ての項目について、学校・家庭・地域のそれぞれが一定の役割を担うものとは思いますが、あなたは、それぞれの選択項目について、学校・家庭・地域のうち最も重要な役割を担うべき主体は、どこだとお考えですか。

項目ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を「1～3」の中から、それぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

選 択 項 目		学校が 主に 担うべき	家庭が 主に 担うべき	地域が 主に 担うべき	無回答	全 体	
(ア)	基礎基本（読み、書き、計算など）の定着を始めとした確かな学力を身につけること	回答数	1,185	139	7	43	1,374
		構成比	86.2	10.1	0.5	3.1	100.0
(イ)	集団生活を営むために必要なルールを身につけること	回答数	770	414	141	49	1,374
		構成比	56.0	30.1	10.3	3.6	100.0
(ウ)	生涯にわたって自分で学んでいくために必要な学習の仕方や意欲を身につけること	回答数	574	654	90	56	1,374
		構成比	41.8	47.6	6.6	4.1	100.0
(エ)	自らの心身の健康を育むための知識や方法を身につけること	回答数	201	997	127	49	1,374
		構成比	14.6	72.6	9.2	3.6	100.0
(オ)	生活習慣や善悪の判断など規範意識の基盤をつくること	回答数	86	1,170	78	40	1,374
		構成比	6.3	85.2	5.7	2.9	100.0
(カ)	社会生活を営み、人との交流を広げるために必要な態度やコミュニケーション能力を身につけること	回答数	371	364	588	51	1,374
		構成比	27.0	26.5	42.8	3.7	100.0
(キ)	放課後や休日に、子どもたちが安心して活動できる安全な居場所を見つけること	回答数	104	151	1,076	43	1,374
		構成比	7.6	11.0	78.3	3.1	100.0
(ク)	通常の教育カリキュラムの他に、様々な年齢や性別、国籍の人などと多様な体験をすること	回答数	362	91	865	56	1,374
		構成比	26.3	6.6	63.0	4.1	100.0

## ■対象者属性

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. 女 性	747	54.4
2. 男 性	610	44.4
無回答	17	1.2
全 体	1,374	100.0

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. 20～24歳	52	3.8
2. 25～29歳	76	5.5
3. 30～34歳	131	9.5
4. 35～39歳	123	9.0
5. 40～44歳	117	8.5
6. 45～49歳	97	7.1
7. 50～54歳	117	8.5
8. 55～59歳	161	11.7
9. 60～64歳	147	10.7
10. 65～69歳	141	10.3
11. 70～74歳	119	8.7
12. 75～79歳	62	4.5
13. 80歳以上	28	2.0
無回答	3	0.2
全 体	1,374	100.0

F 3 あなたの主な職業をお答えください。(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. 会社員	428	31.1
2. 公務員（教員、団体職員などを含む）	64	4.7
3. 自営業（農業を含む）	104	7.6
4. アルバイトやパートなどの臨時雇用	192	14.0
5. 学 生	17	1.2
6. その他	40	2.9
7. 専業主婦	299	21.8
8. 無 職	222	16.2
無回答	8	0.6
全 体	1,374	100.0

(F3で1～6のいずれかをお答えの方に)

F3-1 あなたの勤務地または通学地をお答えください。(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. 自宅	73	8.6
2. 松戸市内 (自宅を除く)	222	26.3
3. 千葉県内 (松戸市を除く)	141	16.7
4. 東京都内	355	42.0
5. 埼玉県・茨城県	23	2.7
6. その他	14	1.7
無回答	17	2.0
全 体	845	100.0

F4 松戸市にお住まいになって通算何年になりますか (○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. 生まれてからずっと松戸市に住んでいる	78	5.7
2. 1年未満	23	1.7
3. 1年以上5年未満	131	9.5
4. 5年以上10年未満	150	10.9
5. 10年以上15年未満	121	8.8
6. 15年以上20年未満	107	7.8
7. 20年以上	759	55.2
無回答	5	0.4
全 体	1,374	100.0

F5 あなたの家族構成をお答えください。(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. ひとり世帯	137	10.0
2. 夫婦のみの世帯	331	24.1
3. 二世帯世帯 (親と子)	772	56.2
4. 三世帯世帯 (親と子と孫)	110	8.0
5. その他	19	1.4
無回答	5	0.4
全 体	1,374	100.0

F6 同居家族のなかに中学生以下の子どもは何人いますか。(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. いない	981	71.4
2. 1人	192	14.0
3. 2人	139	10.1
4. 3人	19	1.4
5. 4人以上	6	0.4
無回答	37	2.7
全 体	1,374	100.0

F 7 同居家族のなかに（自身を含む）65歳以上の方はいますか。（○は1つだけ）

	回答数	構成比
1. いない	851	61.9
2. いる	495	36.0
無回答	28	2.0
全 体	1,374	100.0

F 8 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる範囲について、お答えください。

（○は1つだけ）

	回答数	構成比
1. 隣近所	54	3.9
2. 町会程度	21	1.5
3. 近隣町会程度	73	5.3
4. 松戸市内程度	583	42.4
5. 千葉県内	300	21.8
6. 東京都内	286	20.8
7. その他	25	1.8
無回答	32	2.3
全 体	1,374	100.0

F 9 あなたの通勤・通学を含め、お出かけのときに利用する主な交通手段は何ですか。

（○は2つまで）

	回答数	構成比
1. 電車	856	62.3
2. バス	192	14.0
3. タクシー	18	1.3
4. 自家用車	569	41.4
5. オートバイ・スクーター	38	2.8
6. 自転車	295	21.5
7. 徒歩	168	12.2
8. その他	4	0.3
無回答	21	1.5
全 体	2,161	157.3

F10 あなたは、松戸市の地域の情報を主に何によって入手していますか。(○は2つまで)

	回答数	構成比
1. テレビ・ラジオ	177	12.9
2. 新聞・雑誌・ミニコミ誌	401	29.2
3. 広報誌(広報まつど)	935	68.0
4. ホームページ	65	4.7
5. 回覧板など各種パンフレット	435	31.7
6. 市が主催する説明会など	9	0.7
7. 町会などでの集会や会合	48	3.5
8. 近所の人や親戚の人との会話	136	9.9
9. その他	21	1.5
10. 特にない	80	5.8
無回答	3	0.2
全 体	2,310	168.1

F11 あなたにとって、松戸市は住みやすいですか。(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. 大変住みやすい	180	13.1
2. どちらからかといえば、住みやすい	965	70.2
3. どちらからかといえば、住みにくい	185	13.5
4. 大変住みにくい	36	2.6
無回答	8	0.6
全 体	1,374	100.0

F12 あなたは、今後も松戸市にお住みになりたいですか。(○は1つだけ)

	回答数	構成比
1. 今の場所に住み続けたい	795	57.9
2. 松戸市内の別の場所で住み続けたい	136	9.9
3. 松戸市内に住み続けたいが、市外に移る予定である	54	3.9
4. 市外に移りたい、または移る予定である	121	8.8
5. わからない	246	17.9
無回答	22	1.6
全 体	1,374	100.0

(F12で「1. 今の場所に住み続けたい」とお答えの方に)

F12-1 今の場所に住み続けたい理由は何ですか。(○は3つまで)

	回答数	構成比
1. 親の代から住んでいるまちだから	144	18.1
2. 隣近所との付き合いを失いたくないから	174	21.9
3. 通勤や通学に便利だから	268	33.7
4. 自然災害の心配が少ないから	229	28.8
5. 下水道や道路などの基盤が整備されているから	108	13.6
6. 緑が多く、静かな住環境に満足しているから	258	32.5
7. 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足しているから	38	4.8
8. 子育てや教育などの環境が充実しているから	13	1.6
9. 子どもの学校が変わることが困るから	56	7.0
10. 治安や防犯の心配が少ないから	48	6.0
11. 買い物や娯楽に便利なまちだから	136	17.1
12. 東京に近いから	274	34.5
13. 商売や事業を続けているため	38	4.8
14. 家賃などが安いから	39	4.9
15. 経済的な理由など、仕方がないから	95	11.9
16. その他	51	6.4
無回答	4	0.5
全体	1,973	248.1

(F12で2～4のいずれかをお答えの方に)

F12-2 別の場所に移りたい、または移る予定の理由は何ですか。(○は3つまで)

	回答数	構成比
1. 住宅や土地の価格・広さに満足できないから	78	25.1
2. 通勤や通学に不便だから	62	19.9
3. 自然災害への備え(防災)が心配だから	24	7.7
4. 下水道や道路などの基盤整備が遅れているから	28	9.0
5. 騒音などの生活環境に満足できないから	38	12.2
6. 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足できないから	40	12.9
7. 子育てや教育などの環境に満足できないから	53	17.0
8. 近所付き合いなどがわずらわしいから	18	5.8
9. 治安や防犯などが心配だから	51	16.4
10. 買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから	60	19.3
11. もっと自然の多い土地で暮らしたいから	50	16.1
12. 商売や事業を行いやすい環境ではないから	9	2.9
13. もっと家賃や土地の価格が安いところで暮らしたいから	32	10.3
14. 仕事、学校、家族の都合でやむをえない理由があるから	39	12.5
15. その他	46	14.8
無回答	22	7.1
全体	650	209.0





## Ⅲ 調査結果の分析



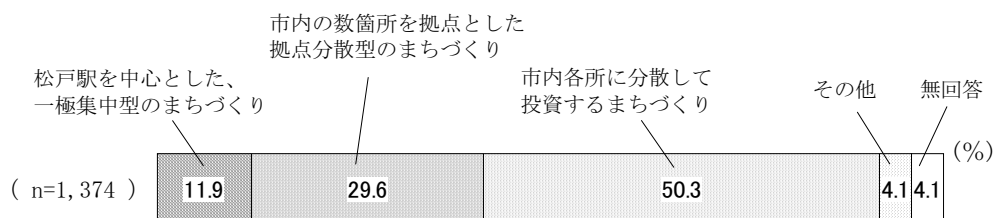
## 1. 今後のまちづくりへの希望

問1 松戸市は、水戸街道の宿場町として、また舟運交通の要衝として栄えてきました。市制を施行した昭和18年の人口は4万人程度であり、昭和30年代の半ばまでは農業主体のまちとして緩やかな人口の増加傾向をたどってきました。

その後、平成の初めまでは、首都東京の住宅需要の受け皿として、新しい市民が全国各地から移り住み、激しい人口移動と増加を繰り返してきました。今日では、人口の増加も落ち着き、人口約47万人を擁し、市内にJR、私鉄併せて23の駅を持つ全国でも有数の生活都市として成熟期平成の初めまでを迎えつつあります。

このような松戸市において、あなたが生活する上で、どのようなまちづくりを望みますか。(〇は1つだけ)

図1-1



### ■調査票での選択肢

1. 松戸駅を中心とした一帯に新たな投資を行い、自宅近くでの利便性の向上は望めないが、松戸駅周辺まで行けば、高級品の買い物、専門的な医療や特色ある教育まで大抵のサービスは受けられるような一極集中型のまちづくり
2. 市内の数箇所（たとえば、複数の路線が交差する松戸駅、新松戸駅、八柱駅など）を拠点として、新たな投資を行い、自宅近くでの利便性の向上は望めないが、市内のどこかで、高級品の買い物、専門的な医療や特色ある教育まで大抵のサービスは受けられるような拠点分散型のまちづくり
3. 東京への交通の便が良いという立地条件を生かし、高級品の買い物、専門的な医療機関や特色ある教育機関などは都心に行けば済むので、日用品の買い物や介護や育児などの日常生活に必要なサービスが、最寄り駅の近隣や通勤・通学経路などのなるべく自宅から近いところにおいて入手できるように市内各所に分散して投資するまちづくり
4. その他

松戸市のまちづくりの方向性としては、日常生活に必要なサービスを最寄り駅の近隣等のなるべく自宅に近いところにおいて入手できるための、「市内各所に分散して投資するまちづくり」が50.3%で最も多く、これに「市内の数箇所を拠点とした拠点分散型のまちづくり」が29.6%で次いでいる。

一方、「松戸駅を中心とした、一極集中型のまちづくり」を希望する人は11.9%となっている。

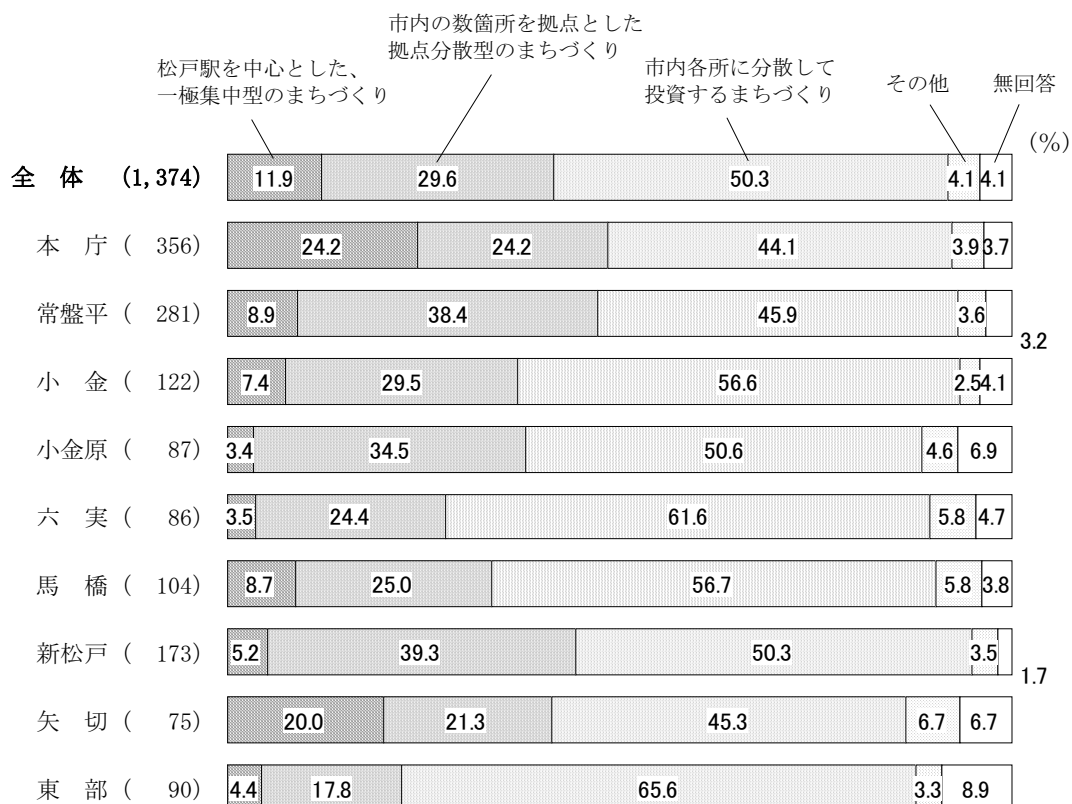
また、「その他」の意見として、〈緑や自然環境を大事にするまちづくり〉〈治安に優れ、安心して暮らせるまちづくり〉等があげられ、「一極集中型のまちづくり」を望むが高級品は必要ない、「市内各所に分散して投資するまちづくり」を望むが専門的な医療機関・特色ある教育機関などは必要、といった条件付の回答も少なくない。

地区別でみると、各地区とも「市内各所に分散して投資するまちづくり」が多くなっているが、とくに六実、東部地区では、それぞれ61.6%、65.6%と6割を超えている。

一方、本庁、矢切地区では、「松戸駅を中心とした、一極集中型のまちづくり」が、それぞれ24.2%、20.0%と、他地区よりやや多くなっている。

また、「市内の数箇所を拠点とした拠点分散型のまちづくり」については、該当箇所の常盤平、新松戸地区がそれぞれ38.4%、39.3%と多くなっている

図 1 - 2 地区別

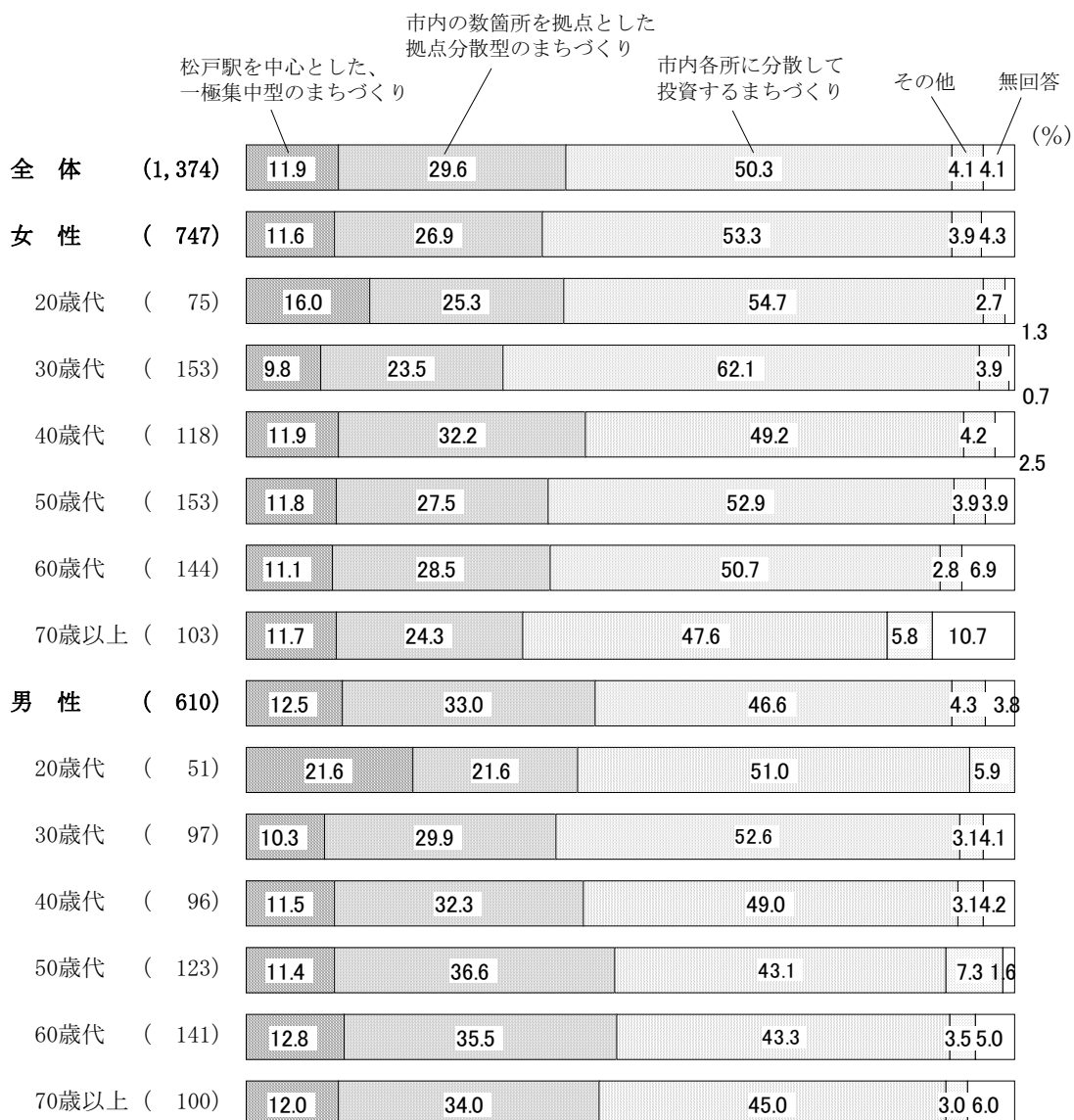


性別で見ると、「市内各所に分散して投資するまちづくり」が、女性53.3%・男性46.6%と多くなっている。

また、性・年代別で見ると、女性では、30歳代で「市内各所に分散して投資するまちづくり」が62.1%と、各年代を通じて最も多くなっている。

男性の場合、30歳代以上では、「市内の数箇所を拠点とした拠点分散型のまちづくり」がほぼ3割を超えているのに対して、20歳代では、「松戸駅を中心とした、一極集中型のまちづくり」が21.6%とかなり多くなっている。

図1-3 性別、性・年代別

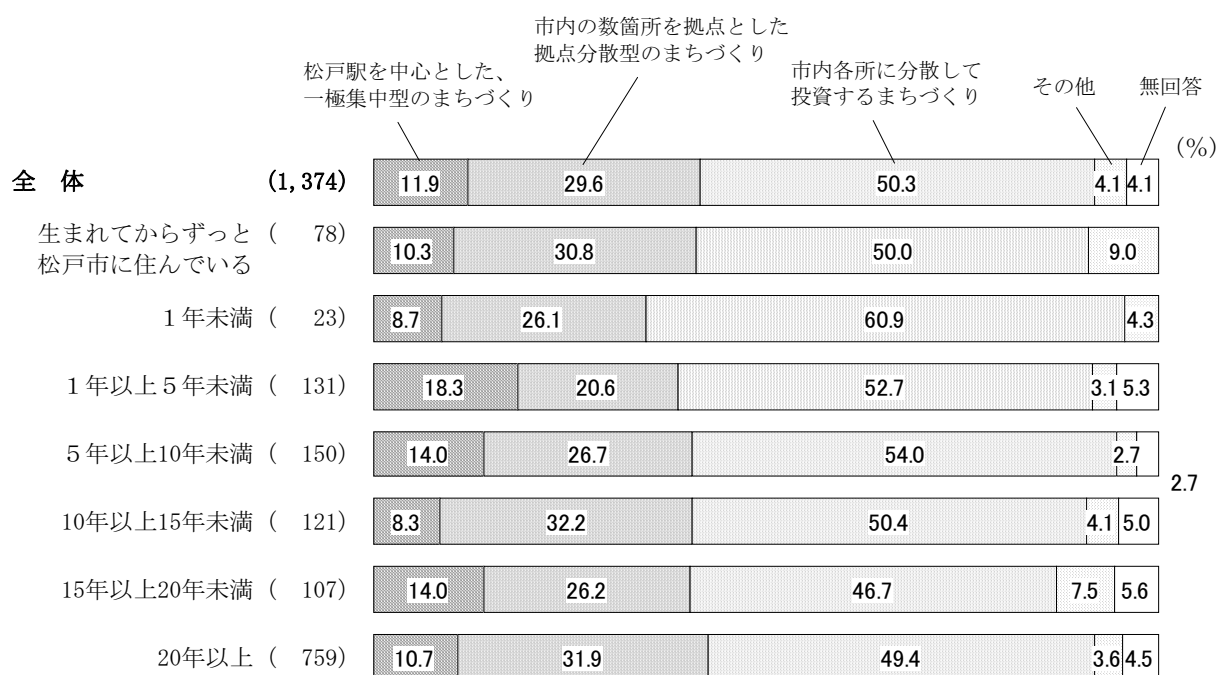


居住年数別でみると、「市内各所に分散して投資するまちづくり」がどの層でも50%前後となっており、特質するほどの差はない。

ただ、1年以上5年未満では、「松戸市を中心とした、一極集中型のまちづくり」が18.3%と約2割を占めていて、やや多くなっている。

(注)「1年未満」は、回答者数が少ないので分析ではふれていない。

図1-4 居住年数別

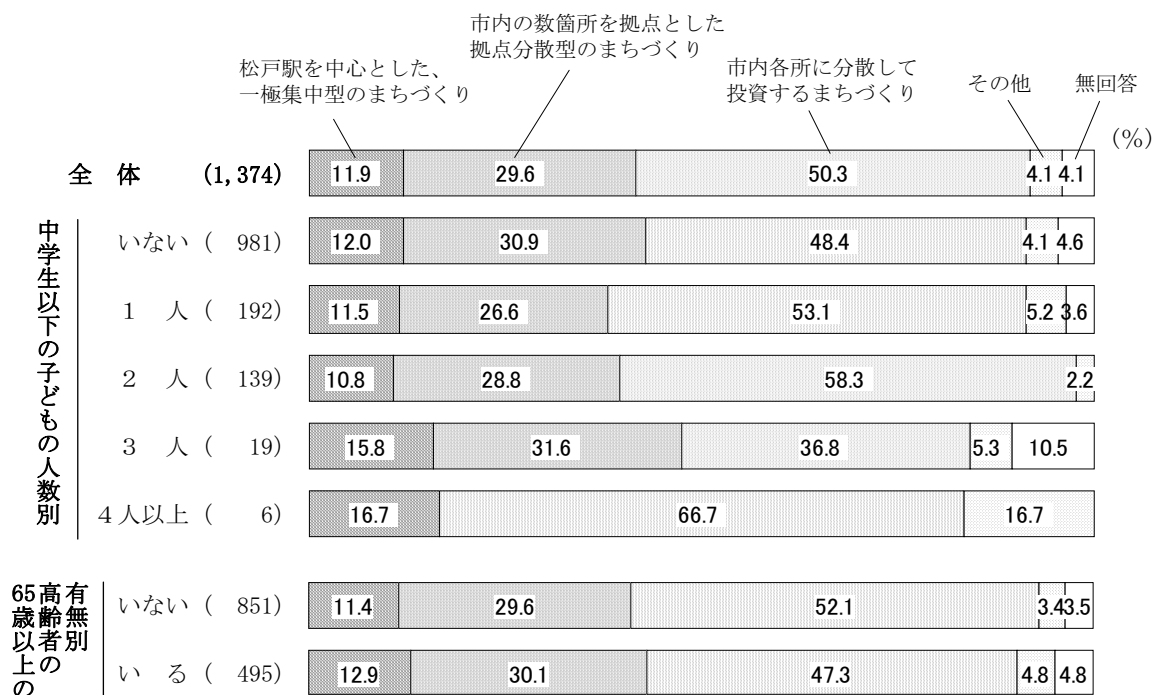


中学生以下の子どもの人数別でみると、どの層でも「市内各所に分散して投資するまちづくり」が半数前後を占め、とくに2人では58.3%と6割近くを占めている。

また、高齢者の有無別でみると、どちらも「市内各所に分散して投資するまちづくり」が5割前後を占めている。

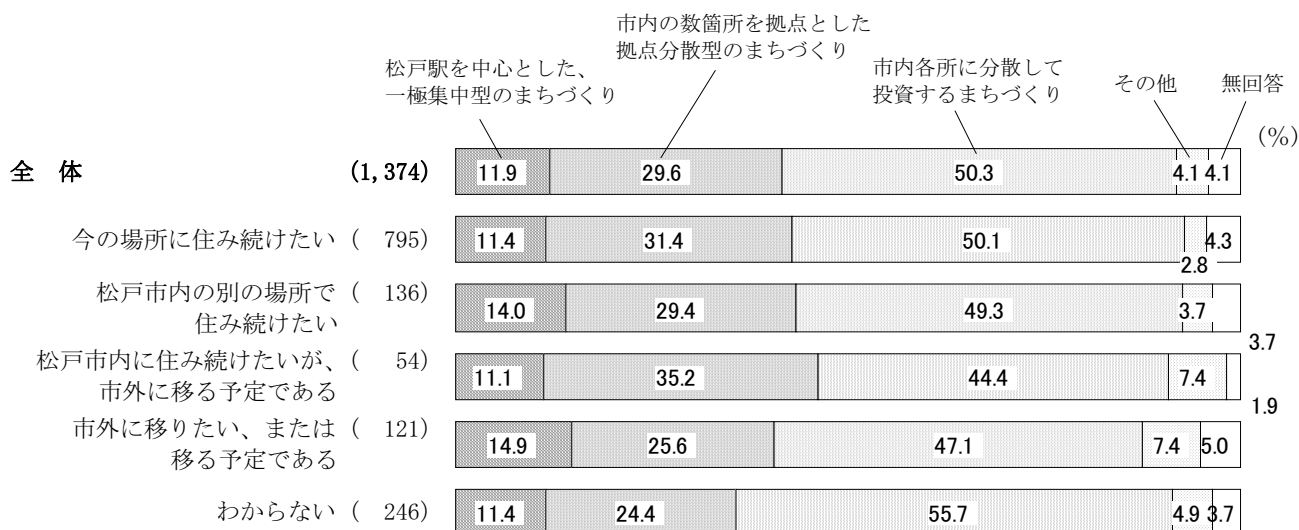
(注) 中学生以下の子どもの人数別で「3人」「4人以上」は、回答者数が少ないので分析ではふれていない。

図1-5 中学生以下の子どもの人数別／65歳以上の高齢者の有無別



定住意向別でみると、定住意向の有無にかかわらず、「市内各所に分散して投資するまちづくり」に対する希望が多くなっている。

図1-6 定住意向別

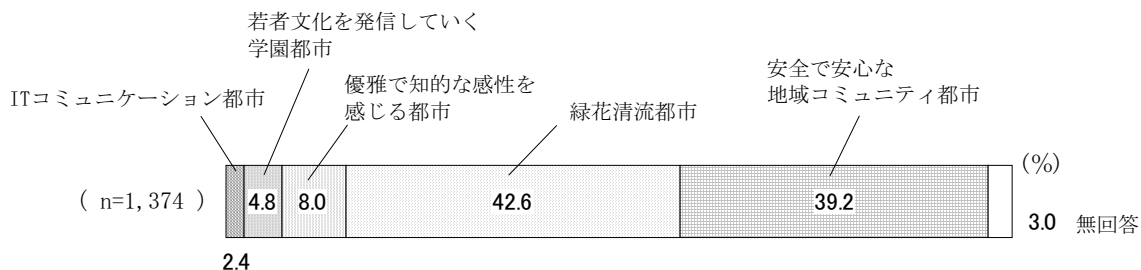


## 2. 今後のまちのイメージづくりへの希望

問2 松戸市は、都心から約20kmの位置にあり、本市の西部は江戸川を境に、東京都葛飾区などと接しています。三鷹市や川崎市とほぼ同じ距離にあり、町田市や横浜市よりは、約10km、横須賀市よりは、約30km 都心に近い距離にあります。

首都圏における立地条件は大変良いわけですが、松戸市に暮らすというブランドイメージとして、どのようなまちのイメージづくりを望みますか。(〇は1つだけ)

図2-1



### ■調査票での選択肢

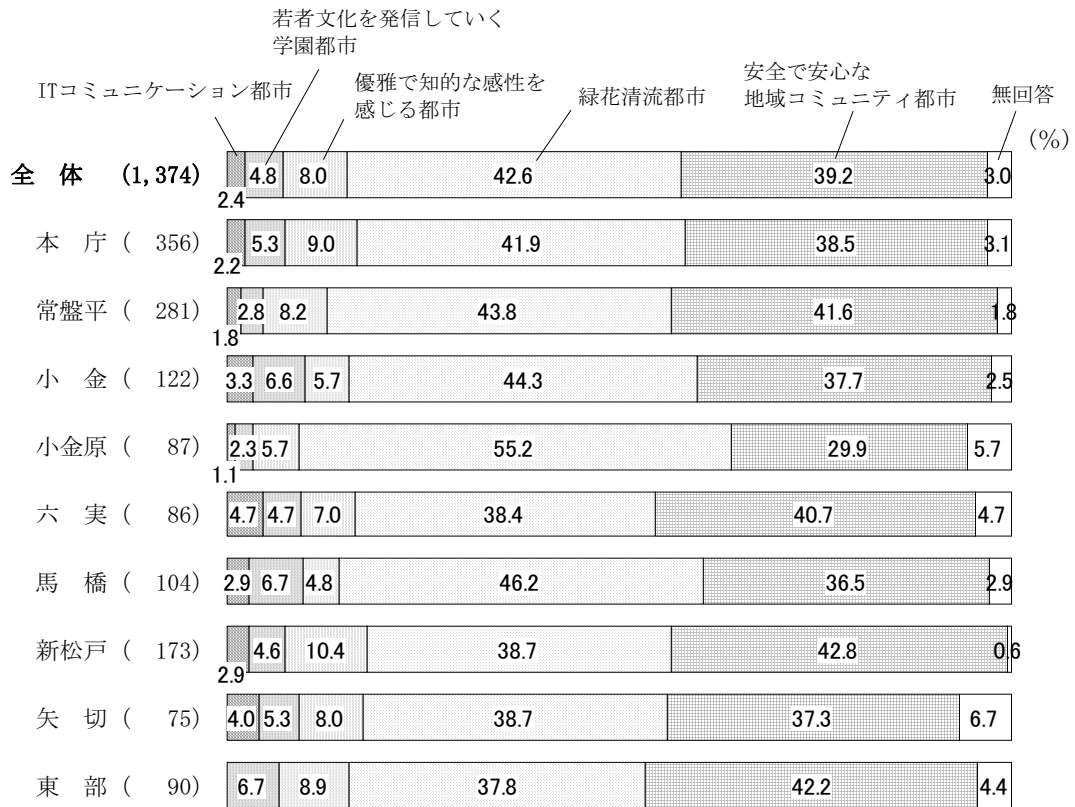
1. ITなどの最先端技術を極力利用し、東京のベッドタウンとして利便性をあくまで追求し、外出しなくても、情報や物が簡単に手に入るITコミュニケーション都市
2. 市内にある4つの大学(千葉大園芸学部、日大歯学部、聖徳大学、流通経済大学)との連携を深め、若者文化を発信していく学園都市
3. 大手百貨店や高級ブランド店が並び、ショッピングなどが楽しめる優雅で知的な感性を感じる都市
4. 新たな開発よりも、自然や緑、歴史や文化など松戸がそもそも持っている良さを活かした緑花清流都市
5. 近隣に住んでいる人の顔がわかり、知らない人や子どもにも気軽に声かけられる安全で安心な地域コミュニティ都市

松戸市に暮らすというブランドイメージとしては、「緑花清流都市」(42.6%)と「安全で安心な地域コミュニティ都市」(39.2%)の二つのイメージが、とくに多くなっている。



地区別でみると、小金、小金原、馬橋地区では、いずれも「緑花清流都市」が、「安全で安心な地域コミュニティ都市」を大きく上回っており、とくに、小金原地区では「緑花清流都市」が55.2%と過半数を占めている。また逆に、六実、新松戸、東部の3地区のみで、「安全で安心な地域コミュニティ都市」が若干ではあるが上回っている。

図 2-2 地区別

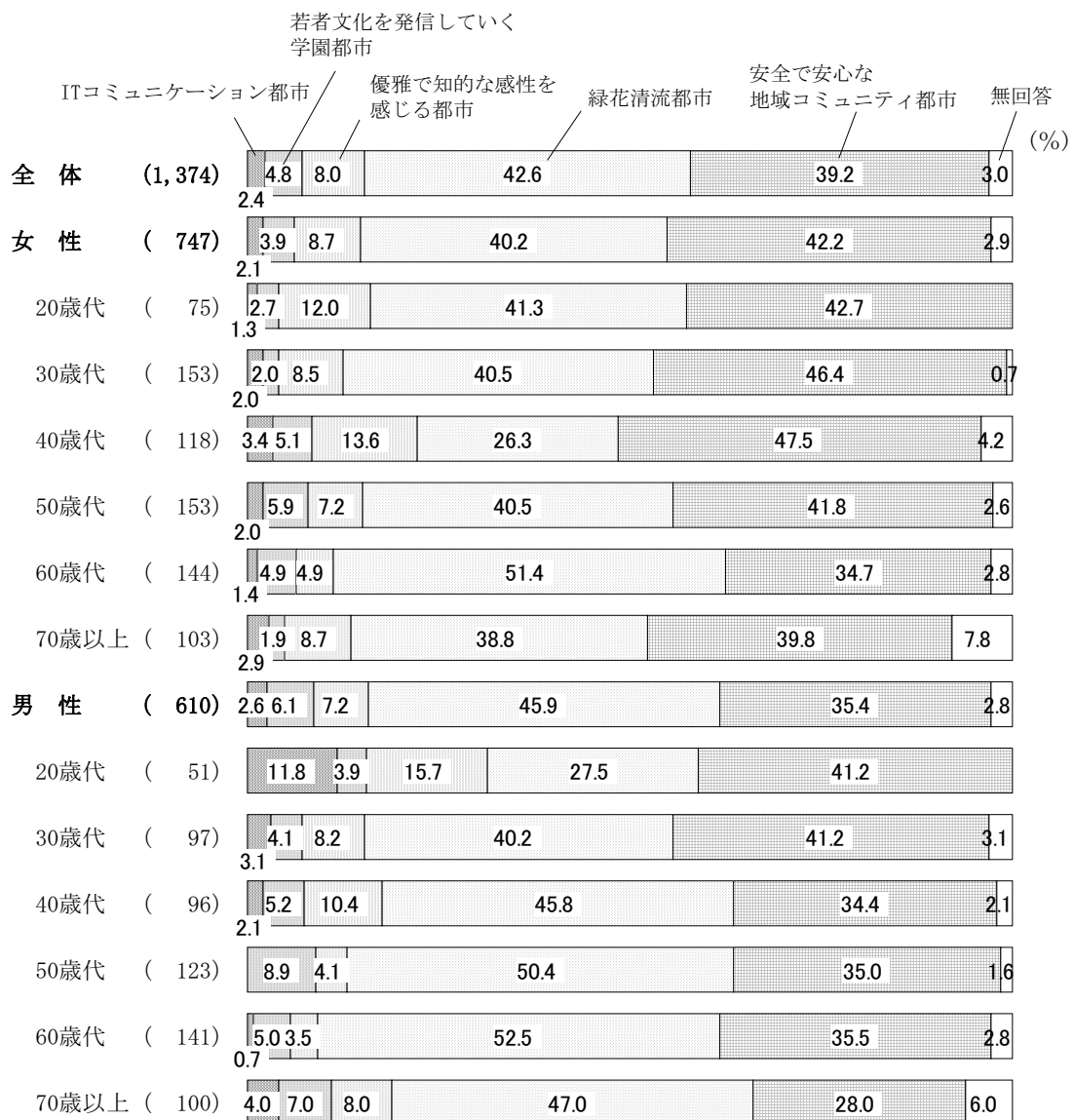


性別で見ると、男性の場合、「緑花清流都市」が45.9%と、「安全で安心な地域コミュニティ都市」(35.4%)を10ポイント以上上回っているのに対して、女性では、両者はほぼ拮抗している。

また、性・年代別で見ると、女性の場合、40歳代では、「安全で安心な地域コミュニティ都市」が47.5%と、「緑花清流都市」(26.3%)を大きく上回っているのに対して、60歳代では「緑花清流都市」(51.4%)への期待が高く、年代差が明確にあらわれている。

男性の場合、40歳代以上では、「緑花清流都市」への期待が高いが、20歳代では27.5%と、他の年代より低く、かわって「優雅で知的な感性を感じる都市」(15.7%)と「ITコミュニケーション都市」(11.8%)がかなり多くなっており、この年代では松戸市に求めるイメージが多様化していることがわかる。

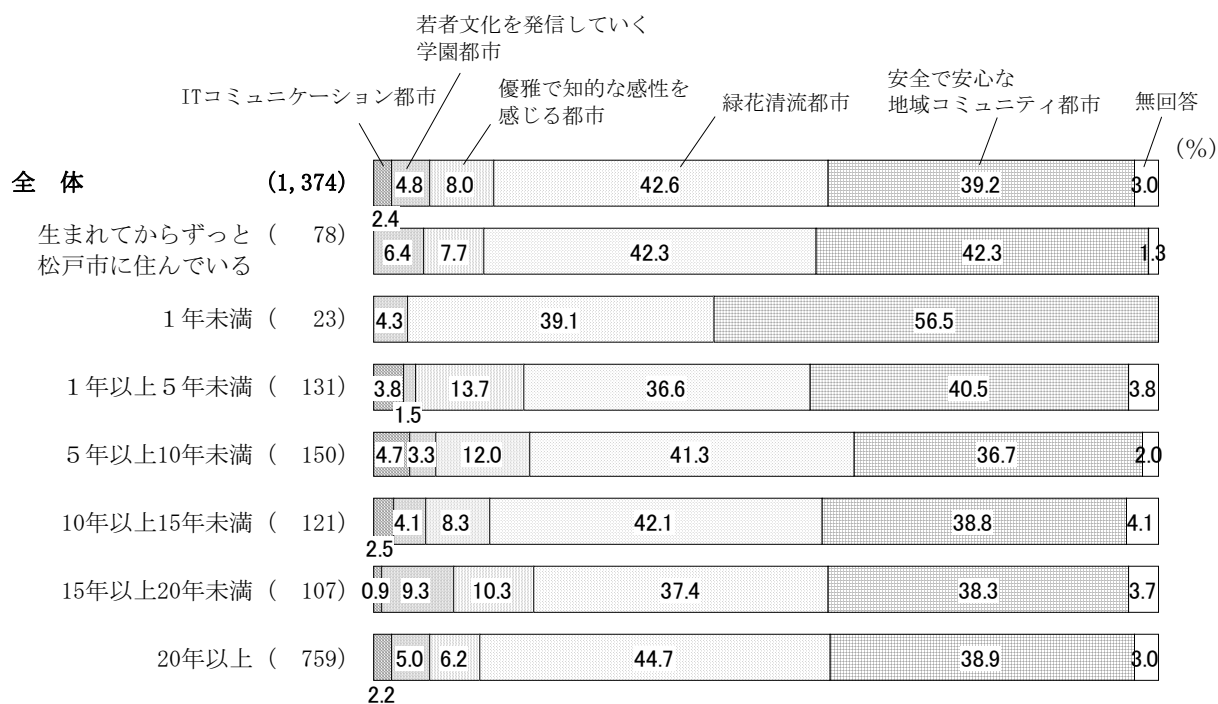
図 2-3 性別、性・年代別



居住年数別でみると、年数にかかわらず、「緑花清流都市」と「安全で安心な地域コミュニティ都市」に分かれている。

(注)「1年未満」は、回答者数が少ないので分析ではふれていない。

図2-4 居住年数別

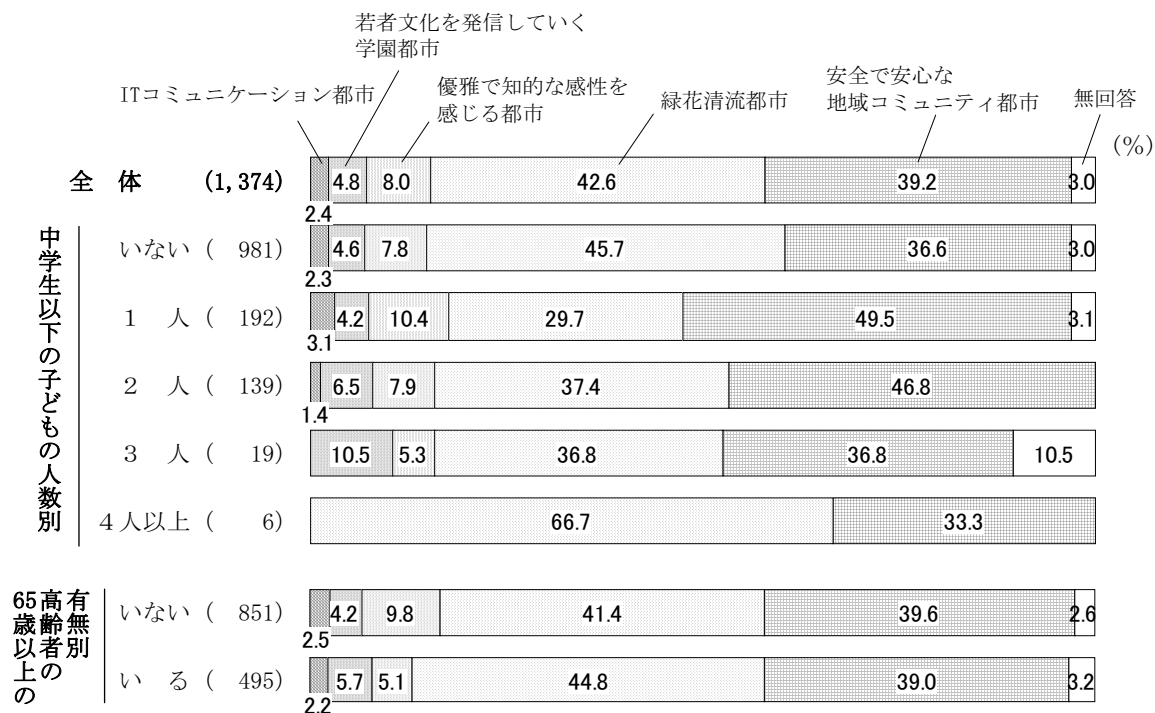


中学生以下の子どもの人数別でみると、いない人では「緑花清流都市」が45.7%、1人・2人では「安心で安全な地域コミュニティ都市」が、それぞれ49.5%・46.8%と多くなっている。

また、高齢者の有無別では、いる人では「緑花清流都市」が44.8%と、やや多くなっている。

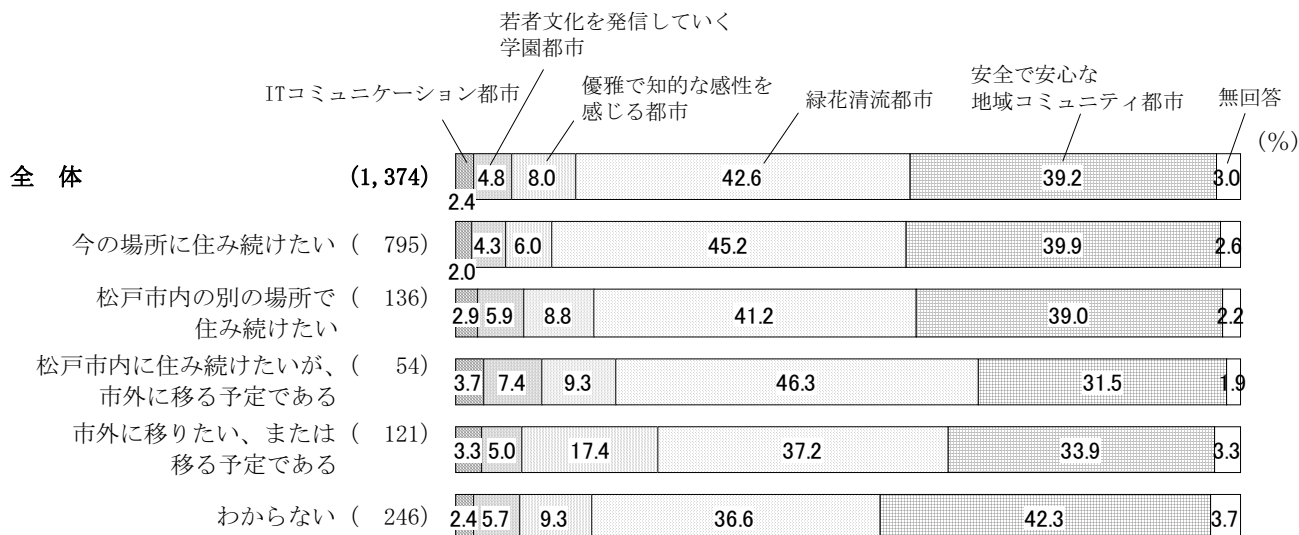
(注) 中学生以下の子どもの人数別で「3人」「4人以上」は、回答者数が少ないので分析ではふれていない。

図2-5 中学生以下の子どもの人数別／65歳以上の高齢者の有無別



定住意向別でみると、今の場所に住み続けたい、という層では「緑花清流都市」が45.2%と、「安全で安心な地域コミュニティ都市」(39.9%)を上回っている。

図2-6 定住意向別



### 3. 行政サービスの提供のあり方として相応しい方法

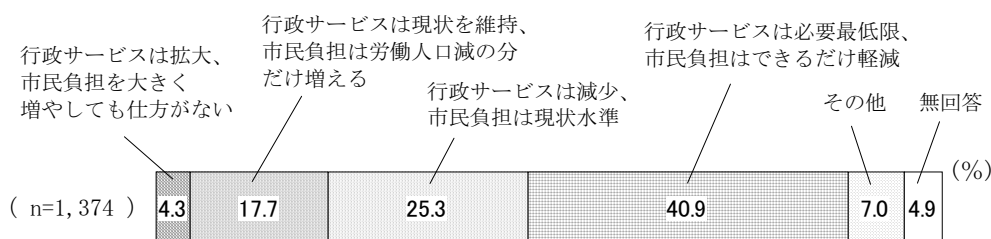
問3 平成17（2005）年は、出生数が死亡数を下回り、日本全体の人口が減少していく人口減少社会が想定より早く到来しました。これからの社会では、「税や公的保険料を負担する人が少なくなるが、税などでまかなわれる市役所のサービスを必要とする人が増える」ことが予想され、その結果、「一人一人が市役所から受けられるサービスが減る」ことが考えられます。

また、助け合いや支え合いができる地域社会が維持できなくなったり、経済活動を支える年齢層が希薄になり、平均的に生活水準が低下することも考えられます。

このような社会情勢の下での市役所など行政サービスの提供のあり方として、どのような方法が相応しいと考えますか。

なお、市役所などが行う行政サービスは、十分効率的に行われているものとしてお考えください。（〇は1つだけ）

図3-1



#### ■調査票での選択肢

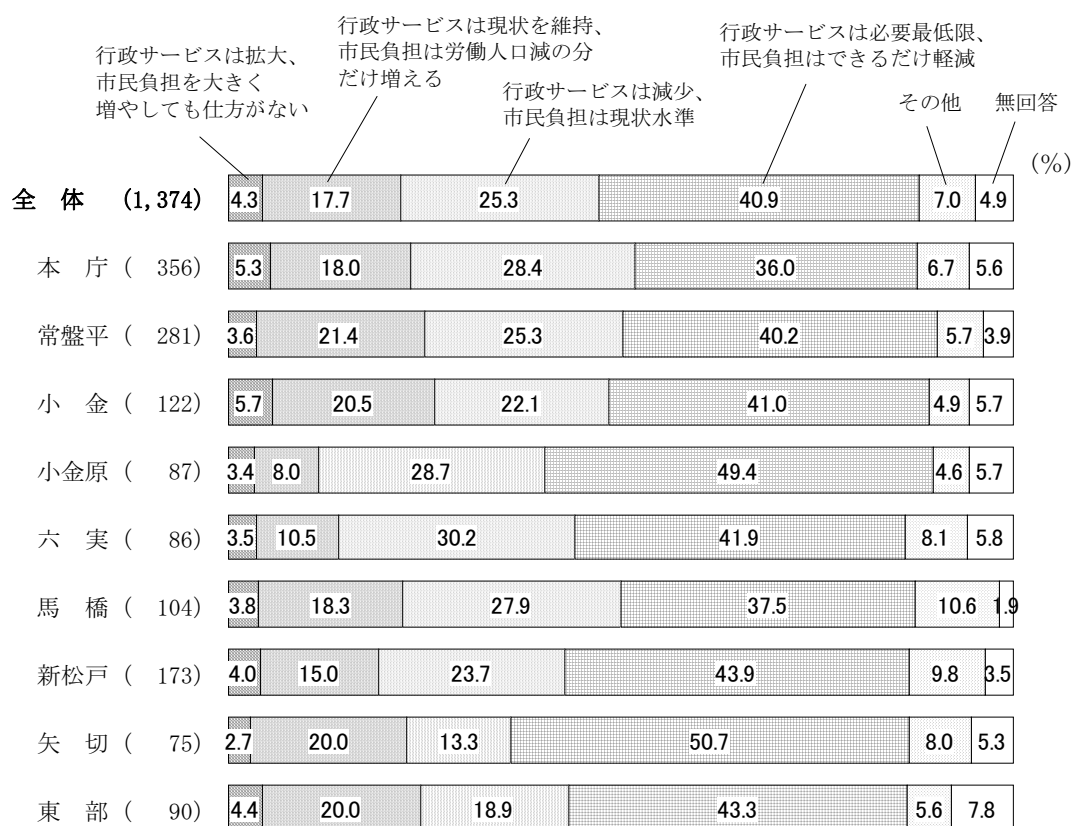
1. 高齢者などが増えることによりニーズが増えるのだから、市役所などが提供する行政サービスは拡大すべきであり、税や公的保険料の市民負担は大きく増やしても仕方がない
2. 市役所などが提供する行政サービスは現状を維持すべきであり、人口減少社会において労働人口は減るのだから、一人あたりの市民負担がその分だけ増えることは仕方がない
3. 税や公的保険料の市民負担は現状水準を維持すべきであり、労働人口が減ることによる市役所などの減収は仕方がない。市役所などが提供する行政サービスは減少させ、減少分は、市民の助け合いや、別にお金を払って、NPO・企業などの提供するサービスを購入するようにすればよい
4. 市役所などが提供する行政サービスは必要最低限とし、税や公的保険料の市民負担はできるだけ軽減すべきである。必要最低限を超える部分は、市民の助け合いや、別にお金を払って、NPO・企業などの提供するサービスを購入するようにすればよい
5. その他

行政サービスの提供のあり方として相応しい方法としては、「行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減」が40.9%で最も多く、これに「行政サービスは減少、市民負担は現状水準」が25.3%で次いでいる。また、「行政サービスは現状を維持、市民負担は労働人口減の分だけ増える」も17.7%を占めている。

一方、「行政サービスは拡大、市民負担を大きく増やしても仕方がない」は4.3%と少なくなっている。

地区別でみると、小金原、矢切地区では、「行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減」が、それぞれ49.4%・50.7%と、いずれも半数近くを占め、他地区より多くなっている。

図 3-2 地区別

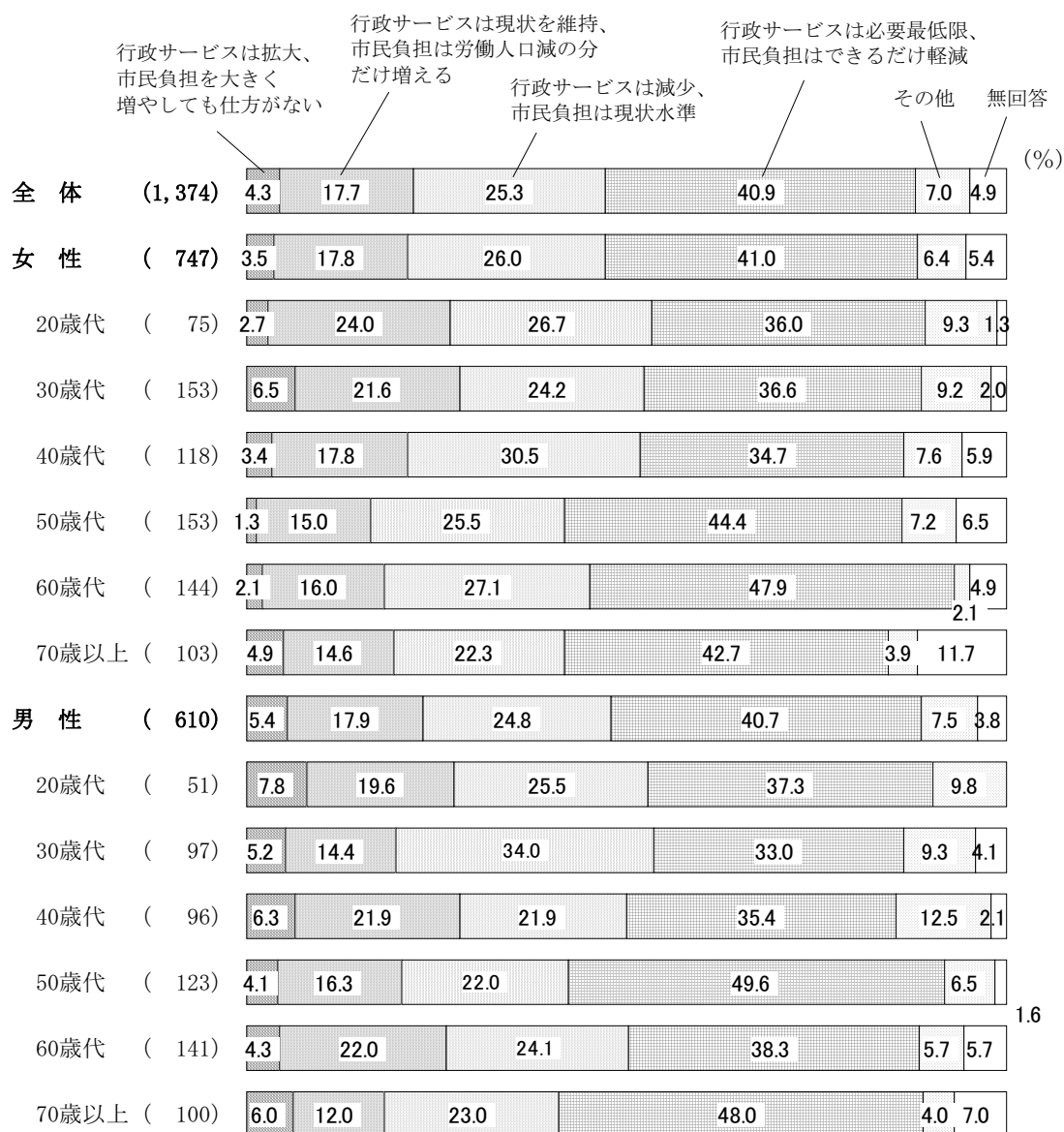


性別でみても、ほとんど男女差は認められない。

また、性・年代別でみると、女性の50歳代以上では、「行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減」が40%を超え、とくに60歳代では47.9%と半数近くを占めている。

男性の場合、50歳代・70歳以上で、「行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減」が5割近くを占めている。

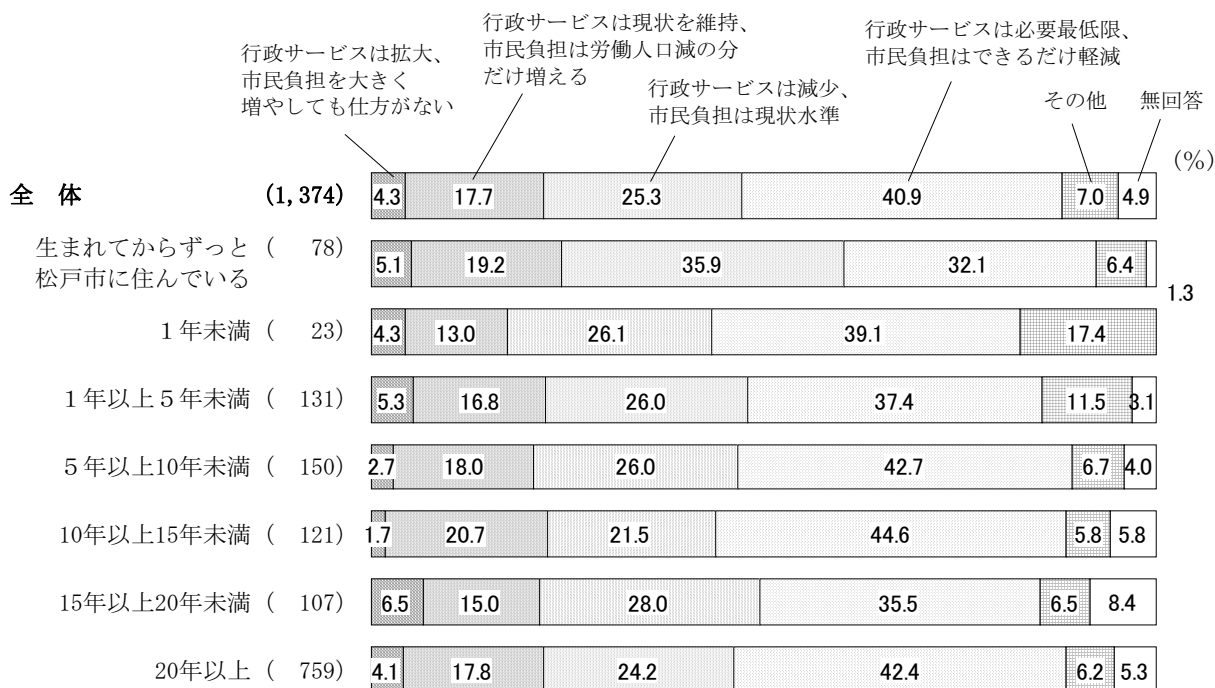
図3-3 性別、性・年代別



居住年数別でみると、生まれてからずっと松戸市に住んでいるでは「行政サービスは減少、市民負担は現状水準」と「行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減」が拮抗しているが、他の層では「行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減」が多くなっている。

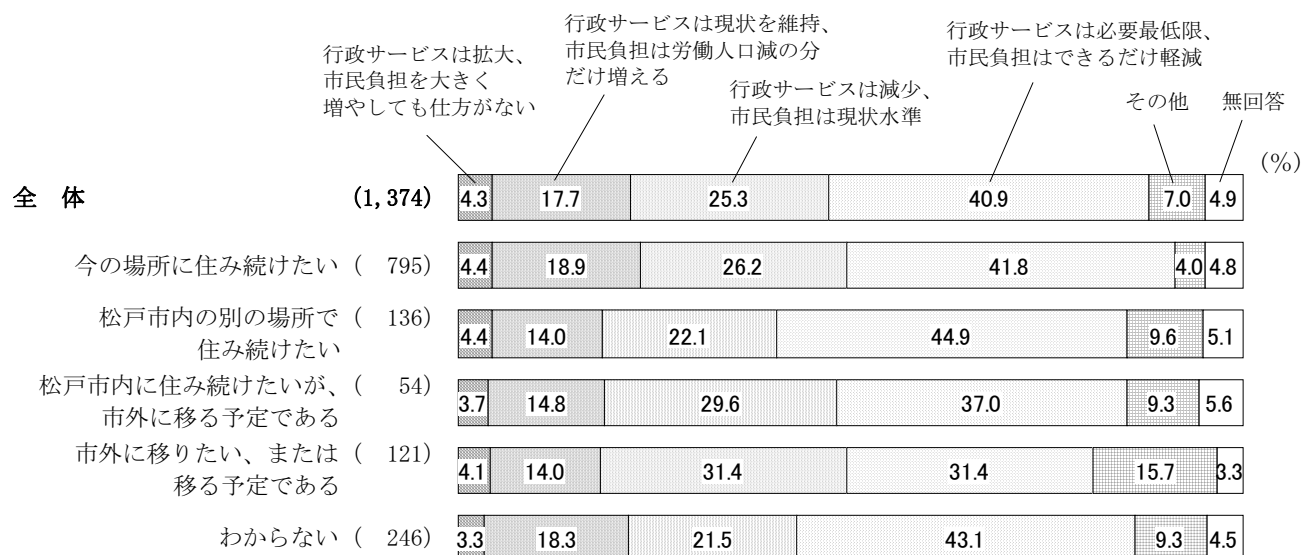
(注)「1年未満」は、回答者数が少ないので分析ではふれていない。

図3-4 居住年数別



定住意向別でみると、今の場所で住み続けたい、松戸市内の別の場所で住み続けたいでは「行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減」が、いずれも40%を超えている。

図3-5 定住意向別

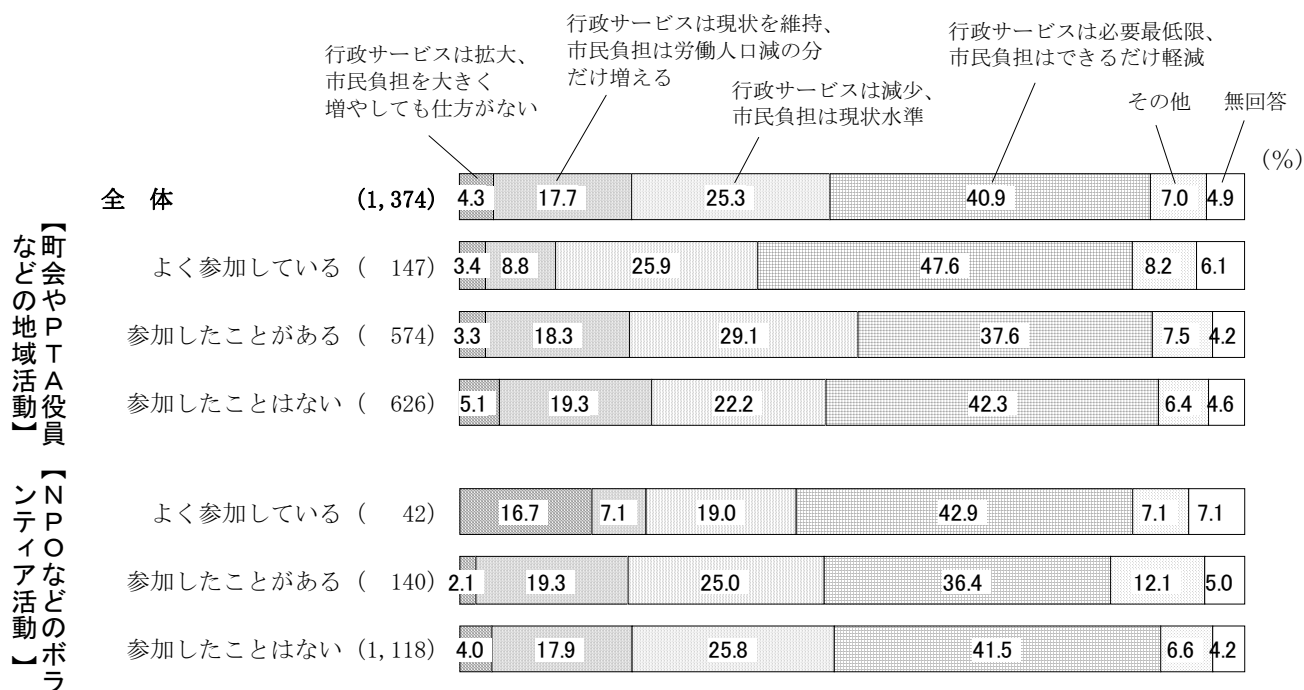




地域活動やボランティア活動等への現在の参加状況別でみると、町会やPTA役員などの地域活動に〈よく参加している〉層では、「行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減」が47.6%と、他の層よりもやや多くなっている。

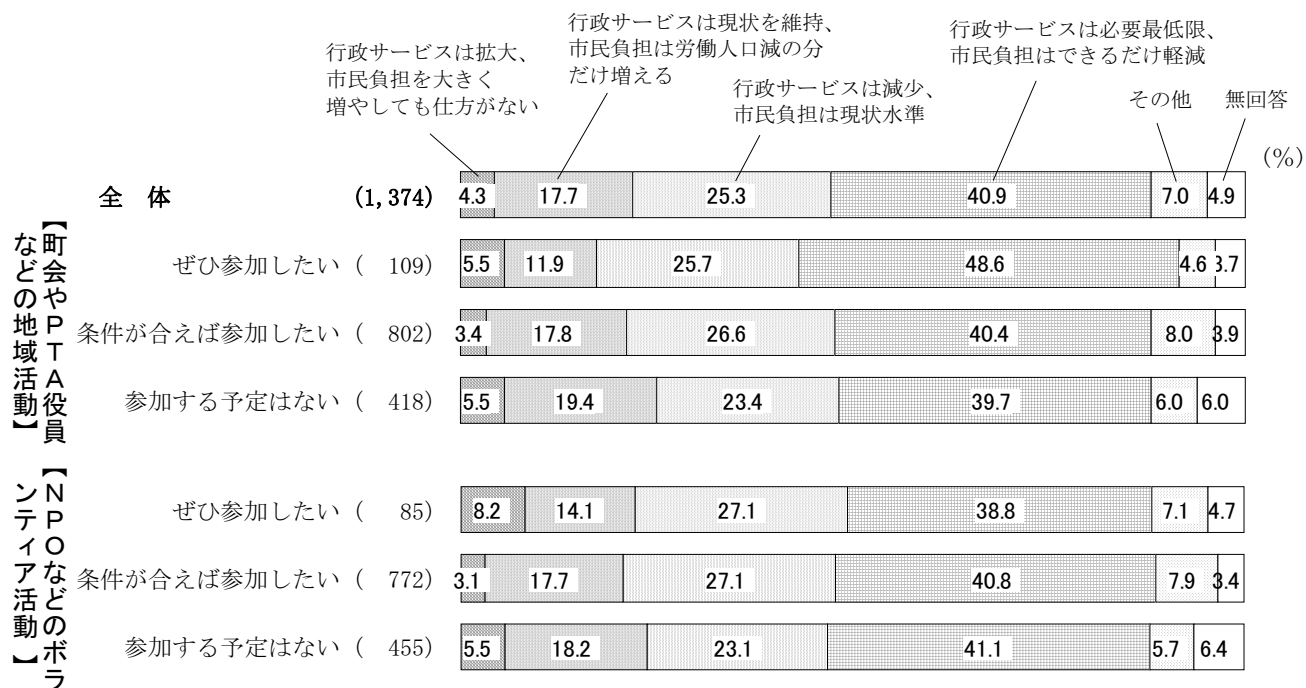
また、NPOなどのボランティア活動に〈よく参加している〉層では「行政サービスは拡大、市民負担を大きく増やしても仕方がない」が16.7%と2割近くを占めている点が特徴的である。

図3-6 地域活動やボランティア等への現在の参加状況別



地域活動やボランティア活動等への今後の参加意向別でみると、町会やPTA役員などの地域活動に〈ぜひ参加したい〉層では、「行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減」が48.6%と半数近くを占め、他の層よりも多くなっている。

図3-7 地域活動やボランティア等への今後の参加意向別



#### 4. 地域活動やボランティアへの参加状況と参加意向

問4 1998年のNPO法（特定非営利活動促進法）の施行後、NPO法人は急増し、全国で19,000を超える団体が設立されています（2004年12月現在）。人口減少社会における市民の多様化するニーズに対応するためには、市役所などの行政がサービスを全てまかなうのではなく、市民の助け合いやNPOなどの活動によってニーズを充足させていくことが期待されています。

あなたは、普段の仕事や家事、育児のほかに、町会などの地域活動やNPOなどのボランティア活動に、どの程度、参加していますか。また、今後参加してみたいと考えていますか。（〇は、現在・今後とも、アとイ、それぞれ1つずつ）

図4-1 現在の参加状況

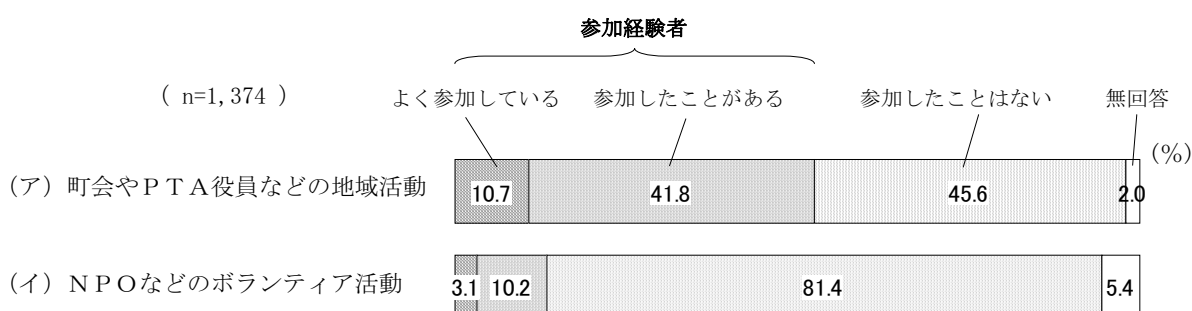
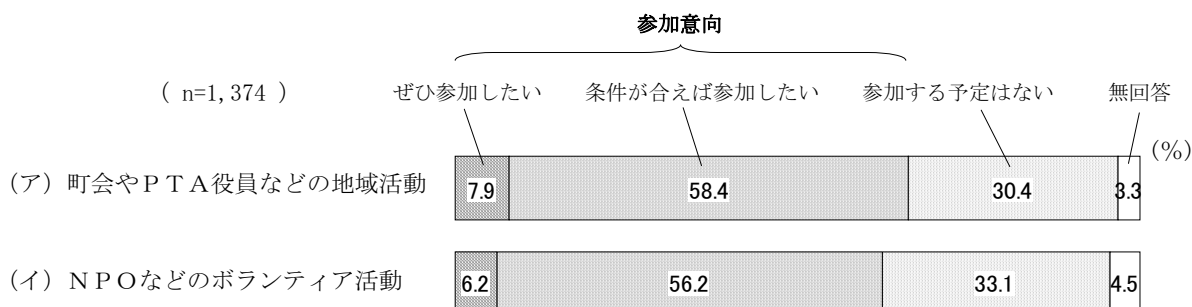


図4-2 今後の参加意向



地域活動やボランティアへの参加状況を見ると、〈町会やPTA役員などの地域活動〉に「よく参加している」人は10.7%で、これに「参加したことがある」(41.8%)を合わせた『参加経験者』は52.5%と過半数を占めている。

〈NPOなどのボランティア活動〉に「よく参加している」人は3.1%で、これに「参加したことがある」(10.2%)を合わせた『参加経験者』は13.3%を占めている。

また、それぞれの今後の参加意向を見ると、〈町会やPTA役員などの地域活動〉については、「ぜひ参加したい」が7.9%で、これに「条件が合えば参加したい」(58.4%)を合わせた『参加意向』は66.3%を占めている。

〈NPOなどのボランティア活動〉に「ぜひ参加したい」人は6.2%で、これに「条件が合えば参加したい」(56.2%)を合わせた『参加意向』は62.4%を占めている。

現在の参加状況を地区別で見ると、〈町会やPTA役員などの地域活動〉では、常盤平、新松戸、矢切地区で、「よく参加しているが」が他の地区よりやや多くなっており、とくに新松戸では『参加経験者』は60.7%を占めている。

また、〈NPOなどのボランティア活動〉では、常盤平、小金、東部地区で、『参加経験者』がやや多くなっている。

図4-3 地区別 現在の参加状況



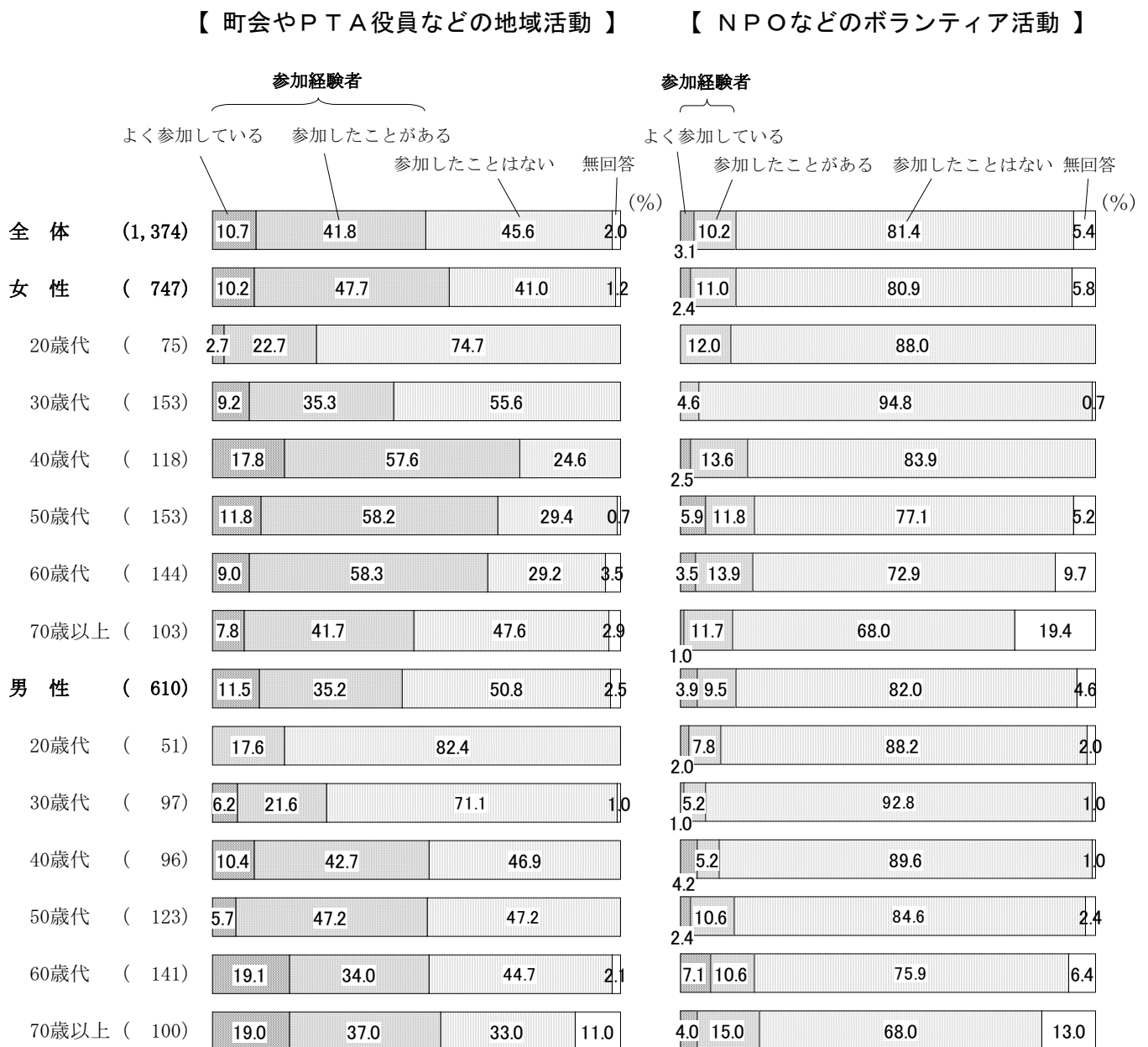
さらに、現在の参加状況を、性別、性・年代別で見ると、〈町会やPTA役員などの地域活動〉では、女性の『参加経験者』が57.9%と、男性(46.7%)を上回っている。

女性では、40歳代で「よく参加している」が17.8%を占め、参加経験者は75.4%に達している。また、男性の60歳代・70歳以上で、「よく参加している」が、それぞれ19.1%・19.0%を占めている。

〈NPOなどのボランティア活動〉では、「よく参加している」が男性3.9%・女性2.4%、『参加経験者』となると男女とも13.4%と、ほとんど男女差はない。

また、女性50歳代・男性60歳代で、「よく参加している」が、それぞれ5.9%・7.1%と他の年代よりやや多くなっている。

図4-4 性別、性年代別 現在の参加状況

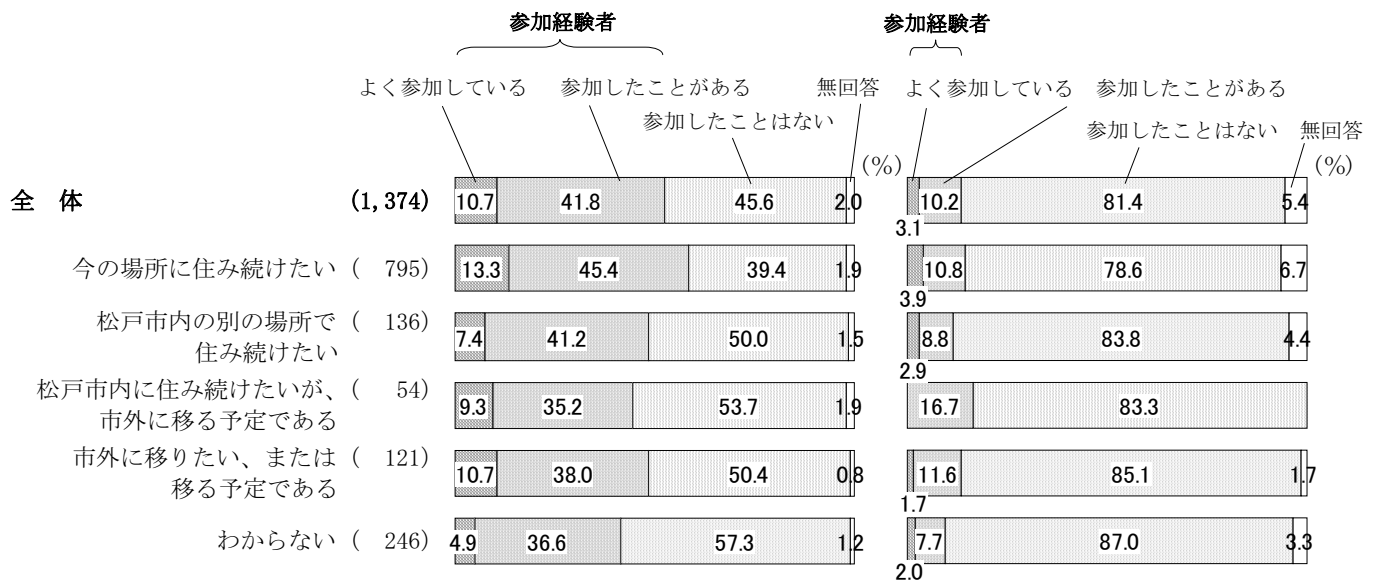


〈町会やPTA役員などの地域活動〉については、今の場所に住み続けたい人で、「よく参加している」『参加経験者』とも、他の層よりやや多くなっている。

〈NPOなどのボランティア活動〉については、今の場所に住み続けたい、松戸市内に住み続けたいが、市外に移る予定である、という人で、やや『参加経験者』が多くなっている。

図4-5 定住意向別 現在の参加状況

【町会やPTA役員などの地域活動】 【NPOなどのボランティア活動】



今後の参加意向を地区別でみると、〈町会やPTA役員などの地域活動〉では、常盤平で、「ぜひ参加したい」が11.4%と最も多く、これに「条件が合えば参加したい」(58.7%)を合わせた、『参加意向』は70.1%を占めており、新松戸(71.1%)、東部(70.0%)とともに、他の地区よりやや多くなっている。

〈NPOなどのボランティア活動〉では、小金原で、「ぜひ参加したい」(8.0%)は最も多いが『参加意向』になると52.8%で最も少なくなるという特異な傾向が出ている。

図4-6 地区別 今後の参加意向



さらに、今後の参加意向を、性別、性・年代別でみると、〈町会やPTA役員などの地域活動〉では、「ぜひ参加したい」が女性6.2%・男性10.3%、『参加意向』は男女とも66.7%となっている。

また、男性の場合、50歳代以上では、「ぜひ参加したい」が10%を超えているほか、50歳代・60歳代では『参加意向』も7割前後を占めている。

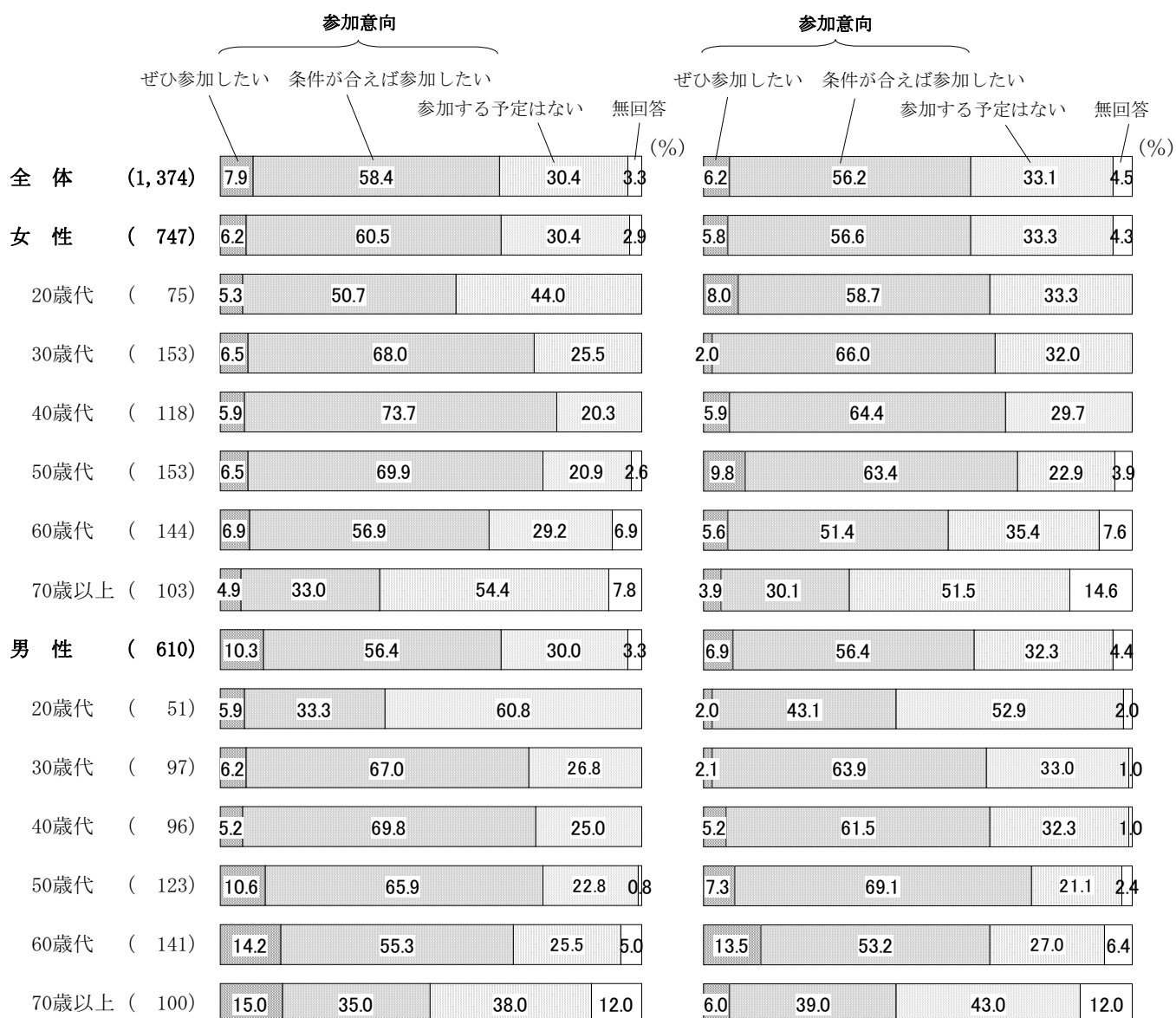
〈NPOなどのボランティア活動〉では、「ぜひ参加したい」が女性5.8%・男性6.9%、『参加意向』は女性62.4%・男性63.3%となっており、ほとんど男女差はない。

女性の場合、40歳代・50歳代で、男性の場合、50歳代で、『参加意向』が70%を超えている。

図4-7 性別、性・年代別 今後の参加意向

【 町会やPTA役員などの地域活動 】

【 NPOなどのボランティア活動 】





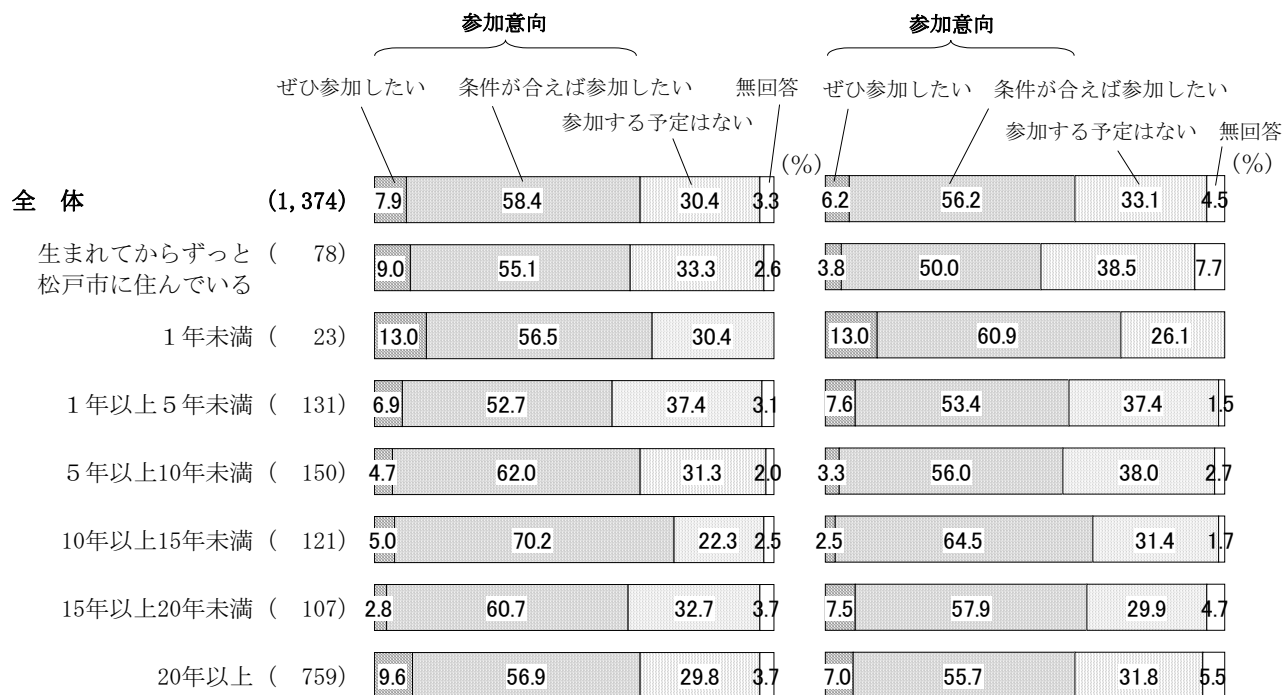
居住年数別でみると、〈町会やPTA役員などの地域活動〉については、10年以上15年未満で、『参加意向』が最も高くなっている。

〈NPOなどのボランティア活動〉についても、この層の参加意向がやや高くなっている。

(注)「1年未満」は、回答者数が少ないので分析ではふれていない。

図4-8 居住年数別 今後の参加意向

【町会やPTA役員などの地域活動】 【NPOなどのボランティア活動】

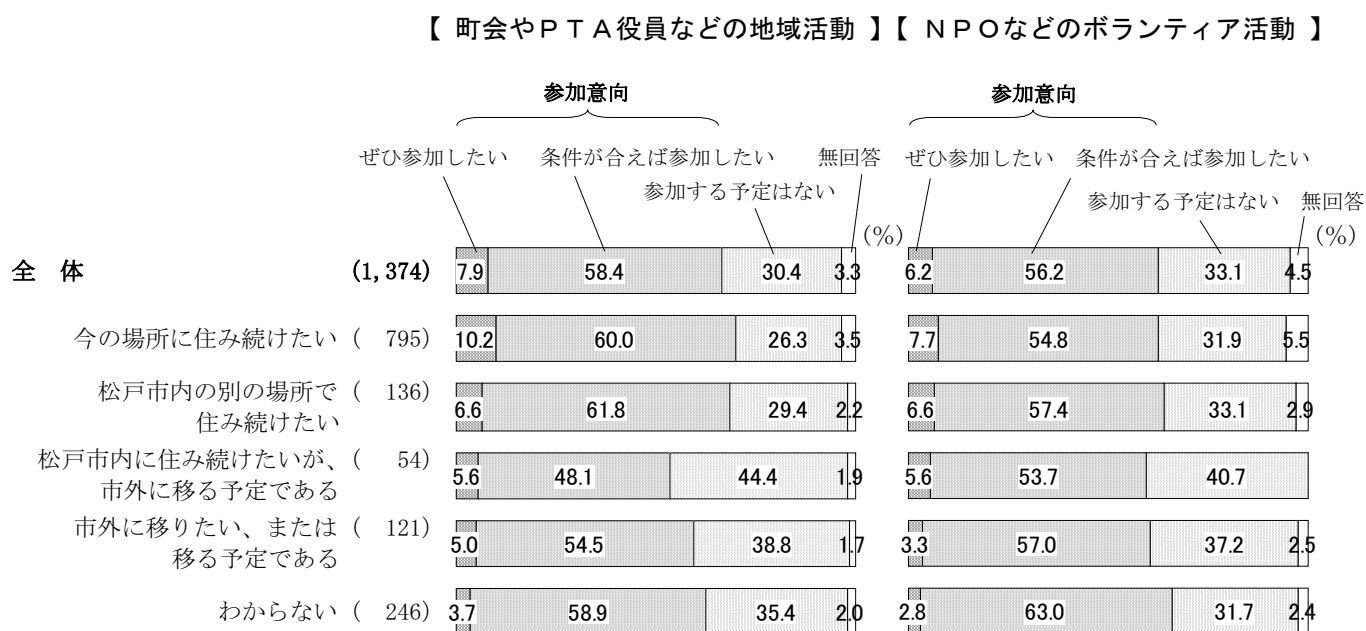


定住意向別でみると、〈町会やPTA役員などの地域活動〉については、今の場所に住み続けたいという人で、『参加意向』が最も多くなっている。

〈NPOなどのボランティア活動〉については、松戸市内の別の場所で住み続けたいという人で、『参加意向』がやや多くなっている。

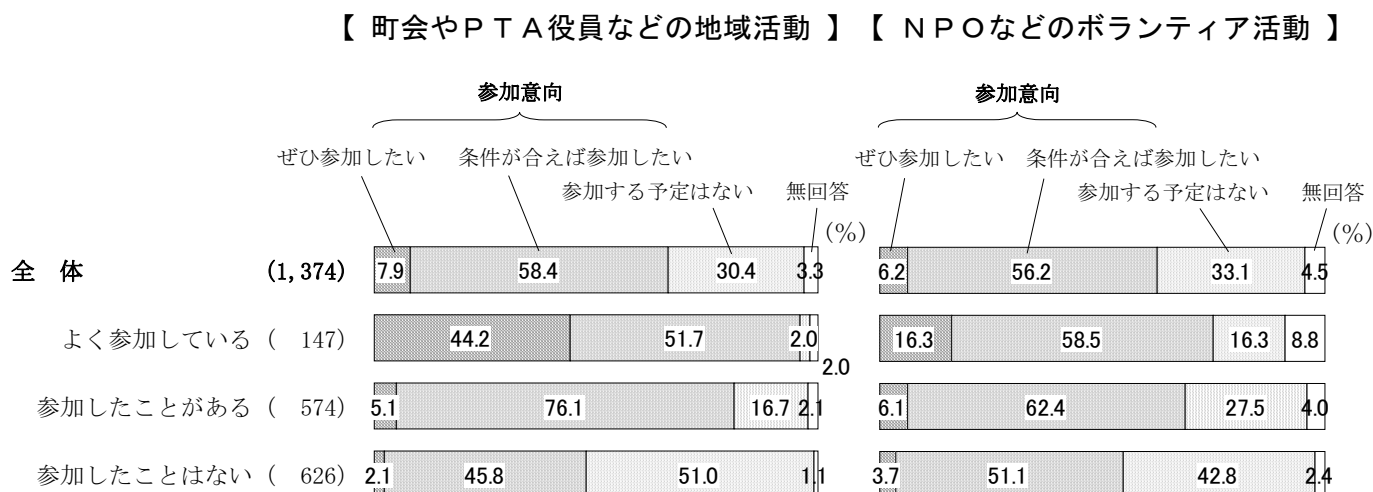
(注) わからないは分析から省いている。

図4-9 定住意向別 今後の参加意向



町会やPTA役員などの地域活動への現在の参加状況別でみると、〈よく参加している〉層では、町会やPTA役員などの地域活動に「ぜひ参加したい」が44.2%を占めているほか、NPOなどのボランティア活動についても、16.3%の人が「ぜひ参加したい」と回答している。

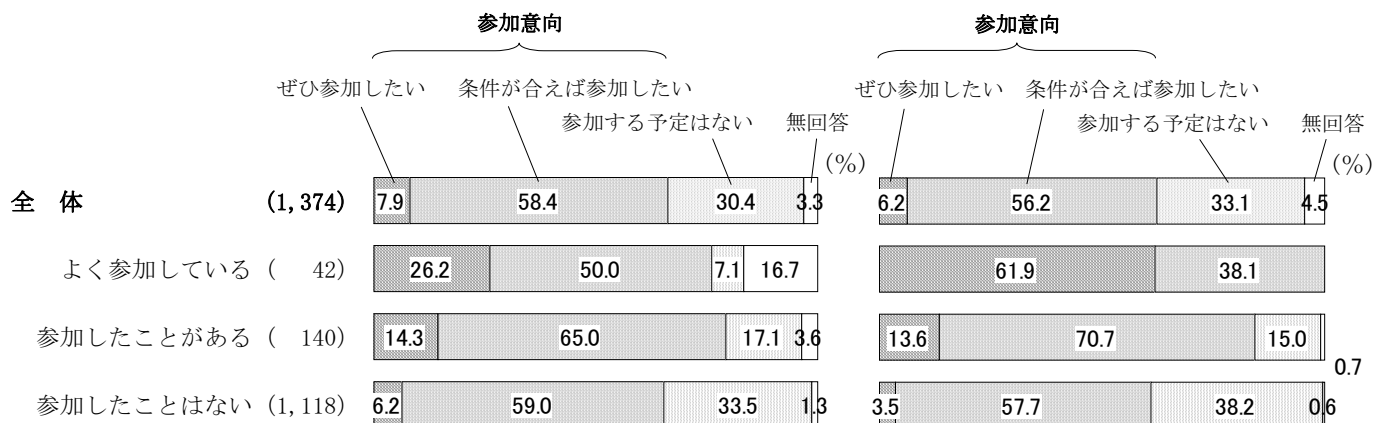
図4-10 町会やPTA役員などの地域活動への現在の参加状況別 今後の参加意向



また、NPOなどのボランティア活動への現在の参加状況別でみると、〈よく参加している〉層では、NPOなどのボランティア活動に「ぜひ参加したい」が61.9%を占めているほか、町会やPTA役員などの地域活動についても、26.2%の人が「ぜひ参加したい」と回答している。

図4-11 NPOなどのボランティア活動への現在の参加状況別 今後の参加意向

【 町会やPTA役員などの地域活動 】 【 NPOなどのボランティア活動 】

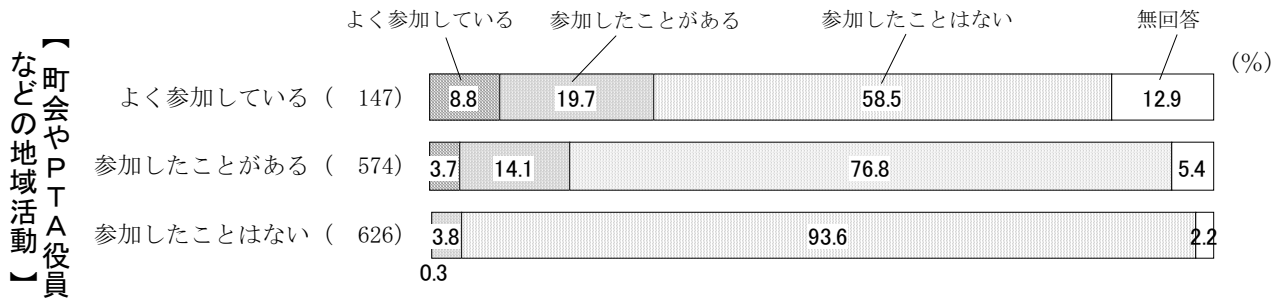


両者の参加状況の関係をみてみると、町会やPTA役員などの地域活動への参加度が高くなるほど、NPOなどのボランティア活動への参加度も高くなっている。

図4-12 町会やPTA役員などの地域活動の現在の参加状況別

NPOなどのボランティア活動の現在の参加状況

【NPOなどのボランティア活動】

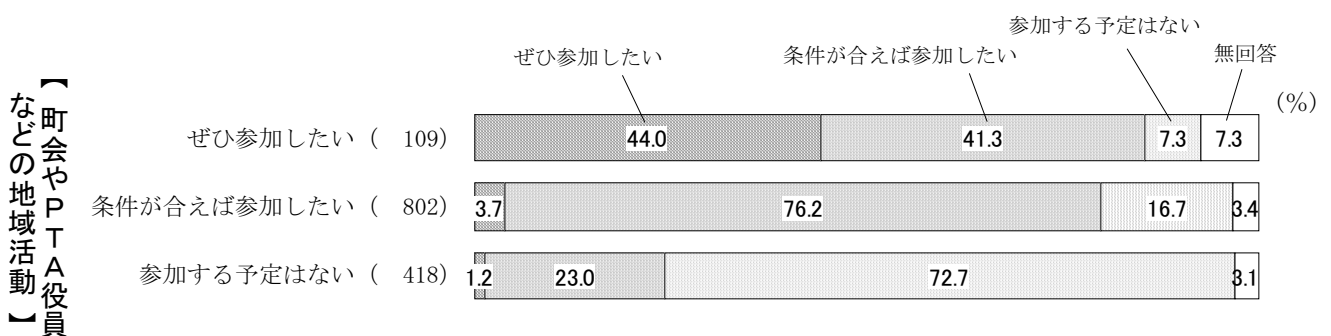


さらに、両者の参加意向の関係をみてみると、参加状況と同様に、町会やPTA役員などの地域活動への参加意向が高くなるほど、NPOなどのボランティア活動への参加意向も高くなっている。

図4-13 町会やPTA役員などの地域活動の今後の参加意向別

NPOなどのボランティア活動の今後の参加意向

【NPOなどのボランティア活動】



## 5. 現状評価と重要度

問5 松戸市が今後も発展し続けていくためには、社会・経済環境などの様々な「環境の変化」に的確に対応し、市民の皆さまのニーズが増えているところに重点的に資源配分していくことが重要と考えられます。そこで、松戸市がこうなっているとよいと思われる状態を次のように整理しました。

あなたは、それぞれの項目について、現状をどのように評価し（現状評価）、今後取り組むことがどのくらい重要（今後の重要度）だとお考えですか。松戸市に税金を納める立場として、どのようなことに税金が使われるべきかという観点でお答えください。

項目ごとに現状評価と重要度について、あなたのお考えに一番近い番号を「1～4」の中から、それぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

また、追加すべき「松戸市がこうなっているとよいと思われる状態」があれば、同じように追加し、番号に○印をつけてください。

《 図は56ページ以降を参照 》

### （1）現状評価について

24政策等の満足度は、最も高い「(ナ) いつでも安心して水道水が使えるようにする」の0.78から、最も低い「(コ) 市民一人ひとりが、災害発生時における自らの役割を自覚し、被害の軽減や復旧に向けての行動がとれるようになっていく」の-2.12の間に分布しているが、プラス評価は前述を含め4項目にとどまり、ほとんどがマイナス評価となっている。

分野別でみると、歴史・文化、自然環境、水道、医療等の面では評価が高く、災害の対応、バリアフリー、行政サービス・財政、高齢者・障害者支援の面では、厳しい評価となっている。

### （2）重要度について

24政策等の重要度は、最も高い「(カ) 地域の医療機関と役割分担し、市立病院が救命救急医療や小児医療などの充実を図っている」の3.37と、「(ケ) 市内の身近なところで、松戸の歴史や文化が感じられるようになっていく」の0.86の間に分布しており、マイナスの値を示すもの、つまり不要と思われるものはひとつもないことがわかる。

分野別でみると、医療、高齢・障害・児童等の福祉、災害時の対応、バリアフリー等のポイントが高く、歴史・文化や生涯学習・スポーツのポイントが低くなっている。

上記の評価点は、「十分に状態である（重要である）」を4点、「まあまあ状態である（まあ重要である）」を2点、「やや不十分な状態である（あまり重要ではない）」を-2点、「不十分な状態である（重要ではない）」を-4点として、各選択肢の回答者数に乘じ、無回答を除く回答者数で除したものである。回答者全員が満足（重要）であれば、平均4点、回答者全員が不満（重要でない）であれば平均-4点となる。

図5-1 現状評価

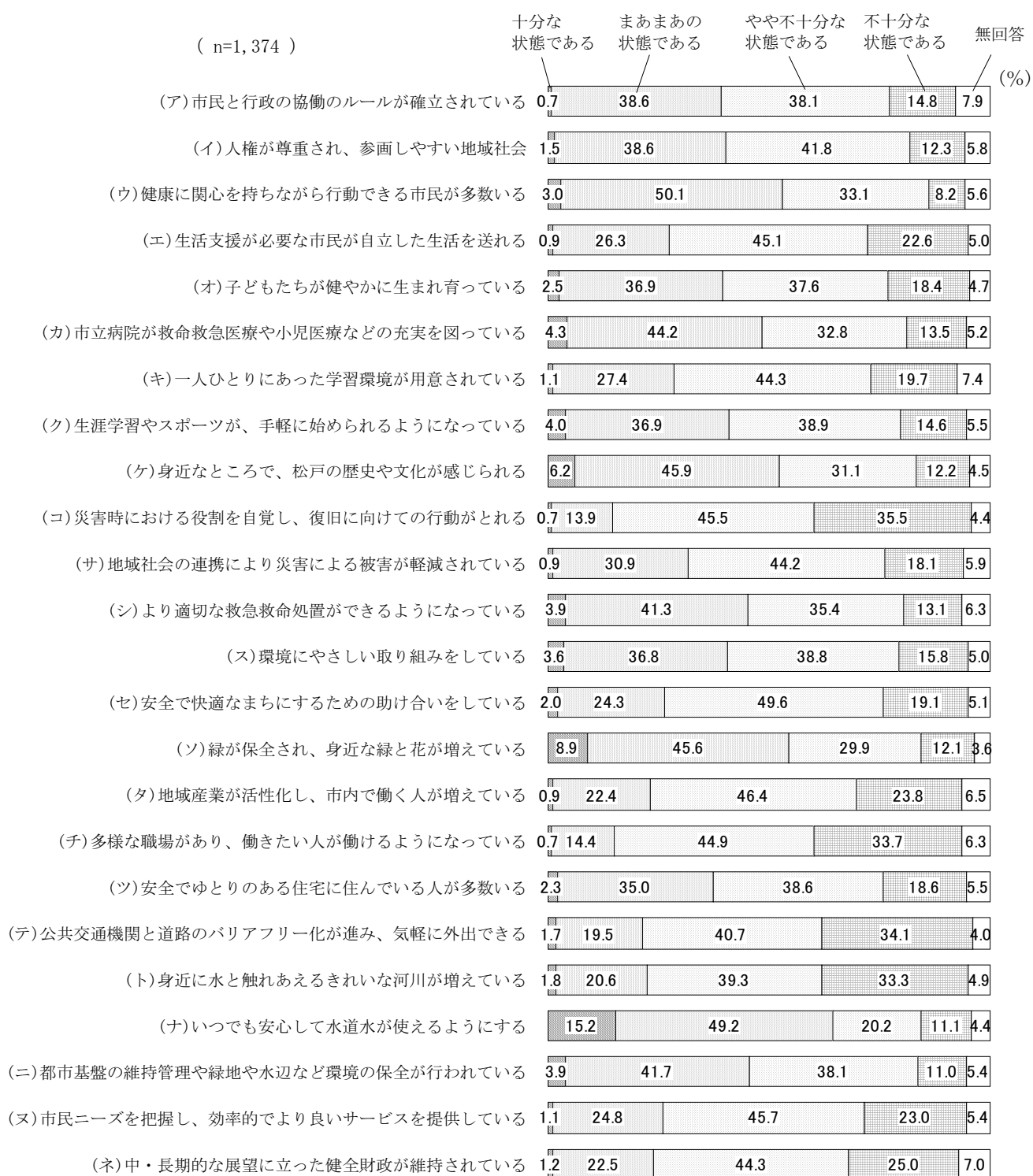


表5-1 現状評価点

選択肢		評価点
(ア)	市民と行政の協働のルールが確立されている	-0.60
(イ)	一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会になっている	-0.53
(ウ)	自らの健康に関心を持ちながら行動できる市民が多数いる	0.14
(エ)	高齢者や障害を持つ人など生活支援が必要な市民が、地域の支え合いの中で自立した生活を送れるようになっている	-1.31
(オ)	次の世代を担う子どもたちが、地域の支え合いの中で健やかに生まれ育っている	-0.68
(カ)	地域の医療機関と役割分担し、市立病院が救命救急医療や小児医療などの充実を図っている	-0.15
(キ)	家庭、地域、学校の連携により、子どもたちが将来の目標を持てるように、一人ひとりにあった学習環境が用意されている	-1.17
(ク)	生涯学習やスポーツが、手軽に始められるようになっている	-0.49
(ケ)	市内の身近なところで、松戸の歴史や文化が感じられるようになっている	0.06
(コ)	市民一人ひとりが、災害発生時における自らの役割を自覚し、被害の軽減や復旧に向けての行動がとれるようになっている	-2.12
(サ)	地域社会の連携と協働により、火災等の災害による被害が軽減されている	-1.01
(シ)	より適切な救急救命処置ができるようになっている	-0.27
(ス)	もったいない精神が浸透し、自分のできる範囲で、環境にやさしい取り組みをしている	-0.55
(セ)	「自分のまちは自分たちで守る」という意識のもと、安全で快適なまちにするための助け合いをしている	-1.25
(ソ)	緑が保全され、身近な緑と花が増えている	0.19
(タ)	地域産業が活性化し、市内で働く人が増えている	-1.49
(チ)	多様な職場が用意され、働きたい人が、働けるようになっている	-2.06
(ツ)	安全でゆとりのある住宅に住んでいる人が多数いる	-0.77
(テ)	公共交通機関と道路のバリアフリー化が進み、誰もが気軽に外出できる街並みが増えている	-1.79
(ト)	身近に水と触れあえるきれいな河川が増えている	-1.72
(ナ)	いつでも安心して水道水が使えるようにする	0.78
(ニ)	既存の都市基盤の維持管理や緑地や水辺など環境の保全が行われている	-0.22
(ヌ)	行政は市民ニーズを把握し、わかりやすい目標をたて、効率的でより良いサービスを提供している	-1.37
(ネ)	中・長期的な展望に立った健全財政が維持されている	-1.50

(注) 評価点は、「十分な状態である」を4点、「まあまあ状態である」を2点、「やや不十分な状態である」を-2点、「不十分な状態である」を-4点として、各選択肢の回答者数に乘じ、無回答を除く回答者数で除したものである。

回答者全員が満足であれば、平均4点、回答者全員が不満であれば、平均-4点となる。

図5-2 今後の重要度

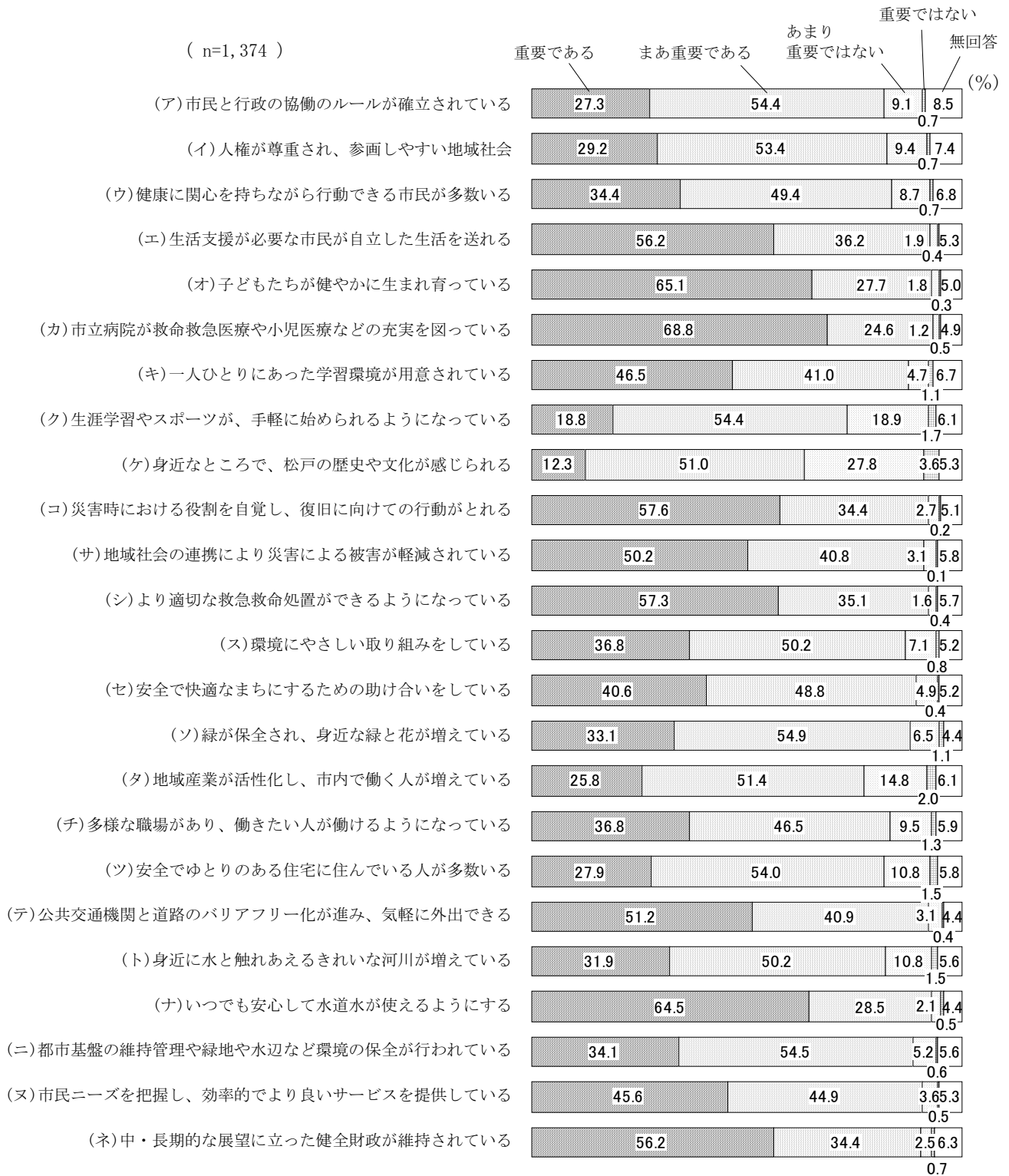




表5-2 重要度評価点

選択肢		評価点
(ア)	市民と行政の協働のルールが確立されている	2.16
(イ)	一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会になっている	2.18
(ウ)	自らの健康に関心を持ちながら行動できる市民が多数いる	2.33
(エ)	高齢者や障害を持つ人など生活支援が必要な市民が、地域の支え合いの中で自立した生活を送れるようになっている	3.08
(オ)	次の世代を担う子どもたちが、地域の支え合いの中で健やかに生まれ育っている	3.28
(カ)	地域の医療機関と役割分担し、市立病院が救命救急医療や小児医療などの充実を図っている	3.37
(キ)	家庭、地域、学校の連携により、子どもたちが将来の目標を持てるように、一人ひとりにあった学習環境が用意されている	2.73
(ク)	生涯学習やスポーツが、手軽に始められるようになっている	1.48
(ケ)	市内の身近なところで、松戸の歴史や文化が感じられるようになっている	0.86
(コ)	市民一人ひとりが、災害発生時における自らの役割を自覚し、被害の軽減や復旧に向けての行動がとれるようになっている	3.09
(サ)	地域社会の連携と協働により、火災等の災害による被害が軽減されている	2.93
(シ)	より適切な救急救命処置ができるようになっている	3.12
(ス)	もったいない精神が浸透し、自分のできる範囲で、環境にやさしい取り組みをしている	2.43
(セ)	「自分のまちは自分たちで守る」という意識のもと、安全で快適なまちにするための助け合いをしている	2.62
(ソ)	緑が保全され、身近な緑と花が増えている	2.35
(タ)	地域産業が活性化し、市内で働く人が増えている	1.79
(チ)	多様な職場が用意され、働きたい人が、働けるようになっている	2.29
(ツ)	安全でゆとりのある住宅に住んでいる人が多数いる	2.04
(テ)	公共交通機関と道路のバリアフリー化が進み、誰もが気軽に外出できる街並みが増えている	2.92
(ト)	身近に水と触れあえるきれいな河川が増えている	2.12
(ナ)	いつでも安心して水道水が使えるようにする	3.23
(ニ)	既存の都市基盤の維持管理や緑地や水辺など環境の保全が行われている	2.46
(ヌ)	行政は市民ニーズを把握し、わかりやすい目標をたて、効率的でより良いサービスを提供している	2.78
(ネ)	中・長期的な展望に立った健全財政が維持されている	3.05

(注) 評価点は、「重要である」を4点、「まあ重要である」を2点、「あまり重要ではない」を-2点、「重要ではない」を-4点として、各選択肢の回答者数に乘じ、無回答を除く回答者数で除したものである。

回答者全員が重要であれば、平均4点、回答者全員が重要でなければ、平均-4点となる。

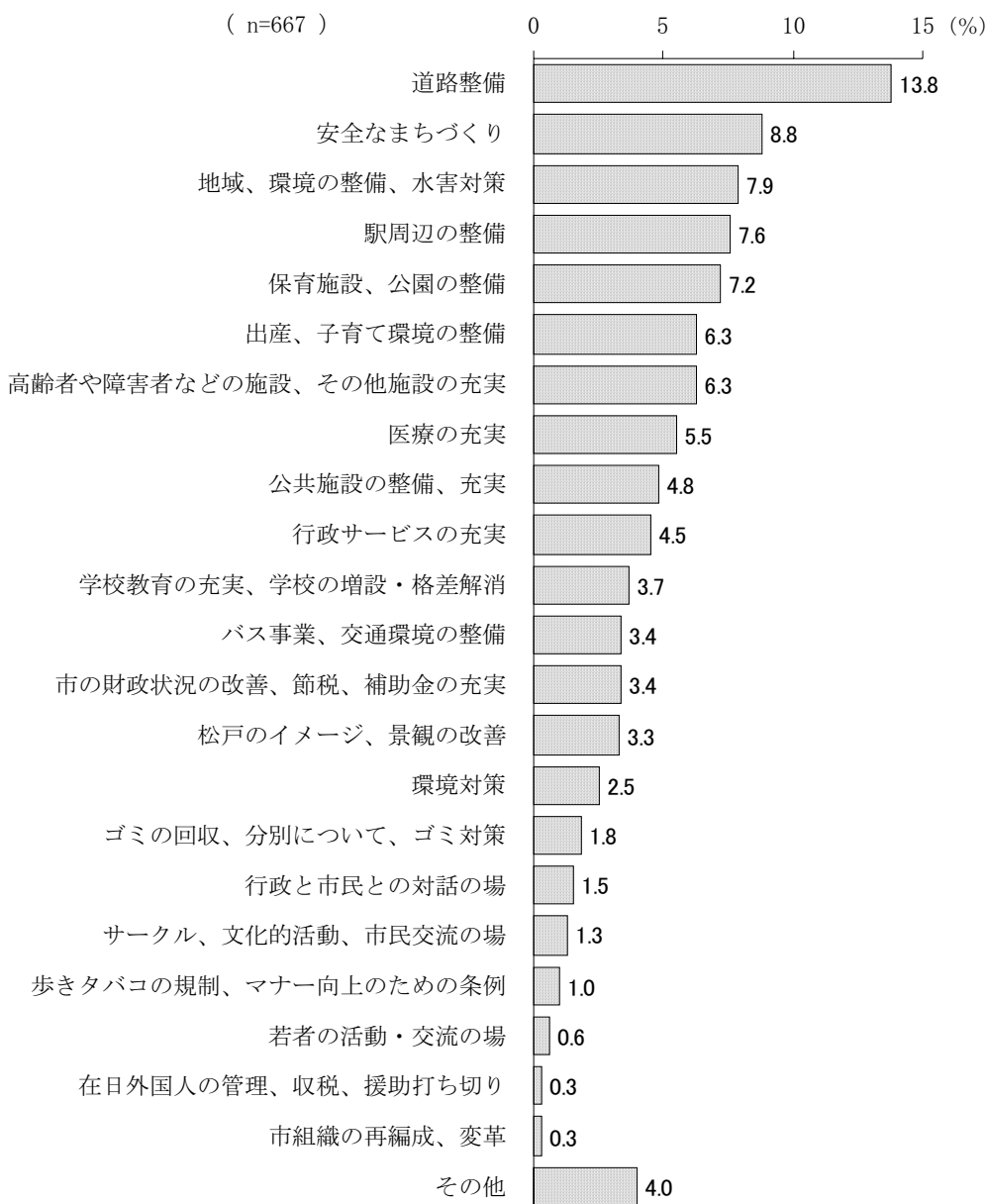
◇ 追加記入欄 ◇

項 目	回答数	構成比	現状 評価点	重要度 評価点
道路整備	92	13.8%	-3.37	3.52
安全なまちづくり	59	8.8	-3.21	3.97
地域、環境の整備、水害対策	53	7.9	-3.04	3.15
駅周辺の整備	51	7.6	-3.24	3.69
保育施設、公園の整備	48	7.2	-3.83	3.79
出産、子育て環境の整備	42	6.3	-3.38	3.90
高齢者や障害者などの施設、その他施設の充実	42	6.3	-3.10	3.85
医療の充実	37	5.5	-3.46	3.78
公共施設の整備、充実	32	4.8	-3.19	3.25
行政サービスの充実	30	4.5	-3.27	3.52
学校教育の充実、学校の増設・格差解消	25	3.7	-3.28	3.84
バス事業、交通環境の整備	23	3.4	-3.30	3.30
市の財政状況の改善、節税、補助金の充実	23	3.4	-3.09	4.00
松戸のイメージ、景観の改善	22	3.3	-3.33	3.64
環境対策	17	2.5	-2.47	3.41
ゴミの回収、分別について、ゴミ対策	12	1.8	-2.00	3.67
行政と市民との対話の場	10	1.5	-3.20	3.40
サークル、文化的活動、市民交流の場	9	1.3	-1.78	2.22
歩きタバコの規制、マナー向上のための条例	7	1.0	-3.71	4.00
若者の活動・交流の場	4	0.6	-3.50	3.50
在日外国人の管理、収税、援助打ち切り	2	0.3	-4.00	4.00
市組織の再編成、変革	2	0.3	-3.00	4.00
その他	27	4.0	-3.69	3.33
合 計	669	100.0	—	—

追加記入欄には、〈道路整備〉（追加記入総数の13.8%）、〈安全なまちづくり〉（同8.8%）、〈地域、環境の整備、水害対策〉（同7.8%）などがあげられている。

参考までに、記入数が30以上あった上位10項目の現状評価と重要度についてしてみると、現状評価では、〈保育施設、公園の整備〉が-3.83と低くなっている。また、重要度は総じて高く、〈安全なまちづくり〉（3.97）、〈出産、子育て環境の整備〉（3.90）などがとくに目立つ。

図5-3 問5の追加記入で挙げられたもの



### (3) 現状評価・重要度の散布図の分析

各施策の分布状況については、現状評価を横軸に、重要度を縦軸にとり、24項目を相対的に評価するため、各平均値を境として、4つの領域に分類した。

また、スペースの関係で、図中の項目は省略した表記を用いているが、調査票上の表記は下記のとおりである。

調査票上の選択肢		図中
(ア)	市民と行政の協働のルールが確立されている	協働
(イ)	一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会になっている	人権
(ウ)	自らの健康に関心を持ちながら行動できる市民が多数いる	健康
(エ)	高齢者や障害を持つ人など生活支援が必要な市民が、地域の支え合いの中で自立した生活を送れるようになっている	生活支援（福祉）
(オ)	次の世代を担う子どもたちが、地域の支え合いの中で健やかに生まれ育っている	子育て
(カ)	地域の医療機関と役割分担し、市立病院が救命救急医療や小児医療などの充実を図っている	市立病院
(キ)	家庭、地域、学校の連携により、子どもたちが将来の目標を持てるように、一人ひとりにあった学習環境が用意されている	学校教育
(ク)	生涯学習やスポーツが、手軽に始められるようになっている	生涯学習・スポーツ
(ケ)	市内の身近なところで、松戸の歴史や文化が感じられるようになっている	歴史・文化
(コ)	市民一人ひとりが、災害発生時における自らの役割を自覚し、被害の軽減や復旧に向けての行動がとれるようになっている	防災
(サ)	地域社会の連携と協働により、火災等の災害による被害が軽減されている	火災対策
(シ)	より適切な救急救命処置ができるようになっている	救急救命
(ス)	もったいない精神が浸透し、自分のできる範囲で、環境にやさしい取り組みをしている	環境対策
(セ)	「自分のまちは自分たちで守る」という意識のもと、安全で快適なまちにするための助け合いをしている	安全・安心
(ソ)	緑が保全され、身近な緑と花が増えている	緑花
(タ)	地域産業が活性化し、市内で働く人が増えている	産業振興
(チ)	多様な職場が用意され、働きたい人が、働けるようになっている	就業支援
(ツ)	安全でゆとりのある住宅に住んでいる人が多数いる	住宅環境
(テ)	公共交通機関と道路のバリアフリー化が進み、誰もが気軽に外出できる街並みが増えている	交通
(ト)	身近に水と触れあえるきれいな河川が増えている	河川
(ナ)	いつでも安心して水道水が使えるようにする	水道
(ニ)	既存の都市基盤の維持管理や緑地や水辺など環境の保全が行われている	都市の維持
(ヌ)	行政は市民ニーズを把握し、わかりやすい目標をたて、効率的でより良いサービスを提供している	行政サービス
(ネ)	中・長期的な展望に立った健全財政が維持されている	健全財政

## 全 体

A：現状評価が低く、重要度が高い項目

「(コ) 防災」がとくに高くなっているほか、「(テ) 交通」「(ネ) 健全財政」「(エ) 生活支援〈福祉〉」が高くなっている。

B：現状評価が高く、重要度も高い項目

「(ナ) 水道」がとくに高くなっているほか、「(カ) 市立病院」「(シ) 救命救急」が高くなっている。

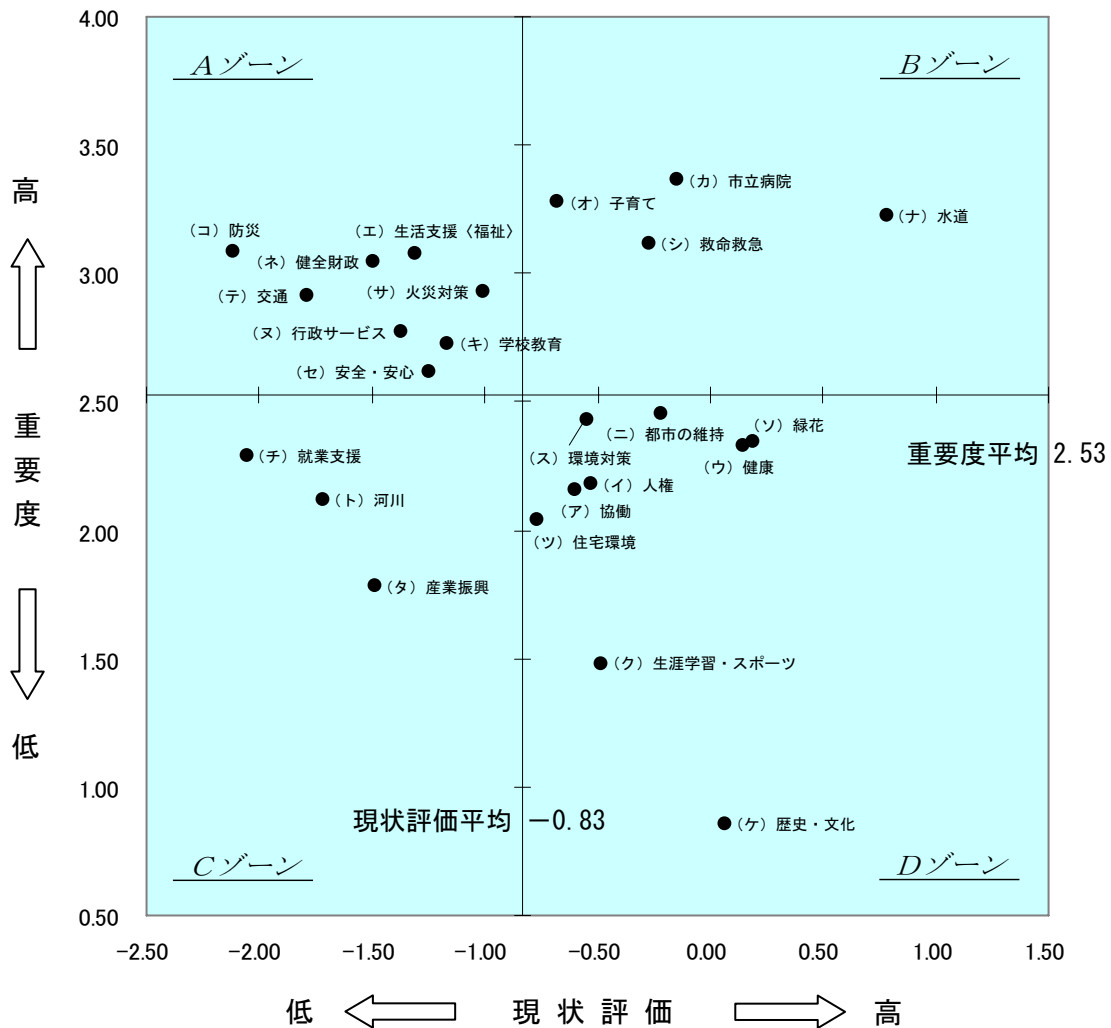
C：現状評価も重要度も低い項目

「(タ) 産業振興」「(ト) 河川」「(チ) 就業支援」があげられる。

D：現状評価が高く、重要度が低い項目

「(ケ) 歴史・文化」が突出している。

図5-4 全 体



地区別 ①本庁

A：現状評価が低く、重要度が高い項目

「(コ) 防災」がとくに高くなっているほか、「(テ) 交通」「(ネ) 健全財政」「(エ) 生活支援〈福祉〉」「(サ) 火災対策」が高くなっている。

B：現状評価が高く、重要度も高い項目

「(ナ) 水道」がとくに高くなっているほか、「(カ) 市立病院」「(シ) 救命救急」が高くなっている。

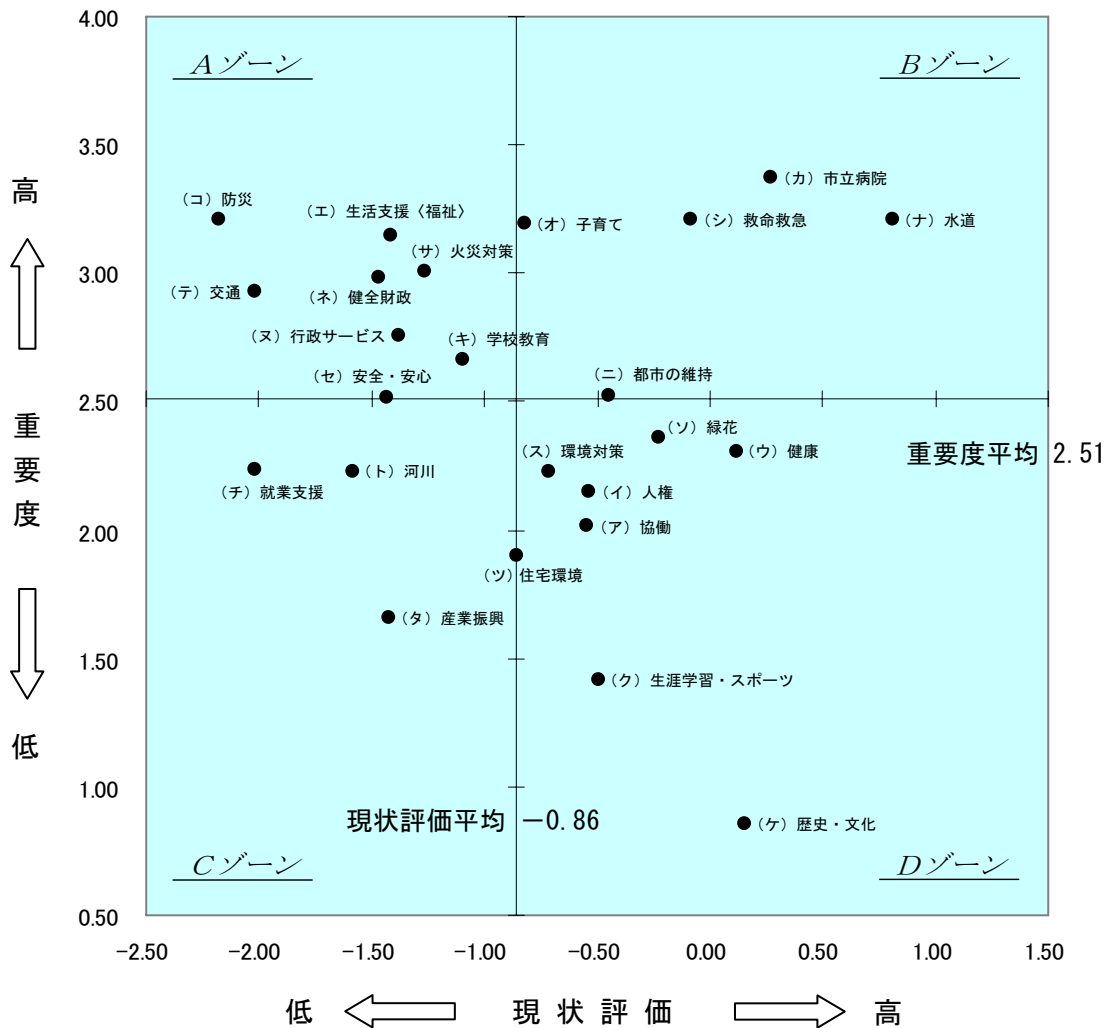
C：現状評価も重要度も低い項目

「(タ) 産業振興」「(ト) 河川」「(チ) 就業支援」があげられる。

D：現状評価が高く、重要度が低い項目

「(ケ) 歴史・文化」が突出して高くなっている。

図5-5 本庁



地区別 ②常盤平

A：現状評価が低く、重要度が高い項目

「(コ) 防災」がとくに高くなっているほか、「(テ) 交通」「(ネ) 健全財政」が高くなっている。

B：現状評価が高く、重要度も高い項目

「(ナ) 水道」がとくに高くなっているほか、「(シ) 救命救急」「(カ) 市立病院」が高くなっている。

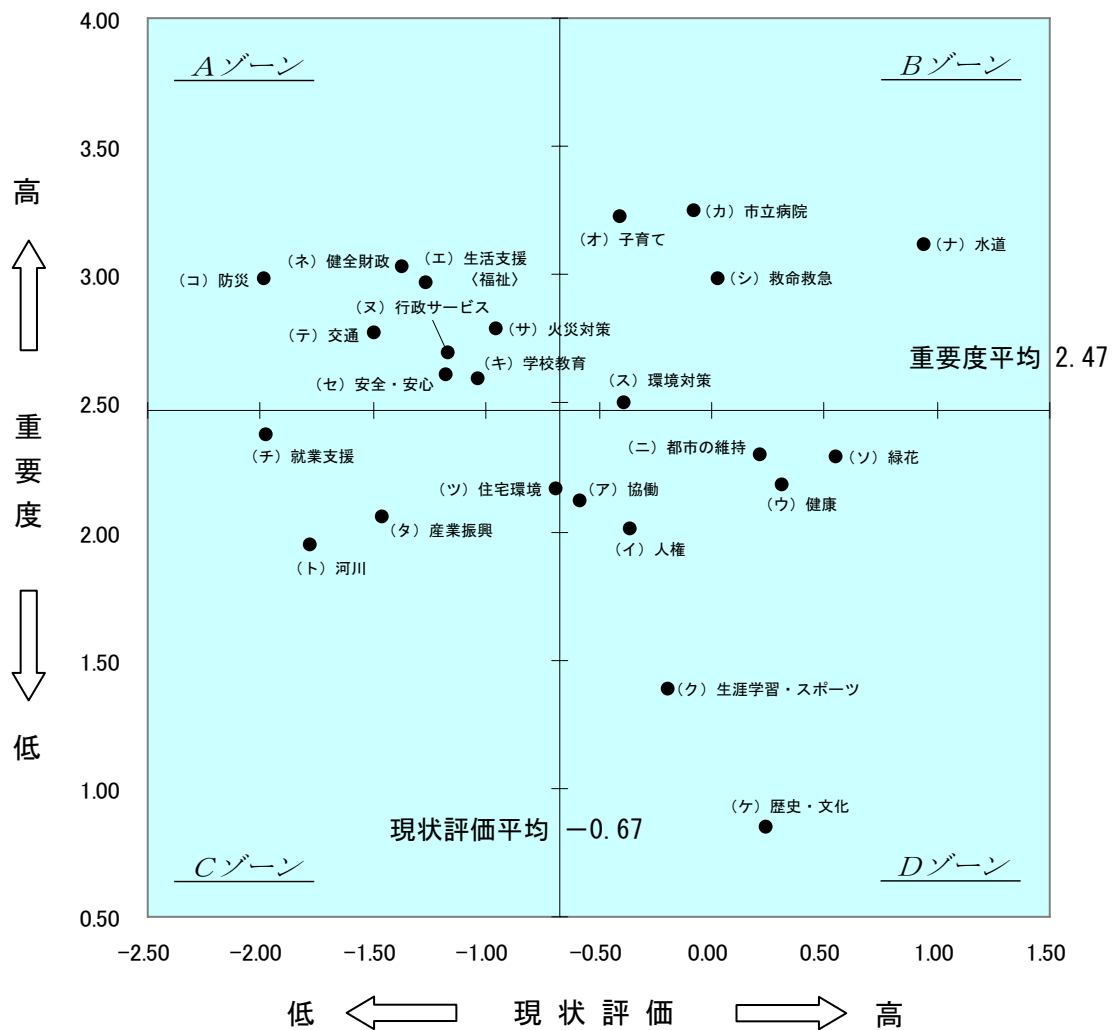
C：現状評価も重要度も低い項目

「(ト) 河川」「(タ) 産業振興」「(チ) 就業支援」があげられる。

D：現状評価が高く、重要度が低い項目

「(ケ) 歴史・文化」が高くなっている。

図 5-6 常盤平



地区別 ③小金

A：現状評価が低く、重要度が高い項目

「(コ) 防災」がとくに高くなっているほか、「(テ) 交通」「(ネ) 健全財政」が高くなっている。

B：現状評価が高く、重要度も高い項目

「(ナ) 水道」がとくに高くなっているほか、「(シ) 救命救急」が高くなっている。

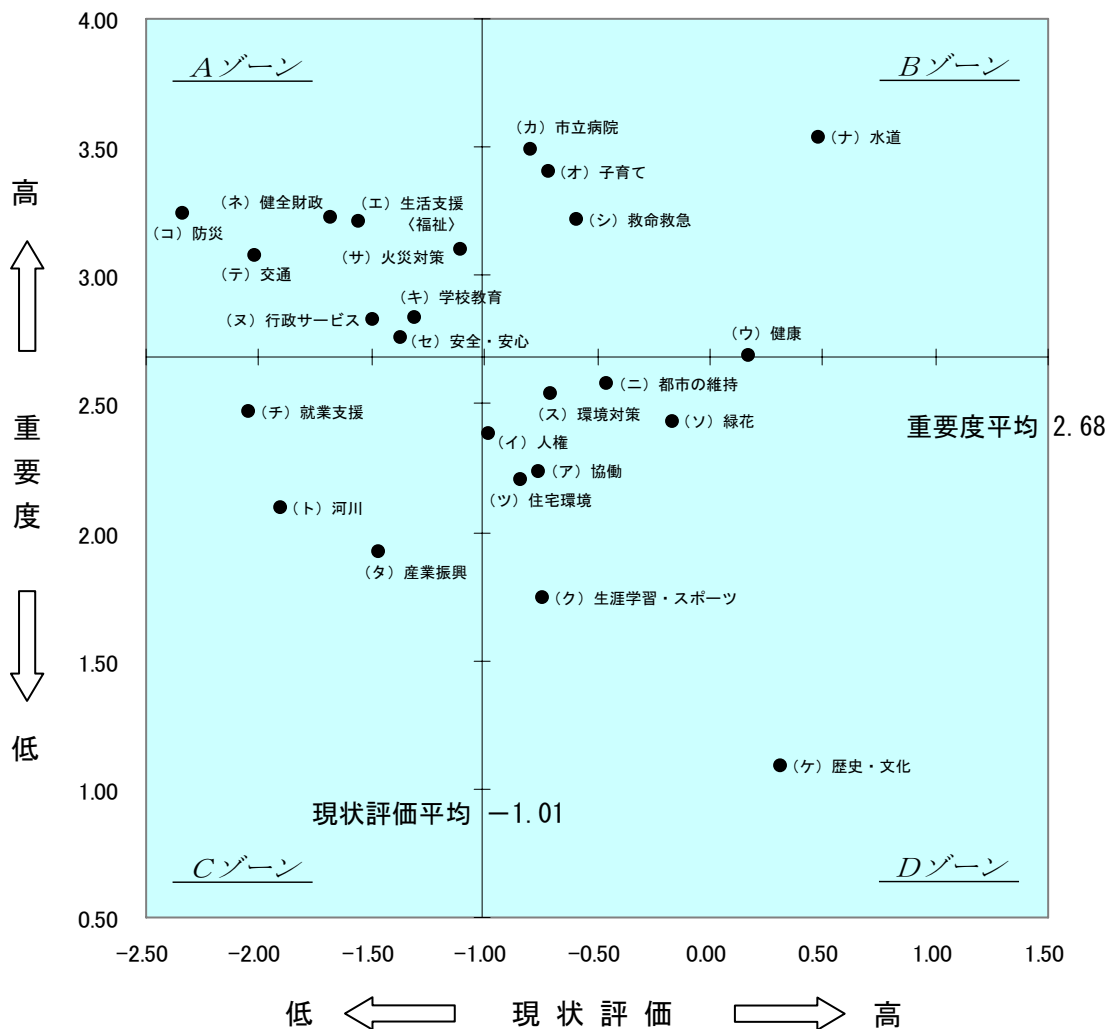
C：現状評価も重要度も低い項目

「(タ) 産業振興」「(ト) 河川」「(チ) 就業支援」があげられる。

D：現状評価が高く、重要度が低い項目

「(ケ) 歴史・文化」が突出している。

図5-7 小 金





地区別 ④小金原

A：現状評価が低く、重要度が高い項目

「(コ) 防災」がとくに高くなっているほか、「(ネ) 健全財政」「(テ) 交通」「(エ) 生活支援  
(福祉)」「(ヌ) 行政サービス」が高くなっている。

B：現状評価が高く、重要度も高い項目

「(ナ) 水道」と「(カ) 市立病院」が高くなっている。

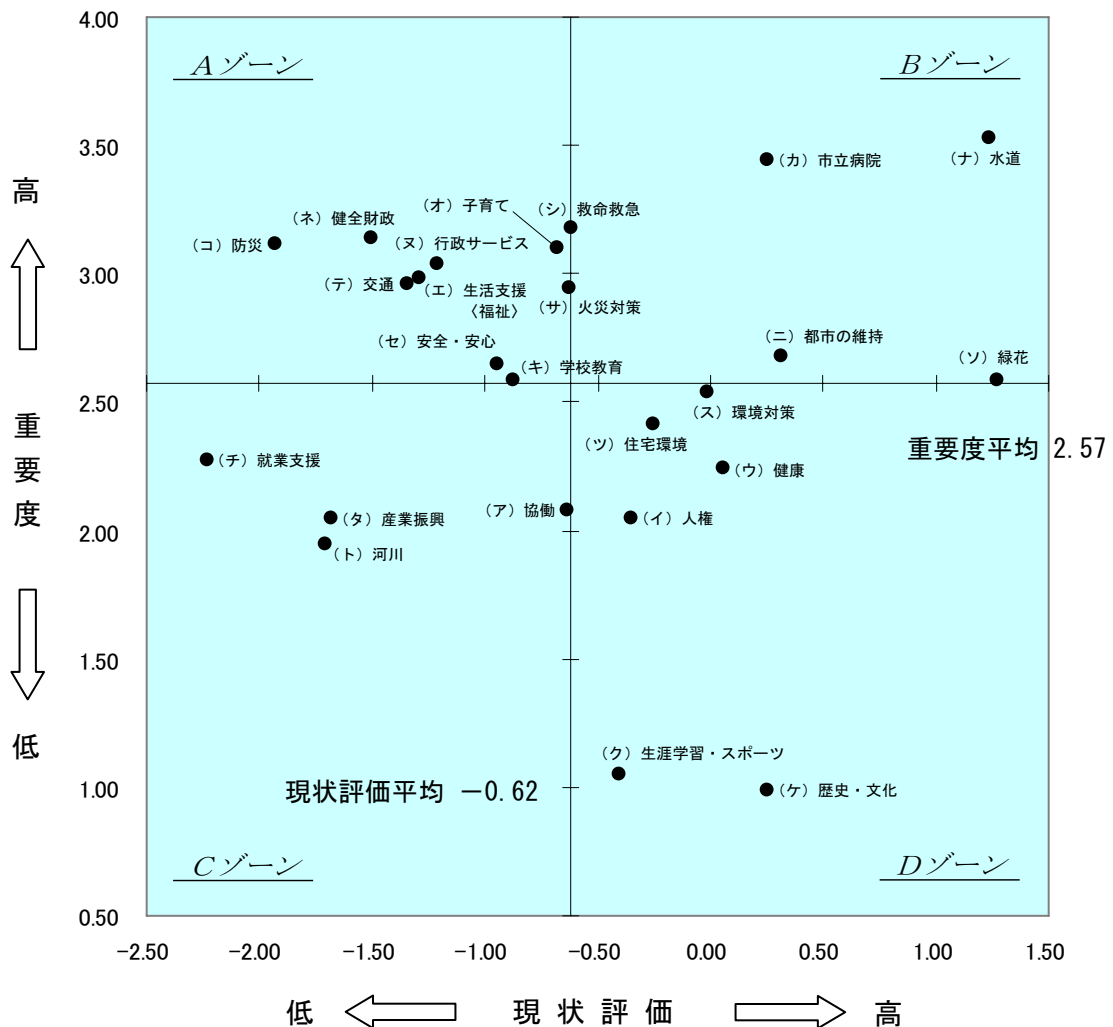
C：現状評価も重要度も低い項目

「(ト) 河川」「(タ) 産業振興」「(チ) 就業支援」があげられる。

D：現状評価が高く、重要度が低い項目

「(ケ) 歴史・文化」「(ク) 生涯学習・スポーツ」が突出している。

図5-8 小金原



地区別 ⑤六実

A：現状評価が低く、重要度が高い項目

「(テ) 交通」がとくに高くなっているほか、「(コ) 防災」「(ネ) 健全財政」が高くなっている。

B：現状評価が高く、重要度も高い項目

「(ナ) 水道」と「(シ) 救命救急」が高くなっている。

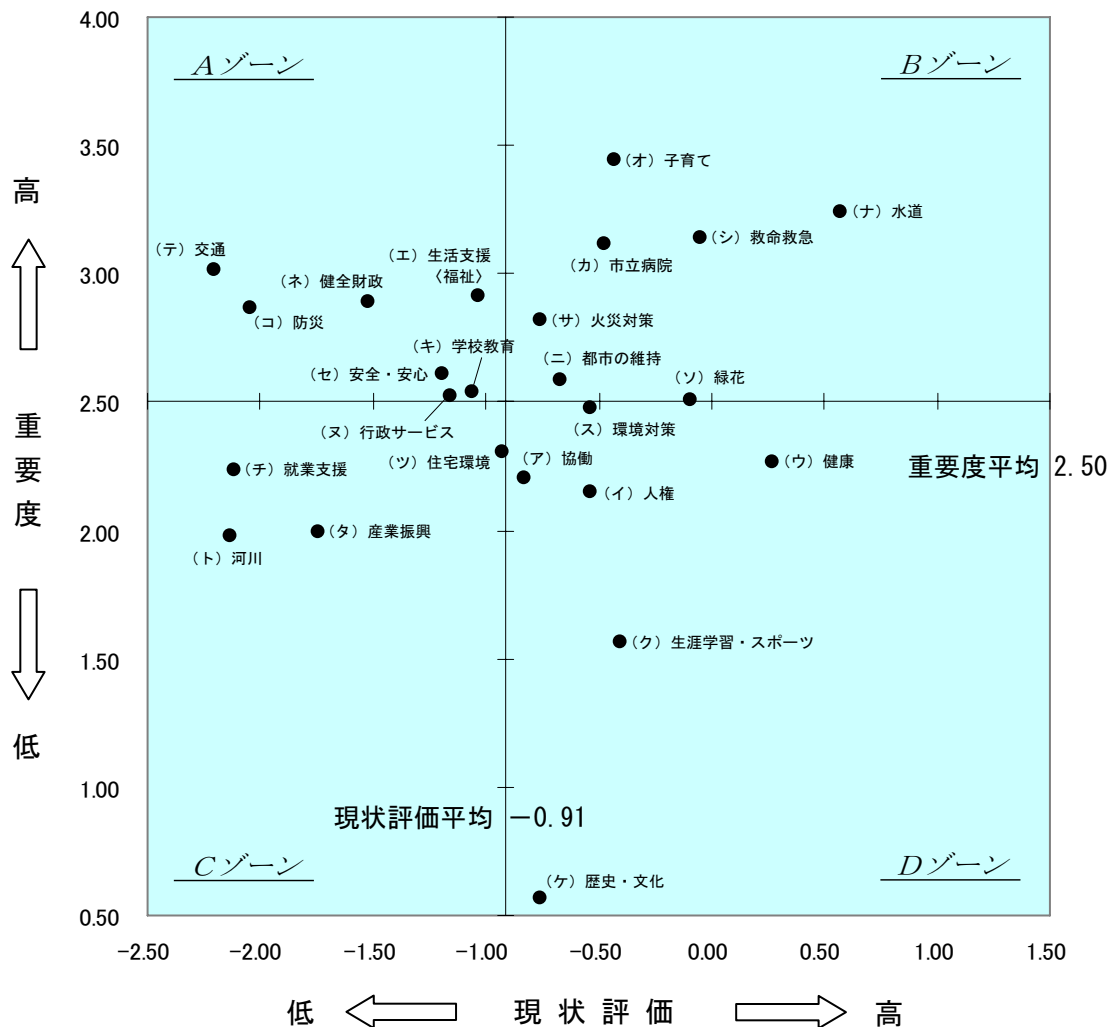
C：現状評価も重要度も低い項目

「(ト) 河川」「(タ) 産業振興」「(チ) 就業支援」があげられる。

D：現状評価が高く、重要度が低い項目

「(ケ) 歴史・文化」が高くなっている。

図5-9 六実



地区別 ⑥馬橋

A：現状評価が低く、重要度が高い項目

「(コ) 防災」がとくに高くなっているほか、「(ネ) 健全財政」「(テ) 交通」が高くなっている。

B：現状評価が高く、重要度も高い項目

「(ナ) 水道」と「(カ) 市立病院」が高くなっている。

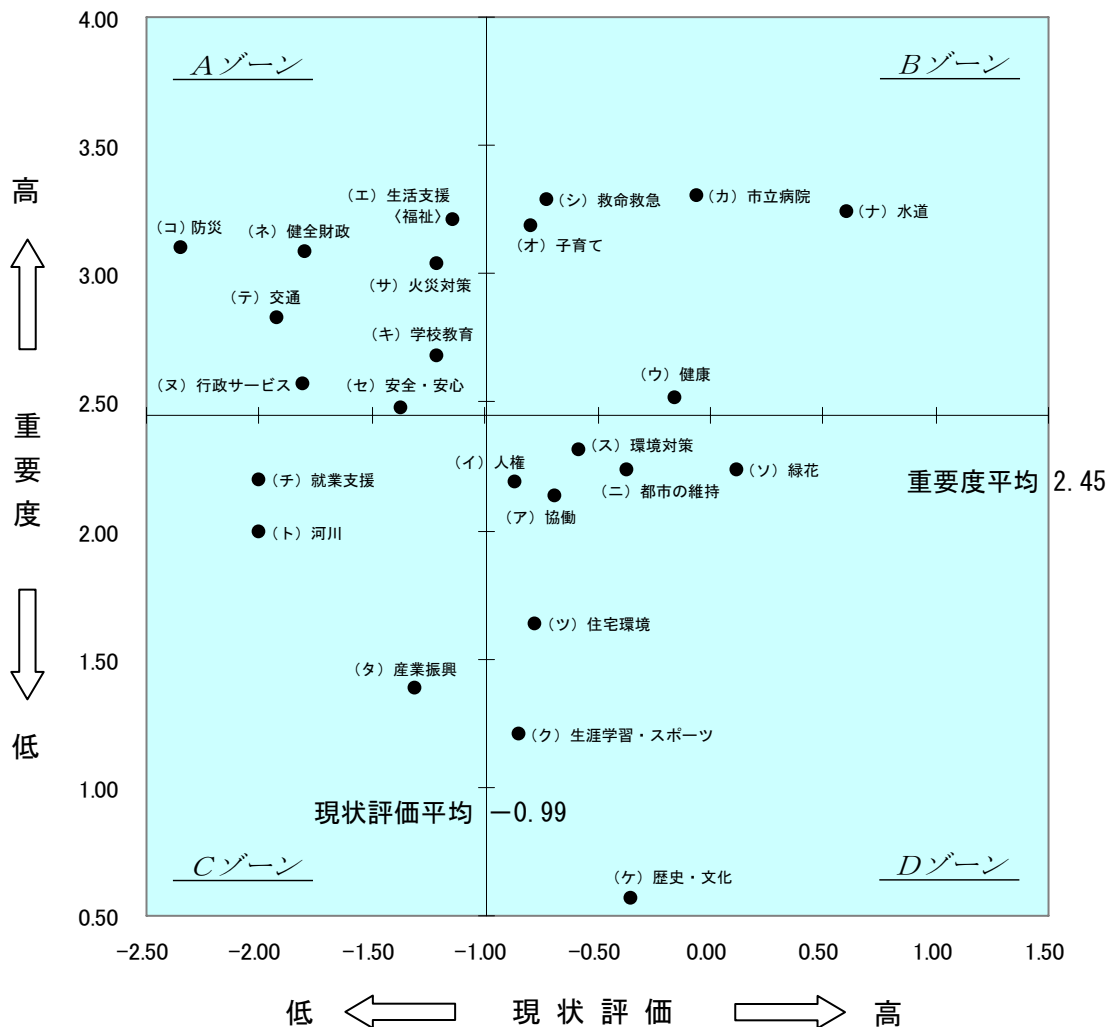
C：現状評価も重要度も低い項目

「(タ) 産業振興」「(ト) 河川」「(チ) 就業支援」があげられる。

D：現状評価が高く、重要度が低い項目

「(ケ) 歴史・文化」が高くなっている。

図5-10 馬橋



地区別 ⑦新松戸

A：現状評価が低く、重要度が高い項目

「(コ) 防災」がとくに高くなっているほか、「(キ) 学校教育」「(ネ) 健全財政」「(テ) 交通」「(ヌ) 行政サービス」「(エ) 生活支援〈福祉〉」が高くなっている。

B：現状評価が高く、重要度も高い項目

とくに「(ナ) 水道」が高くなっているほか、「(シ) 救命救急」と「(カ) 市立病院」も高くなっている。

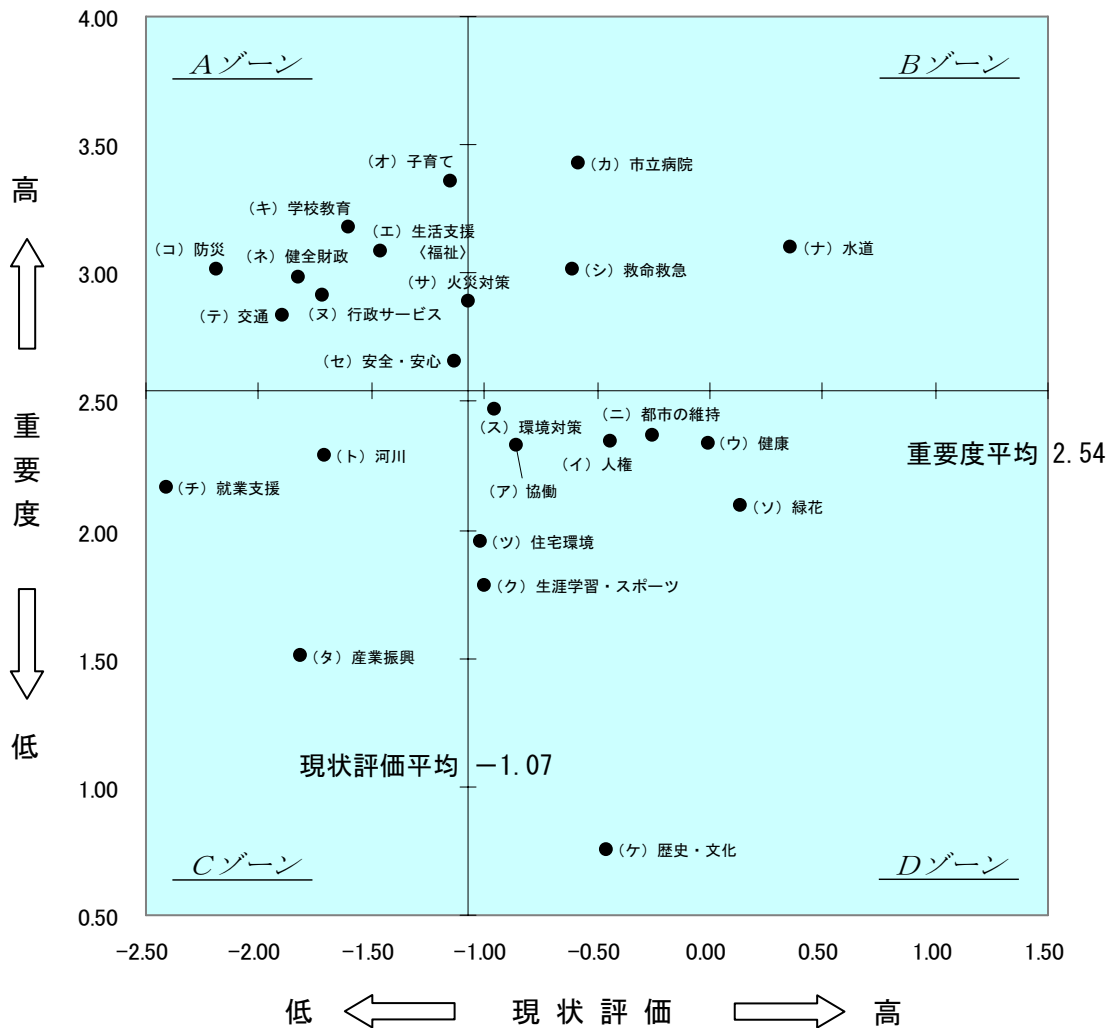
C：現状評価も重要度も低い項目

「(タ) 産業振興」「(ト) 河川」「(チ) 就業支援」があげられる。

D：現状評価が高く、重要度が低い項目

「(ケ) 歴史・文化」が突出している。

図 5-11 新松戸



地区別 ⑧矢切

A：現状評価が低く、重要度が高い項目

「(コ) 防災」がとくに高くなっているほか、「(ネ) 健全財政」「(テ) 交通」が高くなっている。

B：現状評価が高く、重要度も高い項目

「(ナ) 水道」がとくに高くなっているほか、「(シ) 救命救急」も高くなっている。

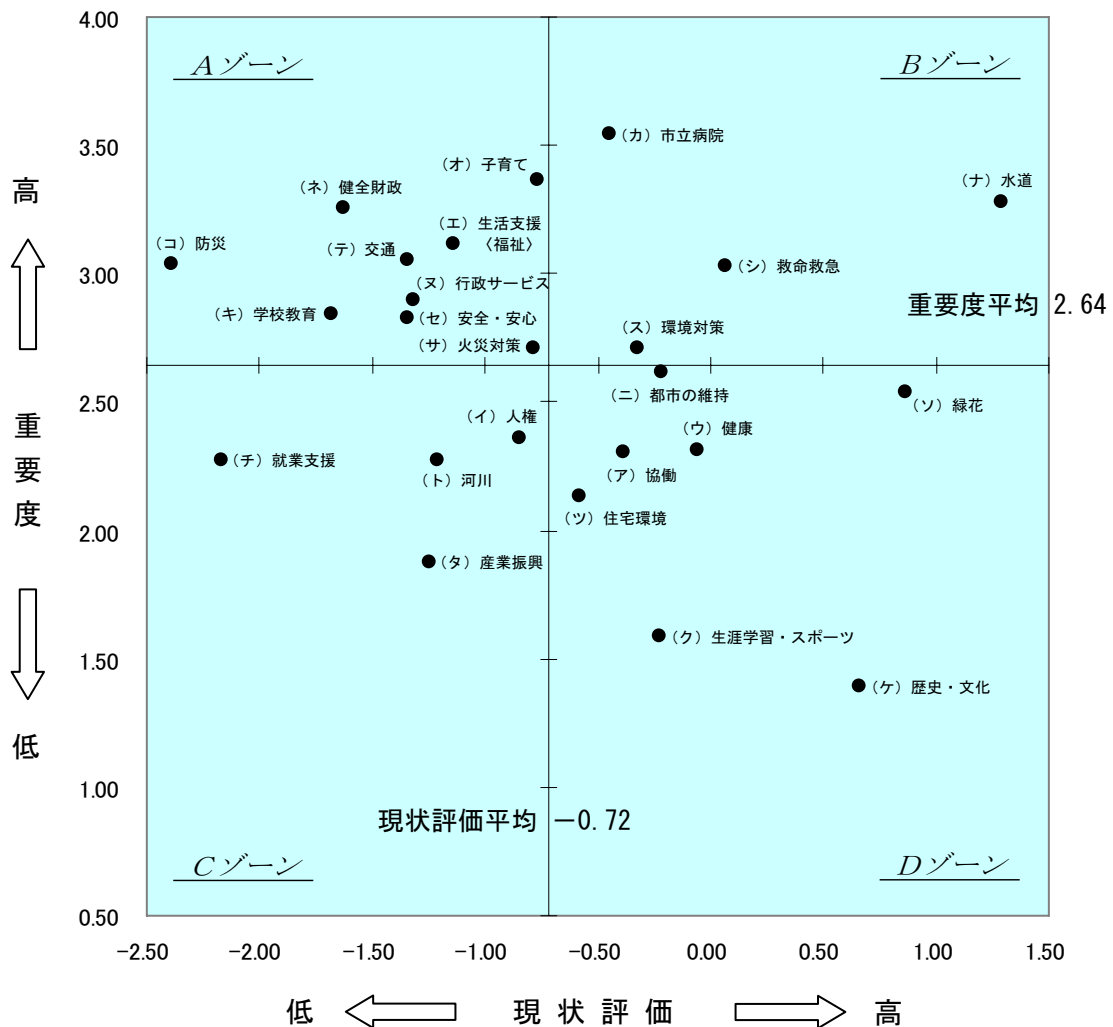
C：現状評価も重要度も低い項目

「(タ) 産業振興」「(ト) 河川」「(チ) 就業支援」があげられる。

D：現状評価が高く、重要度が低い項目

「(ケ) 歴史・文化」が高くなっている。

図5-12 矢切



地区別 ⑨東部

A：現状評価が低く、重要度が高い項目

「(コ) 防災」「(テ) 交通」が高くなっている。

B：現状評価が高く、重要度も高い項目

「(ナ) 水道」がとくに高くなっているほか、「(オ) 子育て」も高くなっている。

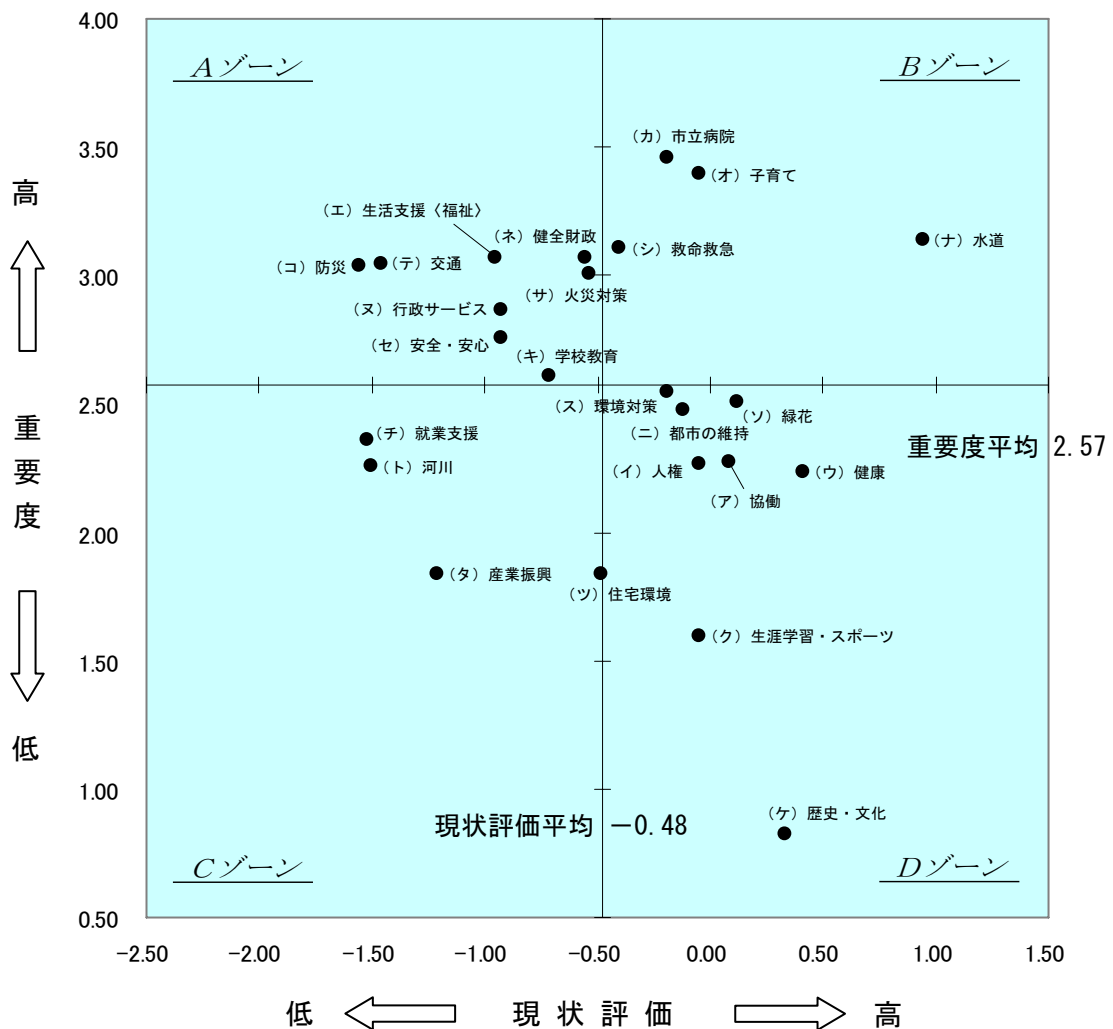
C：現状評価も重要度も低い項目

「(タ) 産業振興」「(ト) 河川」「(チ) 就業支援」があげられる。

D：現状評価が高く、重要度が低い項目

「(ケ) 歴史・文化」が突出している。

図5-13 東 部



## 今後のまちづくりへの希望別（問1）

今後のまちづくりへの希望（問1）別でみると、A：現状評価が低く、重要度が高い項目として、いずれのまちづくりの形態であっても「(コ) 防災」「(テ) 交通」「(ネ) 健全財政」「(ヌ) 行政サービス」「(エ) 生活支援〈福祉〉」があげられているが、〈市内各所に分散して投資するまちづくり〉を希望する層では、「(キ) 学校教育」と「(セ) 安全・安心」が入っているのが特徴的である。

また、C：現状評価も重要度も低い項目として、〈松戸駅を中心とした、一極集中型のまちづくり〉を希望する層では、「(チ) 就業支援」「(ト) 河川」「(タ) 産業振興」とともに「(セ) 安全・安心」と「(ツ) 住宅環境」があげられている。

図5-14 今後のまちづくりへの希望別／①松戸駅を中心とした、一極集中型のまちづくり

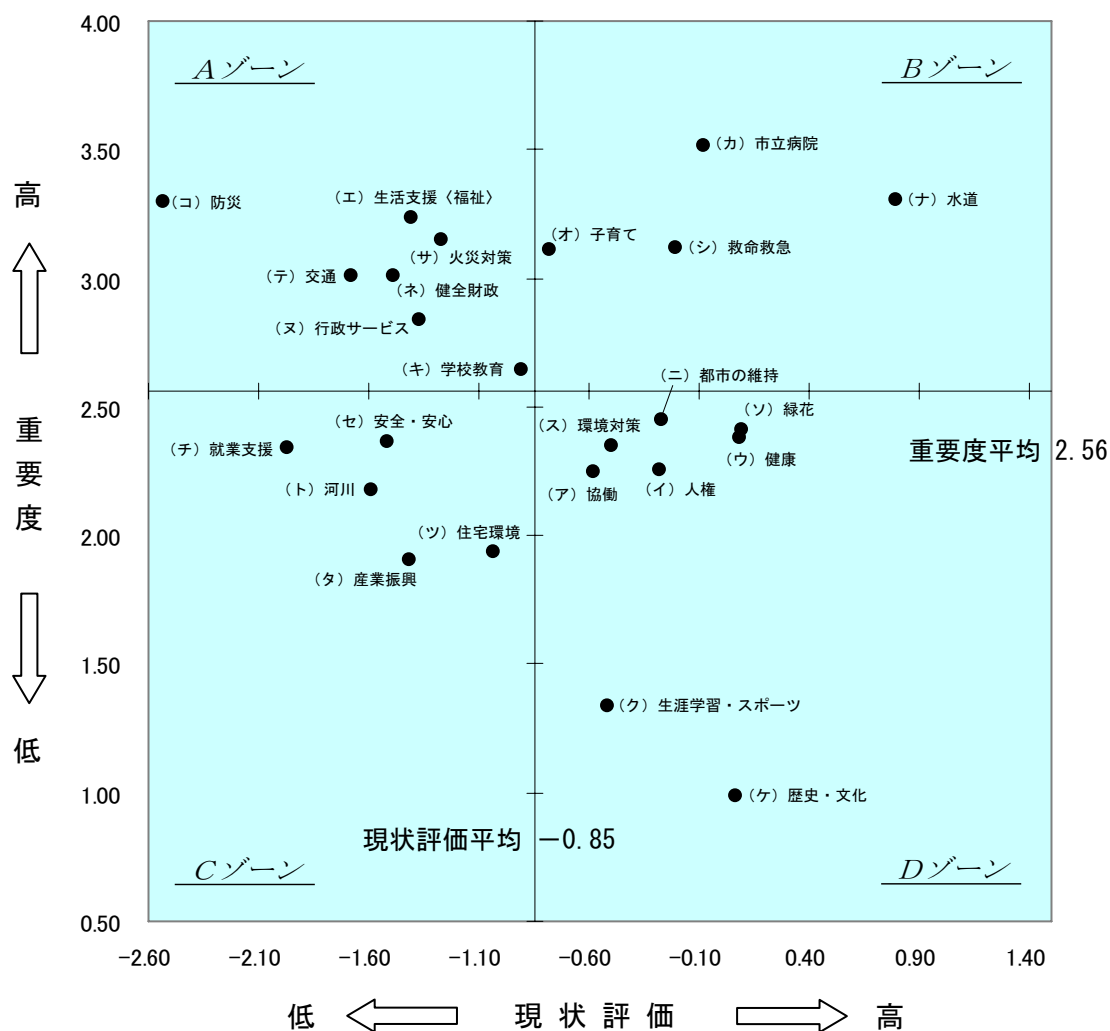


図5-15 今後のまちづくりへの希望別／②市内の数箇所を拠点とした拠点分散型のまちづくり

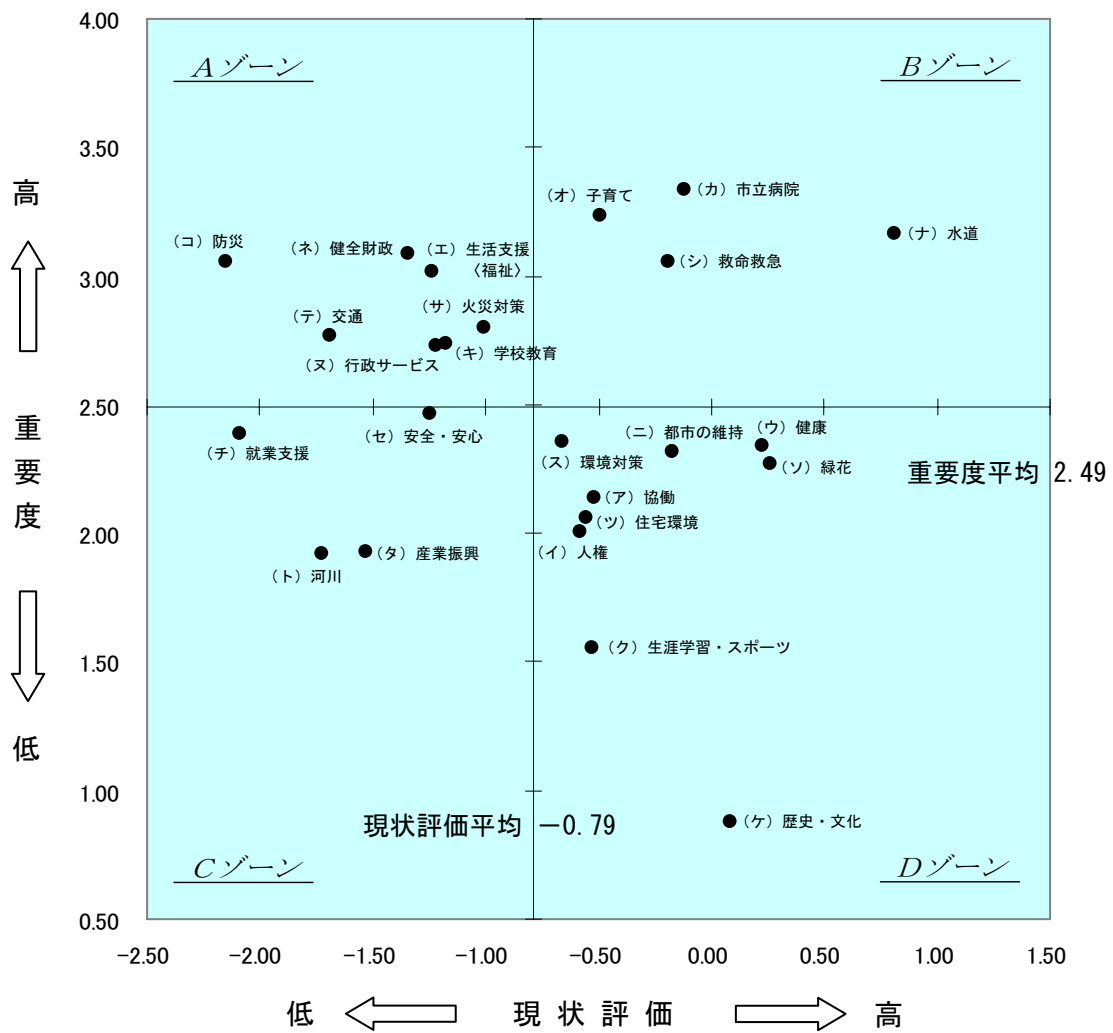
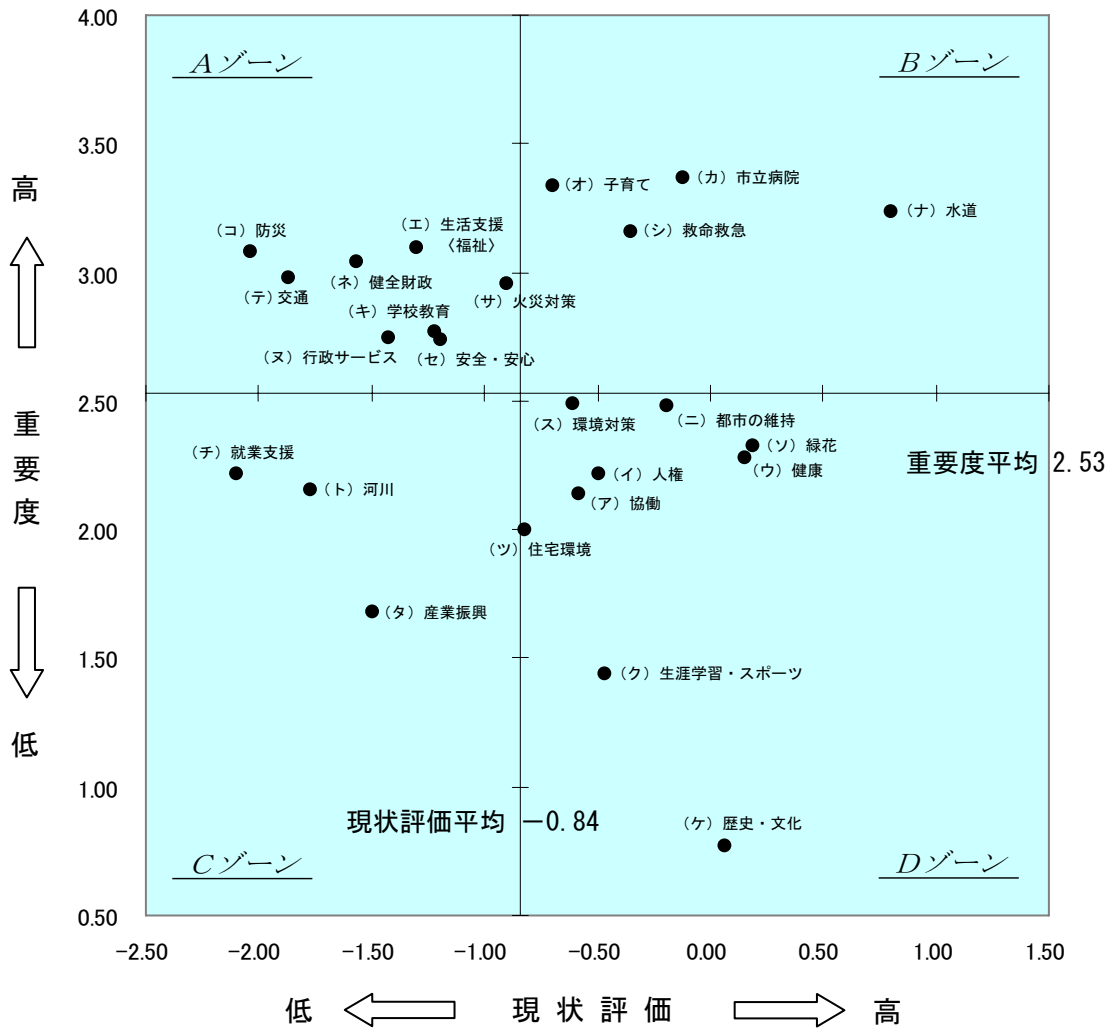




図5-16 今後のまちづくりへの希望別／③市内各所に分散して投資するまちづくり



行政サービスの提供のあり方として相応しい方法別（問3）

行政サービスの提供のあり方として相応しい方法（問3）別でみると、P.79・図5-19のとおり、〈行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減〉を希望する層では、他層に比べて、「(ア)協働」への評価がやや低くなっている。

図5-17 行政サービスの提供のあり方として相応しい方法別／

①行政サービスは拡大、市民負担を大きく増やしても仕方がない

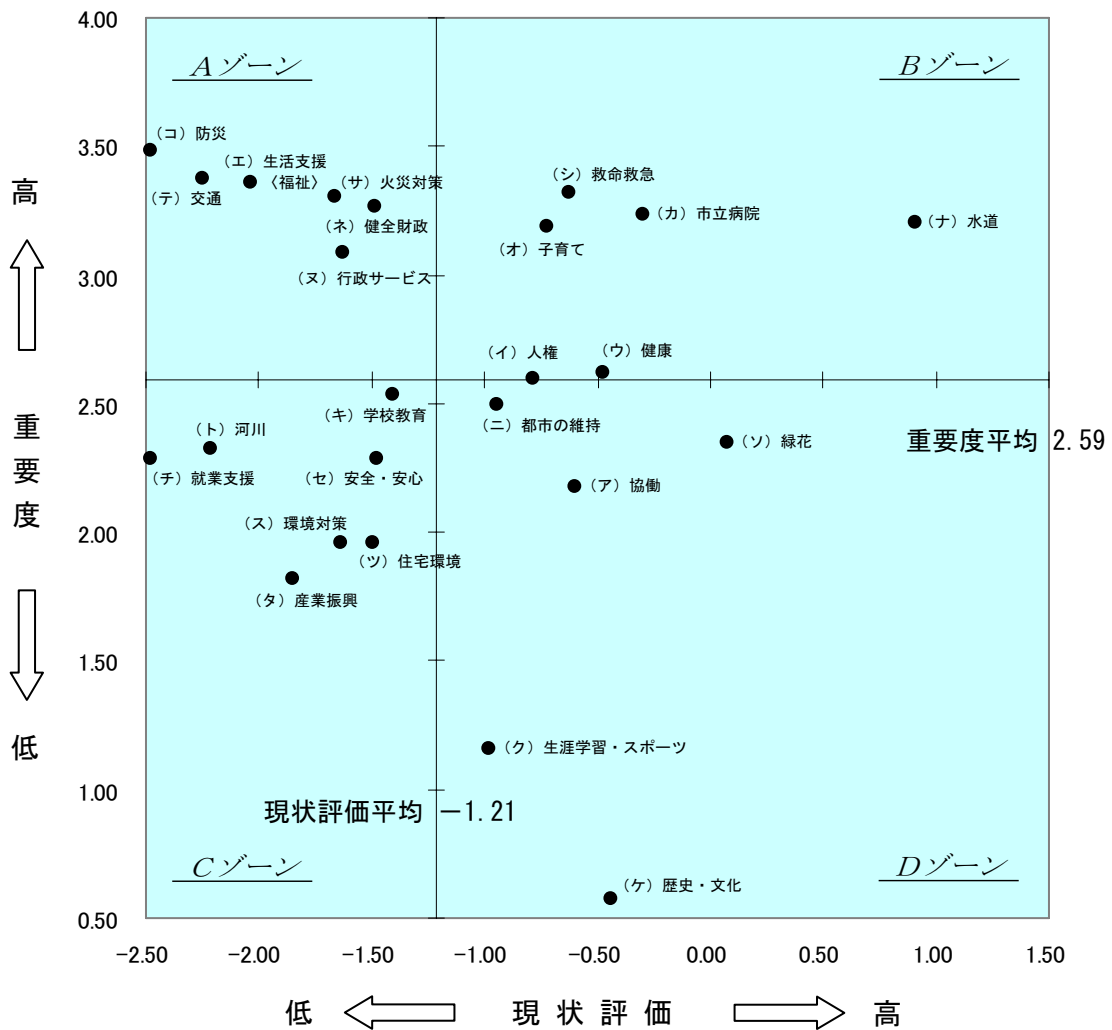


図5-18 行政サービスの提供のあり方として相応しい方法別／

②行政サービスは現状を維持、市民負担は労働人口減の分だけ増える

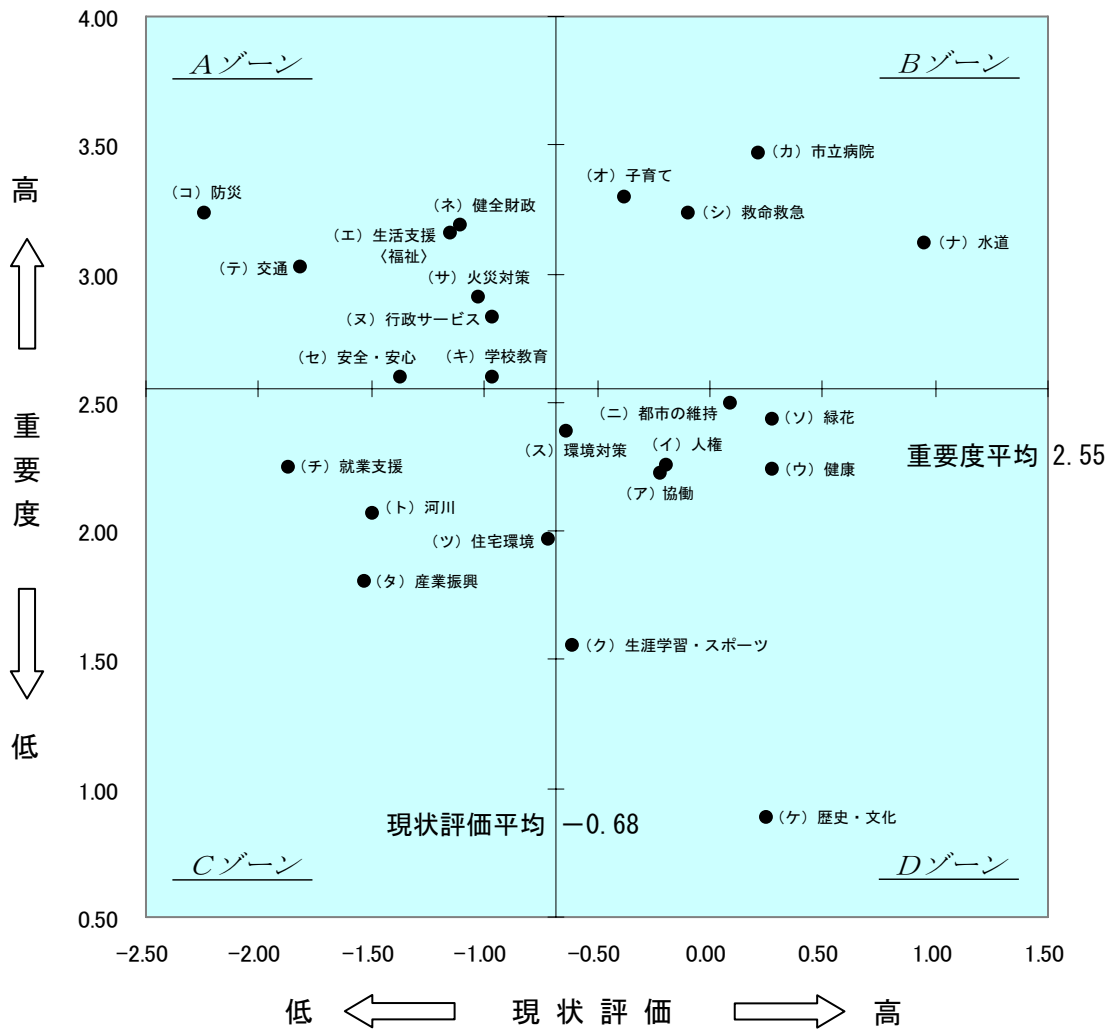


図5-19 行政サービスの提供のあり方として相応しい方法別／

③行政サービスは減少、市民負担は現状水準

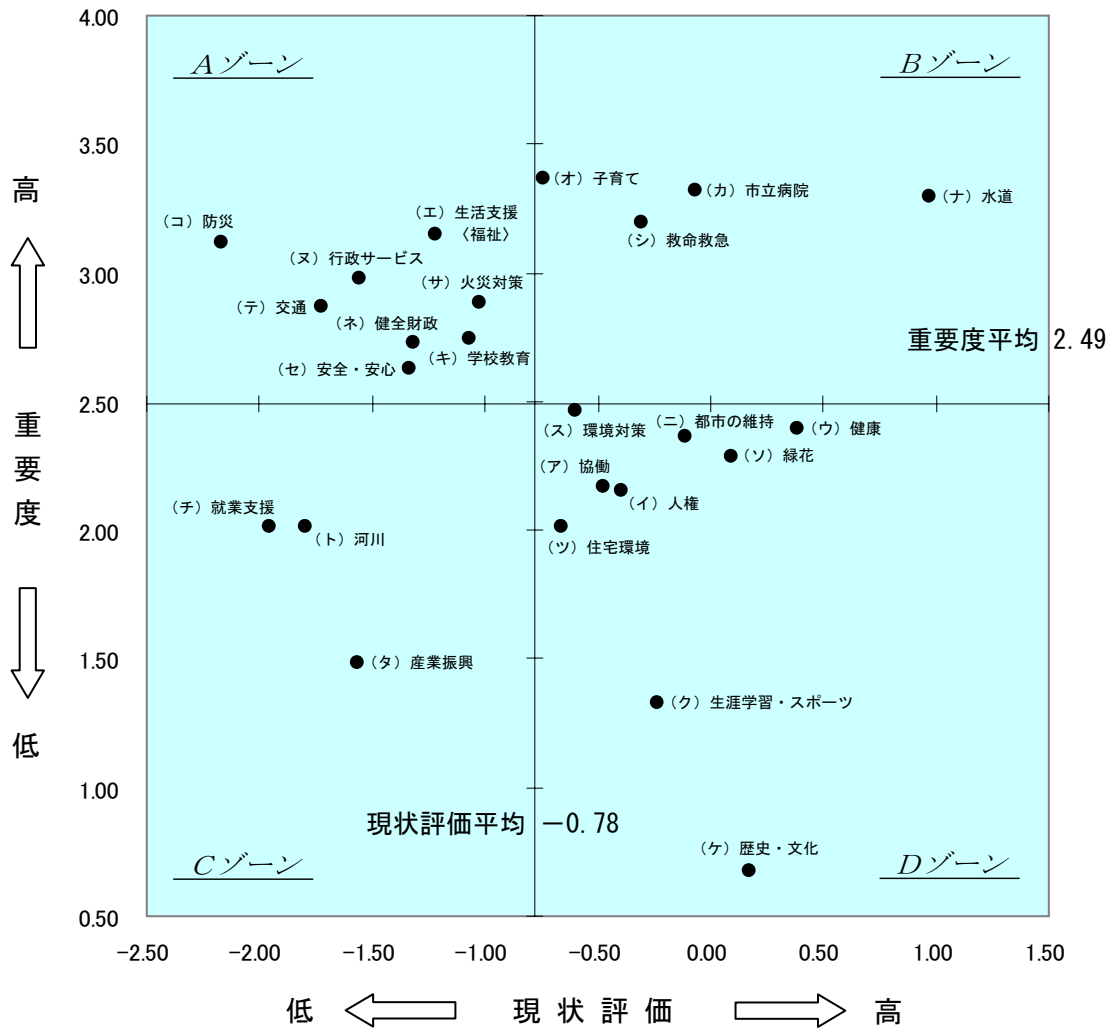
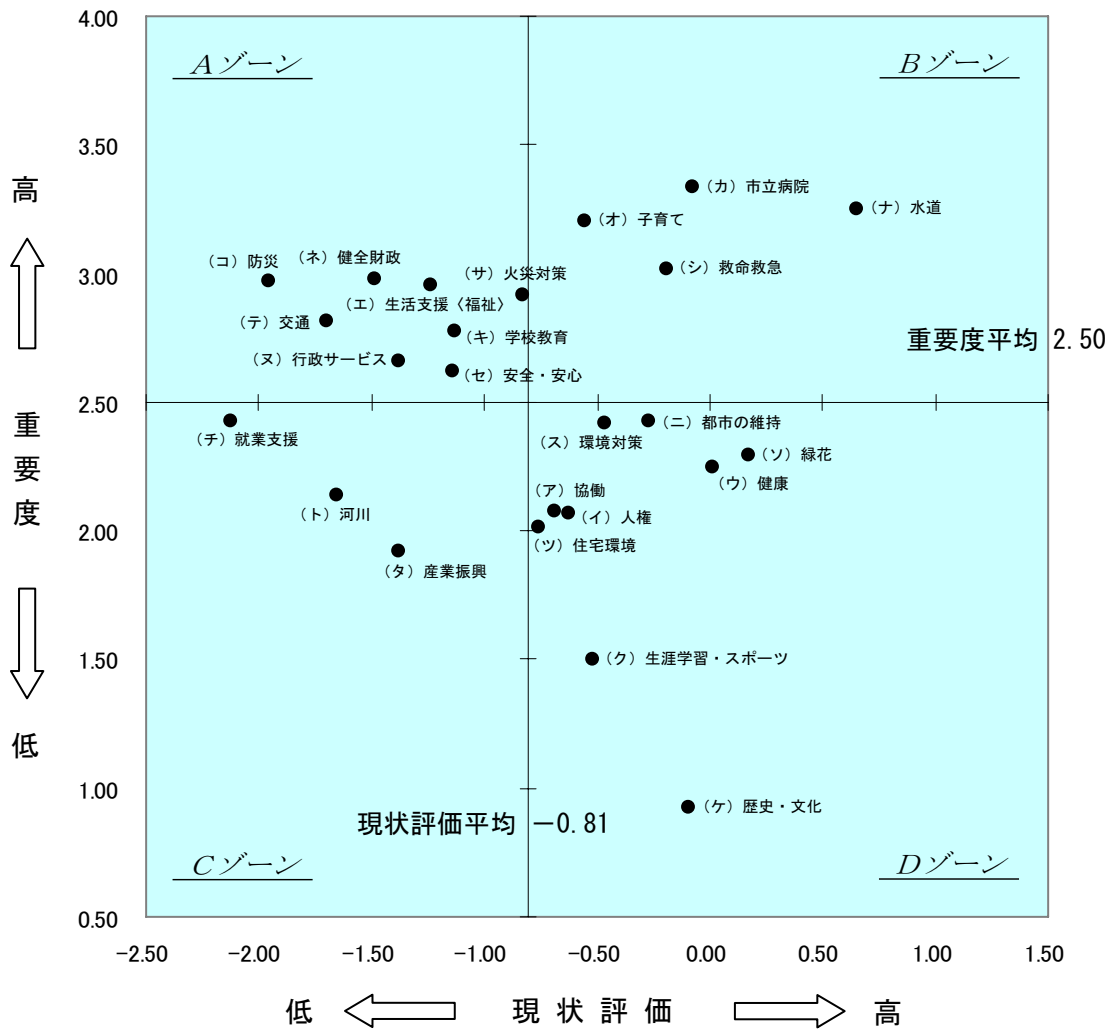


図5-20 行政サービスの提供のあり方として相応しい方法別／

④行政サービスは必要最低限、市民負担はできるだけ軽減



## 定住意向別

定住意向別でみると、〈今の場所に住み続けたい〉という層では、B：現状評価が高く、重要度も高い項目として、「(ナ) 水道」「(カ) 市立病院」が、他層よりやや多くなっている。

一方、P. 83・図5-22のとおり、〈市外に移りたい、または移る予定である〉という層では、A：現状評価が低く、重要度が高い項目として、「(ネ) 健全財政」「(テ) 交通」「(ヌ) 行政サービス」に対して、他層より厳しい評価が与えられている。

図5-21 定住意向別／①今の場所に住み続けたい

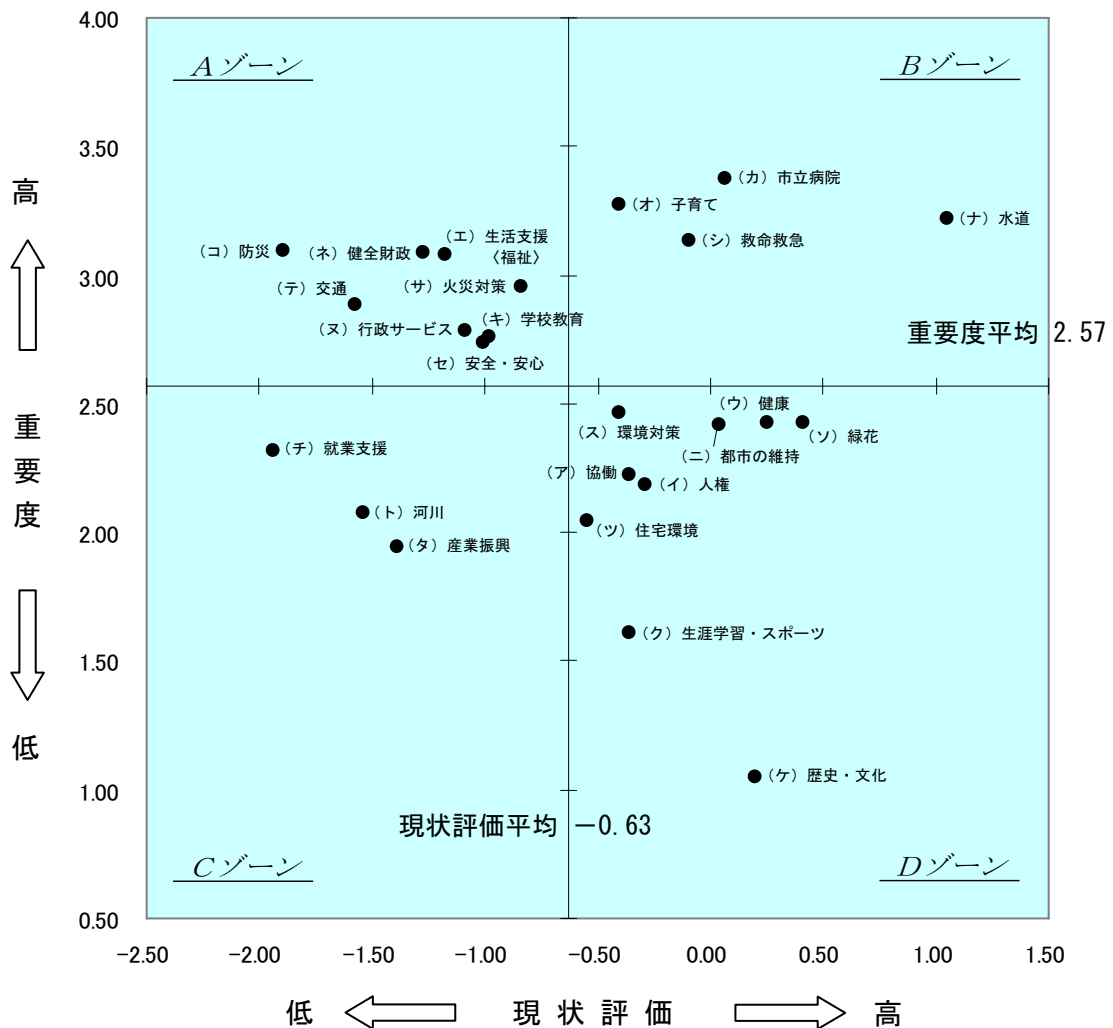


図5-22 定住意向別／②松戸市内の別の場所で住みたい

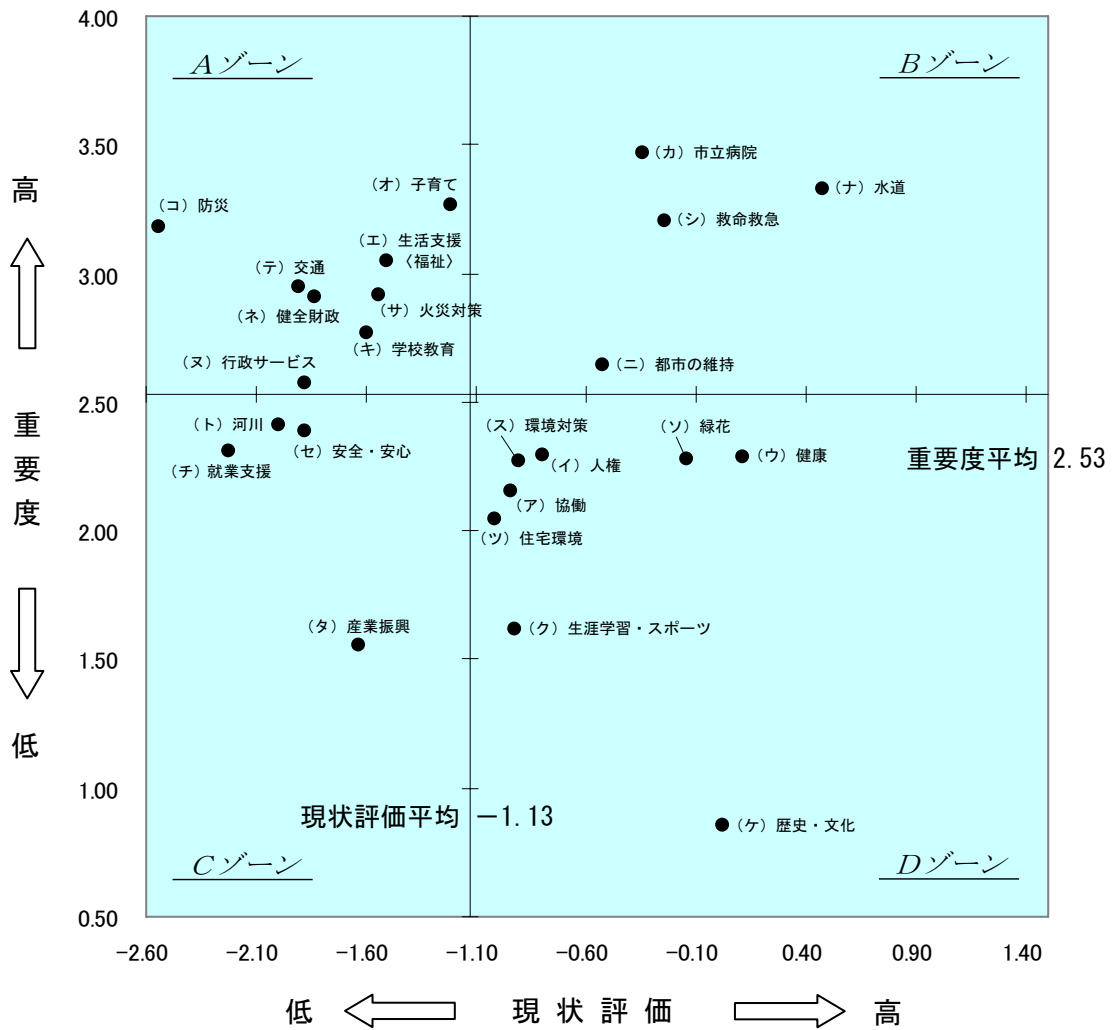


図5-23 定住意向別／③松戸市内に住み続けたいが、市外に移る予定である

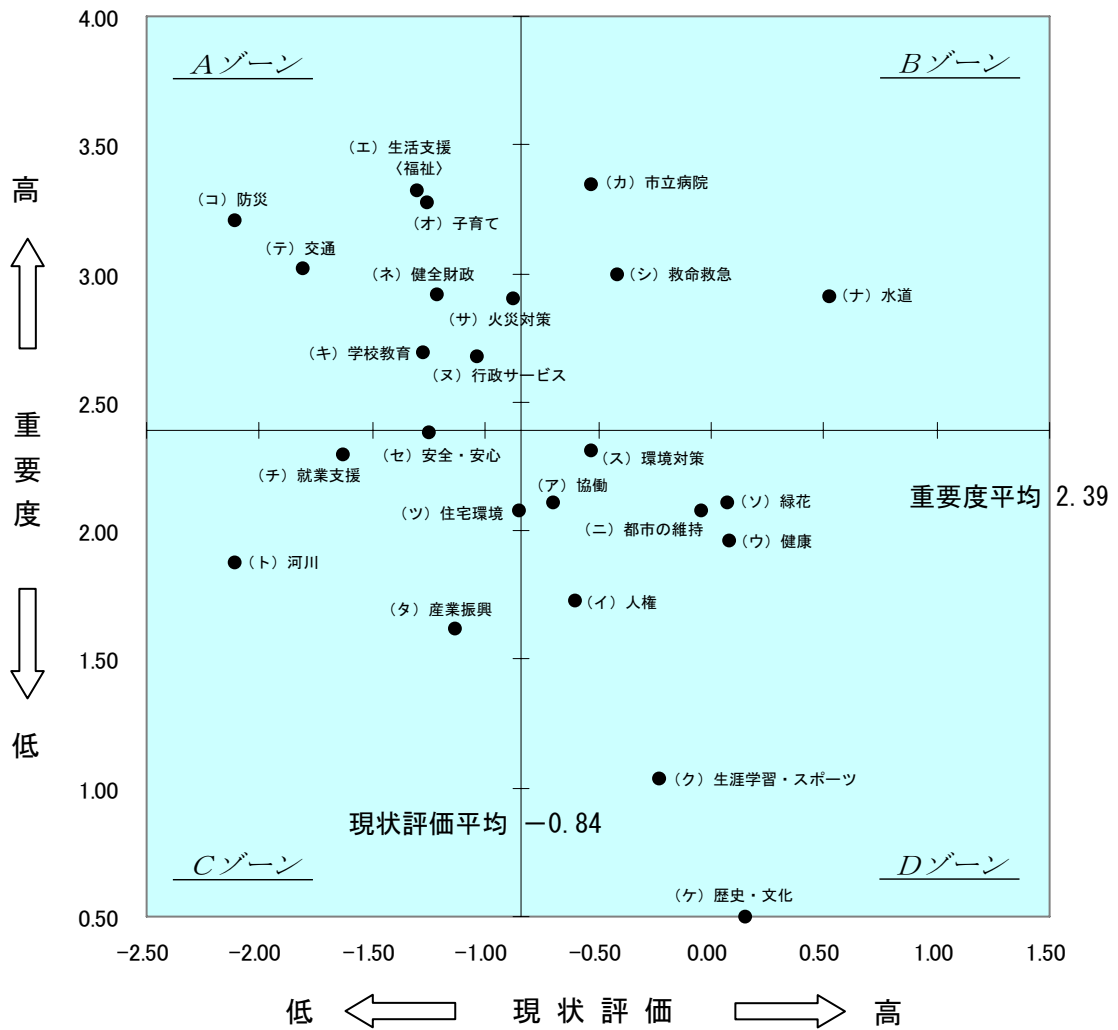




図5-24 定住意向別／④市外に移りたい、または移る予定である

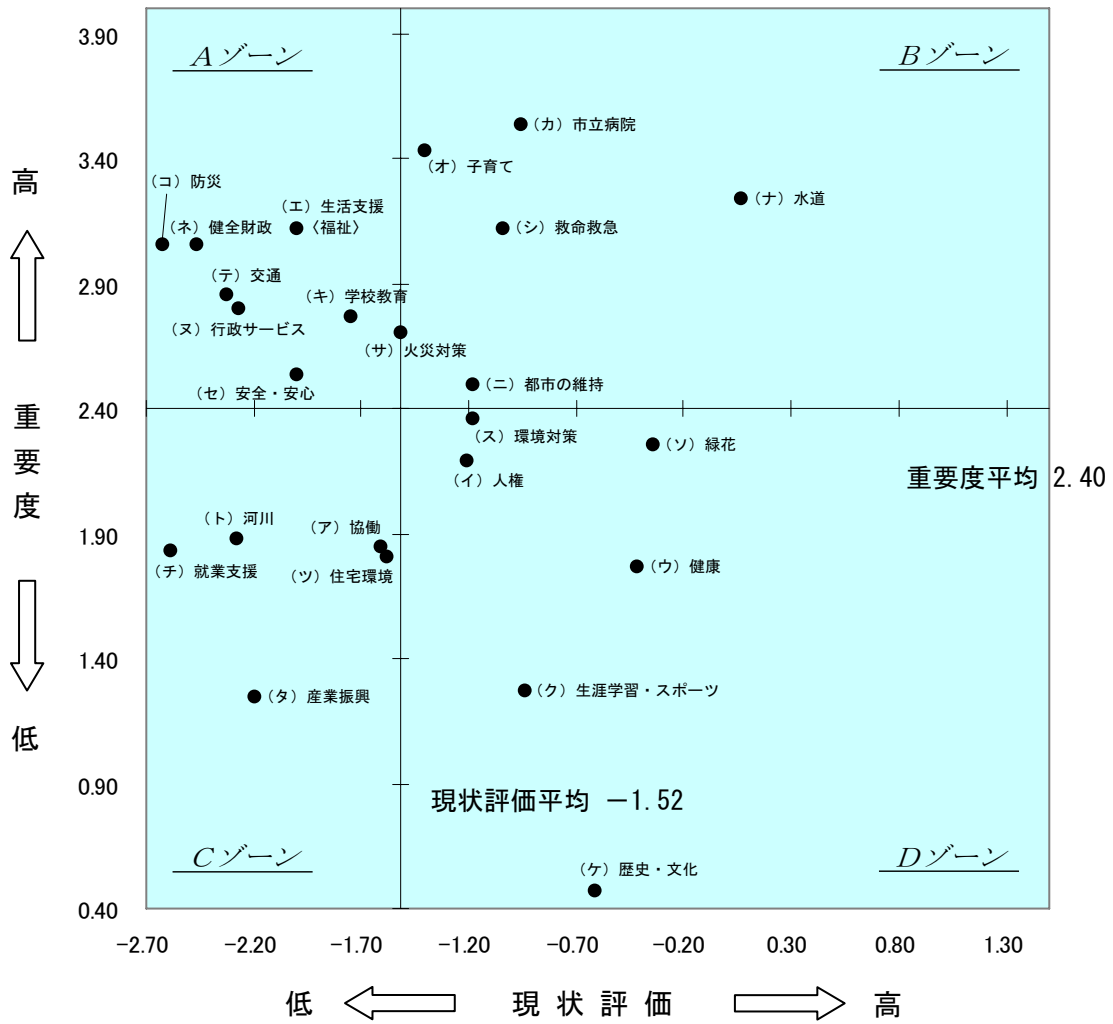
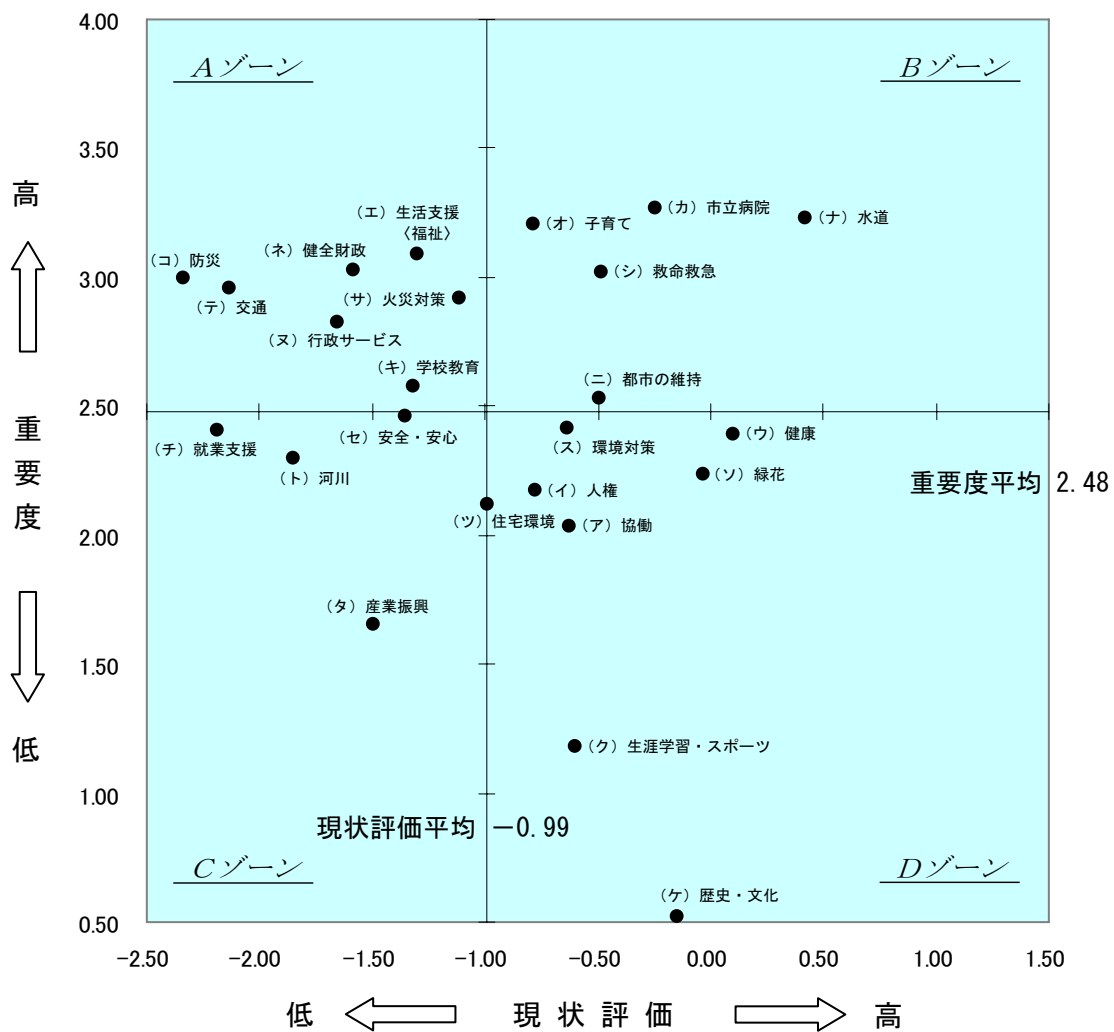


図5-25 定住意向別/⑤わからない

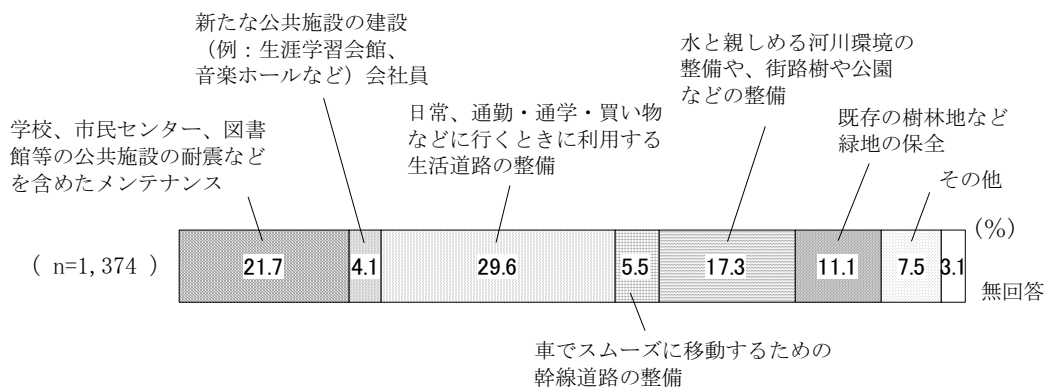


## 6. 都市基盤について重点的に投資すべき施設・設備

問6 少子高齢化が進み、社会保障関係に必要となる経費が年々増えており、それ以外に活用できる経費は、限られてきています。

今後の松戸市の都市基盤について、限られた財源の中で、どのようなところに重点的に投資すべきだと思いますか。(○は1つだけ)

図6-1

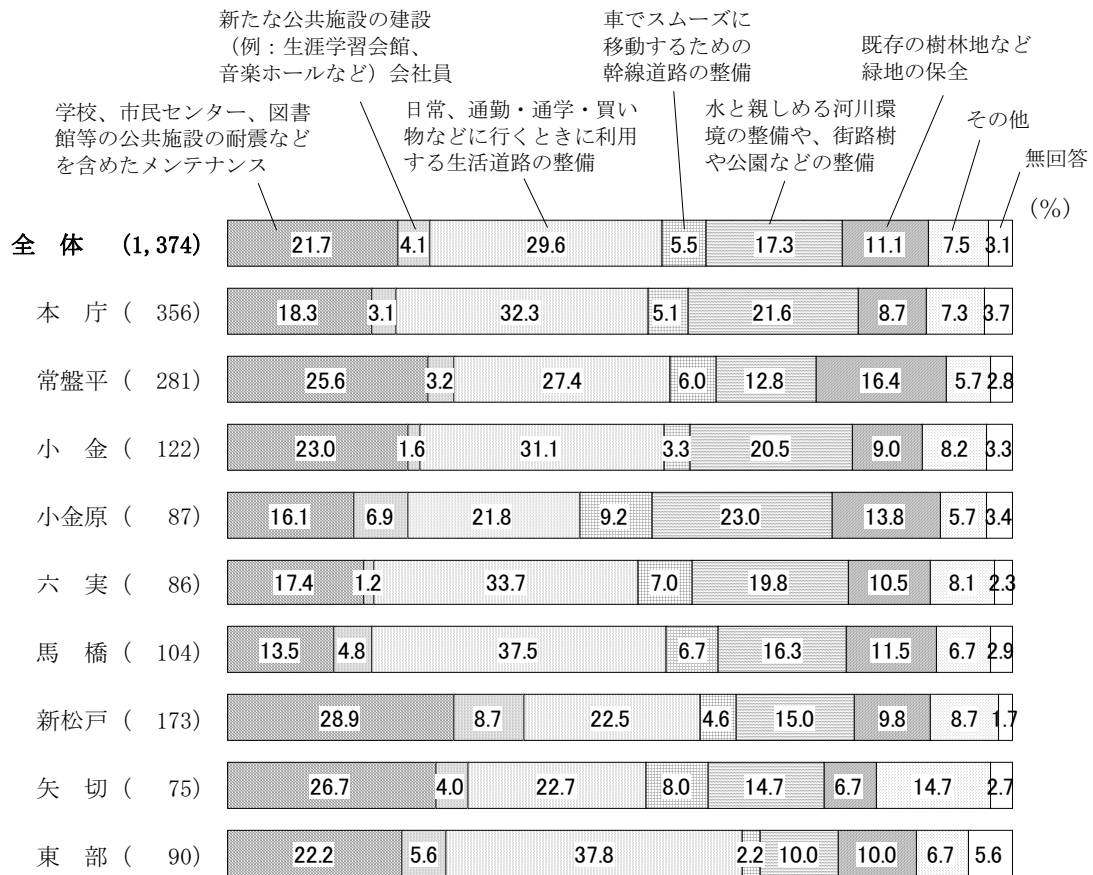


都市基盤について、限られた財源の中で、重点的に投資すべき施設・設備としては、「日常、通勤・通学・買い物などに行くときに利用する生活道路の整備」が29.6%で最も多く、以下「学校、市民センター、図書館等の公共施設の耐震などを含めたメンテナンス」(21.7%)、「水と親しめる河川環境の整備や、街路樹や公園などの整備」(17.3%)の順が続いている。

地区別でみると、馬橋、東部地区では、「日常、通勤・通学・買い物などに行くときに利用する生活道路の整備」が、それぞれ37.5%・37.8%と他の地区よりやや多くなっている。

一方、常盤平、新松戸、矢切地区では「学校、市民センター、図書館等の公共施設の耐震などを含めたメンテナンス」が、それぞれ25.6%・28.9%・26.7%と、やや多くなっている。

図6-2 地区別



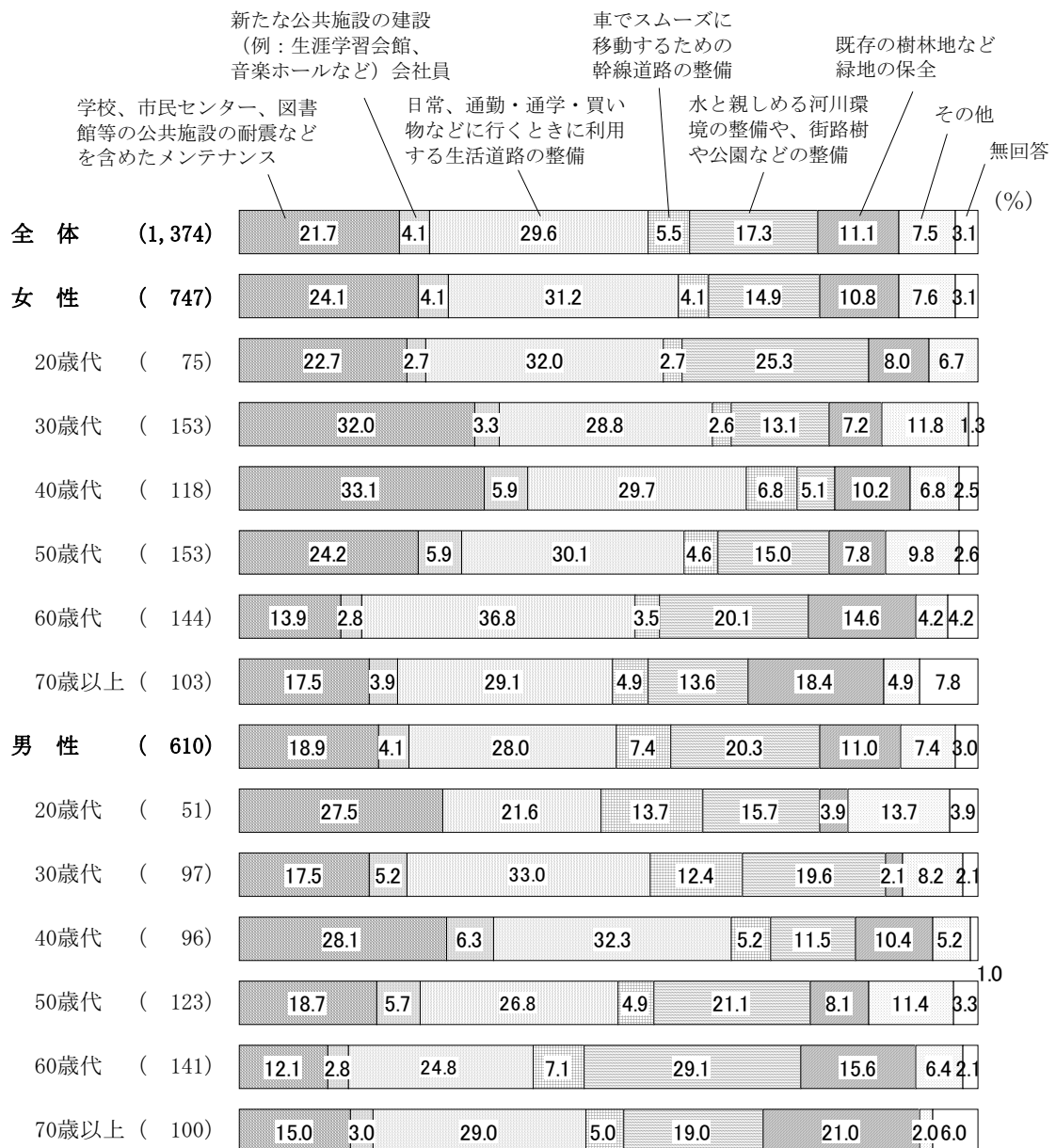
性別で見ると、女性では、「学校、市民センター、図書館等の公共施設の耐震などを含めたメンテナンス」が24.1%と、男性(18.9%)よりやや多くなっている。

一方、男性で「水と親しめる河川環境の整備や、街路樹や公園などの整備」が20.3%と、女性(14.9%)より多くなっている。

さらに性・年代別で見ると、女性の場合、30歳代・40歳代では「学校、市民センター、図書館等の公共施設の耐震などを含めたメンテナンス」が、それぞれ32.0%・33.1%と、他の年代より多くなっている。また、60歳代では「日常、通勤・通学・買い物などに行くときに利用する生活道路の整備」が36.8%と、全年代を通じて最も多くなっている。

男性の場合は、30歳代・40歳代で「日常、通勤・通学・買い物などに行くときに利用する生活道路の整備」が、それぞれ33.0%・32.3%と多くなっている。また、40歳代では、20歳代同様「学校、市民センター、図書館等の公共施設の耐震などを含めたメンテナンス」(28.1%・27.5%)も多くなっている。

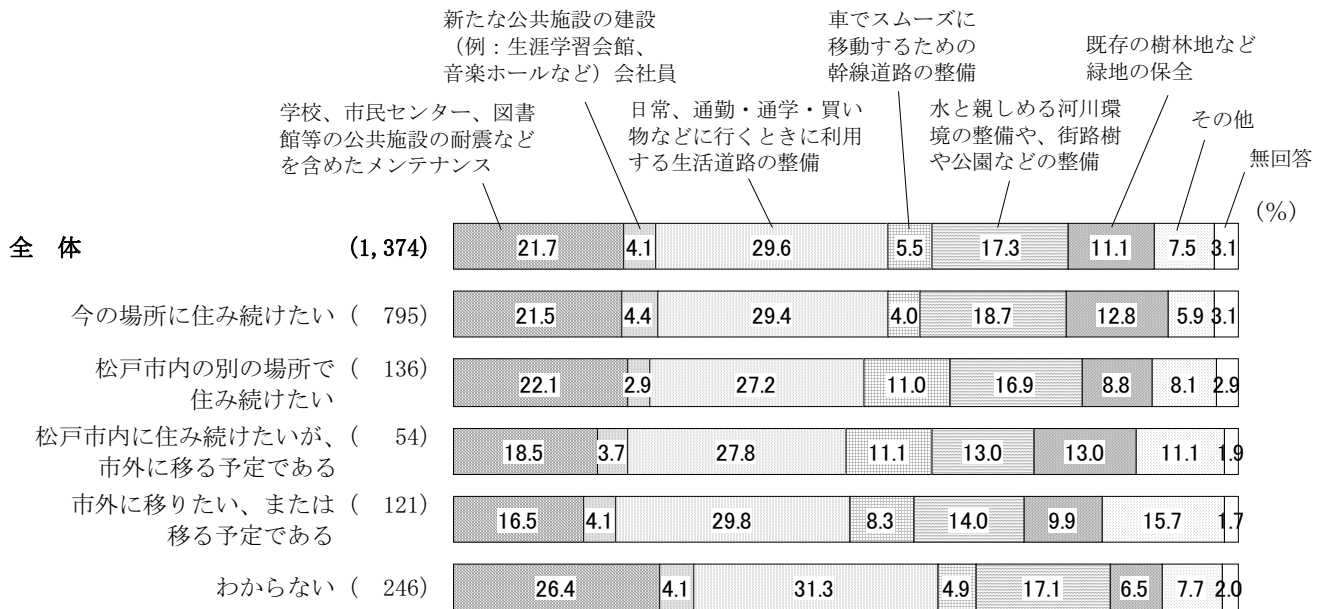
図6-3 性別、性・年代別



定住意向別でみると、今の場所に住み続けたい、という人では「日常、通勤・通学・買い物などに行くときに利用する生活道路の整備」が29.4%と最も多く、これに「学校、市民センター、図書館等の公共施設の耐震などを含めたメンテナンス」(21.5%)が次いでいる。

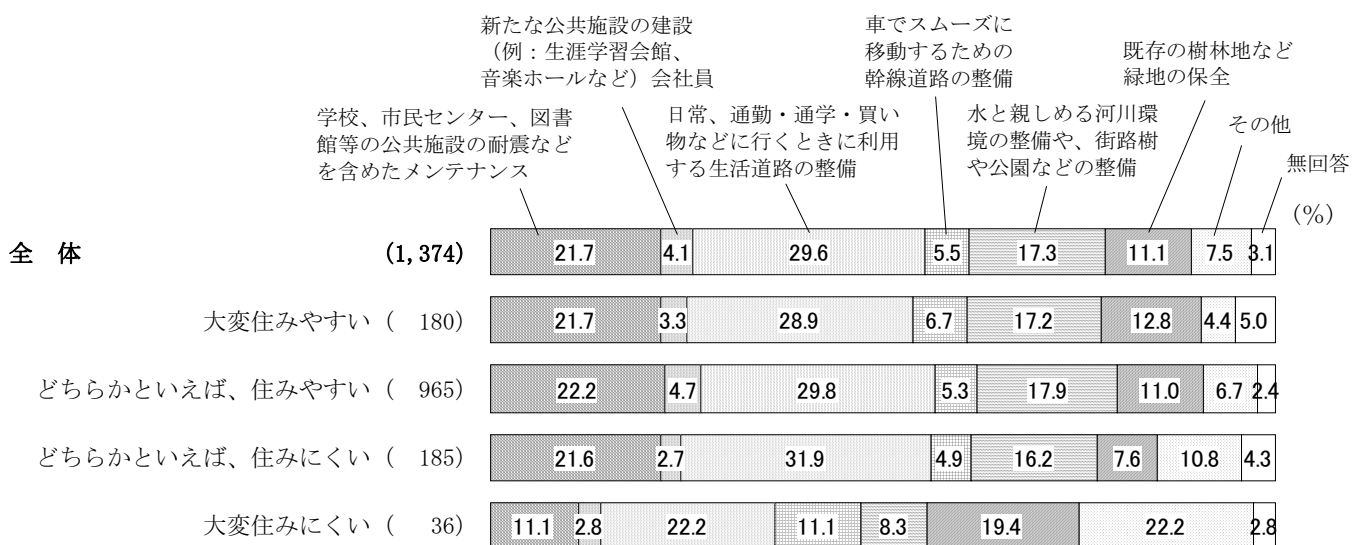
また、他の定住意向の選択肢を選んだ人も同傾向となっている。

図6-4 定住意向別



住みよさ評価別でみると、大変住みにくいという層では、「既存の樹林地など緑地の保全」が19.4%と、他の評価層に比べてやや多くなっているとともに、他の選択肢を選んだ人と異なり、基盤整備の投資先が分散している。

図6-5 住みやすさ別



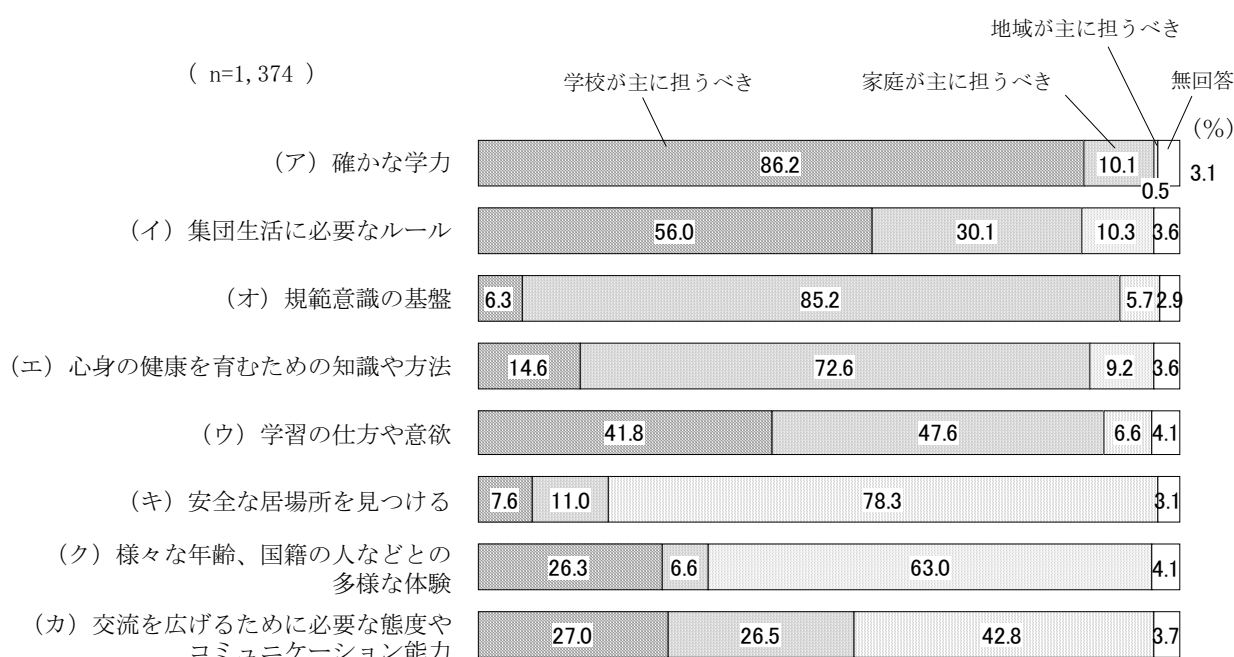
## 7. 教育の役割分担

問7 子どもを取り巻く環境が複雑化、多様化している現在、子どもの教育は、学校・家庭・地域が、それぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携して行われることが重要であると言われてしています。子どもの成長に必要と思われる項目を次のように整理しました。

全ての項目について、学校・家庭・地域のそれぞれが一定の役割を担うものとは思いますが、あなたは、それぞれの選択項目について、学校・家庭・地域のうち最も重要な役割を担うべき主体は、どこだとお考えですか。

項目ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を「1～3」の中から、それぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

図7-1



### ■調査票での項目

(ア) 基礎基本（読み、書き、計算など）の定着を始めとした確かな学力を身につけること
(イ) 集団生活を営むために必要なルールを身につけること
(ウ) 生涯にわたって自分で学んでいくために必要な学習の仕方や意欲を身につけること
(エ) 自らの心身の健康を育むための知識や方法を身につけること
(オ) 生活習慣や善悪の判断など規範意識の基盤をつくること
(カ) 社会生活を営み、人との交流を広げるために必要な態度やコミュニケーション能力を身につけること
(キ) 放課後や休日に、子どもたちが安心して活動できる安全な居場所を見つけること
(ク) 通常の教育カリキュラムの他に、様々な年齢や性別、国籍の人などと多様な体験をすること

学校・家庭・地域の教育おける役割分担をみると、「学校が主に担うべき」が多いものとしては、〈(ア)基礎基本（読み、書き、計算など）の定着を始めとした確かな学力を身につけること〉が86.2%と圧倒的に多く、これに〈(イ)集団生活を営むために必要なルールを身につけること〉が56.0%で次いでいる。

また、「家庭が主に担うべき」が多いものをみると、〈(オ)生活習慣や善悪の判断など規範意識の基盤をつくること〉が85.2%と最も多く、これに〈(エ)自らの心身の健康を育むための知識や方法を身につけること〉(72.6%)が次いでいる。

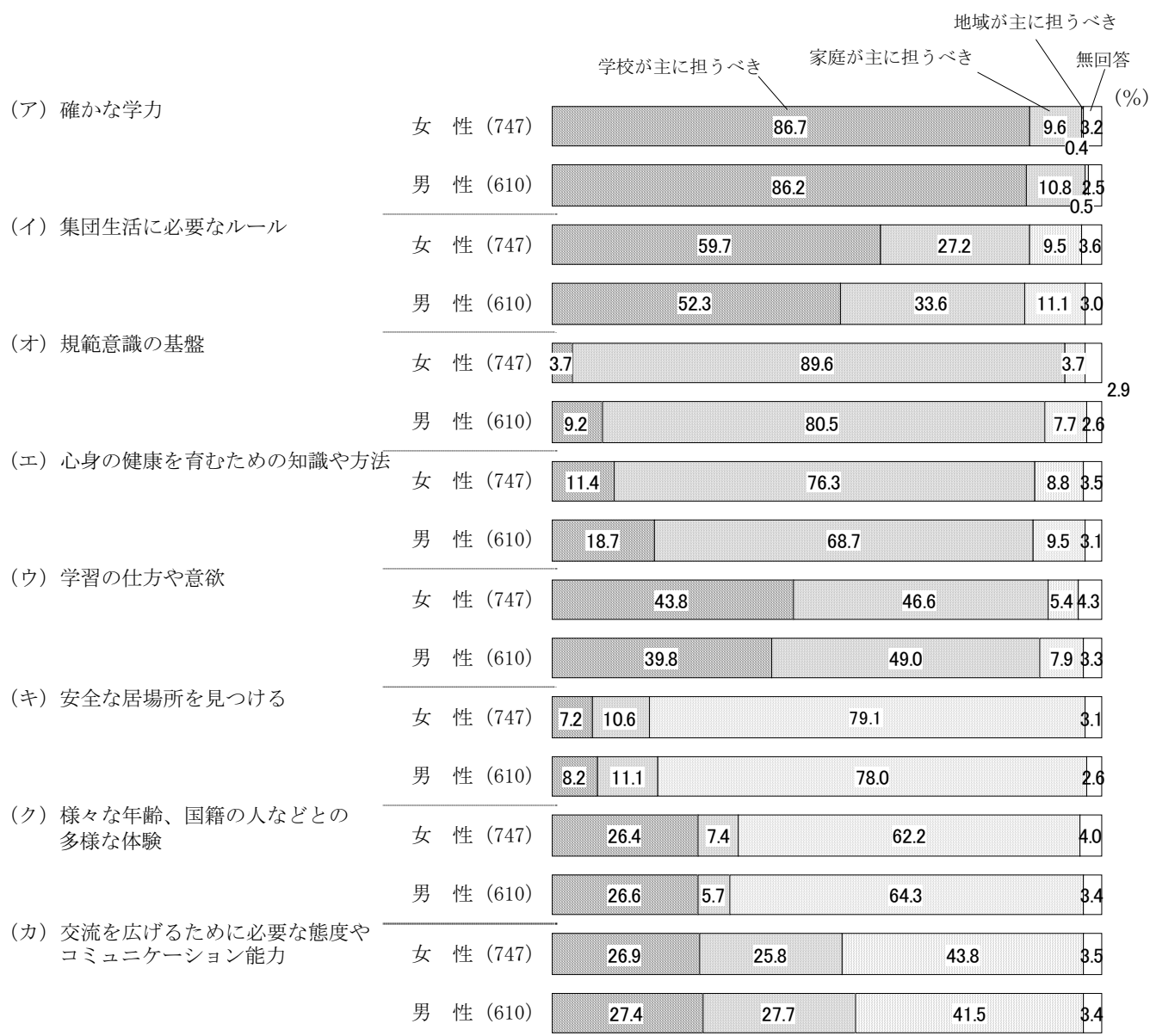
一方、「地域が主に担うべき」の多いものは、〈(キ)放課後や休日に、子どもたちが安心して活動できる安全な居場所を見つけること〉(78.3%)と〈(ク)通常の教育カリキュラムの他に、様々な年齢や性別、国籍の人などと多様な体験をすること〉(63.0%)の二つの分野である。〈(カ)社会生活を営み、人との交流を広げるために必要な態度やコミュニケーション能力を身につけること〉でも42.8%を占めている。

なお、〈(ウ)生涯にわたって自分で学んでいくために必要な学習の仕方や意欲を身につけること〉については、「家庭が主に担うべき」(47.6%)が、「学校が主に担うべき」(41.8%)をやや上回っている。



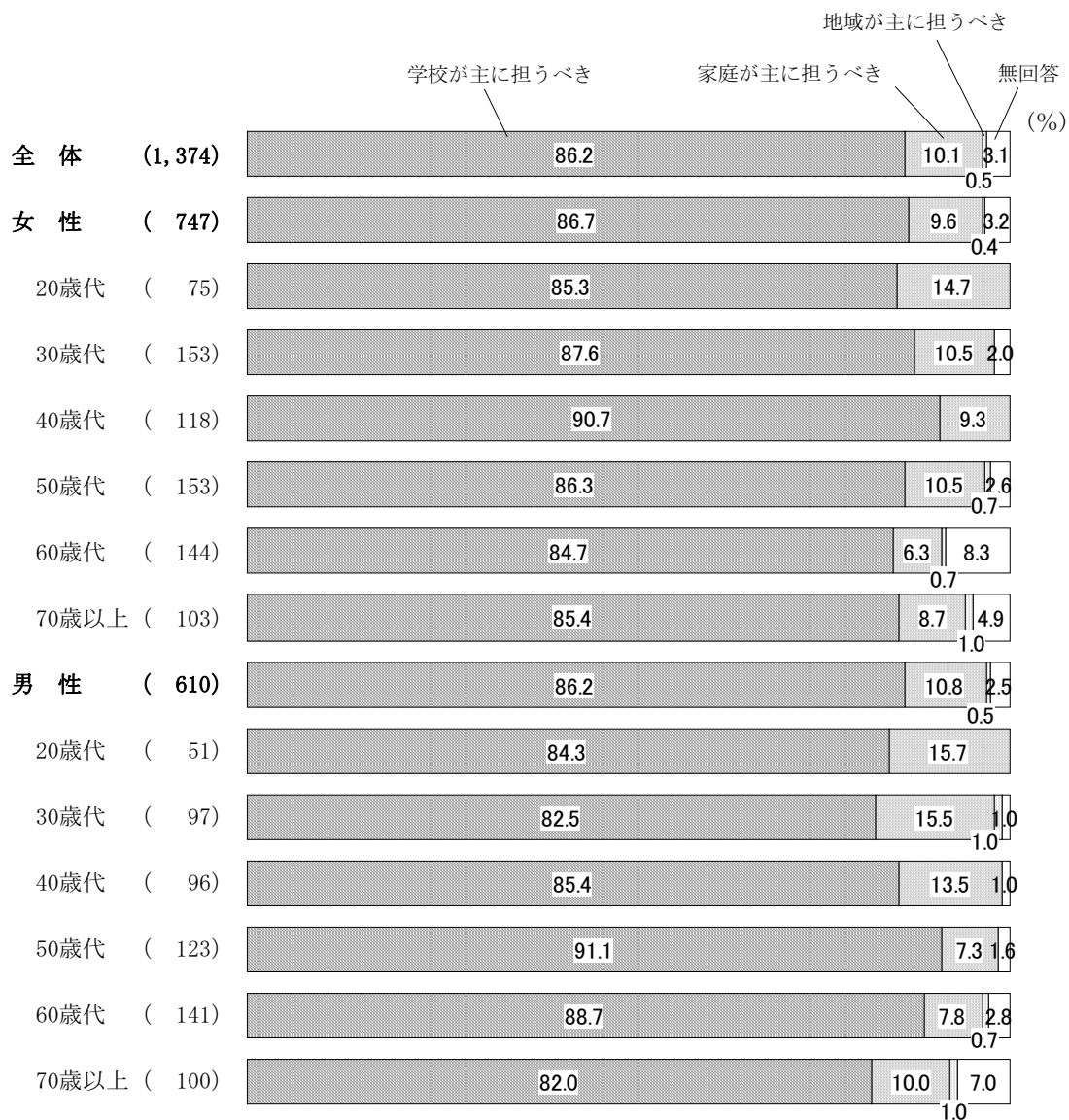
性別でみると、あまり男女差のないものが多いが、「集団生活に必要なルール」は女性が59.7%と、男性（52.3%）より多くなっている。

図 7-2 性別



〈(ア) 基礎基本（読み、書き、計算など）の定着を始めとした確かな学力を身につけること〉  
 について性別で見ると、「学校が主に担うべき」が女性86.7%・男性86.2%となっている。  
 性・年代別でも、男女各年代にわたって、「学校が主に担うべき」が多数を占めている。

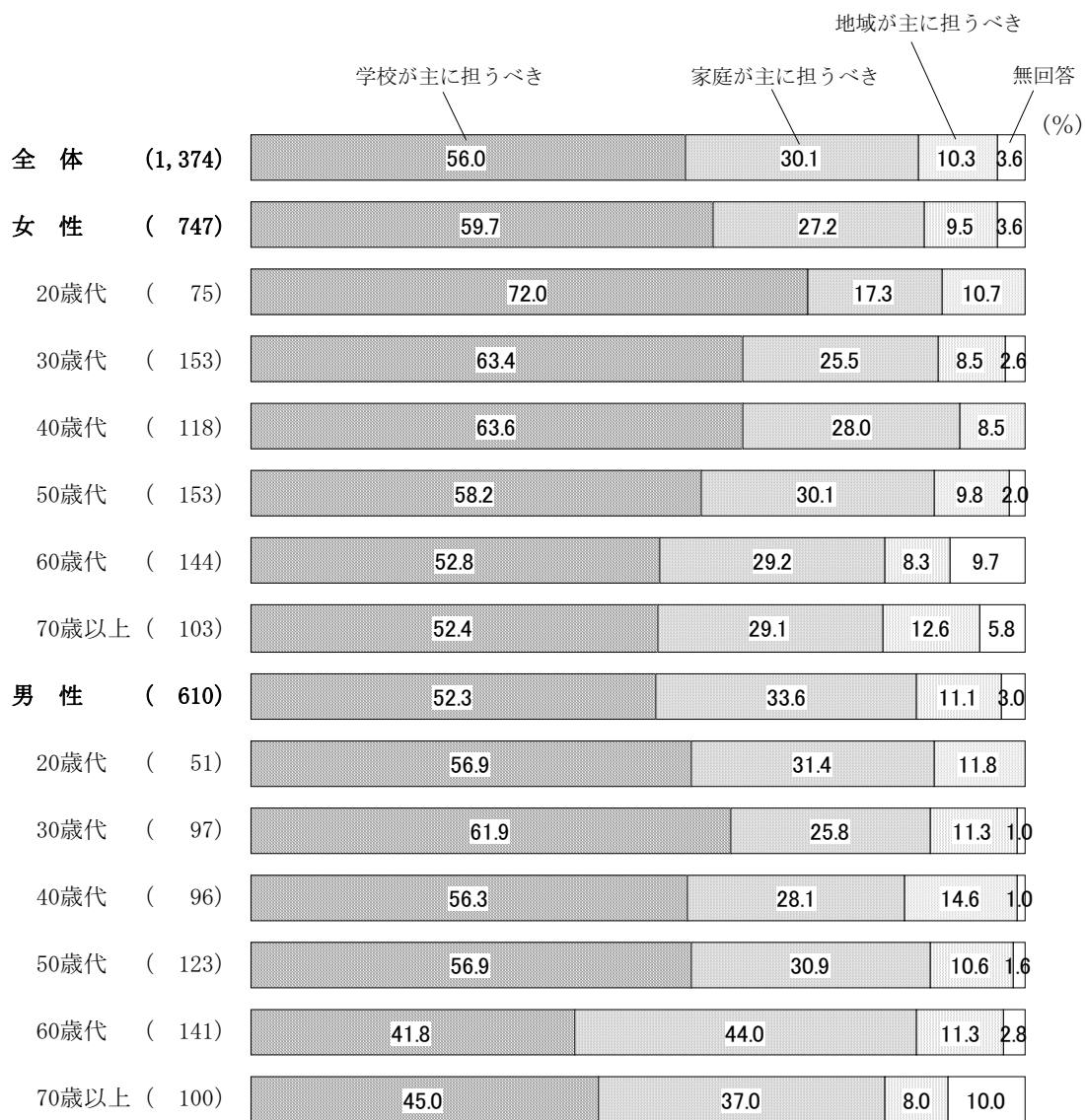
図7-3 性別、性・年代別 (ア) 確かな学力



〈(イ) 集団生活を営むために必要なルールを身につけること〉について性別でみると、「学校が主に担うべき」が女性59.7%・男性52.3%となっている

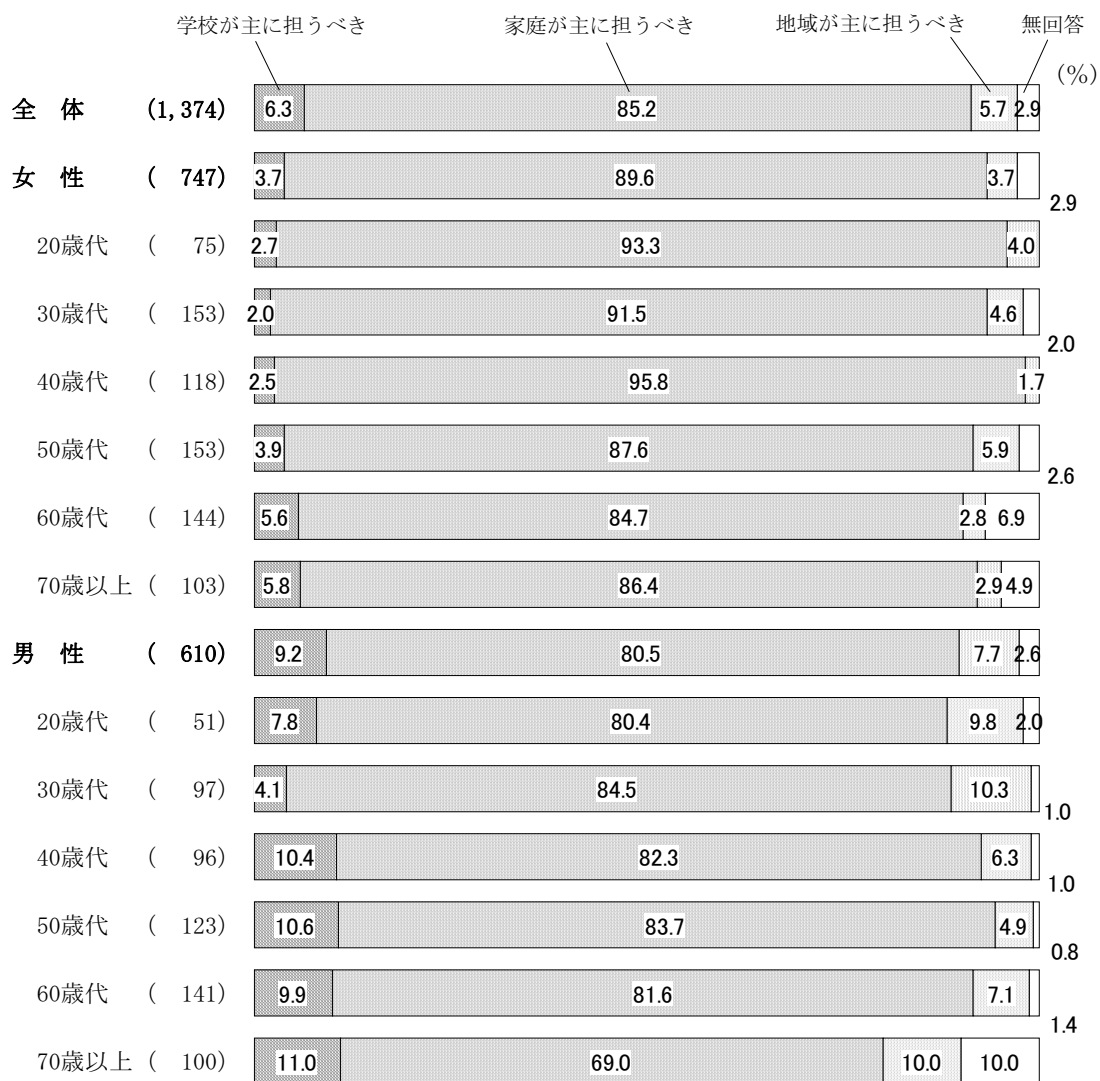
性・年代別でみると、男性の60歳代・70歳以上では、「学校が主に担うべき」と「家庭が主に担うべき」とで、拮抗しているのが特徴的である。

図7-4 性別、性・年代別 (イ) 集団生活に必要なルール



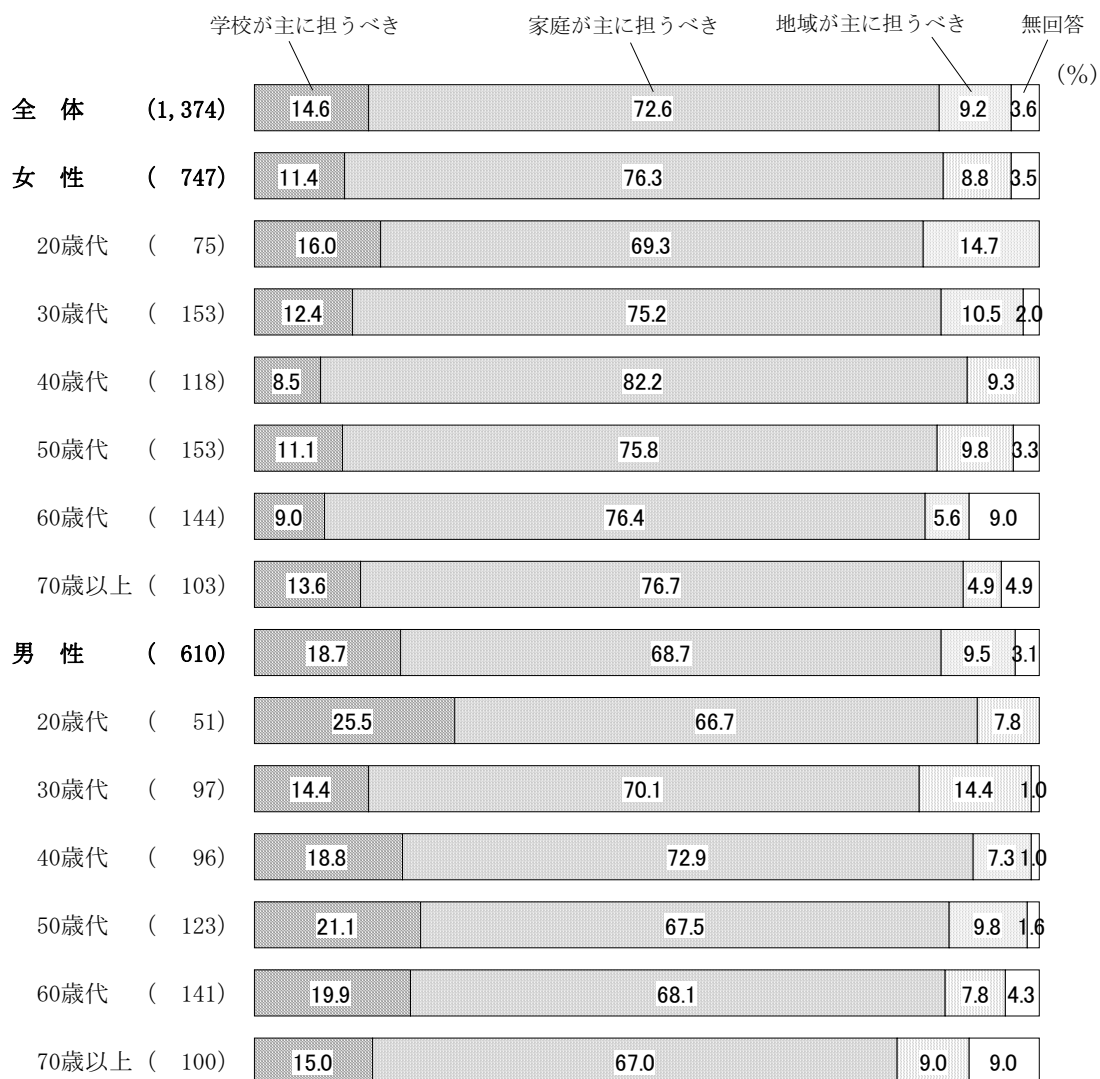
〈(オ) 生活習慣や善悪の判断など規範意識の基盤をつくること〉についても、前項同様に性別、性・年代別とも、「家庭が主に担うべき」が圧倒的に多くなっている。

図7-5 性別、性・年代別 (オ) 規範意識の基盤



〈(エ)自らの心身の健康を育むための知識や方法を身につけること〉については、性別、性・年代別とも、「家庭が主に担うべき」が圧倒的に多くなっている。

図 7-6 性別、性・年代別 (エ) 心身の健康を育むための知識や方法

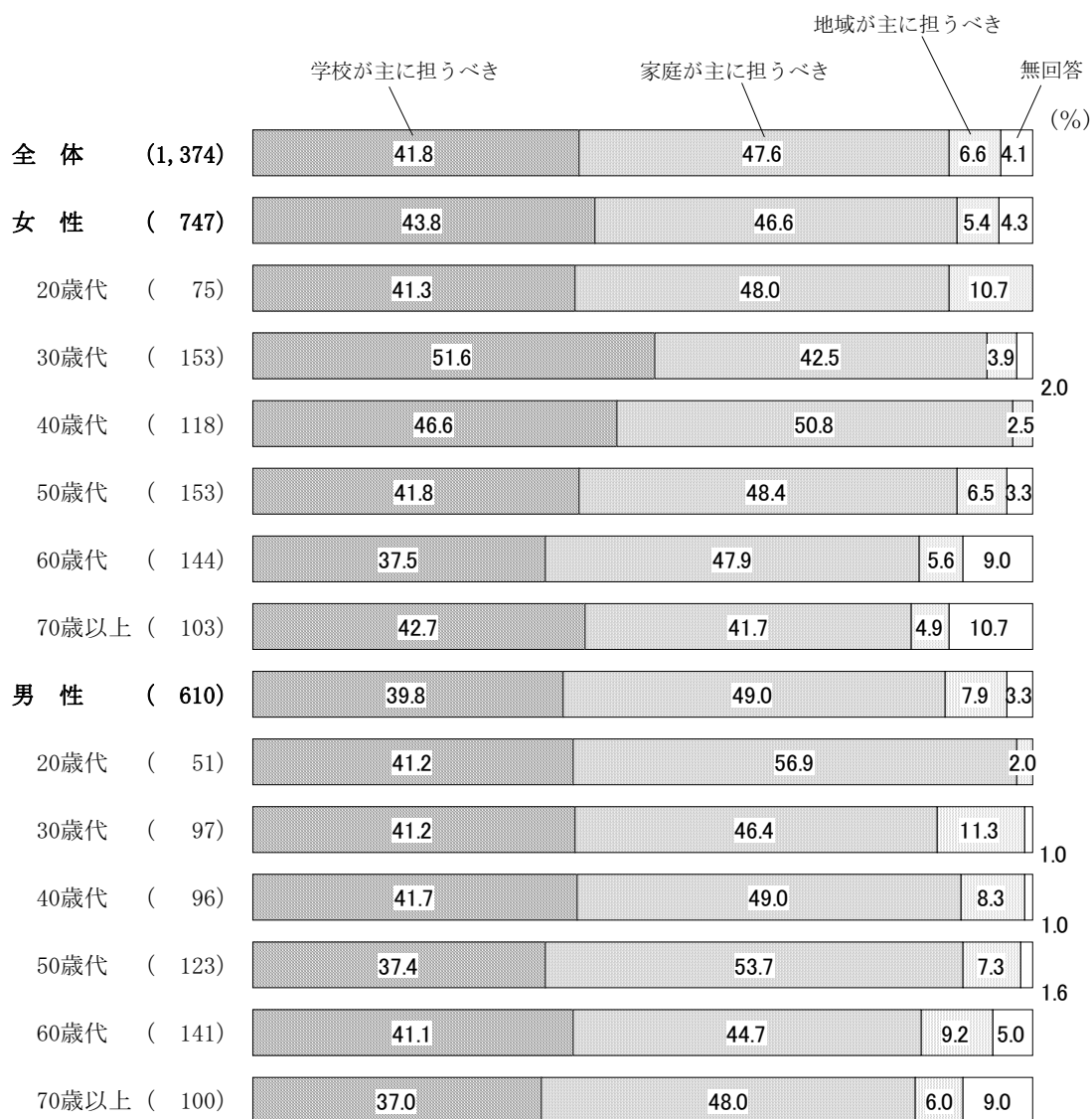


〈(ウ)生涯にわたって自分で学んでいくために必要な学習の仕方や意欲を身につけること〉について性別でみると、男性では、「家庭が主に担うべき」が49.0%と、「学校が主に担うべき」(39.8%)を10ポイント近く上回っている。

性・年代別でみると、女性の場合、30歳代・70歳以上を除くと各年代で「家庭が主に担うべき」が「学校が主に担うべき」を上回っている。

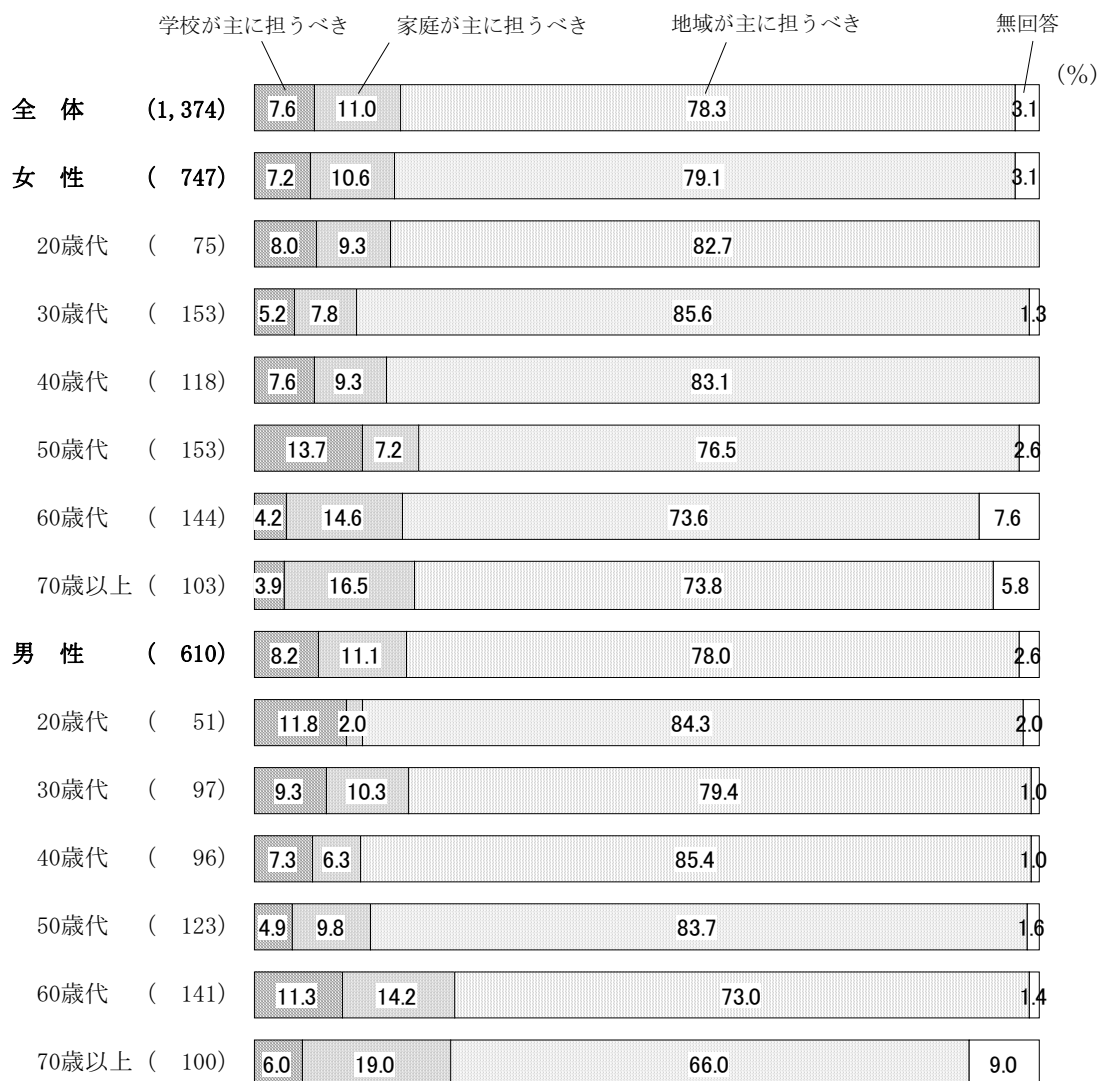
男性では全年代にわたって、「家庭が主に担うべき」が「学校が主に担うべき」を上回っている。

図7-7 性別、性・年代別 (ウ) 学習の仕方や意欲



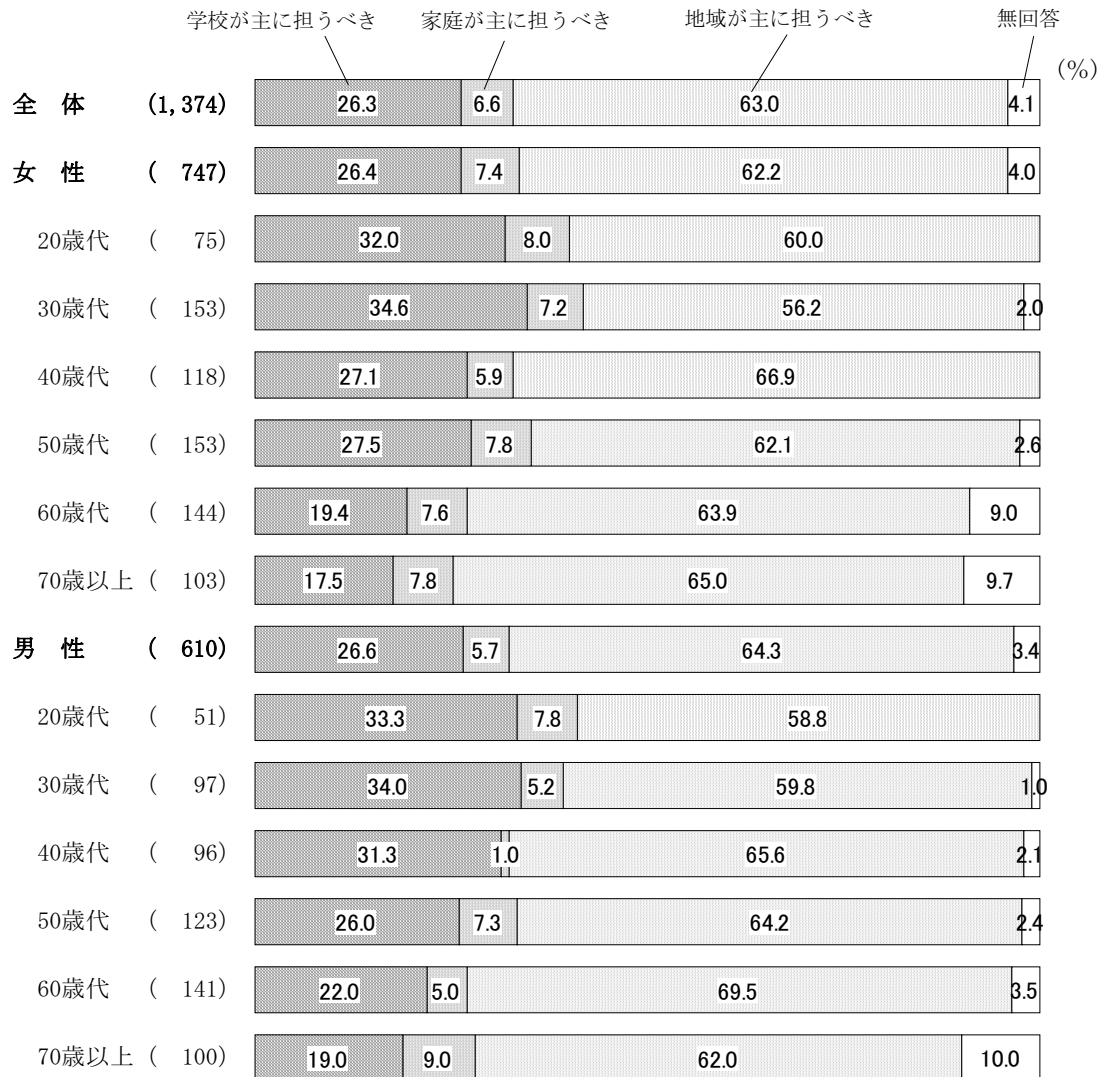
〈(キ)放課後や休日に、子どもたちが安心して活動できる安全な居場所を見つけること〉についても、前項同様に性別、性・年代別とも、「地域が主に担うべき」が圧倒的に多くなっている

図7-8 性別、性・年代別 (キ) 安全な居場所を見つける



〈(ク)通常の教育カリキュラムの他に、様々な年齢や性別、国籍の人などと多様な体験をすること〉については、男女すべての年代にわたって「地域が主に担うべき」が6割前後から7割弱を占めているが、男女の20歳代・30歳代では「学校が主に担うべき」が3割を超え、他の年代と比較して、やや多くなっている。

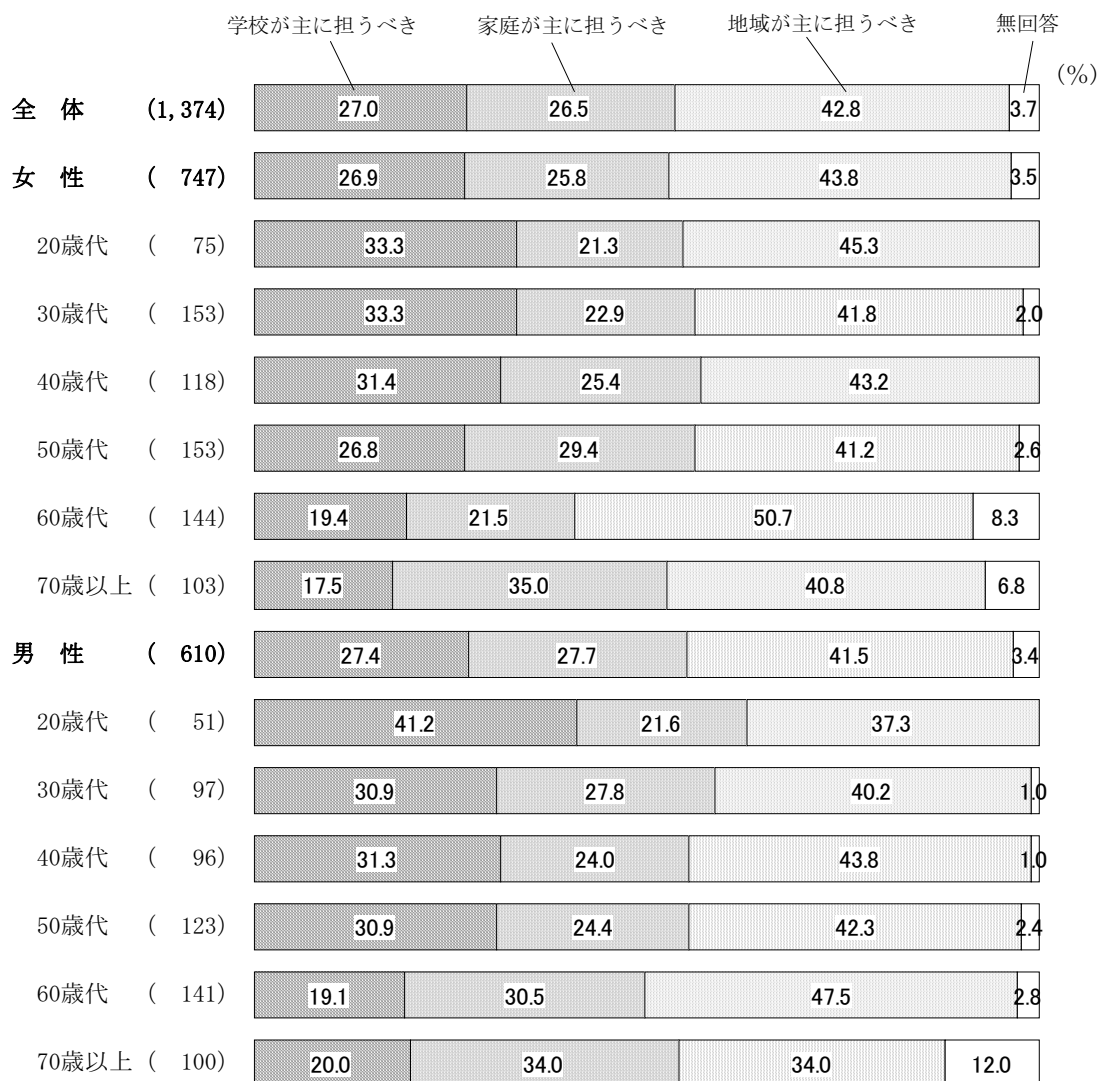
図7-9 性別、性・年代別 (ク) 様々な年齢、国籍の人などとの多様な体験





〈(カ)社会生活を営み、人との交流を広げるために必要な態度やコミュニケーション能力を身につけること〉については、性別、性・年代別とも、「地域が主に担うべき」が多くなっている

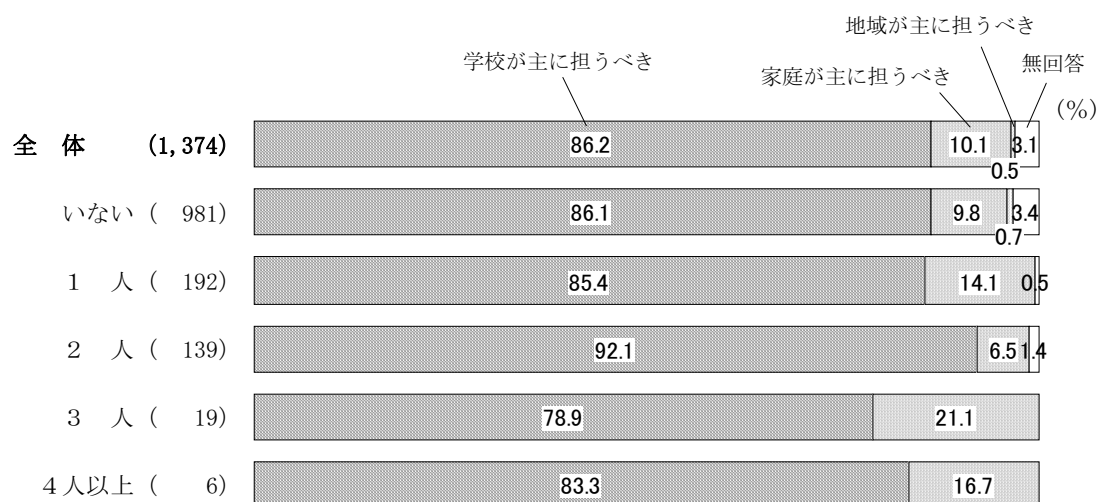
図7-10 性別、性・年代別 (カ) 交流を広げるために必要な態度やコミュニケーション能力



中学生以下の子ども的人数別でみると、〈確かな学力〉については、2人で「学校が担うべき」が92.1%と最も多くなっている。

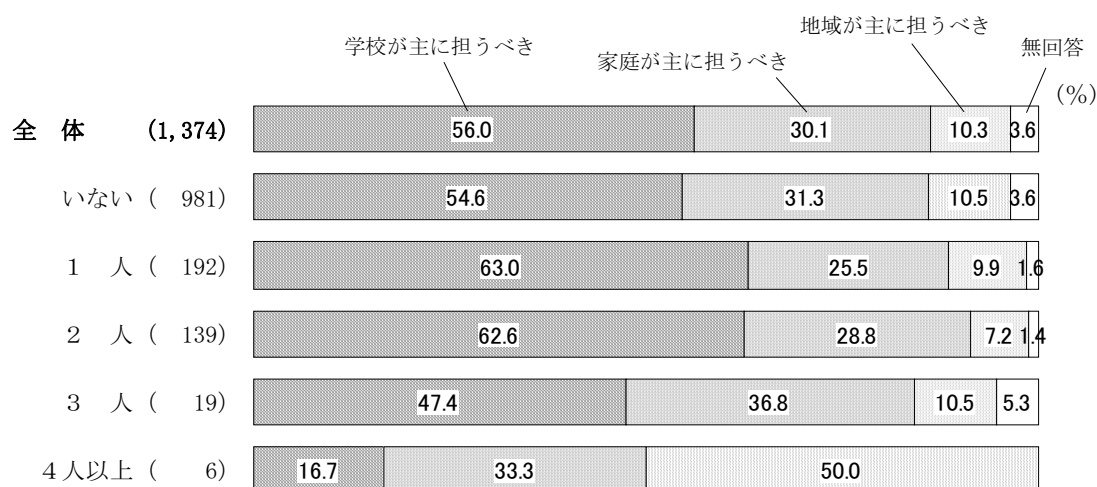
(注) 中学生以下の子ども的人数別で「3人」「4人以上」は、回答者数が少ないので分析ではふれていない。以下同様。

図7-11 中学生以下の子ども的人数別 (ア) 確かな学力



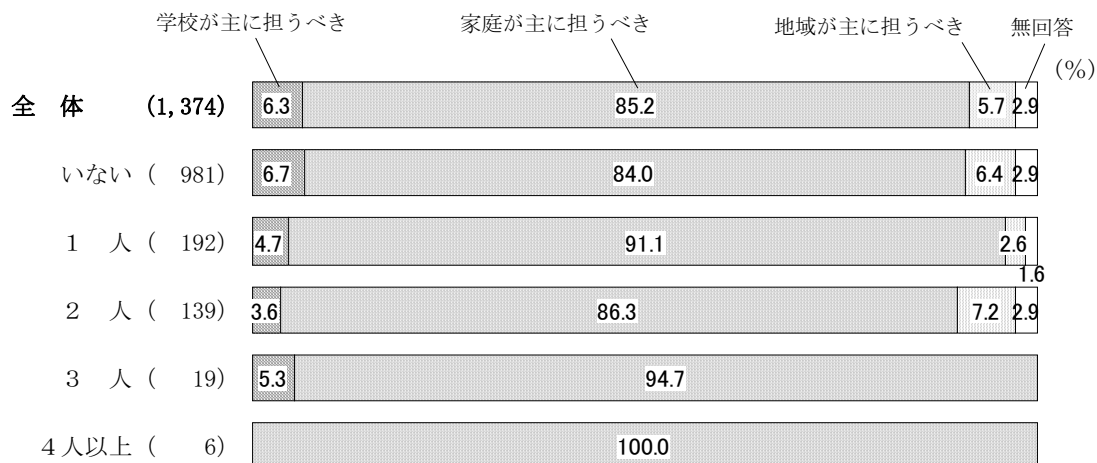
〈集団生活に必要なルール〉については、1人・2人で「学校が主に担うべき」が60%を超えている。

図7-12 中学生以下の子ども的人数別 (イ) 集団生活に必要なルール



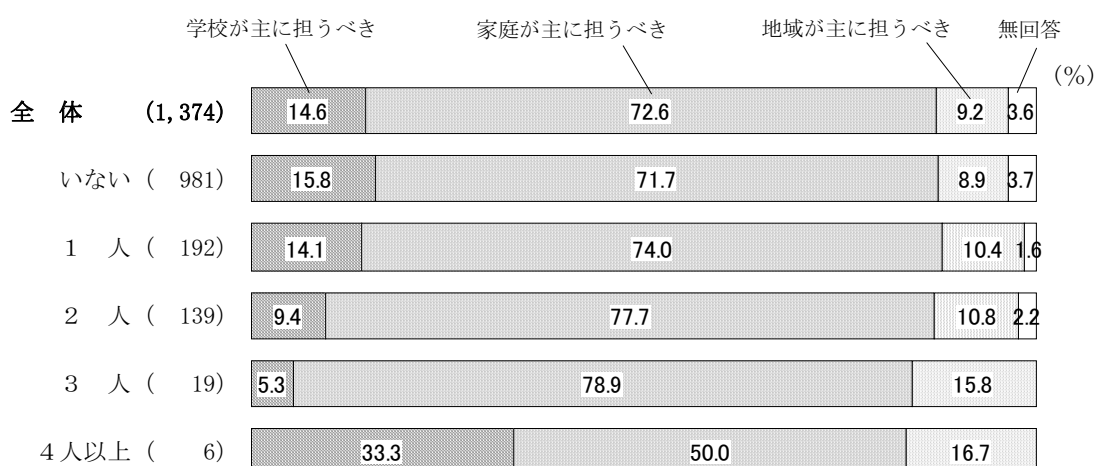
〈規範意識の基盤〉については、子どもの数にかかわらず、「家庭が主に担うべき」が80%を超えている。

図7-13 中学生以下の子ども的人数別 (オ) 規範意識の基盤



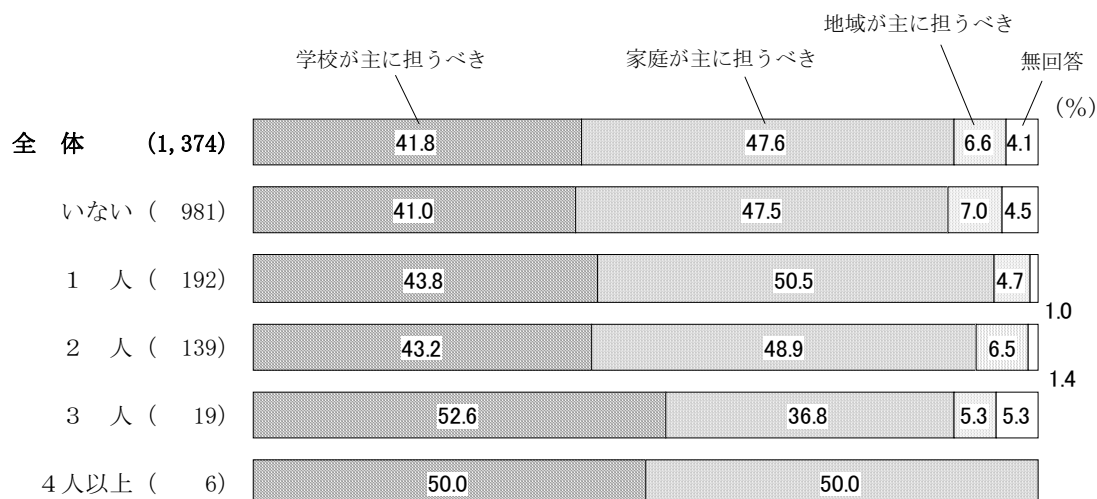
〈心身の健康を育むための知識や方法〉については、子どもの数にかかわらず、「家庭が主に担うべき」が70%を超えている。

図7-14 中学生以下の子ども的人数別 (エ) 心身の健康を育むための知識や方法



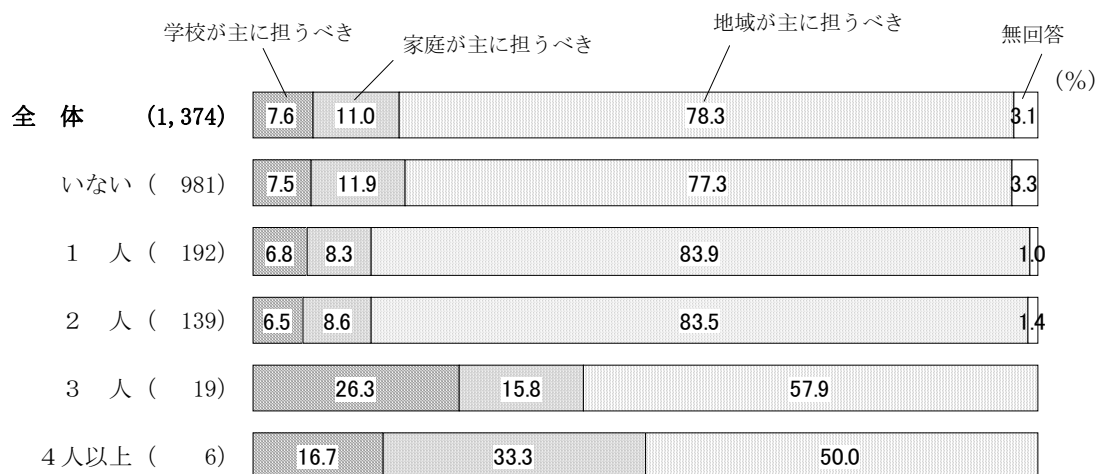
〈学習の仕方や意欲〉については、「家庭が主に担うべき」が5割前後だが、「学校が主に担うべき」も比較的多くなっており、拮抗していると言える。

図7-15 中学生以下の子ども的人数別 (ウ) 学習の仕方や意欲



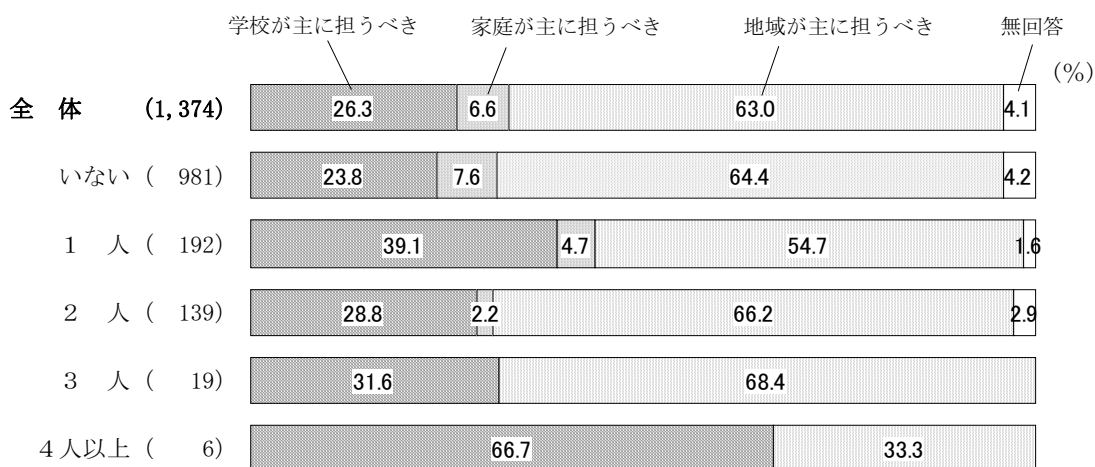
安全な居場所を見つけるについては、1人・2人で「地域が主に担うべき」が80%を超えて多くなっているが、いないでは77.3%と若干少なくなっている。

図7-16 中学生以下の子ども的人数別 (キ) 安全な居場所を見つける



様々な年齢、国籍の人などとの多様な体験については、1人では「学校が主に担うべき」が39.1%を占めているが、いない・2人では「地域が主に担うべき」が60%を超え、多くなっている。

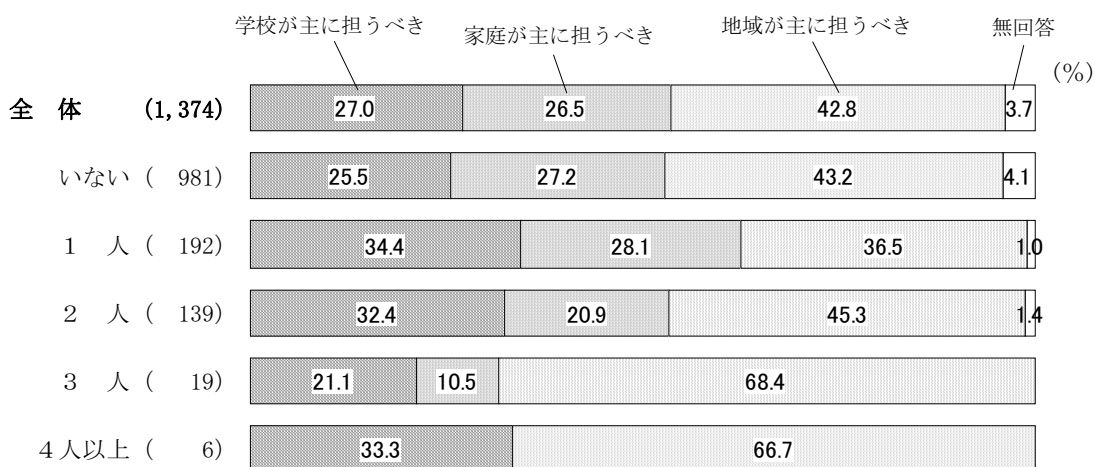
図7-17 中学生以下の子ども的人数別 (ク) 様々な年齢、国籍の人などとの多様な体験



交流を広げるために必要な態度やコミュニケーション能力については、2人で「地域が主に担うべき」が45.3%と多くなっている。

図7-18 中学生以下の子ども的人数別

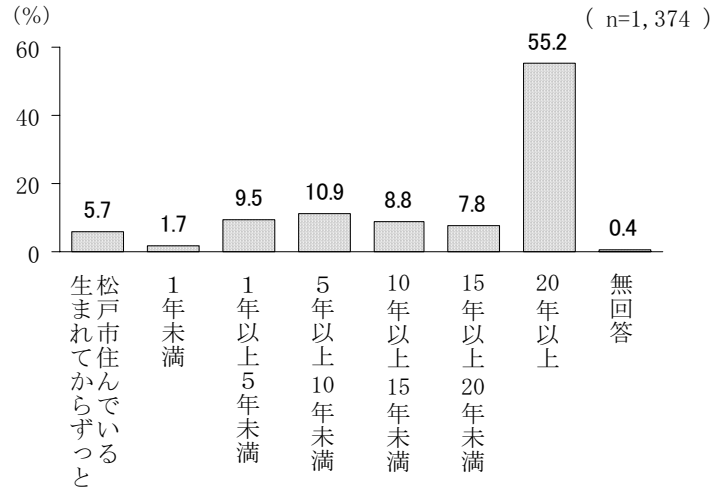
(カ) 交流を広げるために必要な態度やコミュニケーション能力



## 8. 定住年数

F 4 松戸市にお住まいになって通算何年になりますか (○は1つだけ)

図 8 - 1



松戸市への定住年数をみると、「20年以上」の長期定住者が55.2%と過半数を占めている。

地区別でみると、小金原地区では「20年以上」が73.6%を占めているほか、常盤平地区でも64.4%と多くなっている。

図 8 - 2 - 1 地区別

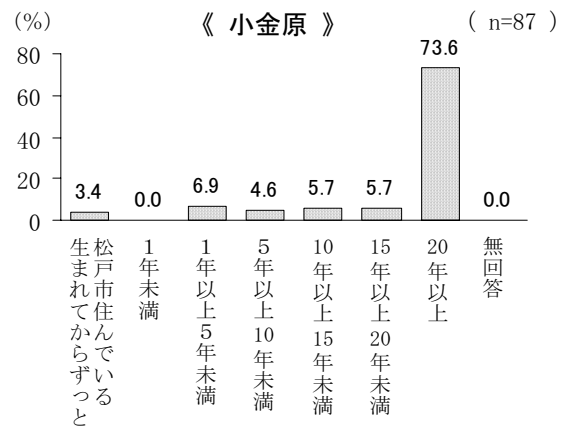
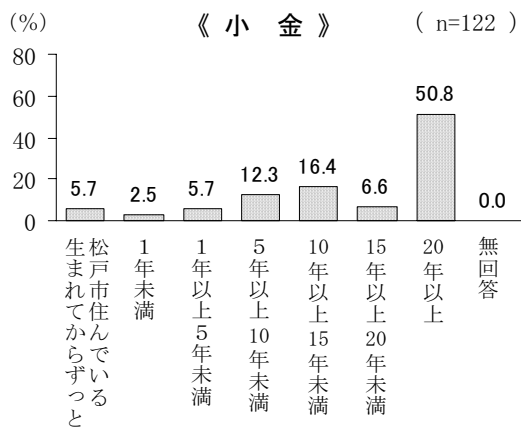
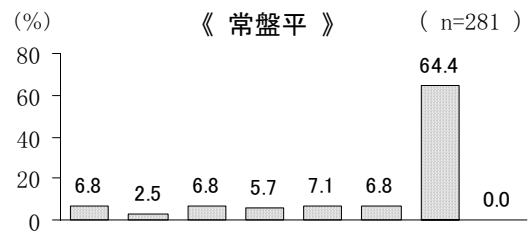
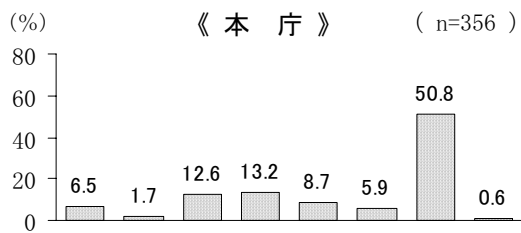
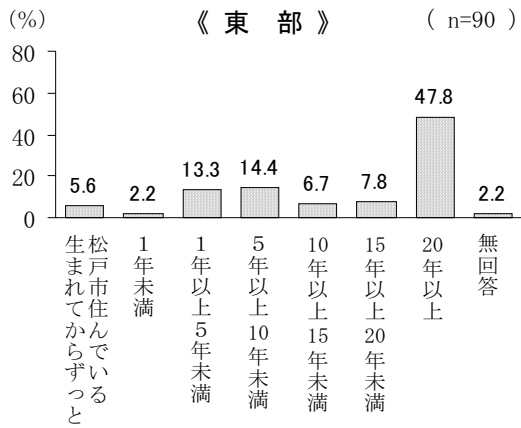
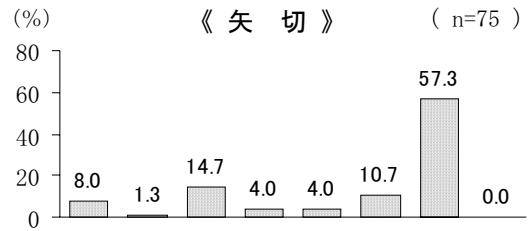
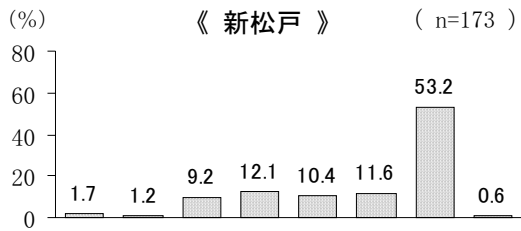
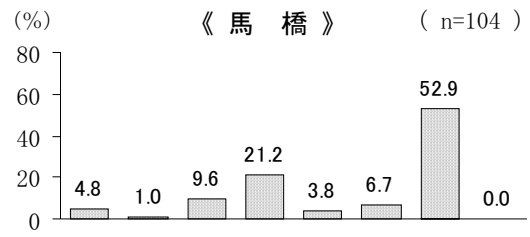
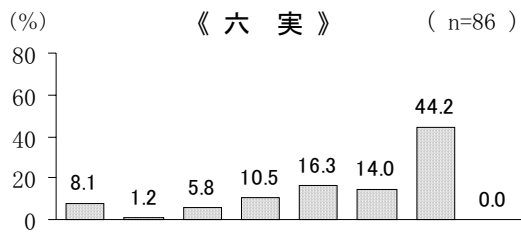


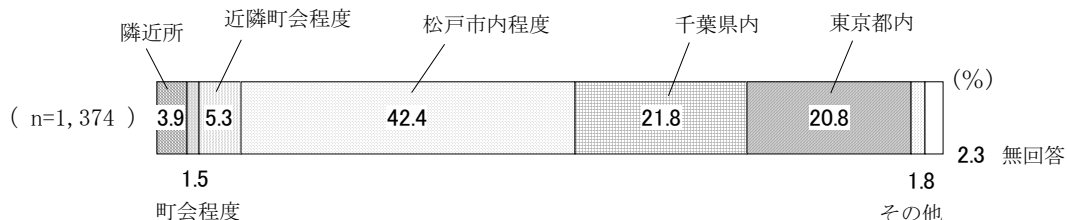
図8-2-2 地区別



## 9. 通勤・通学以外の活動範囲

F 8 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる範囲について、お答えください。  
(○は1つだけ)

図 9 - 1

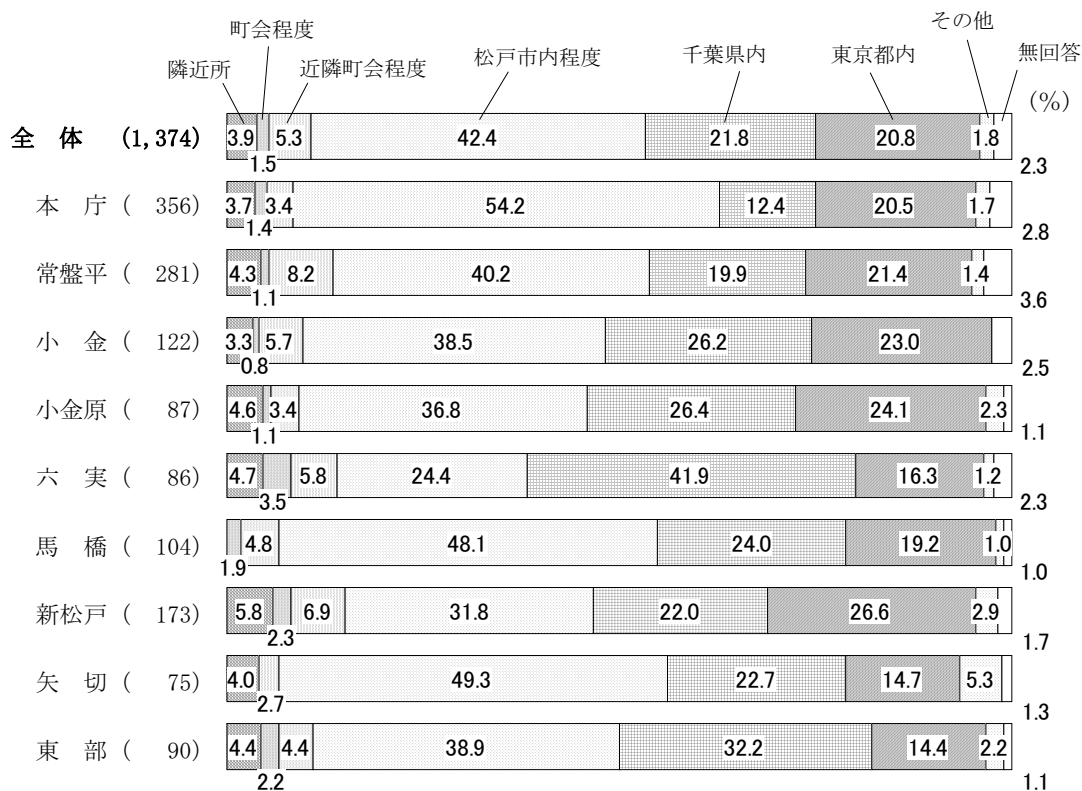


通勤・通学以外の活動範囲としては、「松戸市内程度」が42.4%で最も多く、これに「千葉県内」(21.8%)と「東京都内」(20.8%)が次いでいる。

地区別で見ると、本庁、馬橋、矢切地区では、いずれも「松戸市内程度」が5割前後を占めている。

また、六実地区では「千葉県内」が41.9%と、他地区に比べて際立って多くなっている。

図 9 - 2 地区別



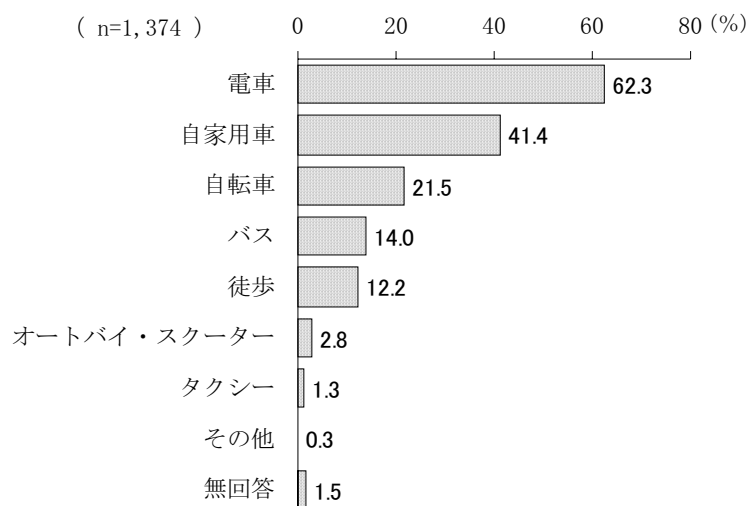


## 10. 主な交通手段

F 9 あなたの通勤・通学を含め、お出かけのときに利用する主な交通手段は何ですか。

(○は2つまで)

図10-1

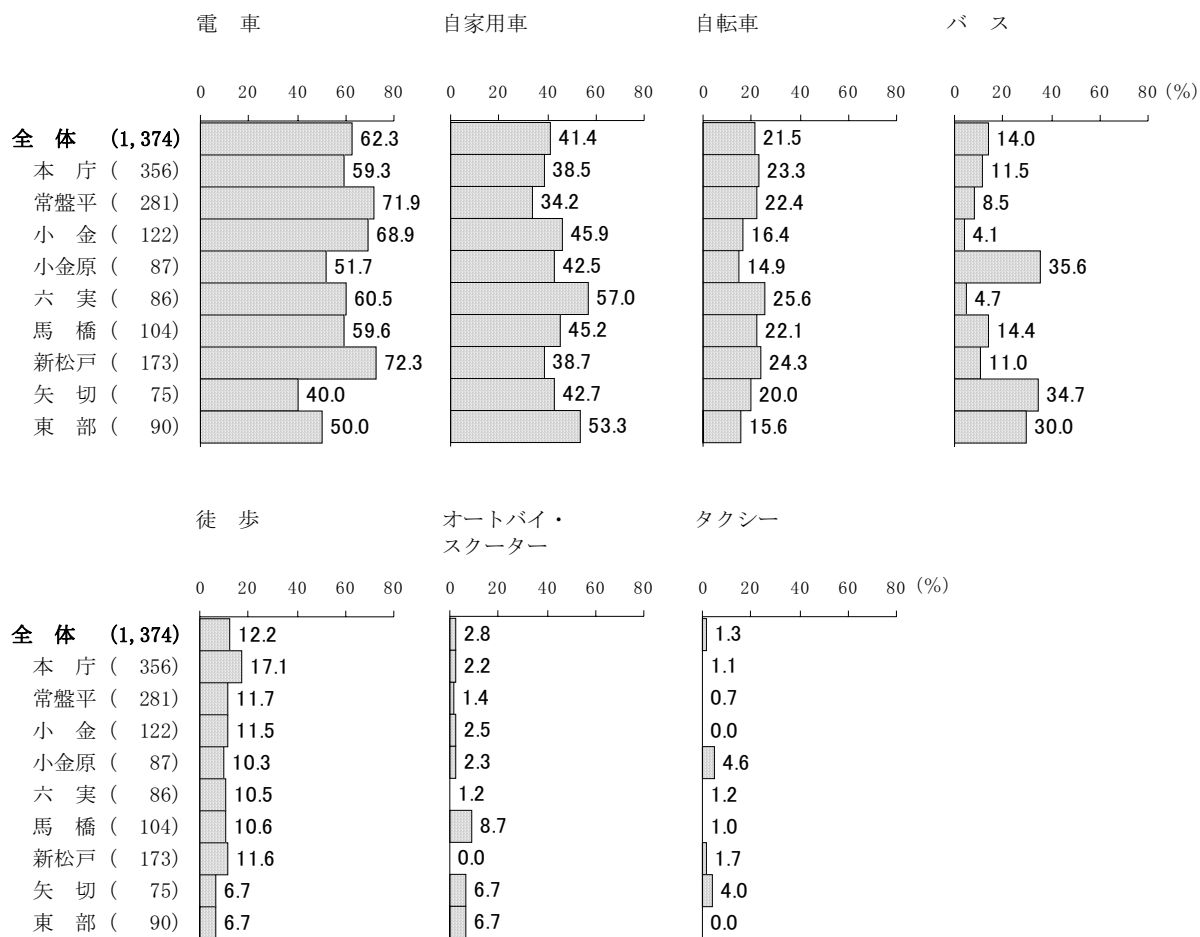


主な交通手段としては、「電車」が62.3%で圧倒的に多く、これに「自家用車」(41.4%)が次いでいる。他の手段としては、「自転車」(21.5%)や「バス」(14.0%)が比較的多くなっている。

地区別でみると、常盤平、小金、新松戸地区では、「電車」がそれぞれ71.9%・68.9%・72.3%と、いずれも7割前後を占めている。また、六実、東部地区では「自家用車」が57.0%・53.3%と他の地区より多くなっている。

一方、小金原、矢切、東部地区では、「バス」が、いずれも30%を超え、他の地区より目立って多くなっている。

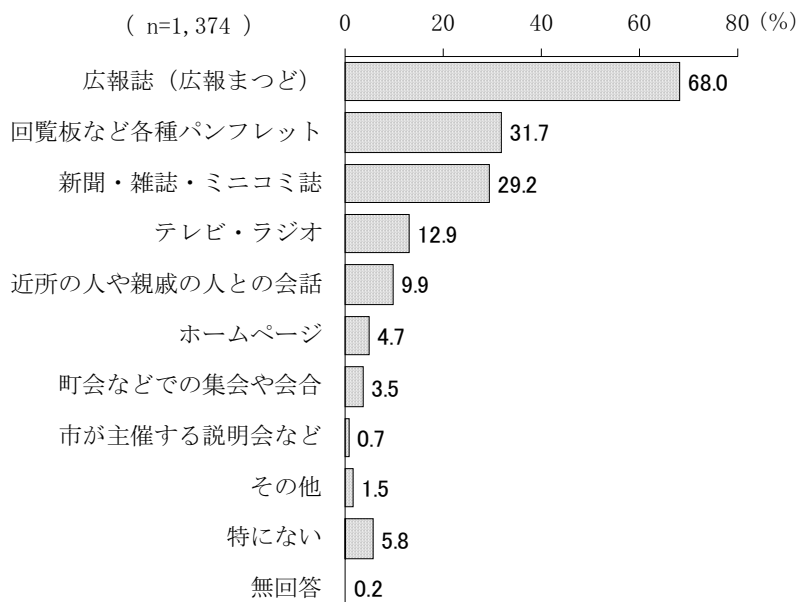
図10-2 地区別



## 11. 情報入手媒体

F10 あなたは、松戸市の地域の情報を主に何によって入手していますか。(〇は2つまで)

図11-1

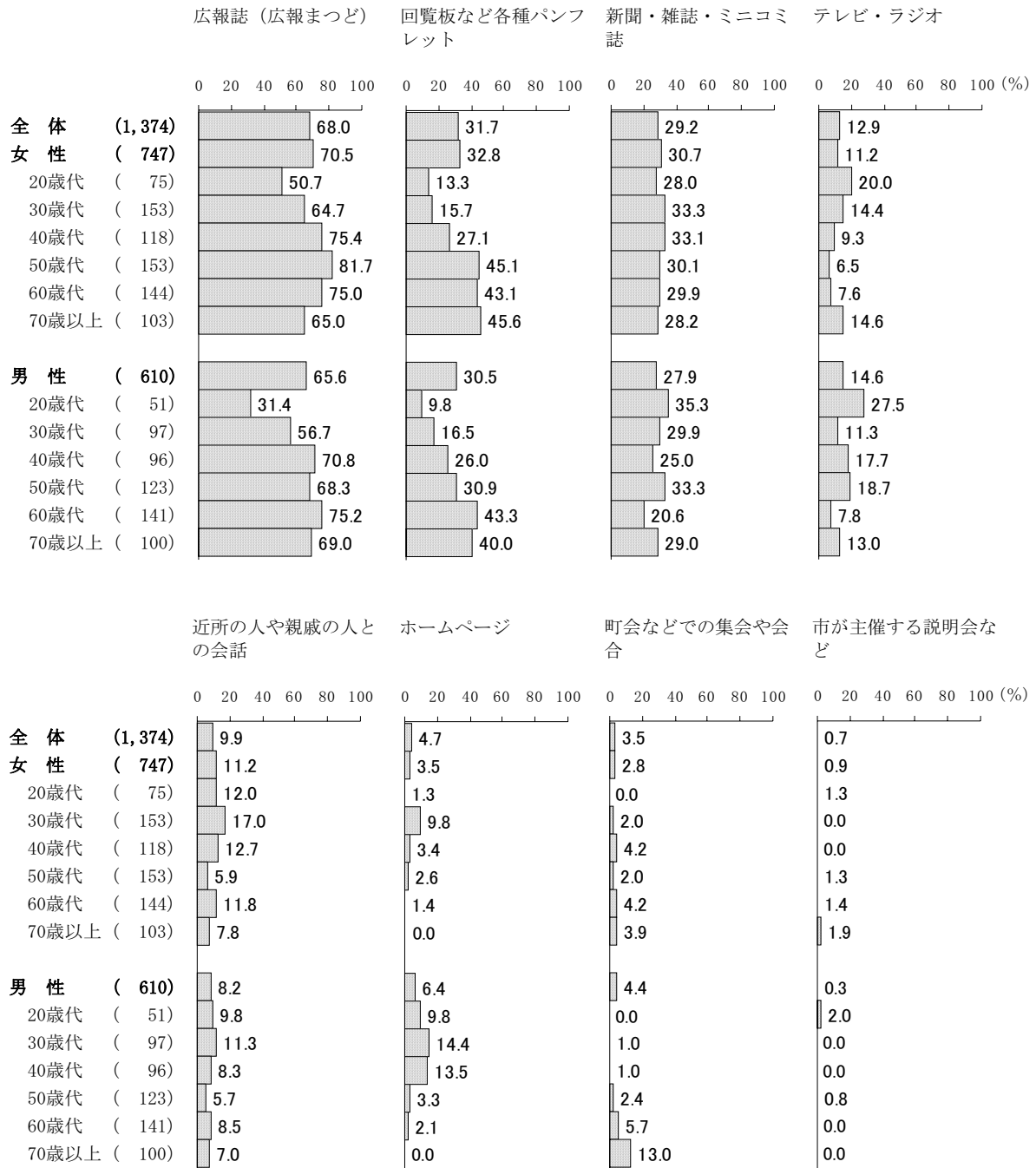


松戸市の情報入手媒体としては、「広報誌 (広報まつど)」が68.0%と最も多く、これに「回覧板など各種パンフレット」(31.7%)と「新聞・雑誌・ミニコミ誌」(29.2%)が次いでいる。

性別でみても、大きな男女差は認められない。

性・年代別でみると、男女とも、20歳代・30歳代では、「回覧板など各種パンフレット」が、他の年代に比べてかなり低くなっている。

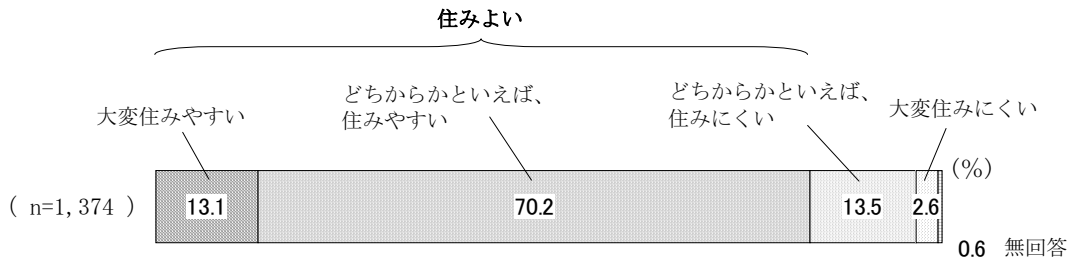
図11-2 性別、性・年代別



## 12. 住みやすさ

F11 あなたにとって、松戸市は住みやすいですか。(○は1つだけ)

図12-1

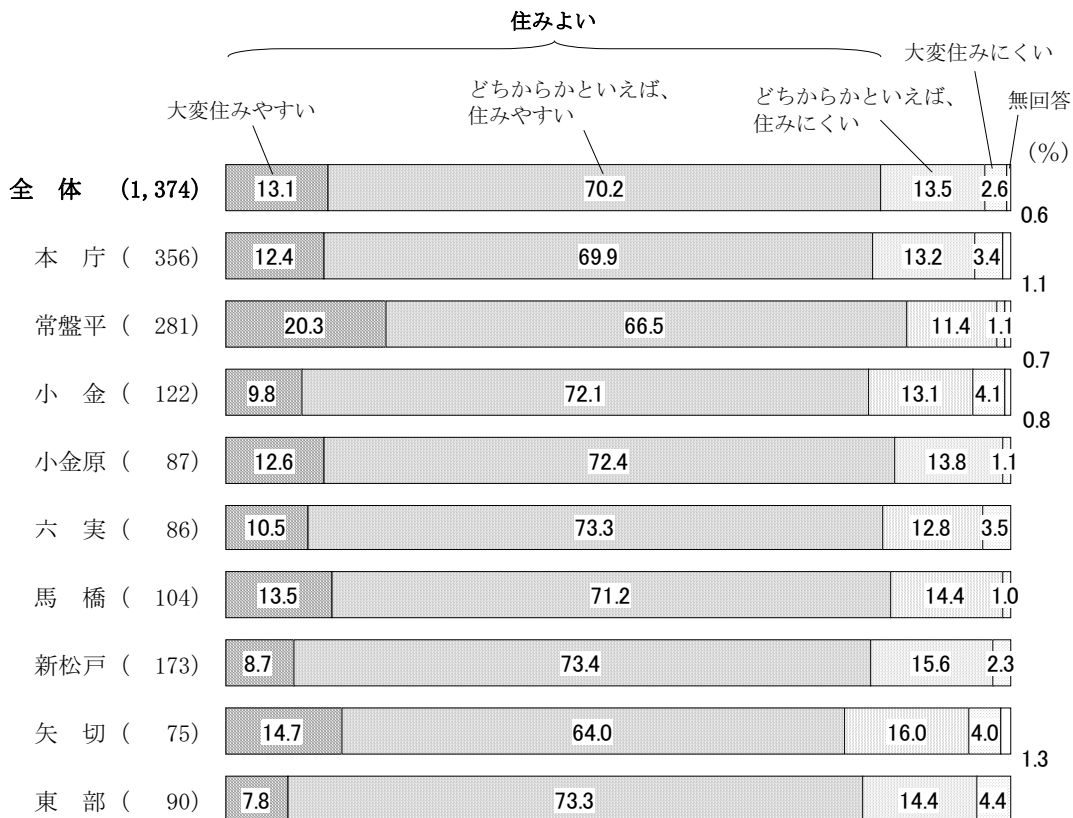


松戸市について、「大変住みやすい」が13.1%で、これに「どちらかといえば、住みやすい」(70.2%)を合わせた『住みよいい』は83.3%を占めている。

一方、「どちらかといえば、住みにくい」は13.5%、「大変住みにくい」は2.6%となっている。

地区別でみると、矢切地区を除く全地区で、『住みよいい』との評価が80%を超えているが、とくに、常盤平では『住みよいい』が86.8%、「大変住みやすい」が20.3%を占めている。

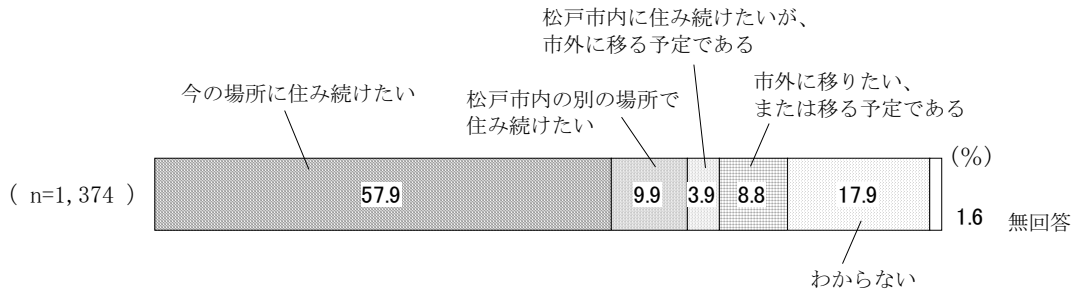
図12-2 地区別



### 13. 定住意向

F12 あなたは、今後も松戸市にお住みになりたいですか。(〇は1つだけ)

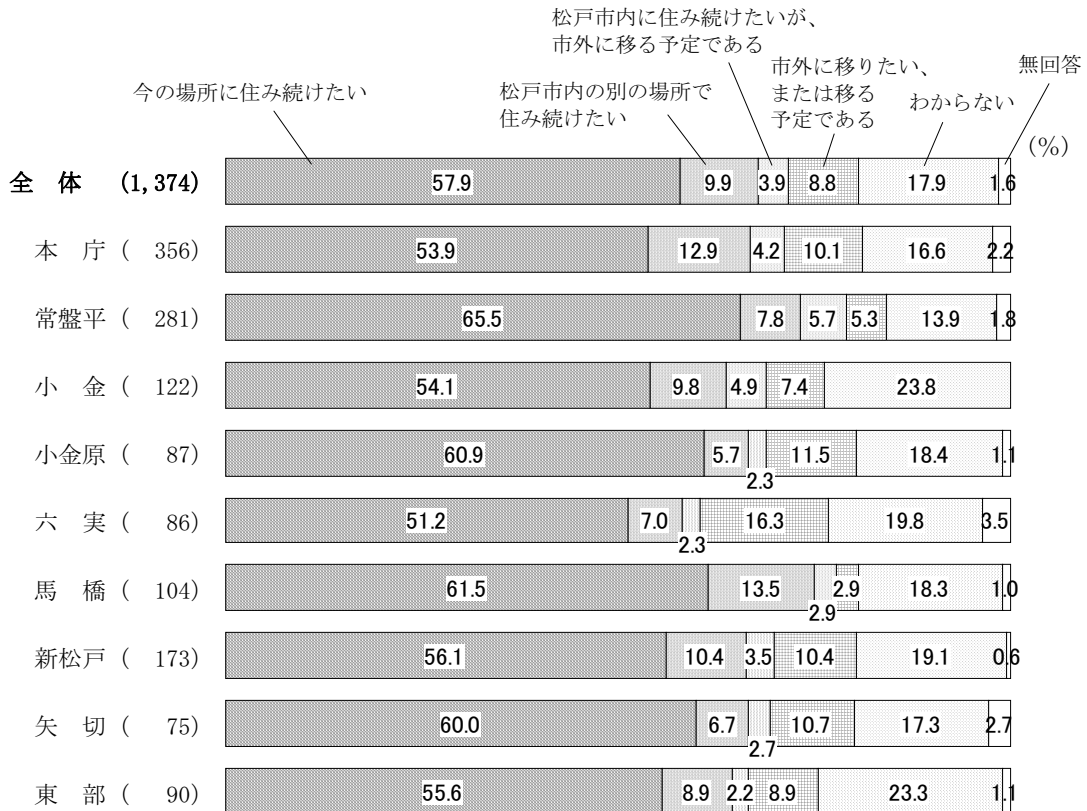
図13-1



松戸市について、「今の場所に住みたい」が57.9%と、過半数を占めている。  
また、「松戸市内の別の場所で住みたい」は9.9%を占めている。

地区別でみると、常盤平、小金原、馬橋、矢切地区では「今の場所に住みたい」が60%を超え、その中でも常盤平は65.5%を占めている

図13-2 地区別

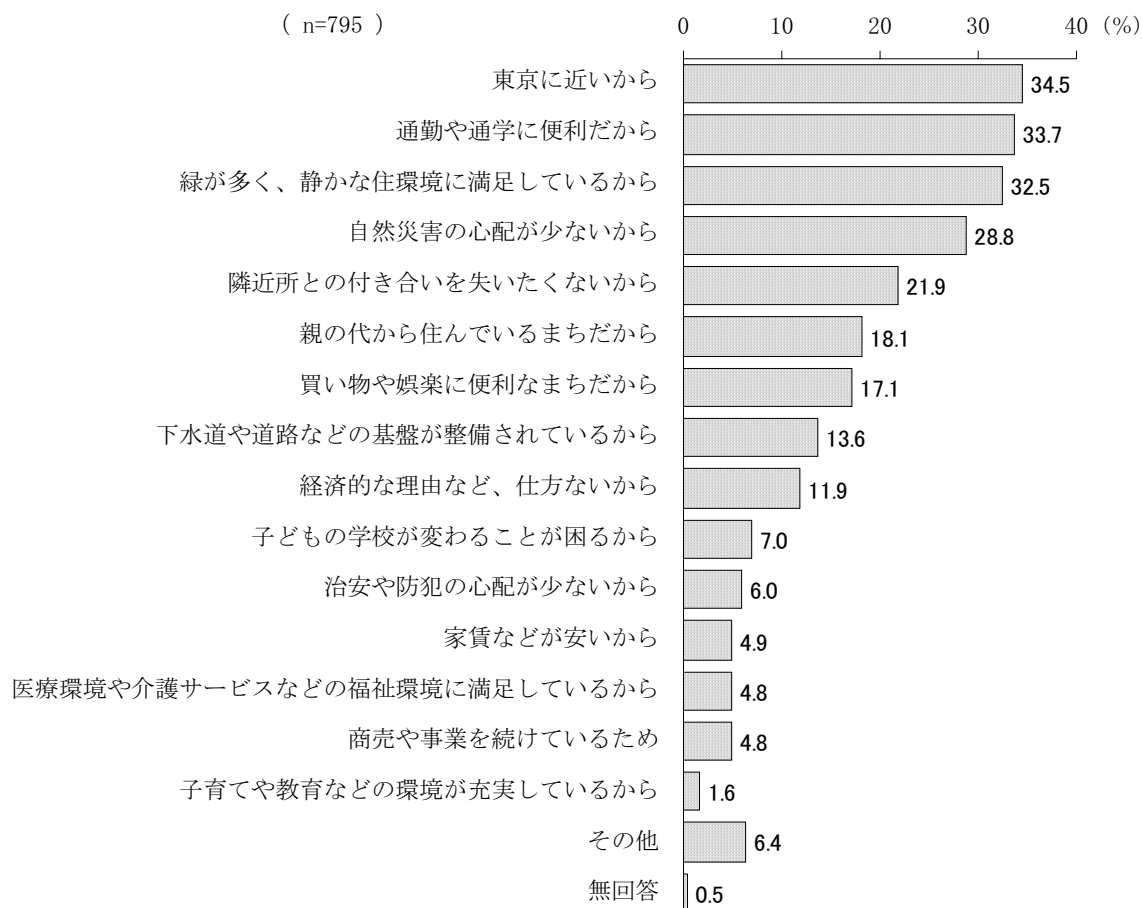


## 14. 定住理由

(F12で「1. 今の場所に住み続けたい」とお答えの方に)

F12-1 今の場所に住み続けたい理由は何ですか。(〇は3つまで)

図14-1

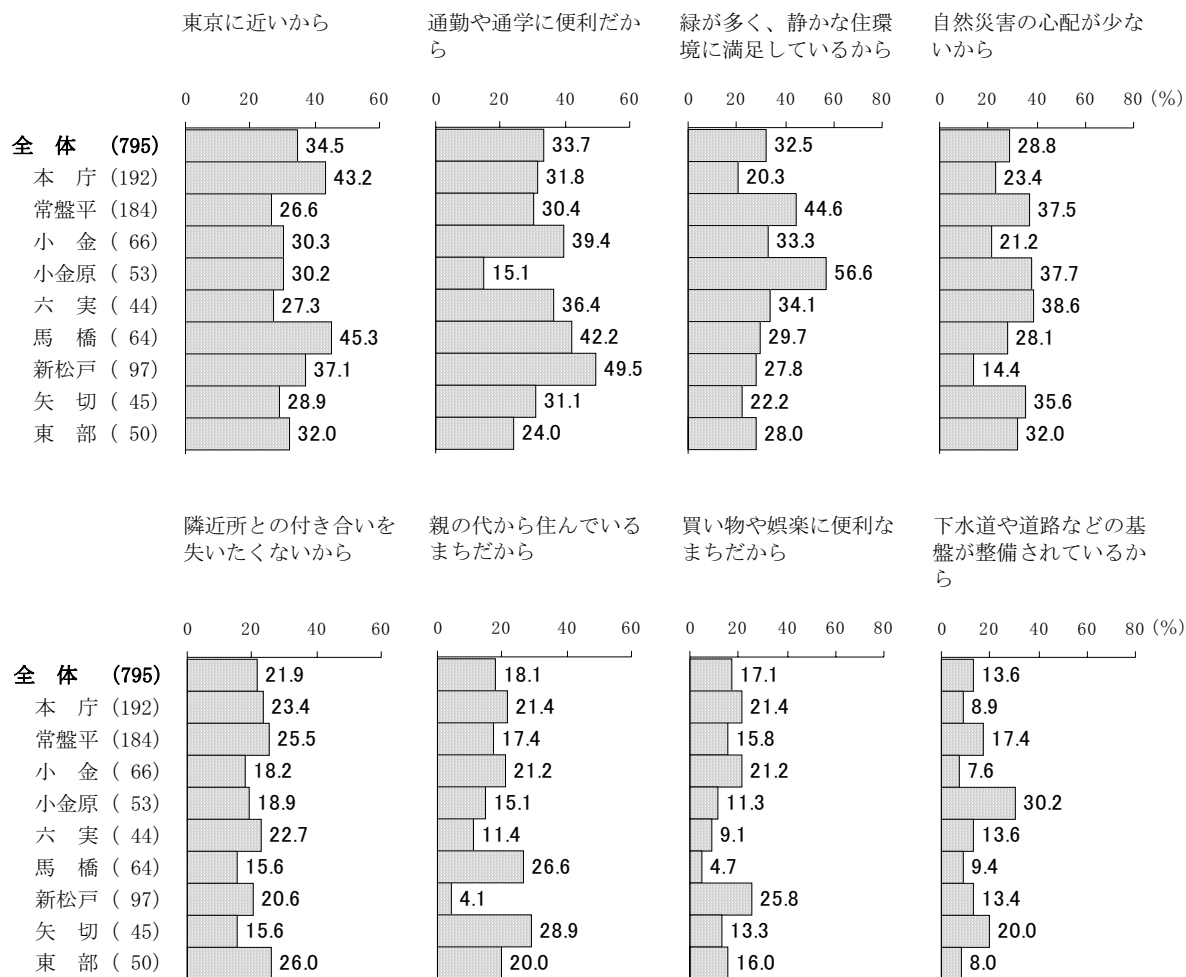


松戸市への定住理由としては、「東京に近いから」が34.5%で最も多く、以下「通勤や通学に便利だから」(33.7%)、「緑が多く、静かな住環境に満足しているから」(32.5%)、「自然災害の心配が少ないから」(28.8%)と僅差が続いている。

地区別でみると、本庁、馬橋地区では「東京に近いから」が、それぞれ43.2%・45.3%と他の地区に比べて多くなっている。また、馬橋、新松戸地区では、「通勤や通学に便利だから」が、いずれも40%を超え、とくに新松戸では49.5%とほぼ半数に達している。

一方、小金原地区では、「緑が多く、静かな住環境に満足しているから」が56.6%と過半数を占め、全地区中、際立って多くなっている。

図14-2 地区別



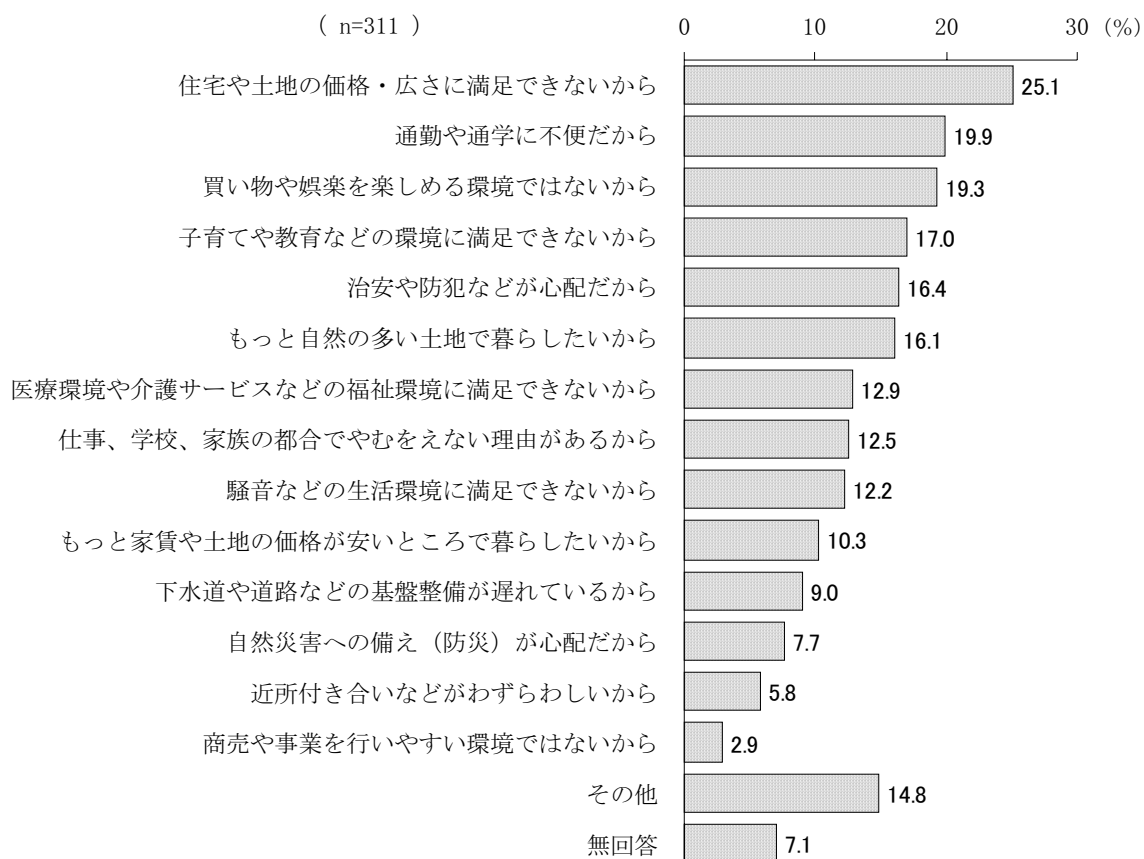


## 15. 転居理由

(F12で2～4のいずれかをお答えの方に)

F12-2 別の場所に移りたい、または移る予定の理由は何ですか。(〇は3つまで)

図15-1



転居理由は、各項目に分散しているが、その中では、「住宅や土地の価格・広さに満足できないから」(25.1%)、「通勤や通学に不便だから」(19.9%)、「買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから」(19.3%)が、やや多くなっている



## IV 自由記入



「松戸市に対するご意見・ご要望など、特にありましたら、ご自由に記載してください。」

自由意見では、513人から意見・要望が寄せられた。なお、1人で2つ以上の内容の記入があったものは、これを1件とせずに述べ件数として集計したので、件数は回答者よりも多くなっている。

### ①分類

項 目	件 数	構成比(%)
<b>環境整備についての意見・要望</b>	<b>353</b>	<b>39.6</b>
道路・歩道の整備、混雑の緩和対策、違法駐車取締り	66	7.4
駅、その周辺の美化、整備、開発、エレベーターの設置	56	6.3
河川、上下水道の整備	17	1.9
電車、バス事業、交通環境の整備	18	2.0
公共施設の整備充実	37	4.1
ゴミの回収、分別などゴミ対策	16	1.8
公園とその周辺の美化、整備・増設	30	3.4
街灯の整備	10	1.1
駐車場、駐輪場の整備	13	1.5
バリアフリー化	21	2.4
街の美化、緑化、大気汚染の解消	38	4.3
商業施設の充実、企業の誘致	21	2.4
その他	10	1.1
<b>行政についての意見・要望</b>	<b>521</b>	<b>58.4</b>
福祉サービスの充実	13	1.5
安全な街づくり（治安、防犯、防災）	65	7.3
出産、子育て支援対策、環境の充実	72	8.1
病院の整備、医療の充実	20	2.2
市の財政状況の改善、節税、補助金の充実	77	8.6
高齢者、社会的弱者への施策、施設の充実	34	3.8
市組織の再編成、変革	15	1.7
地域活動、交流の場の提供	5	0.6
行政と市民の対話の場を	9	1.0
行政施策、サービスの充実、情報の提供	75	8.4
市職員の質の向上	33	3.7
教育、マナーレベルの向上	19	2.1
歩きタバコの規制、分煙化	6	0.7
市外に向けて松戸市のアピールを	5	0.6
近隣都市との格差の解消	9	1.0
魅力ある町づくりを	24	2.7
その他	18	2.0
現状に満足、好意的な意見	22	2.5
<b>アンケートに対する意見・要望</b>	<b>18</b>	<b>2.0</b>
質問内容が良くない、わかりにくい、封筒をのり付きに	11	1.2
調査そのものに対する不満	4	0.4
このような調査をまた実施してほしい等、好意的な意見	3	0.3
<b>合 計</b>	<b>892</b>	<b>100.0</b>

## ②主な意見・要望

### 環境整備についての意見・要望

#### ○道路・歩道の整備、混雑の緩和対策、違法駐車取締り

- ・道路、特に歩道が悪く、危ないです。年と共に足が悪くなってくるので、道路がよいと安心なのですが。
- ・街路樹、歩道が汚い。自転車放置もある。
- ・松戸駅産業道路、西馬橋周辺の違法駐車等を取り締まってほしい。
- ・道路の整備が遅れているので私たち年寄りには歩くのも大変です。千代田線の駅から主要道路までの歩道が狭く、凹凸が多い。(昔30年くらい前にできた路)このような状態をなくす事からはじめてください。
- ・都に接する市で高速道路インターチェンジがないのは松戸市だけである。
- ・三郷市との有料橋は日本一高いと悪評である。無料にすべきである。
- ・五香の新京成の踏切をトンネル道路にしたが、五香十字路とトンネル先の松飛台へ向かう十字路が狭く効率が悪い。また、反対側駅へ向かうT字路は歩車分離式信号にしてスクランブル化し、歩行者を一度に移動して車とはっきり分けてほしい。
- ・市川や都心に出るのにバスなどが混み、1時間以上かかる。
- ・松戸～市川間の交通に時間がかかりすぎる。交通渋滞の早期解消を望む。
- ・道路わきの大きな用水路上に歩道を作るとか、迂回できる橋を作るなどしてほしい。
- ・八柱の千葉銀行前、自転車がいっぱい人で1人しか通れない。車椅子やベビーカーは気の毒。
- ・渋滞が東京より多いと思う。もっと右折レーンを長くして、左折、直進をスムーズに促す対策があると幹線道路に入る際良い。
- ・どこも歩道が狭くベビーカーで歩きにくい
- ・もう少し江戸川に橋を増やしてほしい。道路の渋滞解消になると思う。
- ・道路について、工事するのは良いが、もう少しきれいに復旧作業をしてもらいたい。いたるところボコボコのままになっていて、復旧したと思えないところが多数ある。
- ・車道と歩道の段差解消に努めているようだが、せっかくやるならもっと丁寧に施行してもらいたい。車椅子で走行するとひっくり返るのではないかと思う。ただやればよいというものではない。
- ・国道6号の近くに住んでいるが、振動と騒音がひどい。大型トラックが頻繁にスピードを出して走っている。住民が快適に暮らせるように、何とかしてほしい。
- ・道路の整備をしてほしい。
- ・駅付近の道路の整備をしてほしい。
- ・松戸北公設市場から国道6号で道路建設が中止となっている。早急に工事再開し道路の整備を実現してほしい。
- ・松戸駅周辺の道路の段差が多すぎるので、整備してほしい。
- ・大型トラック等が多く通行する道路の路面轍がひどく、建物が揺れるので、夜眠れない。竹ヶ花西町の交差点付近の道路を修理してほしい。
- ・五香周辺の渋滞の緩和をしてほしい。
- ・松戸駅西口より市民劇場の通りが混雑してバスがスムーズに通過していないようである。
- ・五香駅から金ヶ作に通じる道路の整備をしてほしい。

- ・六実駅近くに在住しているが、近年駅周辺の店の閉店が続き、不便を感じる。現在は勤務先近くで買い物をして帰宅するが、年をとっての買い物等に不安を感じている。
- ・北小金駅の北口から南口に渡るとき、ベビーカー、車椅子、自転車だと階段は大変なので陸橋を通るが、すぐ横を車やバイクが通るので、怖いし、危ない。端に歩行者用の通路があって、ガードも付いていますが、スロープになっていれば、ベビーカーや車椅子でも使えるのにと、いつも思います。ご検討をお願いします。
- ・駅前の小規模の開発（マンション等）がルールがなく行われていて、街が汚くなっている感じがする。緑も少なくなっている。中、長期的展望では、駅前の快適性を市の重要なテーマとしてとらえ、そのことが住みやすい市になると思う。
- ・柏市に比べて、松戸駅周辺の活気がなさすぎる。
- ・1歳になった子どもがいるのですが、どこかへ出かける時に必ずベビーカーを使用しています。JRの駅にはエレベーターがなく、常に子どもとベビーカーを持ち上げて階段を登ったり下ったりしています。これがかなり大変なので、エレベーターをつけてほしいです。
- ・松戸駅西口に上りだけのエスカレーターだけでなく、下りのエスカレーターかエレベーターを設置してほしい。また、各駅ホームにも、高齢者、障害者が利用できるようにエレベーター、エスカレーターを早急に設置してください。
- ・市民の安全を第一に、各駅周辺を生活に便利な程度に整備された都市を目指すべき。もちろん、文化や自然環境も考えて。
- ・松戸駅の顔であるJR松戸駅周辺が、他の千葉県内の駅より、清潔感に乏しい気がします。再開発まではいなくても、多少、きれいにしてほしいです。
- ・松戸駅周辺は繁華街のような中に病院や学校があり、各商店にも活気がなく、夜は中国人の風俗店客引きが堂々と駅前で客引きをしているような街で駅周辺も衰退していく。まちづくりに計画性がなく、外部からの投資を誘引しないで、確実に衰退している。
- ・JR松戸、新松戸駅前の整備をしてほしい。ゴチャゴチャして降りたときの印象が悪い。もっと垢抜けた魅力的駅前にしてほしい。
- ・馬橋駅にみどりの窓口がなくなって不便。

## ○駅、その周辺の美化、整備、開発、エレベーターの設置

- ・松戸、新松戸、馬橋駅周辺がゴミゴミしている。まちづくりが基本的な部分で欠けているのではないか。
- ・駅前の整備をもっとしてほしい。例えば新松戸駅の赤い鳥居のようなセンスのない工事にムダ使いして欲しくない。
- ・新松戸のダイエーでない方に駅出入り口がないのは不便。さらにそちら側の区画整理がなされていないので、道路が狭く不便である。
- ・「すぐやる課」は評価が高いが、今一步、町全体が、古くからの人たちの非協力的な昔の体質を変えられない部分が多く、特に重要な駅周辺（松戸、馬橋、新松戸、北松戸）が改善されない。とても40万の松戸市の駅とは思えない。今一度、人のため、地域のため、松戸市のためを考えて皆が具体的に行動しよう。
- ・今さらどうにもできないとは思いますが、駅前の派手なネオンや金融関係の看板が好ましくない。もっと落ち着いた感じの駅前にしてほしい。

- ・松戸駅は市の顔ともいえるので清潔できれいな街にしたいと思う。雑草やゴミをなくしたい。町会単位で自分たちの周辺をキレイにする活動が広まればと思う。
- ・自然もあり、都心にも近い好立地条件にあるのに松戸は街並や特に駅前に至っては洗練された様子が全くなくがっかりする。もっと全体を見回した駅前開発とか考えられないか。
- ・新松戸駅前の環境整備は是非やってほしい。子どもの心の教育に悪いというなら風俗店、パチンコ店、その辺りから指導して直してほしい。
- ・松戸市の拠点である松戸駅前に多くのマンションができてしまい、既に開発余地がない。
- ・駅の周辺をボランティアなどを利用してきれいにしたい。市民自らの手で住みよい街づくりをしたい。「松戸」＝「住みよい町」のイメージにしたい。清潔感が少し欠けている。
- ・松戸駅周辺は汚く、道路の整備状況も悪い。12年前の前市長の松戸駅開発計画を引き継いでほしかった。
- ・馬橋駅の階段は鉄骨で雪の降る日は怖い。安心して利用できるようにしてほしい
- ・駅周辺は商業を中心とする市内外の人の流れを作る必要がある。市内の数箇所を拠点として新たな投資を行おうとしても、その中心にある松戸駅が今の状態では先の見込みは薄い。市政を司る人間に問題があるのではないか。
- ・駅の発車チャイムを「ガンダム」にするなどして話題づくりをし、人がくるようにすべきである。
- ・松戸駅、北松戸駅に大きなショッピングモールを建設するなどして駅前をもっと発展させてほしい。「古い、汚い、治安が悪い」駅前の様子を改善してほしい。
- ・駅の整備をしてほしい。
- ・駅周辺の風俗店は不愉快である。

## ○河川、上下水道の整備

- ・春木川の治水対策をしっかりやってほしい。
- ・水道水がもう少しおいしかったら言うことがないが、生水が飲めないのが残念です。
- ・下水道・河川の浄化・整備
- ・市内の川の水をきれいにする為、行政がイニシアティブをとり、川周辺の住民が参加して活動する状況を作ってほしい。きれいな水のある環境は町の印象を変え、人々に明るさをもたらす。現在は市内にドブ川的な水質の川が数多くある。
- ・坂川の川底に藻のようなものが多く生えている。また、川の石垣に雑草が生えている。定期的に除去してほしい。川の中にゴミも多い。できるだけ取り除いてほしい。
- ・坂川のさらなる水質改善をしてほしい。
- ・江戸川河川敷の整備をしてほしい。
- ・大雨が降ると道路が冠水してしまうので、下水道を早急に整備してほしい。

## ○電車、バス事業、交通環境の整備

- ・自家用車を使わなくても、各所に移動できるシステム。一定の場所（駐車場等）から循環バスで移動とか。※駐車場のない場所へは、人は集まらないと思います。
- ・松戸駅までのバスの運行数が減り、困っている。パート勤務だが、車を利用すると、駐車場が高く、交通費から足がでてしまう。バス等を使わなければ、生活に必要な衣食住の物も買いにいけないような地域でもあります。（東部地区の整備、早くお願いします。）



- ・バスの本数が、利用者が少ない時間帯という理由からか、昨年から減らされ、不便を感じている。日中でも、少なくとも一時間に3本は運行するように要望します。
- ・松戸は新京成、京成の路線バスだが、場所によって平日でも10時過ぎで最終バスがなくなる。また、本数は少ないのに料金が安い。自宅近くにマンションが増えたが、老人が多くなった時にはマイカーより公共のバス等が安全だと思うので、バス路線も企業と協力して見直してほしい。
- ・常盤平から小金原行きのバスを再開してほしい。
- ・常磐線及び千代田線の本数を増やしてほしい。特に故障その他でストップしたときの代替バスを行政として行ってほしい。
- ・駅と住宅地を結ぶ公共交通システムがないので、整備を急いでほしい。
- ・森のホール21の前に新京成線の新しい駅を開設してほしい。
- ・高齢化が進むため、バスの路線を増やした方がいい。
- ・八ヶ崎に駅を作ってほしい。

### ○公共施設の整備充実

- ・松戸駅近くに曜日を限って20時くらいまで利用できる図書館があるといいと思う。
- ・松戸花火に2千万もの寄付をして下さった方、ありがとうございます。でも、その2千万で、小中学校設備に必要な事項等を受けていただけたら、もっとありがたかったです。
- ・スポーツ施設、公園、集会所等もっと充実させてほしい。
- ・図書館をもっと大きくしてほしい。
- ・支所の図書館の充実と、読書、勉強スペースがほしい。
- ・児童館が少なすぎる。家庭でクーラーを使わずに暑さをしのぐ場所があれば、温暖化防止にも繋がると思う。特に、新松戸、馬橋区域はバリアフリーではないため東方向に行きにくく、今ある施設を利用しにくい。
- ・1つ1つの図書館の分館の設備が不十分。ゆったりと本が読める空間、小さな子が楽しみながら読める場所など作ってほしい。
- ・各種団体、個人等が利用している公共施設（市民会館、市民センター、公民館、地域集会場、自治会館）の低料金化と利用方法、申込方法等の検討。
- ・松戸の体育館はほとんどが古く、シャワーなどが少ない。野田市の体育館はすばらしい。
- ・市営プールを、きれいにしてほしい。他市と比べて明らかに汚く小さい。
- ・箱物は立派にできたので中身の充実を。(森のホール、料金が安い、駅から遠い)
- ・市の設備に偏りがあるので、廃校を活用した地域の文化城を作ってはどうか。
- ・運動施設が少なすぎる。
- ・サークル活動のための施設を増やしてほしい。
- ・公共施設の整備が遅れていると思う。大型図書館や放送大学、デイサービスなどの複合施設の建設を行い、更に住みやすい市にしてほしい。
- ・南部に市川、江戸川区、葛飾区から集客できる施設を作れば良いのではないか。
- ・市役所、特にトイレが汚い。
- ・科学に関する施設が不十分ではないかと思う。実態はどうか調べてほしい。
- ・21世紀の森に美術館やドッグラン、温浴施設などがあればもっと利用が増えるのではないか。
- ・廃校を積極的に利用し、市民に開放してほしい。
- ・文化施設がないのが気になる。

- ・市民センターがいくつかあるが、一ヶ所ぐらいはきれいな絨毯を敷き、シャンデリアなどをつけ、クラス会等のパーティーができるような部屋があっても良いと思う。

### ○ゴミの回収、分別などゴミ対策

- ・ゴミの出し方について、住民よりも店舗等のほうがマナーが悪い。マナーを徹底してほしい。
- ・町づくりとして非常に成功している市だと思う。住民にも感じが良い人が多いと感じる。ただ、実際に生活してみると、生活の中で一番重要なゴミの回収・分別が複雑でわかりにくく、紙のゴミ袋も不衛生で使い勝手が悪いのが残念。
- ・可燃ごみの紙袋を何とかしてほしい。破けやすい。
- ・ゴミの分別が細かく難しい。
- ・大型ゴミに貼る千円の券は少し高すぎると思う。もっと軽減していただけたらと老後案を案じる。
- ・各種生ごみ処理機器を各戸で購入する場合の補助費を手厚くしてほしい。
- ・私有地ではなく公道を使ってゴミ回収箱の設置をしてほしい。
- ・川沿いにごみ集積所を置くのをやめてほしい。
- ・産業廃棄物が放置されている場所がある。
- ・広報にごみの出し方が悪いと書かれていたが、市民側としても再生できるトレイとそうでないものがわからなかったり、集められた後どう処理されるのかももう少し丁寧な説明がほしい。
- ・粗大ごみをもう少し安く処分してほしい。
- ・郊外では粗大ごみの不法投棄などに一般市民の巡回員を活用すべきである。

### ○公園とその周辺の美化、整備・増設

- ・21世紀の森と広場が、魅力のある市民の憩いの場になるような場所にしてほしいと思います。
- ・ペットも遊べる公園が少ない。マナーを守っている人もたくさんいる。21世紀の森をペットOKにしてほしい。わざわざ犬のため、柏とか、千葉ニュータウンまで出かけることが多い。
- ・松戸市周辺（伊勢丹近く）に公園など、子どもを安心して遊ばせる場所がなく困っています。
- ・21世紀の森と広場に、きれいな水を使用し、小さな子どもが遊べるようにしてほしい。市川の市民プールのような、大きなプールを作ってほしかった。もっと使える21世紀の森にしてほしい。
- ・子どもたちを取り巻く環境について、公園の緑や自然といっても暗くなるほど茂らせるのは安全上良くない。安心して遊べる程度に剪定をするべき。
- ・向町児童公園の整備をお願いします。  
理由：近所に遊べる公園がそこしかない、砂場に犬猫の糞が多数落ちている、トイレに虫が湧いている、ベンチが壊れそう、遊具も壊れそう、ガラスの破片が落ちている
- ・公園がきちんと整備されていない。砂場もネットがなく犬猫のフンだらけ、ガラスの破片なども散乱している。
- ・住んでいる六高台は緑が多く、子どもにも大人にも良い環境だと思うが、公園が寂しい場所にあたりるので心配もある。
- ・小さな子どもを持つ親として、公園の整備を望む。公園が汚く夜になると暗すぎる場所が多い。
- ・子どもがのびのびと遊べる広場があると良いと思う（公園の他に球技等できる）
- ・地震等の災害の非難場所確保のためにも公園を作ってほしい。

- ・松戸市横須賀の大流公園の砂場のシートの修繕をお願いしたが1年経ってもそのままである。早急に対応していただきたい。
- ・森林浴ができる場所がほしいので、公園に大木になる木を植えてほしい。
- ・子どもたちの遊び場にトイレや手洗い場がない。早急に改善すべきである。
- ・公園が空いているときは届けを出さずに利用できると思う。
- ・江戸川の堤防を桜公園にして憩いの場を充実させてほしい。
- ・21世紀の森と広場、金ヶ作などでカラスが増え、小型の鳥がいなくなるのではないかと危惧している。
- ・公園での自動車の洗車は迷惑なので注意書きをしてほしい。

### ○街灯の整備

- ・東部地区は人通りが少なく不審者が出没しやすい。街灯も少なく1本中の通りは真っ暗。街灯を増やしてほしい。
- ・駅徒歩10分くらいの距離は徒歩帰宅者も多いので、街灯を明るくしてほしい。八柱から五香、柳町への道は車通りなのに道が見えないほど暗い。
- ・防犯灯が暗く危険なため明るくしてほしい。
- ・常盤平団地は真っ暗で気味が悪い。何らかの対策をしなければならないと思う。

### ○駐車場、駐輪場の整備

- ・駅前等の駐輪料金が他の市町村と比較して高い。
- ・馬橋駅の坂川に蓋をし、駐輪場所にできないか。
- ・以前「すぐやる課」等に連絡したが、矢切の渡しの駐車場周辺道路は雨降りの後などひどいものだ。早急に対処してほしい。
- ・バイク駐輪場を駅周辺に作ってほしい。
- ・馬橋駅前に駐車場がほしい。
- ・松戸駅前の駐車のルールを厳しくし、スムーズに利用できるようにしてほしい。
- ・市役所の駐車場に入る車で渋滞するので駐車場を多く取ってほしい。
- ・税務署の駐車場を何とかしてほしい。
- ・有料駐車場が少ない。

### ○バリアフリー化

- ・身内に足の悪い人がいて馬橋駅をよく利用するので、ぜひ身体障害者のためにエレベーター、もしくはエスカレーターを設置してほしい。(馬橋駅は改札を通った後にしかエスカレーターがないので。)
- ・年齢と共に階段がきついで、早くエレベーターを設置してほしい。
- ・年配の方が多くお年寄りに優しくない町だと思う。駅・公共施設のバリアフリー(エレベーター・エスカレーター)があまりよくない。
- ・常磐線で東西の交流機会はかなり減少している。バリアフリー化を望む。総武線のように高架だと商業も活性化すると思う。

- ・松戸市内の電車の駅にエレベーター・エスカレーターの設置を。
- ・駅のバリアフリー化（例：武蔵野線新八柱駅等）
- ・馬橋駅に早くバリアフリーエスカレーター、エレベーターを設置すること。
- ・北小金駅から電車に乗るのは階段の連続で大変だ。大宮、宇都宮等はタクシー乗車口までエスカレーター、エレベーターがあるところが多く、とても楽だ。どこから財源が出ているのだろうか。
- ・噴水公園につながる駅舎に、エレベーターを備えたこれからの駅を望む。
- ・町全体をバリアフリーにしてほしい。
- ・新京成線の駅にまだエスカレーターが設置されていない。不便である。

## ○街の美化、緑化、大気汚染の解消

- ・30年前は松戸は緑の豊かな街だったが、今は緑はほとんどない。これから先、緑の松戸と言われるようになってほしい。
- ・緑地区域に指定されていますが、年に1度木を切ってください。何の管理もされていない。
- ・空気と水に関しては不満がある。車は空気汚染もひどく、水は浄水器なしでは生活できません。
- ・松戸は東京のベッドタウンとして存在するという点を重要視して、文化面、経済的面は近い東京を利用し、松戸はあくまで緑の多い、住みやすい、安心して生活していけるという一点をめざして方針を定めた行政をしてもらいたい。
- ・東京のような街を目指すのはばかげている。静かで落ち着いて緑や自然が豊かな住環境を求めて松戸に住んでいる人が多い。坂が多い地形のお陰で斜面の緑が心を癒してくれたが、最近、斜面の樹林が住宅化している。これ以上市街化が進めばこの地に住む魅力が無くなる。樹林地を持つ地主が、子ども達が自然に触れる場として開放、提供してくれる事を条件に、このまま持ち続けられるよう応援したい。
- ・緑が少しずつ失われている。所有者に対する補助をもっと厚くするか、NPOとの提携を強化するなど考慮願いたい。市所有の緑地も下請け任せにせず現状視察をしてほしい。
- ・松戸は東京の下町の延長のような雑然とした印象。市川や浦安のイメージとは異なる。松戸駅を中心に高級感のある町づくり、整然とした住宅街を再構築する都市計画の見直しをしたらどうか。
- ・これ以上の商業施設は必要ない。もっと自然を大切にしてほしい。
- ・松戸を大型店舗でない落ち着いた素敵な商店街にしたい。良い商品、魅力ある街、清潔な通り、オープンカフェなどの似合う街が良い。
- ・近辺に工場や空き地が多く、まだまだ開発のスペースがありそうなので、もっと明るく、豊かな町にするために、住宅地と工場などの住み分けをすすめていってほしい。街並がきれいになれば、地域住民の人々が開放的になる。
- ・小金宿、21世紀の森、矢切の渡しなどの自然的な観光を残してほしい。
- ・もっと特色のある町にし、環境を自然に近い範囲内で整備してほしい。
- ・21世紀の森と広場の緑をこのままずっと守ってほしい。
- ・静かな住宅街、緑の多い地域、農業の発展やふるさとと思えるような地域を目指してほしい。
- ・ごみのない緑の美しい松戸市になってほしい。

## ○商業施設の充実、企業の誘致

- ・松戸駅周辺の商業施設は柏に比べると、見劣る点が多い。
- ・充実した企業の誘致を願いたい。
- ・松戸駅周辺に活気が無い。柏には駅近くに高島屋、そごう、大型電気店等もある。松戸は伊勢丹も駅から歩くと狭く、品数も新宿とは比較にならない。Dマートとヨーカ堂では弱い。大学も聖徳と流経ではアピールが無い。
- ・大きなスーパーが近くになく、年をとったらもっと住みにくくなるのかと不安だ。
- ・商店のシャッターの閉まっている店がとて多くなっている。いろいろな店がやめていくのは仕方ないが、何とかできると良い。そして、少しでも明るい松戸になってほしい。
- ・商店街の活性化
- ・駅に出ないと銀行にいけないところが多く、マンションができて人も増えているのに肝心なものが少なすぎると思う。総合病院も場所がかたまっているため、通院など近くないところもある。
- ・野田市や三郷のように大型ホームセンターやスーパーなど作ってほしい。
- ・駅前にもかかわらず金融機関が1つもなく、商店もほとんどない場所もまだある。日常生活に不便を感じる。今のところ車で買い物に出られるが、将来年をとった時に歩ける範囲にそういうものが早くできると良いと思う。できれば交番や郵便局も設置できれば治安面も安心だ。
- ・近隣にスーパーが2件あったが閉店してしまった。私を含め近所の方々、老人の方々が困っている。毎日押し車で遠くまで買い物に行く姿を見ているが、日常生活の買い物ができないのは皆困る。
- ・都市にふさわしいシティホテルを誘致、育成してほしい。

## ○その他

- ・プロパンガスを使用している地域を、都市ガスにならないかと思ったことがあります。
- ・コアラテレビがつながりません。今後も延長する予定がないそうなので、善処していただきたく、よろしくお願いします。
- ・学校のそばにリサイクルショップを設ければ学用品や洋服等、手軽に安く手に入って良いと思う。
- ・都会に近いから生活は便利だが、人間関係は希薄で自然が少なく、心地よくない。
- ・バス、バイク、車をハイブリッドにしてほしい。
- ・深夜のバイクの騒音に悩まされている。何とかしてほしい。
- ・犬の鳴き声やバイクの騒音に迷惑している。
- ・学校のトイレを校舎内ではなく別棟式にすれば災害時などに使える。
- ・以前より都会化されたと思うが、住めば都、慣れるものである。
- ・常盤平団地は年寄りばかりが住んでいる。新しく立て直して若い人が入れるようにしてほしい。

## ○福祉サービスの充実

- ・介護、福祉環境（高齢者、障害者の生活）の充実
- ・都内に比較して福祉環境が劣る。
- ・松戸市こども発達センターに通う重度知的障害の子どもが1人いる。10月から制度が変更されると、多少の負担増は仕方ないと思うが、サービスの低下のないように願います。
- ・インターはいつできるのか。公共事業も大事と思うが、福祉、医療、年金その他についての方が自分には大事だ。
- ・高齢者の税や保険料の負担が大きい。年金も段々少なくなり、介護保険で思うようにできない。もう少し福祉に取り組んでいただきたい。
- ・福祉サービスの向上、子育て環境の充実など、市民のためのサービスを充実させてほしい。
- ・少子高齢化に伴い、夜間診療の科目別の医師、介護サービスの充実、医療費の無料化の年齢など、福祉サービスの向上と充実を考えてほしい。
- ・福祉環境の充実と、高齢者の仕事の充実を特に要望する。

## ○安全な街づくり（治安、防犯、防災）

- ・交番がなく不安を感じる事が多い。（治安の面で）
- ・高齢者増加の時代、市内、町内に子ども達の安全確保維持のため、巡回する人たちの増員に努力してほしい。
- ・北松戸の競輪場がとてもしやです。レースが終わったあとは、駅や駅周辺に酔っ払っている男の人がたくさんいて、コンビニも入れません。警備員の人がたくさんいるのは見ますが、コンビニの店員の人の言い争いをしている酔っ払いを止めたりはしていませんでした。もう少しなんとかありませんか。
- ・大地震など大災害になった場合、松戸市内の人々を救命活動できるよう、ヘリポート付き市内総合病院や、自衛隊駐屯地の利用計画を立ててPRしてください。
- ・町会内高齢者（年金生活者）による児童を不審者と交通事故からまもる組織を作り、市役所の指導をいただき活動できるようにしていただきたい。
- ・松戸市は事件（殺人事件など）が多く発生して、はずかしいと思っている。
- ・老人だけの生活を脅かす事件犯罪が多発する怖い世の中で、せめて松戸市だけでも人の温かみのある、安心して人生を終えられる模範市となるよう望んでいる。
- ・治安が悪く、我が家で1年間にマイカー2台盗まれ、泥棒に3度入られた。
- ・治安や医療、育児等に重点を置き安心して住みやすい市となり、他県からの移住が増え、労働人口が増加する市作りを希望する。
- ・現在妊婦だが、「松戸はガラが悪い」「子どもが不良になる」「悪い影響が出る」等と言われ不安だが、夫婦で住むには利便性も良く、自然が充実していて住みやすい。
- ・常盤平に住んでいる。緑も多く、街としては良い環境だと思うが、最近物騒になってきた。車・自転車盗難やひったくりが多発している。外国人の犯罪も増えている。安全対策を地域共々しっかりしていきたいと思う。

- ・中国・朝鮮などの外国人が増えている。日本に反感を持つ外国人が今後も増え続ければ治安は悪くなる一方。こうした反日外国人とどう向き合うのか、市はどのように考えているのか。
- ・災害時の対策をもっと具体的に市民に知らせるべき。避難場所、備蓄物の量、非常水栓の有無等いろいろあるだろう。
- ・松戸は良い街だと思っはいるが、小さな子を狙う犯罪が後を絶たないので、街の環境はもちろん、治安に関して市を挙げて真剣に取り組んでいってほしい。
- ・子どもたちが安心して生活できるような町づくり
- ・不在駐在所があるのは緊急時に非常に困る。
- ・とにかく犯罪の少ない町にしてほしい。
- ・バイクのひったくりや路上強盗が多いので、市警のパトロール隊を創設してほしい。
- ・最近、松戸駅にホームレスがいたり、夜は水商売系の若い男の人の呼び込みが増え、雰囲気が悪くなった。時々警察官が立っていると安心できるので、今後もやってほしい。
- ・凶悪犯罪が多いのでこれ以上治安が悪くならないようにしてほしい。
- ・江戸川沿いの水害対策を考えてほしい。
- ・大地震に備え、個人住宅の耐震に対する予防工事等の援助を手厚くしてほしい。
- ・松戸駅はパチンコ屋やサラ金などが目立ち雰囲気が悪く、交番自体も無力化している。交番を強化した出張所を作るなどして治安回復に努める必要がある。
- ・家から学校が遠く、公園もない。犯罪が多くなっているのでスクールバスができれば良いと思う。
- ・引きこもりの男性が近所に複数居住しており、子どもたちへの影響が心配である。警察との連携、市民パトロールの強化などをお願いしたい。
- ・自転車の走るスピードが速すぎるので危険である。
- ・引ったくりや強盗などの犯罪が報じられることも多く不安である。
- ・ヤクザがものすごく多い。

## ○出産、子育て支援対策、環境の充実

- ・一部の人しかもらえない児童手当は廃止してほしい。我が家は生活に余裕がないのに、児童手当対象外です。
- ・少子化なのに、保育料や、小中学生の医療補助がなすすぎる。
- ・子どもを持つ家庭数は多いのに、近隣の市のほうが子育て支援が多い。
- ・子どもを2～3人ほしいが、私も働かないと厳しい。医療費や教育、家族への負担を考えると働いたとしても1人が限界である。子どもを持つ妻が仕事しやすい環境、子どもを安心して育てられるまちづくりに期待する。
- ・これまで住んでいた中野区に比べて保育所の質がいまいちで、保育料も高い。
- ・少子化対策として、子どもの医療費負担補助について、入院分と同じく通院分も入学前までに延ばしてほしい。
- ・保育所、学童、児童館の整備なしには少子化が進む一方だと思う。
- ・所得に応じて税金を払うのは仕方ないが、子どもの補助金は平等にしてほしいし、医療費の年齢幅を拡大してほしい。

- ・隣の柏市に比べ子どもに対する福祉があまりに整っていない。高齢者ばかり力を入れて、それを支える子ども達が疎かになっているのはどういうことか。小児医療負担も流山市に比べると年数が短すぎる。松戸市は子どもを育てにくい市だ。
- ・医療費補助を12歳までに引き上げてほしい。
- ・母子家庭になってわかったが、他市より子どもに対する助成がかなり劣る。母子家庭保育料は有料（柏、市川無料）で、両親合わせて収入が今の3倍だったときと2,000円くらいしか変わらないので見直してほしい。
- ・義務教育中の家庭への経済負担をゼロにしてあげてほしい。
- ・乳幼児医療費助成を就学時未満までにしてほしい。
- ・子どもに関する施設や保育所などをもっと利用できるようにしてほしい。
- ・子どもの医療費補助を小学校または中学校卒業まで引き伸ばしてほしい。
- ・子育てのための施設が少ないと思う。
- ・子どもたちが安全に遊べる場所、児童館を作ってほしい。
- ・子どもの学費免除などもっと充実してほしい。
- ・元気なお年寄りに子育てなどのフォローをしてもらってはどうか。
- ・公立保育園の民営化が進んでいるが、「公」ならではの保育の質の良さを守ることはできないものか。
- ・保育所の数を増やしてほしい。
- ・医療券を就学前までにしてもらいたい。

## ○病院の整備、医療の充実

- ・高齢者のために、医療、介護サービスの充実が重要。
- ・市立病院の専門的な医療、最先端技術の医療に取り込む充実を図ってほしい。
- ・病院が少ない。信頼できる病院を増やしてほしい。
- ・小児科を24時間体制にしてほしい。子どもは夜具合が悪くなる。
- ・自宅周辺に病院が少ない。特に救急救命の受け入れ先がない。以前、救急車で搬送された際も病院の決定に手間取った。地域によるこういう格差をなくし、安心して住める環境、施設の整備に特に経費を使ってほしい。
- ・子育てで自分の健康への注目が難しい主婦のために、女性基本健診は専業主婦、または（現状35歳から）30歳以降に引き下げるべき。
- ・市立病院を今の場所に新築してほしい。東病院の方にするならもっと交通を便利にしてほしい。
- ・松戸市立病院の質の改善をしてほしい。待ち時間が長すぎる、先生や看護師が偉そうで説明をしない、ろくに診察しない（特に産婦人科）、各科受付（特に小児科）は忙しいとよく聞こえないふりをする、施設が古く、消毒できる洋式トイレが少ない（妊婦や老人は困ると思う）、掃除が行き届かず全体的に不潔、検査に時間がかかりすぎ、また、説明がない。こういう声を是非市立病院に届けてほしい。
- ・お産ができる病院が少ない。
- ・不妊治療をしている人がたくさんいて、治療費がかかるので保険適用になれば少子化も多少変わるのではないか。
- ・休日の医療体制など、医療環境が近隣他市に比べて劣っている点が気になる。



## ○市の財政状況の改善、節税、補助金の充実

- ・松戸も財源が大変そうです。各家庭（自分宅）も大変です。少しでも税金を減らしてほしいです。
- ・税金などで集めたお金が、むだな事に使われることのないよう願っている。
- ・とにかく住民税が高い。
- ・市の財政は、全国各地で問題になっています。健全財政へ期待しております。
- ・市長の退職金が高いと思う。
- ・役所の無駄を省き、受益者負担への市民の意欲を引き出すよう、行政と市民の利益一体化を図れないか。
- ・人口、工場団地等収入があるが、競輪事業等支出も多く無駄が多い。切るもの、切らないものの区別をしてほしい。まずは役所の人員・給与の削減から。
- ・家賃も、旧公団のように高くはこれも税金のムダ使いとなるだけで、建物も活かされないし、住みたくなくなる。
- ・市職員の削減を徹底的に行う事と、給与水準を2割程度下げ、少子高齢化社会に充実した行政サービスを維持できるように頑張っていたきたい。
- ・福祉は大切だが援助金を不当にもらっている人が多いようだ。税金が公平に使われるよう見直しが必要だ。税金を納めていない方への対応もお願いしたい。
- ・職員数を大幅に減らした市もあるが、市議会議員等も減らし、無駄を省いてからこのようなアンケートをしたら市民も熱心になると思う。
- ・市会議員に余分な給料を与えるのはやめてほしい。民間企業は遅くまで一生懸命仕事をされている。それを見習って頑張してほしい。
- ・岐阜県庁の裏金作りのような不正行為が行われない事を望む。
- ・職員の人件費の財政における割合が相当高くなっていると思われる。無駄をなくし、少しでも多くの税金を有効に使うことを望む。
- ・離婚する人が多く、このため母子家庭になっていろいろな援助を受ける人も多い。実際には表向き離婚して、援助を受けて生活した方が楽だからと、その方法を狙っている人がいるという話をよく聞く。外国人の方も市の援助を受けながら、そこから自分の国に送金しているそうです。4人家族で高い税金を払ってぎりぎりの生活をしている人もいます。もっとよく調査をしてほしい。
- ・ムダの一扫（業務全般の見直しをし、1円のムダもない税金の使い方をしてほしい。脱税には厳しいのに、税金のムダ使いに対する認識が甘すぎる。民間企業に委託してチェックすれば一目瞭然である。）
- ・年金生活者の税金減を望む。
- ・経費の節減に努力していただきたい。具体例：市の賃貸料の支払時の請求書は、年度内に条件の変更がない場合は必要ないと思われる。通信費、人件費がムダではないか。検討いただきたい。
- ・家庭学級は学ぶだけで実践になかなか役立たない。実行していかに市民の役に立つかを考える時期である。予算の見直しを是非進めてほしい。
- ・本当に必要なことにだけ税金を使ってほしい。（自分のお金を使うときのように慎重に考えてからお願いしたい。）ムダを減らして税金を下げてほしい。
- ・最近、税金のムダ使いのようなニュースをよく見る。せめてそのようなことのないようにしてほしい。
- ・収入に応じた行政をすべきであり、破綻のないようにお願いしたい。

- ・下水道の基本料金が値上がりした。なぜ支払いを増やすのか。
- ・財政状況がどうなっているのか、わかりやすく広報で知らせてほしい。また何年後にどうするという中期計画を示してほしい。
- ・生活保護が本当に必要か、的確に判断すべきである。税金を無駄に使わないでほしい。
- ・高齢化に備え、市の資産の見直しや経費の削減を実施してほしい。
- ・税金の無駄遣いをせず弱者のために有効に使ってほしい。弱者を見捨てることのない行政であってほしいと思う。
- ・何に税金を使っているのか全く分からない。
- ・近隣よりも住民税が高いのに、老人が増加するからといって値上げするのはおかしい。
- ・限られた財源をどのように使うかを開示してほしい。またその財源を有効に使ってほしい。
- ・不正や無駄のない納税者が納得できる税の使い方をしてほしい。
- ・松戸市は税金が高すぎると良く聞く。税金を大切に使ってほしい。
- ・現在の市議会議員は多すぎるし、一人当たりの支払額も多い。年間支給額を30%減らし、人員も3分の1に減らすべきである。
- ・生活保護を受けている人の状態の見直しをし、本当に必要な人に支給してほしい。

#### ○高齢者、社会的弱者への施策、施設の充実

- ・中年ニートの再雇用を。市内で市住人を中心に進めてほしい。
- ・これからは益々、核家族になっていくと思う。老人が安く、安心して暮らせる、入所できる家ができるだけ多く作ってください。
- ・私のように年金生活者は新聞を購読できない者が増えています。新聞に折り込まれている松戸広報も読めません。セブンイレブン、郵便局、駅などにおいてほしい。または町会から各戸へ配ってほしい。(松戸の動きを知りたいです)
- ・70歳以上の年金生活者にコアラテレビの受信割引をして、松戸市内のニュースを知るためのご尽力ください。
- ・介護保険料、固定資産税、上下水道料の軽減を。
- ・73歳だが、まだ動けるので何か役に立つ事ができないかと思っている。
- ・介護保険から他の税金も毎年高くなっているのに、年金を削られては今後の生活が不安でならない。安心できるようになる事を願う。
- ・高齢化社会になり、老人に税金を投資しなければならないのは良くわかる。多方面に渡り整備して行ってほしい。
- ・老人のできる簡単な仕事（ボランティアバイト）、内職をする拠点があれば、居場所にもなり、張りも出て病気も減るのではないか。病院通いを趣味にしている人もいる。
- ・高齢者が非常に多い市であると思うが、団地の建て替えなどのために老人を追い出すような事はしないでほしい。光ヶ丘団地の賃料アップに耐え切れず、かなりの人がやむを得ず出て行った話を聞いた。
- ・低所得者と失業者に対しての支援をもっと積極的にやっていただきたい。
- ・正直、今後さらに高齢者が増えて私たちの負担が大きくなるのでかなり不安だ。高齢者は大切にすべきだが、高齢者ももっと社会に貢献すべきだと思う。
- ・少子高齢化により、高齢者が増え、特養等に簡単には入れない。官民共同で知恵を出し合い、スマートな費用、数の施設を作り、現在の行政方針を転換してほしい。

- ・年を取っていくことに対する不安が明るく楽しいものになるようにしてほしい。
- ・弱い立場の人や、企業の利益につながりにくいような狭間のところでこぼれていく人々の、生活や生きることへの援助を率先して行なうべきである。心のある施策、長い目を見た計画をたててほしい。
- ・母子家庭だが税金が高いわりに手当てが減額されとてもつらい。どうにかしてほしい。
- ・お金がなくて学校にいけない人を支援してほしい。

### ○市組織の再編成、変革

- ・市議会議員を減らしても、何ら行政に支障はないものとする。
- ・市長も、若く新しい考えを持った人に譲るべき。
- ・外部からの有知識者の委員会を設置し、財政問題をはじめ色々な角度から知恵を出し合い、健全な財政運営を計画、実行していただきたい。
- ・行政の組織作り（インフラ整備）、内部統制などを行うべきだと思う。
- ・SR企画の推進やISOの取得などを早期に施行して、各課の横の連携をスムーズにすべきである。
- ・公設民営化できるものを民間及びNPOなどに委託すべきである。
- ・今の事業の横のつながりばかりを大切にするのではなく、国の事業と市の行政が、縦のつながりを上手に生かして進めていくようにしてほしい。

### ○地域活動、交流の場の提供

- ・隣近所との交流を深めたいが、なかなか機会がない。
- ・地域活動が少なく感じられる。
- ・松戸市は交通の便がよく、住みやすい市だと思う。しかし地域の交流が少ないためか、自分のまわりに住んでいる方の顔がよくわからない。
- ・子どもから老人まで出入りできるコミュニティを点在させてほしい。
- ・市内の小中学校を地域の人々に開放し、学校と地域のつながりを持たせてほしい。

### ○行政と市民の対話の場を

- ・課題と達成計画を住民へ説明する責任を果たしてほしい。同時に住民の声を吸い上げるシステムの確立と周知徹底。
- ・市と市民との話し合い場所の設置（常設又は定例の）。
- ・市職員がもっと市民に近づき、声をかけてほしい。
- ・市長らがもっと前面に出て市民との懇談会などを積極的に行ってほしい。
- ・県行政ではタウンミーティングなどが盛んだが、松戸市はその流れに乗れていない。これでは何の改善も感じられないと思う。

## ○行政施策、サービスの充実、情報の提供

- ・今回調査依頼が届くまで「松戸市総合計画第3次計画づくり」を知らませんでした。松戸市では、どのような計画を立て、遂行しているのかを市民に対し、明確にする必要があると思います。
- ・住民に視点を当てた行政サービスを希望する。
- ・今、何が問題で、どういう協議をして解決しているのか全くわからない。
- ・市の動きがわからない。ただ税金だけを徴収して運営しているだけではなく、もっと市民にわかるような広報を考えてほしい。
- ・松戸市に引っ越してきてテニスコートを申込みしようとしたところ、インターネットで予約ができないことが分かりました。（近隣の市などでは、今や当たり前前にできていたことなのですが。）松戸では決まった日に、それも平日に申込所で先着順とのことで、会社員をしている私達には申し込み、使用が、松戸にいる限りまずできません。今後、平等に使用、申込み等できるようになることを希望します。
- ・「すぐやる課」をはじめ、市民に対するサービスをより取り組んでほしい。
- ・広報まつどに掲載される催し物の定員について、先着制でなく往復はがきか電子申し込みにしてほしい。
- ・土・日曜の開庁、また、開庁時間の延長をして窓口手続き（年金、保険など）ができるようにしてほしい。
- ・地域コミュニティ活動、ボランティア活動等、ホームページで確認できるようにしてほしい。
- ・市から受けられるサービスのことを全く知らなくて、過ぎてしまってからこんなサービスがあったのかということが多い。市役所、支所等でプリントを置くなど積極的に教えてほしい。
- ・「すぐやる課」だけでなくスポーツでも文化でも、もっと日本中の国民に注目される事を見つけ出し、皆で努力し、喜び合える松戸市をアピールすることを考えたい。例：子どもや親の夢と希望、甲子園出場校、全国一交通事故が少ない松戸、健康優良児日本一、地元企業協賛を得てサッカーチームの結成など。
- ・行政サービスは土日祝休みだが、一般的には土日祝勤務も当たり前の時代である。行政の窓口業務も時代に対応しないと結果的に役立たなくなる。
- ・気軽に利用できるよう各支所をサロンのようにしてほしい。カフェコーナー等を作り、情報の掲示など、散歩途中に立ち寄って休めるような空間を作してほしい。
- ・柏市に比べ知名度が低く、市の特徴がなく他者に説明しにくいので、対策として 例：市民主体でスポーツ振興（駅伝、甲子園、サッカー等）、生産者（物）との交流、道の駅作り、環境に配慮した企業（工場）誘致など、高齢者が住みやすく、若者に魅力あるまちづくりを期待している。
- ・限りある財源で、今後、ますます市民サービスは大変だろうが、市民の身になり考えて行動し、充実させてほしい。
- ・70歳を超える両親と3人暮らしだが、母の具合があまり良くない。介護の申請や相談窓口を松戸市のネット（メール）で回覧できるようにならないか。会社勤めでなかなかサービスセンターに相談に行く時間がとれない。
- ・若者のフリーター対策を松戸市はどのようにしてくださるか、今後の取り組みについて「広報まつど」に記載してほしい。
- ・松戸市広報紙の紙面の読みやすさ、充実度を求める。毎回市長のコメントを載せる必要なし。
- ・国保・介護保険料の近隣市町村との比較を広報誌に、参考資料として載せてほしい。
- ・松戸駅東口、新京成事務所隣、出張所は、土日祝も開所してほしい。

- ・「社会的弱者に対し、こういう対策をとった」「地域の要求をこう実現させた」「他の自治体との比でこういう優れた施策をやった」という情報が常に得られるよう努力してほしい。
- ・策定計画、実現パーセンテージの提示を。
- ・子育てが終わり、今は体力も経済面も心配ない年齢だと思うが、今後、何か問題が起こったときのために、困ったとき市役所で教えてくれる窓口があるといい。
- ・松戸市総合計画第3次実施計画づくりとあるが、第1、2次実施計画がどのようなものであったか、市民には伝わっていない。
- ・保険証を1人に1枚、カードで給付してほしい。
- ・正月の賀正の用紙がもらえなくなった。個人に対するフォローが足りない。
- ・松戸市の「目玉」となるものを作るべきではないか。
- ・文化庁の委嘱事業を採択受けて活動しているが、優先的に広報に載せたり、市内の対象学校の生徒及び保護者に分かりやすいようにプリントにして配布していただきたい。
- ・行政サービスなど他市と比較して改善に努めてほしい。
- ・本当に必要なサービスを必要とする人に提供してほしい。
- ・東京都営八柱霊園は松戸市にありながら市民が入りがたい実態がある。市がもっと介入してほしい。
- ・行政が葬儀の生前予約制度を設け、中間にたってサポートしてほしい。
- ・今後定年退職人口が大幅に増加するので、市民参加型の事業計画等を話し合う場を提供してほしい。特に男性の参加を促す事業を望む。
- ・市が発行するパンフレットが新聞の折込でしか手に入らないので、新聞を取っていない者は情報が入手できない。町会の回覧で回してほしい。
- ・毎回選挙会場がわからないので地図を付けてほしい。
- ・近隣の市川市等と合併して政令都市になることを期待する。東京に近いという特性を活かした独自の市政を行うことができるのではないか。
- ・市民サービスが他市より遅れていると思う。
- ・聞かないと教えてくれない行政サービスはやめてほしい。
- ・栗山浄水場跡地が振興ベッドタウンになるなら、ドラマのロケとタイアップしてイメージアップするというのも間接的な市民サービスと言える。
- ・行政サービスを本当に必要としている人や場所に的確にされるシステムが整備、確立されてほしい。
- ・葛飾橋から松戸市内の風景が美しい場所なので、是非ホームページに載せてほしい。
- ・行政の広域連合を進めてほしい。将来的には千葉県西北部、諸市を統合した政令指定都市を目指すべきだと思う。

## ○市職員の質の向上

- ・市職員の勤務時の市民に対する接客態度の向上を望む。
- ・公立保育所の保育士の質に不安を感じる。
- ・たまに仕事の用事で松戸市役所に行きます。話し方が悪い方がいます。友人のような話し方がいます。なんとかなりませんか。
- ・市役所の職員の方の電話の対応が非常に悪いです。高圧的な姿勢が感じられる口調で話されるので、何度か、もういいですと言って電話を切る次第です。普通の会社なら考えられないことです。

- ・職員について、いい人もいるが、人をバカにした感じで話す人もいる。役所の人に高額の給料を払うなら、その分を他にまわしたらどうか。
- ・「公務員は楽」というイメージがぬぐいきれない。電話や窓口の対応も悪い。特に50代くらいの男性がととても偉そうで、面倒そうに対応する人が多いのはなぜか。何かにつけ「上から言われて、私の決めた事はないので…」と言うのも多い。では誰に言えばいいのか。もっと親身になってくれる人員を増やしてほしい。
- ・飲食店の噂で市職員がプライベートで使う場合、恩を着せようとか威張るとか、大変評判の悪い方がいるようだ。
- ・職員の降級降格をしっかりとやり、職員の競争意識を徹底させ、税金を払う満足感を市民に与えてほしい。
- ・市役所内各課をたらい回しにせず、要望や問い合わせに具体的に回答を示してほしい。お役所仕事はやめて臨機応変に対応してほしい。
- ・支所の窓口職員が年配者や若者を見下した態度をとることがあった。身分を明かすと急に態度が変わったので驚いた。市民税を2重払いするところだった。未だにあまり利用したくない。
- ・どこの支所へ行ってもぼんやりしている人が多い。
- ・市議会議員の政治活動の顔が全然見られない。選挙のときだけである。
- ・まだまだ市民のためとはなっていない。議員と市職員はもっと汗を出してほしい。安住して自分だけの世を謳歌しているみたいに見える。高齢化すると関係なしに体を健康に保つのは困難。医療関係で老人をいじめない事を祈る。
- ・何を要求しても対応が遅いし悪い。
- ・固定化した町づくりをモデルとして考えるのではなく、新しい素敵な発想のまちづくり、ならびにそれを担う職員を望む。
- ・市長以下役所の人たちが市民の立場に立って物事を考えてほしい。
- ・公務員の市民へのサービス、対応についてレベルを上げてほしい。
- ・21世紀の森と広場に監視員が数名いるが意味がないと思う。
- ・市役所の窓口担当者は民間サービス業で研修すべきだと思う。
- ・行政の職員の態度が悪い。

## ○教育、マナーレベルの向上

- ・公立の小中学校の先生はレベルが低い。
- ・中学2、3年から専門の勉強ができるようにしてほしい。高校は専門学校を増やして素晴らしい技術者をたくさん育ててほしい。
- ・青年のマナーの悪さもさることながら、高齢者もマナーが悪いと感じる事がある。マナーは世代を超えて伝え合うものだと思う。今まで以上、世代間を超え人々が交流できる場が大切だと思う。
- ・集団就職で松戸に来た人の中にも親からきちんとした教育を受けず出てきている人がおり、町の形態を崩している。田舎の人は自分たちだけがよければという考えの人が多く、一から常識教育をできるまちづくりをしてほしい。
- ・教育レベルを向上させる工夫をしてほしい。公立の中学でも試験をする学校を作るのも一案ではないか。
- ・市立学校と民間の塾等とのコラボも良いのではないか。
- ・公立小中学校の教育内容を多様に、国際的にしてほしい。

- ・外国人講師による語学や各国の料理、遊びの紹介など子どもたちの視野を広げ、志高く生きていけるようにする試みを考えて実行してほしい。
- ・学校の先生も、意欲のない先生には辞めてもらい、新しい先生にしてほしい。
- ・子どもの教育に力を注いでほしい。
- ・ボランティアや学校教育に、隣の市川市が並んでいるので見習い、良い点は取り入れてほしい。
- ・教育委員会、教師の意識の向上。
- ・松戸市の中心よりも遠いところは教育や施設について、手を抜かれがちのような気がしている。

### ○歩きタバコの規制、分煙化

- ・健康増進法が施行され、ずいぶんたっているのに、松戸市は分煙が進んでいない。都内ではお店だけでなく駅や公共機関（バスなど）周辺まで分煙が徹底されつつある。松戸も全て路上喫煙を禁止してほしい。背の小さな子どものためにも。
- ・歩きタバコ禁止区域があっても守る人も取り締まる人もいない。もっときちんと取り締まってほしい。

### ○市外に向けて松戸市のアピールを

- ・県外に「これが松戸市」というアピールができるような広告の拡大
- ・東京、埼玉と隣接する地理にもかかわらず、道路状況の悪さ、電車交通の不便さにより、千葉県外に住む人々への認知度が大変低い。
- ・松戸市のPR活動を強化してほしい。

### ○近隣都市との格差の解消

- ・市政が遅れているし、一貫性が無い。隣の柏市の方がまちづくりに魅力を感じる。松戸駅周辺は田舎臭く、保守的な住民が街の発展を遅らせている。行政の力で大きな構想を立て、有意義なまちづくりを望む。
- ・住民税は高いのに、他市より制度が劣ると言うのは納得できない。住んでよかったと思えるよう、生活が少しでも豊かになるよう変わってほしい。
- ・距離の面で引き合いに出される三鷹、町田、横浜に比較して駅前整備、市民レベルは相当の差がある。
- ・税金や行政、福祉等各種サービスは現状維持を希望するが、松戸市だけでなく他市との比較検討を望む。
- ・柏市、船橋市、市川市との行政の優劣チェックの必要を感じる。
- ・東葛地区の中での発展が遅れていると思う。柏、野田、流山等のリーダーであってほしい。

### ○魅力ある町づくりを

- ・千葉大園芸学部をもりたてて、松戸を日本一の園芸のメッカにしよう。
- ・松戸市の個性を前面に押し出してほしい。他の街の真似をするのではなく、独自性を持ってほしい。世界に一つの、日本に一つの松戸市に誇りを持てるようになりたい。
- ・松戸市は東京都と自宅の通過点になっている。つまり松戸市に魅力がない。

- ・緑が多く、自然の多いやすらぎの街としての松戸、今後増える老人の暮らしやすい環境としての松戸と、柏駅の様子若者の多い活気あふれる街と、両極端を追求して欲しい。
- ・高齢者が多くなる中、これからも松戸市に住み続けたいと思うような町づくりをしてほしい。
- ・松戸市の歴史と伝統を大事にした、落ち着いた町にしてほしい。
- ・松戸に明日を感じられない。
- ・若者たちに魅力のある町づくりを進め、活気あふれる松戸市にしていく必要がある。
- ・東京に近いベッドタウンとして静かでゆったりとした町ができれば良いと思う。
- ・住んでみてはじめて分かる快適さだけでなく、色々な人が住みたいと感じる環境の提案が市には求められているのではないかと。活力のある魅力的な市を実現してほしい。
- ・誇りを持てる町づくりをしてほしい。
- ・外部や外国から松戸へ多くの人々が来るように、魅力、特色のある町づくりをしてほしい。
- ・柏や北千住のような派手さを目指すのは物まねのようで恥ずかしい。
- ・21世紀の森と広場、コンサートホールなどを中心に住みやすい安らぎの街ということで、差別化を図れば良いと思う。
- ・都心に近いものの地味なイメージがあり、駅周辺の発展も遅れているように思う。もう少し魅力のある町づくりをした方がいいと思う。

## ○その他

- ・子どもがなく、現在の土地や家屋が誰のものになってしまうのか、不安。親戚もないので、松戸市にこのことを相談できないかと考えている。
- ・有料駐車場に入れているにもかかわらず、持って行かれた。不足ならば、張り紙でもして、不足金を払うシステムを考えれば良い。
- ・市の健診の一部負担化について、その位はやむを得ない。
- ・健康診断の日程の設定が少なく、多数集まるので他の件で来られている人に迷惑。
- ・生活感がない。
- ・現・川井市長の先日の選挙前、市役所内でのゴーヤ苗配りはいやな感じでした。
- ・花火大会の時間を90分より長くし、盆踊りと同時に行なえば満足できるのではないかと。
- ・企業へ要望し、花火大会などイベントの多数の協賛を図る。
- ・バンダイミュージアムを逃さず利用すべきである。
- ・車のナンバーを松戸ナンバーにしたい。
- ・花火大会は楽しませてもらったが、虫が寄ってくるので照明装置に配慮していただきたいかった。
- ・千葉県生涯大学と市の生涯大学を統合して東葛地区を拠点にすることで、流入人口が多くなり、経済効果が期待できると思う。
- ・弱者救済のみでなく高級ブランド志向を考えてほしい。

## ○現状に満足、好意的な意見

- ・これからも松戸市に住み続けたい。
- ・緑が多く、街路樹が多く、木の名前の通りがあって、木の多いことが、東京に近いのに、大変よいと思いました。
- ・日常生活においては松戸駅付近に住んでいるので、とても利便性よく生活上の支障ありません。



- ・先日の選挙で初めて「松戸市は住み心地が良い」と感じました。不満がないこと、お家に帰ってごはんを食べたい（外食よりも、地元に戻って）と思うのは、生活環境が良いからなんだと気づきました。
- ・「すぐやる課」は、とてもよいと思います。
- ・松戸市はゴミの分別がよく行き届いている。
- ・公共施設に大変満足している。
- ・昭和48年から常盤平西窪町に居住し、現在、環境その他満足し、松戸を選んで本当に良かったと、松戸市政に感謝している。
- ・日頃より市民のためにご努力感謝する。今後もより豊かな町になるようお願いしたい。
- ・市職員の市民に対する対応は常にとても良いと思う。
- ・松戸市は保険料が高いとか、市職員が多いなどあまりいい事は聞かないが、住みよいと思う。
- ・素敵な市民憲章でうれしい気分である。

### アンケートに対する意見・要望

#### ○質問内容が良くない、わかりにくい、封筒をのり付きに

- ・アンケートの封筒は、シール付きにした方がよいと思います。
- ・アンケート内容が普段の生活で分からないものも多く、曖昧な答えになってしまったところが多いかもしれない。もっとわかりやすく答えやすいアンケートのほうがよかった。
- ・質問内容が松戸市行政に都合の良いものばかりで少しおかしいと思う。
- ・市民のニーズ調査も必要だと思うが、問3の質問にある「行政サービスが十分効率的に行われている」という条件の下で回答を求める姿勢に疑問を感じる。まず、行政自身のスリム化を行ってほしい。
- ・問5に関しては普段何事もなく生活しているので「わからない」という選択肢があっても良かったのではないか。
- ・松戸市で生活していて疑問に感じていることを1点でも書いてもらうほうがアンケートとしては有効なのではないか。

#### ○調査そのものに対する不満

- ・都内から本年越してきたばかりだ。選ばれたのは無作為ということに疑問を感じる。
- ・自営業だが、ブランド店やブランド品など優雅な生活を考えた事もなく生活している。お給料もとれないのにこのような調査が来ると、質問に情けない気持ちになる。
- ・強制的にアンケートに答えさせるのはどうかと思う。
- ・老人にこのようなアンケートが当たっても困る。もっと若い方にしてほしい。

#### ○このような調査をまた実施してほしい等、好意的な意見

- ・貴重な体験をさせていただき感謝する。また、こういう機会をもっと市民に与えてほしい。いろいろ意見が出ると思う。
- ・このようなアンケートは大変良い企画である。今後も続けてほしい。
- ・このような調査は大変良いと思う。



# 付 録 調 査 票



整理番号

--	--	--	--	--

(この欄は調査票の整理に使用しますので、何も記入しないようにお願いします。)

## 松戸市総合計画第3次実施計画づくりのための市民ニーズ調査

### ■■ アンケート調査ご協力のお願い ■■

皆さまには、日ごろより市政にご協力いただき、ありがとうございます。

松戸市では、平成10年に策定した総合計画に基づき、行政経営を進めております。現在、平成20年度から22年度までの3年間を計画期間とする第3次実施計画の策定準備を開始したところです。今後の計画づくりにあたっては、市民の皆さまのニーズに的確に対応するため、「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」にしぼりこみ、「選択と集中」を明らかにすることが重要と考えています。そのため、広く皆さまの「松戸市のまちづくりの方向性」についてのお考えを聞くための調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査を実施するにあたっては、平成18年6月30日現在の住民基本台帳から無作為に3,000人を抽出いたしました。アンケートの結果につきましては、調査の目的以外には使用いたしません。

平成18年8月 松戸市長 川井 敏久

### ■■ ご記入にあたって ■■

1. 質問には、必ず本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
2. この調査にはお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、ふだんどころ自分が考えていること、または行っていることをお聞かせください。
3. 表紙の右上の整理欄に記入している数字は、お住まいの地区を表すもので、個人を特定するものではありません。
4. 回答は、質問により、1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
5. 質問の中には、選択した番号により、次の質問が問われるものがありますので、ご注意ください。
6. お答えが「その他」の場合には、( ) 内に内容を具体的にお書きください。
7. ご記入いただいた調査票は、**8月21日(月)までに**同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご返送ください。
8. この調査に関するご質問、ご意見などがございましたら、下記までお問い合わせください。

### < 問い合わせ先 >

松戸市 総務企画本部 政策調整課

〒271-8588 松戸市根本387番地の5

電話：047-366-7072

FAX：047-366-1204

E-MAIL：mcseisaku@city.matsudo.chiba.jp

問1 松戸市は、水戸街道の宿場町として、また舟運交通の要衝として栄えてきました。市制を施行した昭和18年の人口は4万人程度であり、昭和30年代の半ばまでは農業主体のまちとして緩やかな人口の増加傾向をたどってきました。

その後、平成の初めまでは、首都東京の住宅需要の受け皿として、新しい市民が全国各地から移り住み、激しい人口移動と増加を繰り返してきました。今日では、人口の増加も落ち着き、人口約47万人を擁し、市内にJR、私鉄併せて23の駅を持つ**全国でも有数の生活都市**として成熟期を迎えつつあります。

このような松戸市において、あなたが生活する上で、どのような**まちづくり**を望みますか。  
(○は1つだけ)

1. 松戸駅を中心とした一帯に新たな投資を行い、自宅近くでの利便性の向上は望めないが、松戸駅周辺まで行けば、高級品の買い物、専門的な医療や特色ある教育まで大抵のサービスは受けられるような**一極集中型のまちづくり**
2. 市内の数箇所（たとえば、複数の路線が交差する松戸駅、新松戸駅、八柱駅など）を拠点として、新たな投資を行い、自宅近くでの利便性の向上は望めないが、市内のどこかで、高級品の買い物、専門的な医療や特色ある教育まで大抵のサービスは受けられるような**拠点分散型のまちづくり**
3. 東京への交通の便が良いという立地条件を生かし、高級品の買い物、専門的な医療機関や特色ある教育機関などは都心に行けば済むので、日用品の買い物や介護や育児などの日常生活に必要なサービスが、最寄り駅の近隣や通勤・通学経路などのなるべく自宅から近いところにおいて入手できるように**市内各所に分散して投資するまちづくり**

4. その他

(

)

問2 松戸市は、都心から約20kmの位置にあり、本市の西部は江戸川を境に、東京都葛飾区などと接しています。三鷹市や川崎市とはほぼ同じ距離にあり、町田市や横浜市よりは、約10km、横須賀市よりは、約30km 都心に近い距離にあります。

首都圏における立地条件は大変良いわけですが、**松戸市に暮らすというブランドイメージ**として、どのようなまちのイメージづくりを望みますか。(○は1つだけ)

1. ITなどの最先端技術を極力利用し、東京のベッドタウンとして利便性をあくまで追求し、外出しなくても、情報や物が簡単に手に入る **ITコミュニケーション都市**
2. 市内にある4つの大学（千葉大園芸学部、日大歯学部、聖徳大学、流通経済大学）との連携を深め、**若者文化を発信していく学園都市**
3. 大手百貨店や高級ブランド店が並び、ショッピングなどが楽しめる**優雅で知的な感性を感じる都市**
4. 新たな開発よりも、自然や緑、歴史や文化など松戸がそもそも持っている良さを活かした**緑花清流都市**
5. 近隣に住んでいる人の顔がわかり、知らない人や子どもにも気軽に声かけられる**安全で安心な地域コミュニティ都市**

問3 平成17(2005)年は、出生数が死亡数を下回り、日本全体の人口が減少していく人口減少社会が想定より早く到来しました。これからの社会では、「**税や公的保険料を負担する人が少なくなるが、税などでまかなわれる市役所のサービスを必要とする人が増える**」ことが予想され、その結果、「一人一人が市役所から受けられるサービスが減る」ことが考えられます。

また、助け合いや支え合いができる地域社会が維持できなくなったり、経済活動を支える年齢層が希薄になり、平均的に生活水準が低下することも考えられます。

このような社会情勢の下での市役所など**行政サービスの提供のあり方**として、どのような方法が相応しいと考えますか。

なお、市役所などが行う行政サービスは、十分効率的に行われているものとしてお考えください。 (〇は1つだけ)

- |  |
|--|
| 1. 高齢者などが増えることによりニーズが増えるのだから、市役所などが提供する <b>行政サービスは拡大</b> すべきであり、税や公的保険料の <b>市民負担は大きく増や</b> しても仕方がない  |
| 2. 市役所などが提供する <b>行政サービスは現状を維持</b> すべきであり、人口減少社会において労働人口は減るのだから、一人あたりの <b>市民負担がその分だけ増える</b> ことは仕方がない  |
| 3. 税や公的保険料の <b>市民負担は現状水準</b> を維持すべきであり、労働人口が減ることによる市役所などの減収は仕方がない。市役所などが提供する <b>行政サービスは減少</b> させ、減少分は、市民の助け合いや、別にお金を払って、NPO・企業などの提供するサービスを購入するようになればよい |
| 4. 市役所などが提供する <b>行政サービスは必要最低限</b> とし、税や公的保険料の <b>市民負担はできるだけ軽減</b> すべきである。必要最低限を超える部分は、市民の助け合いや、別にお金を払って、NPO・企業などの提供するサービスを購入するようになればよい                 |
| 5. その他 ( )   |

問4 1998年のNPO法(特定非営利活動促進法)の施行後、NPO法人は急増し、全国で19,000を超える団体が設立されています(2004年12月現在)。人口減少社会における市民の多様化するニーズに対応するためには、市役所などの行政がサービスを全てまかなうのではなく、市民の助け合いやNPOなどの活動によってニーズを充足させていくことが期待されています。

あなたは、普段の仕事や家事、育児のほかに、**町会などの地域活動やNPOなどのボランティア活動**に、どの程度、参加していますか。また、今後参加してみたいと考えていますか。

(〇は、現在・今後とも、アとイ、それぞれ1つずつ)

■現在

	よく参加している	参加したことがある	参加したことはない
(ア) 町会やPTA役員などの地域活動	1	2	3
(イ) NPOなどのボランティア活動	1	2	3

■今後

	ぜひ参加したい	条件が合えば参加したい	参加する予定はない
(ア) 町会やPTA役員などの地域活動	1	2	3
(イ) NPOなどのボランティア活動	1	2	3

問5 松戸市が今後も発展し続けていくためには、社会・経済環境などの様々な「環境の変化」に的確に対応し、市民の皆さまのニーズが増えているところに重点的に資源配分していくことが重要と考えられます。そこで、松戸市がこうなっているとよいと思われる状態を次のように整理しました。

あなたは、それぞれの項目について、現状をどのように評価し（現状評価）、今後取り組むことがどのくらい重要（今後の重要度）だとお考えですか。松戸市に税金を納める立場として、どのようなことに税金が使われるべきかという観点でお答えください。

項目ごとに現状評価と重要度について、あなたのお考えに一番近い番号を「1～4」の中から、それぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

現状評価・重要度 それぞれ1つを選択		現状評価				今後の重要度			
		十分な状態である	まあまあ の状態である	やや不十分な 状態である	不十分な状態 である	重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない
（記入例） ○○○○○している		1	2	3	4	1	2	3	4
(ア)	市民と行政の協働のルールが確立されている	1	2	3	4	1	2	3	4
(イ)	一人ひとりの人権が尊重され、参画しやすい地域社会になっている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ウ)	自らの健康に関心を持ちながら行動できる市民が多数いる	1	2	3	4	1	2	3	4
(エ)	高齢者や障害を持つ人など生活支援が必要な市民が、地域の支え合いの中で自立した生活を送れるようになっている	1	2	3	4	1	2	3	4
(オ)	次の世代を担う子どもたちが、地域の支え合いの中で健やかに生まれ育っている	1	2	3	4	1	2	3	4
(カ)	地域の医療機関と役割分担し、市立病院が救命救急医療や小児医療などの充実を図っている	1	2	3	4	1	2	3	4
(キ)	家庭、地域、学校の連携により、子どもたちが将来の目標を持てるように、一人ひとりにあった学習環境が用意されている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ク)	生涯学習やスポーツが、手軽に始められるようになっている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ケ)	市内の身近なところで、松戸の歴史や文化が感じられるようになっている	1	2	3	4	1	2	3	4
(コ)	市民一人ひとりが、災害発生時における自らの役割を自覚し、被害の軽減や復旧に向けての行動がとれるようになっている	1	2	3	4	1	2	3	4
(サ)	地域社会の連携と協働により、火災等の災害による被害が軽減されている	1	2	3	4	1	2	3	4



現状評価・重要度 それぞれ1つを選択		現状評価				今後の重要度			
		十分な状態である	まあまあの状態である	やや不十分な状態である	不十分な状態である	重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない
(記入例) ○○○○○している		1	2	3	4	1	2	3	4
(シ)	より適切な救急救命処置ができるようになってきている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ス)	もったいない精神が浸透し、自分のできる範囲で、環境にやさしい取り組みをしている	1	2	3	4	1	2	3	4
(セ)	「自分のまちは自分たちで守る」という意識のもと、安全で快適なまちにするための助け合いをしている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ソ)	緑が保全され、身近な緑と花が増えている	1	2	3	4	1	2	3	4
(タ)	地域産業が活性化し、市内で働く人が増えている	1	2	3	4	1	2	3	4
(チ)	多様な職場が用意され、働きたい人が、働けるようになってきている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ツ)	安全でゆとりのある住宅に住んでいる人が多数いる	1	2	3	4	1	2	3	4
(テ)	公共交通機関と道路のバリアフリー化が進み、誰もが気軽に外出できる街並みが増えている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ト)	身近に水と触れあえるきれいな河川が増えている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ナ)	いつでも安心して水道水が使えるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
(ニ)	既存の都市基盤の維持管理や緑地や水辺など環境の保全が行われている	1	2	3	4	1	2	3	4
(ヌ)	行政は市民ニーズを把握し、わかりやすい目標をたて、効率的でより良いサービスを提供している	1	2	3	4	1	2	3	4
(ネ)	中・長期的な展望に立った健全財政が維持されている	1	2	3	4	1	2	3	4

以上の項目のほか、追加すべき「松戸市がこうなっているとよいと思われる状態」があれば、以下の追加記入欄に直接記入し、同じように番号に○印をつけてください。

選 択 項 目 現状評価・重要度 それぞれ1つを選択		現状評価				今後の重要度				
		十分な状態である	まあまあ の状態である	やや不 十分な 状態である	不十分な 状態である	重要である	まあ重要である	あまり重要ではない	重要ではない	
追加記入欄	(ノ)	直接お書きください。	1	2	3	4	1	2	3	4
	(ハ)	直接お書きください。	1	2	3	4	1	2	3	4
	(ヒ)	直接お書きください。	1	2	3	4	1	2	3	4
	(フ)	直接お書きください。	1	2	3	4	1	2	3	4

問6 少子高齢化が進み、社会保障関係に必要となる経費が年々増えており、それ以外に活用できる経費は、限られてきています。  
 今後の松戸市の都市基盤について、限られた財源の中で、どのようなところに重点的に投資すべきだと思いますか。(○は1つだけ)

1. 学校、市民センター、図書館等の公共施設の耐震などを含めたメンテナンス
2. 新たな公共施設の建設(例：生涯学習会館、音楽ホールなど)
3. 日常、通勤・通学・買い物などに行くときに利用する生活道路の整備
4. 車でスムーズに移動するための幹線道路の整備
5. 水と親しめる河川環境の整備や、街路樹や公園などの整備
6. 既存の樹林地など緑地の保全
7. その他 ( )

問7 子どもを取り巻く環境が複雑化、多様化している現在、子どもの教育は、学校・家庭・地域が、それぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携して行われることが重要であると言われていています。子どもの成長に必要なと思われる項目を次のように整理しました。

全ての項目について、学校・家庭・地域のそれぞれが一定の役割を担うものとは思いますが、あなたは、それぞれの選択項目について、学校・家庭・地域のうち**最も重要な役割**を担うべき主体は、どこだとお考えですか。

項目ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を「1～3」の中から、それぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

選 択 項 目		学校が 主に担うべき	家庭が 主に担うべき	地域が 主に担うべき
(ア)	基礎基本（読み、書き、計算など）の定着を始めたとした確かな学力を身につけること	1	2	3
(イ)	集団生活を営むために必要なルールを身につけること	1	2	3
(ウ)	生涯にわたって自分で学んでいくために必要な学習の仕方や意欲を身につけること	1	2	3
(エ)	自らの心身の健康を育むための知識や方法を身につけること	1	2	3
(オ)	生活習慣や善悪の判断など規範意識の基盤をつくること	1	2	3
(カ)	社会生活を営み、人との交流を広げるために必要な態度やコミュニケーション能力を身につけること	1	2	3
(キ)	放課後や休日に、子どもたちが安心して活動できる安全な居場所を見つけること	1	2	3
(ク)	通常の教育カリキュラムの他に、様々な年齢や性別、国籍の人などと多様な体験をすること	1	2	3

最後に、皆様ご自身のことについて、おたずねします。

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- |        |        |
|--------|--------|
| 1. 女 性 | 2. 男 性 |
|--------|--------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つだけ)

- |           |           |            |           |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 5. 40～44歳 | 9. 60～64歳  | 13. 80歳以上 |
| 2. 25～29歳 | 6. 45～49歳 | 10. 65～69歳 |           |
| 3. 30～34歳 | 7. 50～54歳 | 11. 70～74歳 |           |
| 4. 35～39歳 | 8. 55～59歳 | 12. 75～79歳 |           |

F 3 あなたの主な職業をお答えください。(○は1つだけ)

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| 1. 会社員                | 7. 専業主婦 |
| 2. 公務員 (教員、団体職員などを含む) | 8. 無 職  |
| 3. 自営業 (農業を含む)        |         |
| 4. アルバイトやパートなどの臨時雇用   |         |
| 5. 学 生                |         |
| 6. その他 ( )            |         |

(F 3で1～6のいずれかをお答えの方に)

F 3-1 あなたの勤務地または通学地をお答えください。(○は1つだけ)

- |                  |            |
|------------------|------------|
| 1. 自宅            | 4. 東京都内    |
| 2. 松戸市内 (自宅を除く)  | 5. 埼玉県・茨城県 |
| 3. 千葉県内 (松戸市を除く) | 6. その他 ( ) |

F 4 松戸市にお住まいになって通算何年になりますか (○は1つだけ)

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 生まれてからずっと松戸市に住んでいる |
|-----------------------|

他市町村に住んだことがある場合は、松戸市での通算居住年数を以下からお選び下さい。

- |             |               |               |
|-------------|---------------|---------------|
| 2. 1年未満     | 4. 5年以上10年未満  | 6. 15年以上20年未満 |
| 3. 1年以上5年未満 | 5. 10年以上15年未満 | 7. 20年以上      |

F 5 あなたの家族構成をお答えください。(○は1つだけ)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1. ひとり世帯       | 4. 三世代世帯 (親と子と孫) |
| 2. 夫婦のみの世帯     | 5. その他           |
| 3. 二世代世帯 (親と子) | ( )              |

F 6 同居家族のなかに中学生以下の子どもは何人いますか。(○は1つだけ)

- |        |        |        |        |         |
|--------|--------|--------|--------|---------|
| 1. いない | 2. 1 人 | 3. 2 人 | 4. 3 人 | 5. 4人以上 |
|--------|--------|--------|--------|---------|

F 7 同居家族のなかに (自身を含む) 65歳以上の方はいますか。(○は1つだけ)

- |        |       |
|--------|-------|
| 1. いない | 2. いる |
|--------|-------|

F 8 あなたが通勤・通学以外で日常的にお出かけになる範囲について、お答えください。  
(○は1つだけ)

- |           |           |        |
|-----------|-----------|--------|
| 1. 隣近所    | 4. 松戸市内程度 | 7. その他 |
| 2. 町会程度   | 5. 千葉県内   | ( )    |
| 3. 近隣町会程度 | 6. 東京都内   |        |

F 9 あなたの通勤・通学を含め、お出かけのときに利用する主な交通手段は何ですか。  
(○は2つまで)

- |         |                |        |
|---------|----------------|--------|
| 1. 電車   | 4. 自家用車        | 7. 徒歩  |
| 2. バス   | 5. オートバイ・スクーター | 8. その他 |
| 3. タクシー | 6. 自転車         | ( )    |

F 10 あなたは、松戸市の地域の情報を主に何によって入手していますか。(○は2つまで)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. テレビ・ラジオ       | 6. 市が主催する説明会など   |
| 2. 新聞・雑誌・ミニコミ誌   | 7. 町会などでの集会や会合   |
| 3. 広報誌 (広報まつど)   | 8. 近所の人や親戚の人との会話 |
| 4. ホームページ        | 9. その他 ( )       |
| 5. 回覧板など各種パンフレット | 10. 特にない         |

F 11 あなたにとって、松戸市は住みやすいですか。(○は1つだけ)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 大変住みやすい          | 3. どちらからかといえば、住みにくい |
| 2. どちらからかといえば、住みやすい | 4. 大変住みにくい          |

F12 あなたは、今後も松戸市にお住みになりたいですか。(○は1つだけ)

1. 今の場所に住み続けたい
2. 松戸市内の別の場所で住み続けたい
3. 松戸市内に住み続けたいが、市外に移る予定である
4. 市外に移りたい、または移る予定である
5. わからない

(F12で「1. 今の場所に住み続けたい」とお答えの方に)

F12-1 今の場所に住み続けたい理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 親の代から住んでいるまちだから
2. 隣近所との付き合いを失いたくないから
3. 通勤や通学に便利だから
4. 自然災害の心配が少ないから
5. 下水道や道路などの基盤が整備されているから
6. 緑が多く、静かな住環境に満足しているから
7. 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足しているから
8. 子育てや教育などの環境が充実しているから
9. 子どもの学校が変わることが困るから
10. 治安や防犯の心配が少ないから
11. 買い物や娯楽に便利なまちだから
12. 東京に近いから
13. 商売や事業を続けているため
14. 家賃などが安いから
15. 経済的な理由など、仕方ないから
16. その他 ( )

(F12で2～4のいずれかをお答えの方に)

F12-2 別の場所に移りたい、または移る予定の理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 住宅や土地の価格・広さに満足できないから
2. 通勤や通学に不便だから
3. 自然災害への備え(防災)が心配だから
4. 下水道や道路などの基盤整備が遅れているから
5. 騒音などの生活環境に満足できないから
6. 医療環境や介護サービスなどの福祉環境に満足できないから
7. 子育てや教育などの環境に満足できないから
8. 近所付き合いなどがわずらわしいから
9. 治安や防犯などが心配だから
10. 買い物や娯楽を楽しめる環境ではないから
11. もっと自然の多い土地で暮らしたいから
12. 商売や事業を行いやすい環境ではないから
13. もっと家賃や土地の価格が安いところで暮らしたいから
14. 仕事、学校、家族の都合でやむをえない理由があるから
15. その他 ( )

◎松戸市に対するご意見・ご要望など、特にありましたら、ご自由に記載してください。


**ご協力ありがとうございました。**

\* 記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、**8月21日（月）**までに、投函してください。





---

**松戸市 総合計画第3次実施計画づくりのための市民ニーズ調査**

**平成18年10月**

発行：松戸市 総務企画本部 政策調整課

松戸市根本387-5

TEL 047-366-1111 (代)

---